

DST-TX1

Digital Hi-Vision Tuner

digital Hi-Vision



地上・BS・110度CS デジタルハイビジョンチューナー 取扱説明書

© 2003 Sony Corporation

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

デジタル放送だと何がすごい？

これまでと違った便利な機能を使ってみよう！

EPGって何？

デジタル放送だから、EPG（電子番組表）をテレビで見ながらチャンネルを選んだり、予約したりが簡単。
リモコンボタンですぐ使えます。
詳しくは、④26ページをご覧ください。



見たい番組の番組説明も見る事ができる！

今見ている番組の説明が表示されるので、
気になることもチェック！
リモコンボタンですぐ使えます。
詳しくは、④24ページをご覧ください。



便利な検索機能！

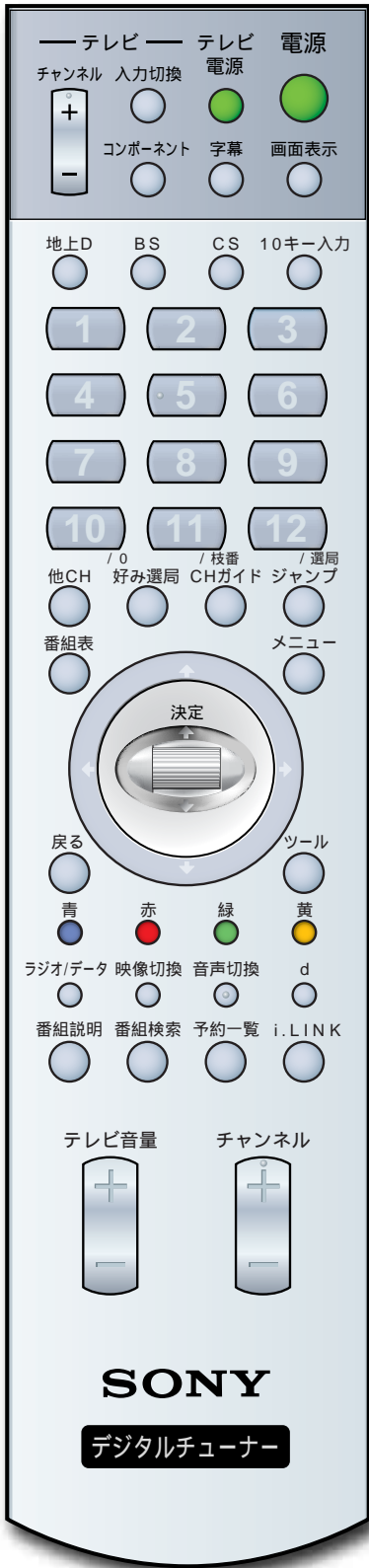
デジタルだから番組も多い！
そんなときに便利な検索機能！
詳しくは、④32ページをご覧ください。



リモコンの使いかたガイド

このページを広げたままにしておいて、
参照のために、このページを使ってください。

こんなときに 使います



- 電源ボタン
- テレビ用ボタン (㊦182ページ)
テレビチャンネル+ ボタンには、凸点(突起)
が付いています。

テレビをこのリモコンで操
作するとき

- 各種放送切替用ボタン
(㊦12, 16, 19ページ)
- 10キー入力ボタン (㊦13, 17, 19ページ)

デジタル放送を切り換える
とき

- 数字ボタン (㊦12, 16, 19, 20ページ)
「5」のみ、凸点(突起)が付いています。

ワンタッチで選局するとき

- 各種チャンネル選局用ボタン
(㊦21, 22, 30, 43ページ)

デジタル放送をもっと便利
にしたいとき

- ジョグダイヤル/決定ボタン
(㊦2-3ページ)
- 番組表ボタン (㊦26ページ)
- メニューボタン (㊦22, 53ページ)
- ツールボタン (㊦2-3ページ)
- 戻るボタン (㊦20, 22, 83ページ)

メニュー操作やいま何をで
きるかを知りたいとき

- カラーボタン (㊦20, 26, 41ページ)

データ放送を楽しむとき

- 各種切替用ボタン (㊦18, 20, 72, 76ページ)
音声切替ボタンには、凸点(突起)が付いています。

番組の情報を見たり各種切
り換えをしたりしたいとき

- 番組説明・番組検索ボタン (㊦24, 32ページ)
- 予約一覧ボタン (㊦63ページ)
- i.LINKボタン (㊦90ページ)

- 音量ボタン
- チャンネルボタン
チャンネルボタンには、凸点(突起)が付いて
います。

音量の調節やチャンネルを
切り換えるとき



このイラストは、リモコンのジョグダイヤルの
上下回転操作を表します。



このイラストは、リモコンのジョグダイヤル
を押しこんで決定する操作を表します。



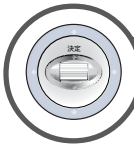
電源/スタンバイ



電源/スタンバイランプが赤色に点灯している
(電源スタンバイ)ときは、リモコンの電源ボタ
ンで電源を入れられます。電源が入ると、ラン
プが緑色に点灯します。

リモコンの使いかた

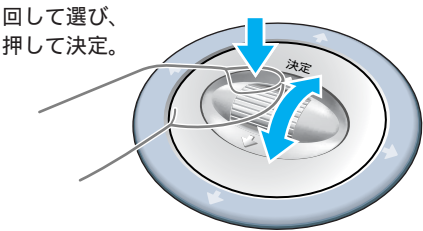
ここでは、便利な機能をもつツールとジョグダイヤルの2つのボタンについて紹介します。



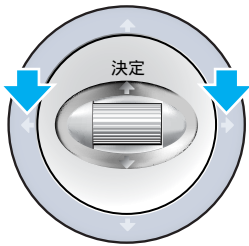
ジョグダイヤルを使う

カーソルの上下移動が早く、他のボタンを探す必要がないため、操作画面を見ながらの操作が簡単にできます。
メニューやツールなどの項目を選ぶときや、画質などを調整するときは、ジョグダイヤルを使います。

ジョグダイヤルの使いかた

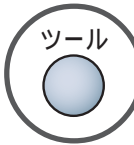
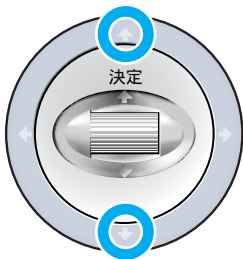


左右を選ぶときは



ちょっと一言

上下を選ぶときは、ジョグダイヤルの上下にある矢印ボタンでもできます。

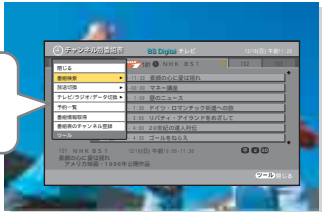


ツールボタンを使う

そのときできる便利な機能を表示できます。表示されたいことを選べば、通常の手順より早く操作できます。



便利



この取扱説明書では、ツールからできることを以下のように紹介しています。

例：BSデジタルを視聴中

ツールを使う

BSデジタル視聴中にツールボタンを押すと...

閉じる

番組説明

他チャンネルリスト

いますぐ録画

好みチャンネル登録

簡易番組説明入/切

ダイヤルアップ切断

ツール

ツールを消す。

番組説明を見る(㊟24ページ)

現在放送中の他の番組をチェックする(㊟43ページ)

視聴中の番組を録画する(㊟55ページ)

好み選局にチャンネルを登録する(㊟31ページ)

画面表示ボタンを押したときに、簡単な番組説明を表示するかを設定する(㊟21ページ)

データ放送で通信中にのみ選べ、通信を切断する。

2-3

操作

準備

デジタル放送だと何がすごい？ これまでと違った便利な機能を使ってみよう！	2-1
リモコンの使いかたガイド	2-2
本機で楽しめるテレビ放送	8

テレビを見る 11

地上デジタル放送を見る	12
BSデジタル・110度CSデジタル放送を見る	16
ラジオ/データ放送を楽しむ	18
ちょっと便利な機能	21

番組のいろいろな選びかた・探しかた 23

番組説明を見る[番組説明ボタン]	24
番組表で見たい番組を選ぶ[番組表ボタン]	26
登録したよく見るチャンネルを選ぶ[好み選局ボタン]	30
いろいろな方法で見たい番組を探す[番組検索ボタン]	32
他チャンネルの番組をチェックする[他CHボタン]	43

取扱説明書の中の画面はイメージです。実際の画面表示とは異なることがあります。

番組を予約/録画する 45

放送と録画の関係	46
簡単に録画予約する[かんたん録画予約]	49
細かい設定をして録画予約する[こだわり予約]	51
録画したい日時を決めて録画予約する[時間指定予約]	53
今見ている番組を録画する[いますぐ録画]	55
見たい番組を逃さず見る[視聴予約]	57
予約が正しく実行されるか確認する[予約一覧ボタン]	62
録画制約について	67

デジタル放送のその他の機能 69

1つの放送局でのマルチ放送について	70
マルチビュー放送や第2映像などを見る[映像切換ボタン]	72
第2映像や第2音声などを選ぶ[信号切換]	73
字幕放送や文字スーパーを見る[字幕ボタン]	74
音声を切り換える[音声切換ボタン]	76
ペイ・パー・ビュー(PPV)を見る	77
文字を入力する[ソフトウェアキーボード]	79
放送局と情報をやりとりする[登録発呼 ^{はつこ}]	82
お気に入りのデータ放送を登録する[ブックマーク]	85
放送局からのお知らせを見る[メール・ボード]	86

<small>アイリンク</small> i.LINKで操作する[i.LINK Studio]	<small>アイリンク</small> 89
本機でi.LINK操作できる機器について	90
i.LINKでデジタル再生する	95
i.LINKでデジタル録画する	99
ハードディスクレコーダーからD-VHSにダビングする	101
映像や音声だけをやりとりする[i.LINKボタン]	104
i.LINK対応機器の設定をする	106

取扱説明書の中の画面はイメージです。実際の画面表示とは異なることがあります。

準備の前に 111

付属品を確かめる 112

ソニー用お客様ご登録カードを登録する 113

接続 115

接続する前に 116

準備1:地上波アンテナをつなぐ 117

準備2:衛星アンテナをつなぐ 119

準備3:テレビにつなぐ 123

準備4:ビデオをつなぐ 133

準備5:電話回線につなぐ 134

受信設定 141

準備6:お買い上げ時の初期設定をする 142

準備7:テレビの横縦比に映像を合わせる 147

準備8:地上デジタル放送の設定をする 150

準備9:衛星アンテナの設定をする 153

準備10:B-CASカード(デジタル放送用ICカード)を入れて登録する 157

準備11:各放送局に視聴を申し込む 159

準備12:電話回線を設定する 160

データ放送のためのネットワークを設定する 163

AVマウスを設定する 176

ワンタッチ選局できるチャンネルを変更する 179

チャンネル+/- ボタンや番組表で選べるチャンネルを変更する 181

本機のリモコンでテレビも操作する 182

暗証番号や視聴年齢制限を設定する 183

個人情報を消去する 186

i.LINK^{アイリンク}での接続 189

i.LINK(アイリンク)について	190
ハードディスクレコーダーをつなぐ	192
D-VHSをつなぐ	193
デジタルビデオカメラレコーダーをつなぐ	194
その他のi.LINK対応機器をつなぐ	195

他機との接続 197

光デジタル入力対応のオーディオ機器をつなぐ	198
デジタル放送の音声について	199
アナログ入力対応のオーディオ機器をつなぐ	200

その他 201

故障かな？と思ったら	202
ダウンロードの流れについて	212
主な仕様	214
保証書とアフターサービス	215
用語集	216
各部の名前	218
索引	221

本機で楽しめるテレビ放送

本機では、次のテレビ放送をお楽しみいただけます。

3種類のデジタル放送

地上デジタル放送

2003年12月より関東、中京、近畿の一部地域で本放送が開始された、受信無料のデジタル放送です。既存のテレビ放送（地上アナログ放送）がデジタル化され、より高画質でお楽しみいただけます。

BS*1 デジタル放送

2000年12月に開始された、衛星を利用した受信無料（一部有料）のデジタル放送です。

ブロードキャスティング サテライト

*1 BSはBroadcasting Satellite（放送衛星）の略です。

110度CS*2デジタル放送

2002年3月に開始された、衛星を利用した受信有料のデジタル放送です。

コミュニケーションズ サテライト

*2 CSはCommunications Satellite（通信衛星）の略です。

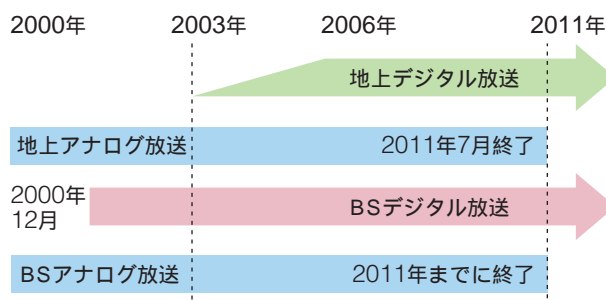
デジタル放送とは？

地上デジタル放送について

アナログ放送からデジタル放送への移行

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部地域で2003年12月より開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。地上アナログ放送は2011年7月*3に、BSアナログ放送は2011年*3までに終了することが、国の方針として決定されています。

*3 2003年8月現在の情報です。



アンテナについて

地上デジタル放送を受信するには、UHFアンテナが必要です。

現在お使いのUHFアンテナでも、地上デジタル放送を受信できます。

ただし、地上デジタル放送のチャンネルによってはアンテナなどの交換や調整が必要となる場合があります。詳しくは、お買い上げ店にお問い合わせください。

なお、ケーブルテレビで受信・視聴するときは、UHFアンテナは不要です。

ケーブルテレビ(CATV)について

地上デジタル放送は、ケーブルテレビでも受信・視聴できます。

お住まいの地域のケーブルテレビで地上デジタル放送が開始されているかは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。なお、ケーブルテレビ放送会社によって送信方式が異なりますが、本機はパススルー方式のすべての周波数に対応しています。送信方式について詳しくは、「地上デジタル放送ケーブルテレビ(CATV)のパススルー対応方式について」(P.15ページ)をご覧ください。

デジタル放送

デジタル放送では、テレビ放送とは別にラジオ放送^{*4}やデータ放送をお楽しみいただけます。

放送の種類	テレビ	ラジオ	データ
地上デジタル			
BSデジタル			
110度CSデジタル ^{*5}			

^{*4} 本機は、地上デジタルラジオ放送には対応していません。

^{*5} プラットワン (CS1) とSKY PerfecTV! 2 (CS2) の2種類あります。

デジタル化で大容量・高品質の情報発信

デジタル放送は、アナログ放送に比べ、映像や音声をデジタル化して大容量の情報を扱えるため、高画質な映像や多チャンネルの番組を楽しめます。幅広いジャンルの番組内容で、デジタルハイビジョン放送^{HD}^{*6} (110度CSを除く)を中心に、ラジオ放送、データ放送 (双方向サービス) が楽しめます。

^{*6} デジタルの画質や画像方式、走査線について詳しくは、[P.123](#)ページをご覧ください。

BS・110度CSの有料放送は受信契約が必要

BSデジタルの有料放送や110度CSデジタル放送をご覧になるには、受信契約が必要です ([P.159](#)ページ)。受信契約すれば、さまざまな放送やサービスが楽しめます。

詳しくは、各放送局、衛星サービス会社にお問い合わせください。

☝ ちょっと一言

110度CSデジタルにも一部無料放送があります。このときは、受信契約は不要です。

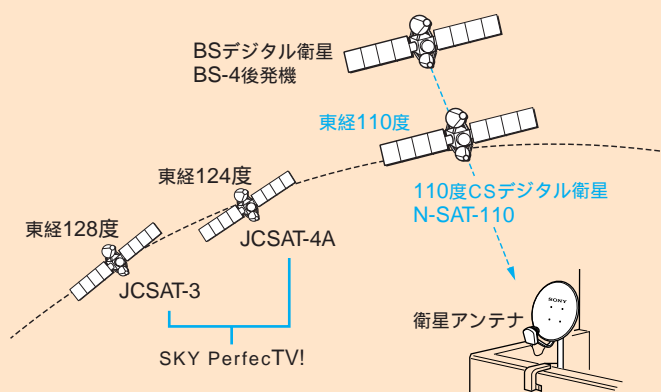
BSと110度CSは同じアンテナや共同受信システムで受信可能

BSデジタル衛星 (BS-4後発機) と110度CSデジタル衛星 (N-SAT-110) は同じ東経110度の方角にあり、送信方式も同じ円偏波のため1つのアンテナや共同受信システムで受信できます。

ただし、110度CSに衛星アンテナや分配器、ブースター (増幅器) および共同受信システムが対応している必要があります。詳しくは、お買い上げ店か、マンション管理会社にお問い合わせください。

☝ ちょっと一言

従来からあるデジタルCS放送 (SKY PerfecTV!) は、図のように、BSデジタル衛星と異なる経度に2つあり、送信方式もBSと異なる水平/垂直偏波 (偏波面電圧切換方式) のため、専用のCSアンテナとデジタルCSチューナーが別に必要です。



テレビを見る

テレビを見るための基本的な操作や、チャンネルの選びかたを説明しています。

地上デジタル放送を見る	12
ワンタッチ選局する	12
順送りで選局する	12
3桁のチャンネル番号で選局する	13
チャンネル番号の枝番について	14
BSデジタル・110度CSデジタル放送を見る	16
ワンタッチ選局する	16
順送りで選局する	16
3桁のチャンネル番号で選局する	17
ラジオ/データ放送を楽しむ	18
順送りで選局する	19
3桁のチャンネル番号で選局する	19
データ放送を楽しむ	20
ちょっと便利な機能	21

地上デジタル放送を見る

ご注意

あらかじめチャンネルスキャン(㊞143、150ページ)を行ってください。

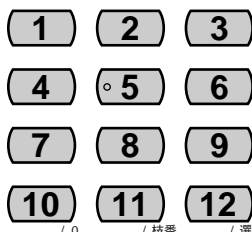
地上デジタルに切り換える

地上D



ワンタッチ選局する

地上D



地上デジタルになっていないときに押す。

☺ちょっと一言

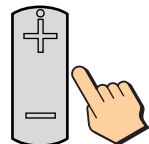
- CHガイドボタンを押すと、(1)～(12)ボタンに登録されているチャンネルを一覧表示します。
- 地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル(CS1、CS2)の、それぞれの放送ごとに(1)～(12)ボタンにお好きなチャンネルを登録できます(㊞179ページ)。

順送りで選局する

地上D



チャンネル

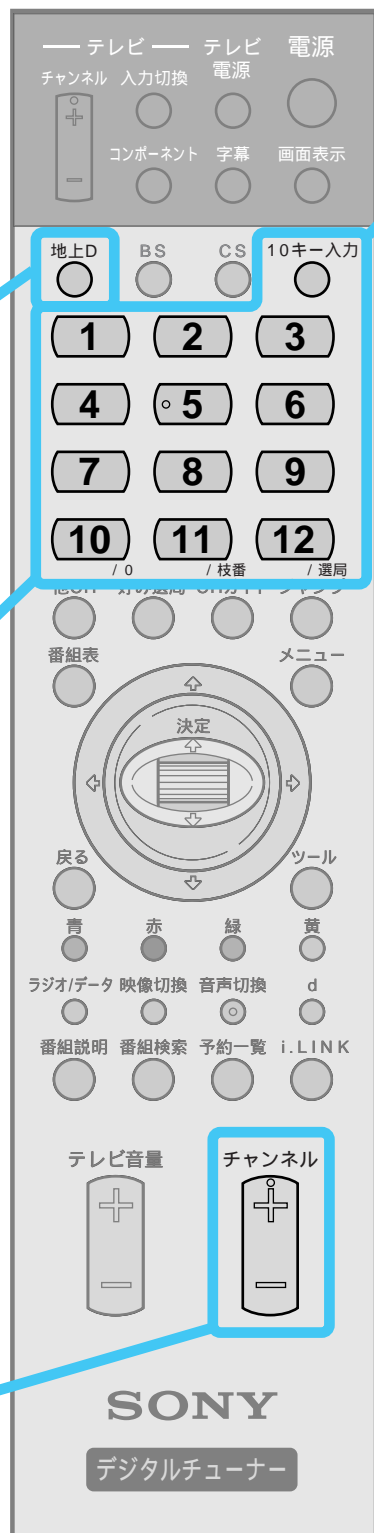


地上デジタルになっていないときに押す。

押し続けると、チャンネル番号のみ早く切り換わり、離すとそのチャンネルが映る。放送サービス(テレビまたは独立データ)の中で順送りされる。

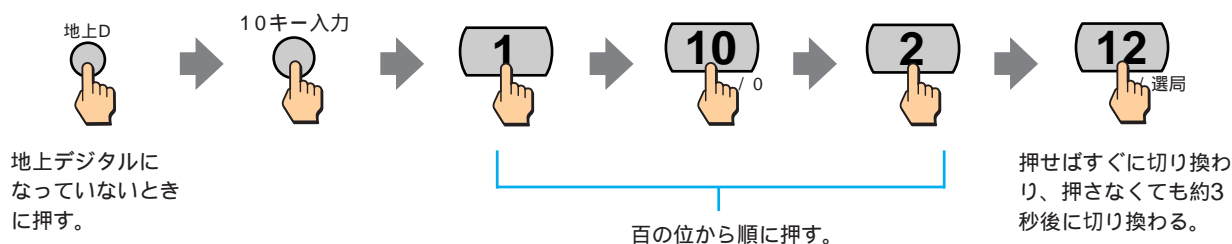
☺ちょっと一言

- 放送サービス(テレビまたは独立データ)を切り換えるときは、ラジオ/データボタンを押してください。
- シームレス選局(㊞22ページ)にしているときは、視聴中の放送サービス(テレビ、ラジオ、独立データ)のチャンネルをすべての放送(地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)を通して順送りします。
- チャンネル+/- ボタンを押して選局できるチャンネルは、お好みで変更できます(「チャンネル+/- ボタンや番組表で選べるチャンネルを変更する」㊞181ページ)。



3桁のチャンネル番号で選局する

例：102chのとき



テレビを見る

他の方法で番組を選ぶには

番組表 (26ページ)

好み選局 (30ページ)

番組検索 (32ページ)

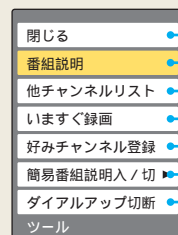
他チャンネルリスト (43ページ)

ツール



ツールを使う (2-3ページ)

地上デジタル視聴中にツールボタンを押すと...



- ツールを消す。
- 番組説明を見る (24ページ)。
- 現在放送中の他の番組をチェックする (43ページ)。
- 視聴中の番組を録画する (55ページ)。
- 好み選局にチャンネルを登録する (31ページ)。
- 画面表示ボタンを押したときに、簡単な番組説明を表示するかを設定する (21ページ)。
- データ放送で通信中にのみ選べ、通信を切断する。

次のページにつづく

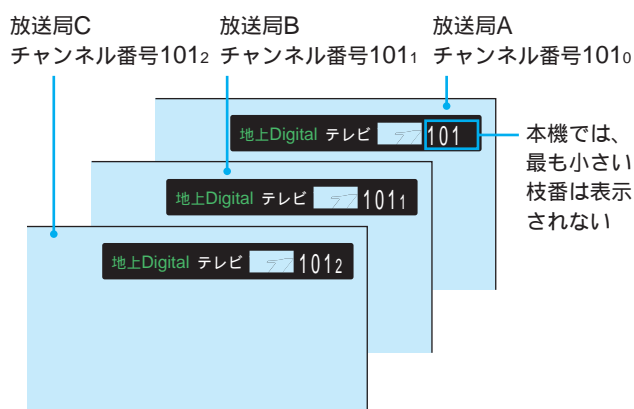
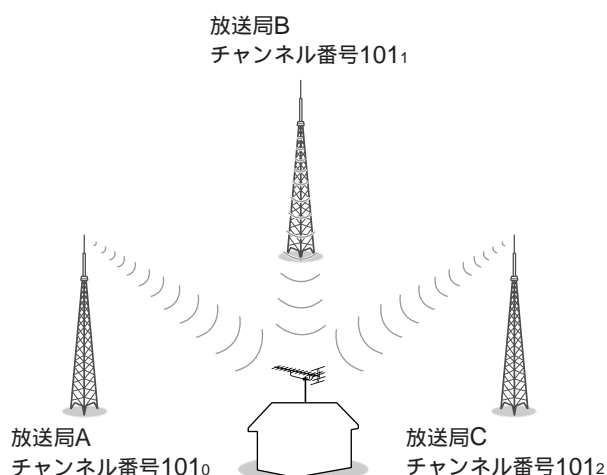
地上デジタル放送を見る (つづき)

チャンネル番号の枝番について

枝番とは？

お住まいの地域によって複数地域の放送を受信できるときは、チャンネル番号が重なることがあります。枝番とは、このようなときに区別するために、3桁のチャンネル番号の後ろにつく番号です。本機では、一番小さい枝番のついているチャンネルは、枝番を表示しません。

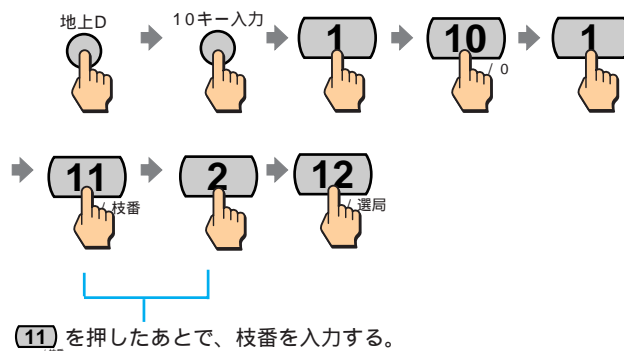
例：101チャンネルを3つの放送局で使用する場合
「0」～「2」または「1」～「3」の枝番が割り当てられます。



枝番がついている3桁のチャンネル番号で
選局するには

例：101₂chのとき

地上



チャンネル+/- ボタンで順送り選局するには

チャンネル+/- ボタンを押すたびに、下記のように切り換わります。

例：チャンネル011と013に枝番がある場合
...「011」 「012」 「013」 「011₁」
「013₁」 「021」...

地上デジタルが受信できないときは

地上デジタルは2003年12月から一部の地域で放送が開始されています。その後、受信できる地域は徐々に増えていきますので、お住まいの地域が地上デジタルを受信できる地域かどうかをご確認ください。

また、受信できる地域でも地上波アンテナの調整が必要な場合があります。

お買い上げ店などにご相談ください。

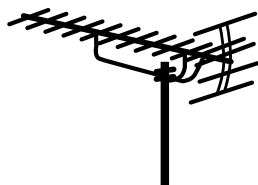
アンテナについて

地上デジタルを受信するためには、地上デジタル対応のUHFアンテナをつなぐ必要があります。現在、使用しているアンテナが地上デジタル対応であれば、アンテナを変えることなく、そのまま受信できます。また、VHFアンテナでは地上デジタルを受信できません。

ただし、地域によっては、地上デジタルの送信塔の方向が現在受信している地上アナログと異なる場合は、アンテナの向きを変える必要があります。地上アナログ受信用のアンテナ（VHFアンテナ）とは別に、地上デジタル受信用のアンテナ（UHFアンテナ）をお使いになるときは、VHFとUHFを混合する必要があります。詳しくは、お買い上げ店などにご相談ください。

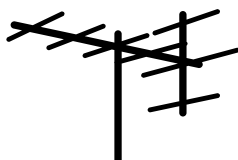
UHFアンテナ

地上デジタルを受信できます。



VHFアンテナ

地上デジタルを受信できません。



地上デジタル放送ケーブルテレビ（CATV）のパススルー対応方式について

ケーブルテレビでは、地上デジタル放送を伝送する方式として、同一周波数パススルー方式や周波数変換パススルー方式、トランスモジュレーション方式があります。どの伝送方式でサービスがされるかは、ケーブルテレビ放送会社により異なりますので、詳しくは、お住まいの地域のケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

なお、本機は同一周波数パススルー方式、および周波数変換パススルー方式ともに、すべての周波数に対応しています。

送信方式	内容
パススルー方式	受信した電波を変調方式を変えずに伝送する方式。
同一周波数パススルー方式	地上デジタル放送が使用するUHF帯の電波を、放送の周波数のままでケーブルテレビ網に再送信する方式。変換後の周波数がUHF帯以外の帯域の場合は、UHF帯以外の帯域まで受信範囲が拡大されている地上デジタル放送対応テレビまたは、外付けの地上デジタル放送対応チューナーが必要です。
周波数変換パススルー方式	受信した地上デジタル放送波を、放送の周波数とは異なる周波数に周波数変換してケーブルテレビ網に再送信する方式。
トランスモジュレーション方式	受信した地上デジタル放送波を、ケーブルテレビに適した変調方式に変換して伝送する方式。ケーブルテレビ専用のSTB（セットトップボックス）をつなぐことにより、地上デジタルチューナーがないテレビでも受信が可能です。詳しくは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

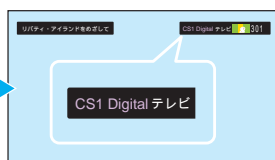
BSデジタル・110度 CSデジタル放送を見る

BSデジタルまたは 110度CSデジタルに切り換える

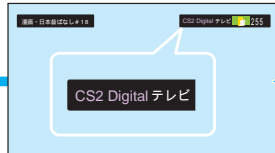
BS
BSデジタルに
切り換わる。

CS
押すたびに、
110度CSデジタル
の衛星サービス
が切り換わる。

CS1(プラットワン)



CS2(SKY PerfecTV! 2)

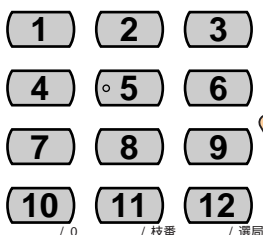


ワンタッチ選局する

BS
BSデジタルに
なっていないとき
に押す。

または

CS
110度CSデジタルに
なっていないときに押
す。押すたびに、衛星
サービスが切り換わる。



💡ちょっと一言

- CHガイドボタンを押すと、(1)～(12)ボタンに登録されている、今見て
いる放送のチャンネルを一覧表示します。
- 地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル(CS1、CS2)の、それ
ぞれの放送ごとに(1)～(12)ボタンにお好きなチャンネルを登録できます
(㊧179ページ)。

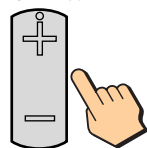
順送りで選局する

BS
BSデジタル
になってい
ないときに
押す。

または

CS
110度CSデジタル
になっていないとき
に押す。押すたび
に、衛星サービスが
切り換わる。

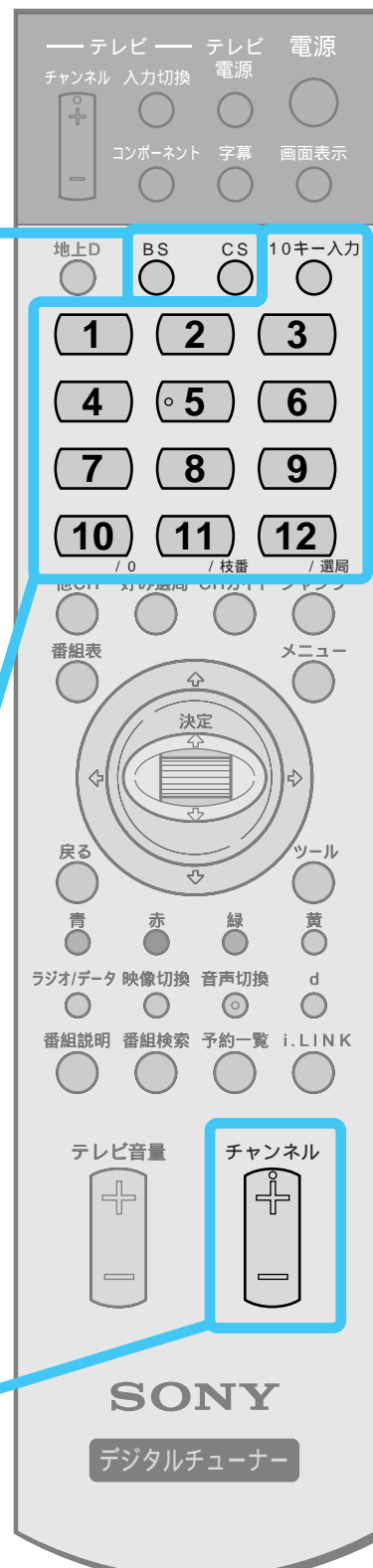
チャンネル



押し続けると、チャンネル番号
のみ早く切り換わり、離すとそ
のチャンネルが映る。
放送サービス(テレビ、ラジ
オ、独立データ)の中で順送り
される。

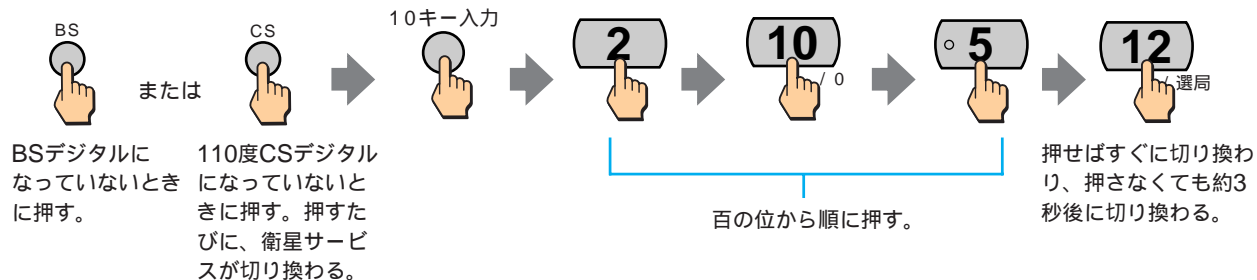
💡ちょっと一言

- 放送サービス(テレビ、ラジオ、独立データ)を切り
換えるときは、ラジオ/データボタンを押してください。
- シームレス選局(㊧22ページ)にしているときは、
視聴中の放送サービス(テレビ、ラジオ、独立デ
ータ)のチャンネルをすべての放送(地上デジタル、
BSデジタル、110度CSデジタル)を通して順送りし
ます。
- チャンネル+/- ボタンを押して選局できるチャン
ネルは、お好みで変更できます(「チャンネル+/- ボタ
ンや番組表で選べるチャンネルを変更する」㊧181
ページ)。



3桁のチャンネル番号で選局する

例：205chのとき



お買い上げ時にワンタッチ選局で選べるBSデジタルのチャンネル

数字ボタン	チャンネル番号	数字ボタン	チャンネル番号
1	101	7	171
2	102	8	181
3	103	9	191
4	141	10	200
5	151	11	-
6	161	12	-

お買い上げ時にワンタッチ選局で選べる110度CSデジタルのチャンネル

CS1(プラットワン)

数字ボタン	チャンネル番号	数字ボタン	チャンネル番号
1	001	7	700
2	999	8	-
3	963	9	090
4	011	10	-
5	055	11	-
6	900	12	-

CS2(SKY PerfecTV! 2)

数字ボタン	チャンネル番号	数字ボタン	チャンネル番号
1	100	7	170
2	110	8	182
3	123	9	194
4	128	10	190
5	250	11	235
6	160	12	-

他の方法で番組を選ぶには

番組表 (26ページ)
 好み選局 (30ページ)
 番組検索 (32ページ)
 他チャンネルリスト (43ページ)

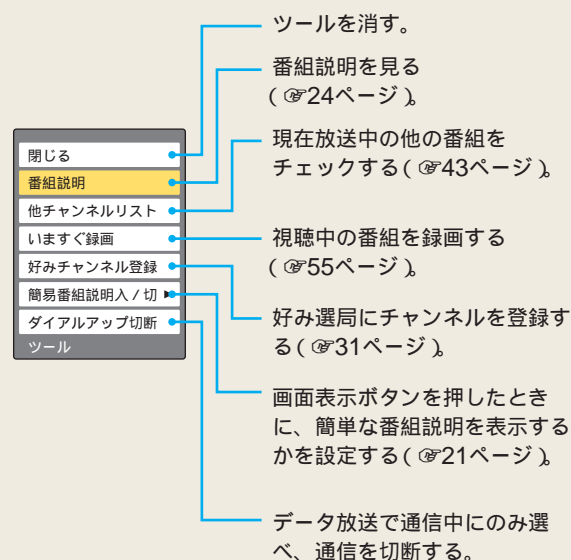
ご注意

本機はepサービスには対応していません。
 epサービスは、イーピー株式会社が提供するeプラットフォームサービスです。epサービスについて詳しくは、イーピー株式会社にお問い合わせください。

ツール

ツールを使う (2-3ページ)

BSデジタル・110度CSデジタル視聴中にツールボタンを押すと...



ラジオ/データ放送を楽しむ

デジタル放送にはテレビの他に、ラジオ放送とデータ放送があります。

ラジオ放送

画像や連動したデータを楽しめるラジオ放送と、音声のみのラジオ放送があり、番組によっては、音楽CD並みの高音質が楽しめます。

ご注意

本機は、地上デジタルラジオ放送には対応していません。

データ放送

データのみを専門に放送する独立データ放送と、テレビやラジオの番組に連動して見ることができる連動データ放送があります。

様々なニュースや情報を見たり、クイズやゲームなど双方向サービスを楽しんだりできます。ここでは、独立データ放送を楽しむための操作について説明しています。

ラジオ、データに切り換える

ラジオ/データ



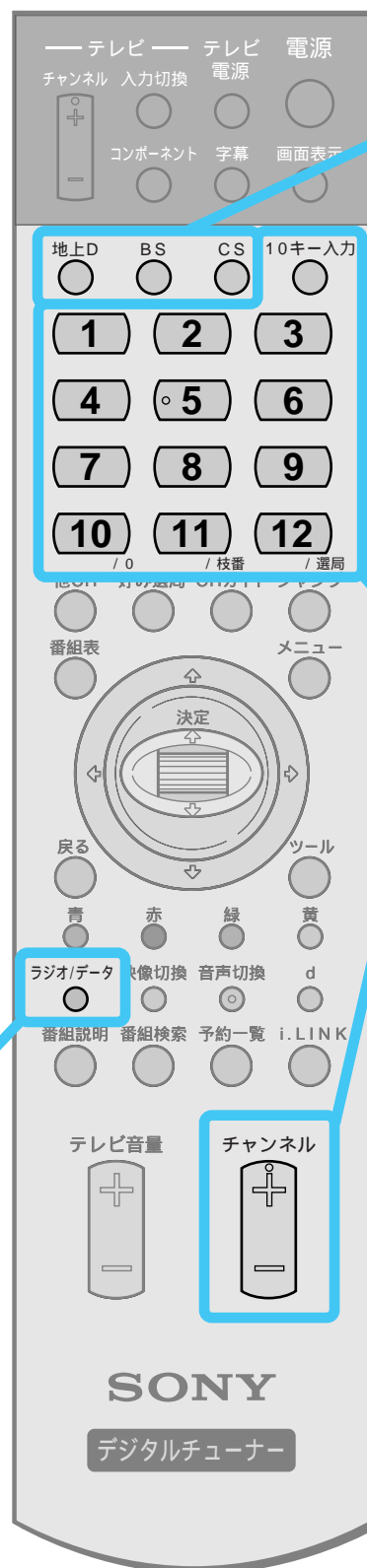
押すたびに下記のように切り換わる。

テレビ ラジオ*1 独立データ

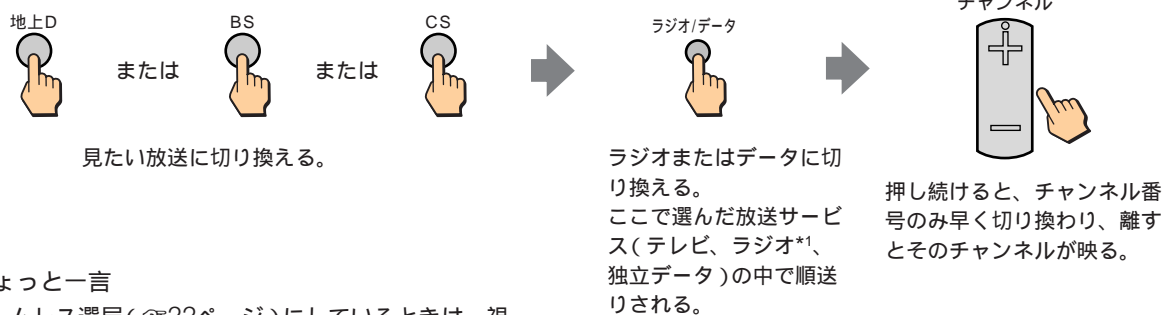
ちょっと一言

連動データはテレビ、ラジオを視聴中にdボタンを押して切り換えます(㊞20ページ)。

*1 本機は、地上デジタルラジオ放送には対応していません。選んだ放送サービスが行われていないときは、とばして順送りされます。



順送りで選局する



☺ちょっと一言

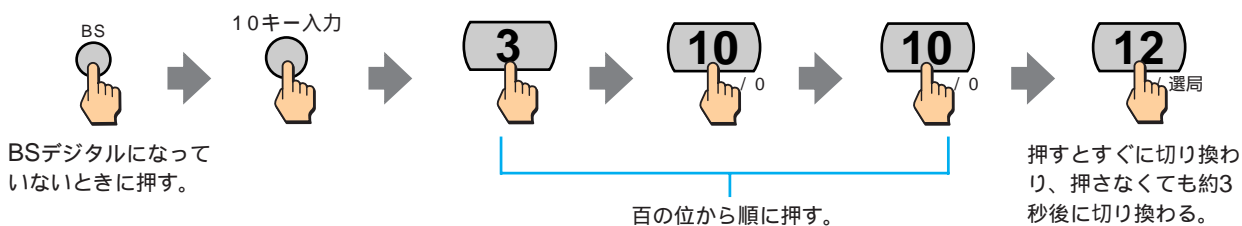
- シームレス選局(☞22ページ)にしているときは、視聴中の放送サービス(テレビ、ラジオ、独立データ)のチャンネルをすべての放送(地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)を通して順送りします。
- チャンネル+/- ボタンを押して選局できるチャンネルは、お好みで変更できます(「チャンネル+/- ボタンや番組表で選べるチャンネルを変更する」☞181ページ)。

*1 本機は、地上デジタルラジオ放送には対応していません。選んだ放送サービスが行われていないときは、とばして順送りされます。

テレビを見る

3桁のチャンネル番号で選局する

例：BSデジタルの300chのとき



☺ちょっと一言

- 連動データはテレビ、ラジオの番組を視聴中にdボタンを押して切り換えます(☞20ページ)。連動データのない番組では、切り換わりません。
- 1 ~ 12 の数字ボタンにラジオや独立データのチャンネルを登録しておけば、数字ボタンを押すだけで切り換えられます。詳しくは、「ワンタッチ選局できるチャンネルを変更する」(☞179ページ)をご覧ください。

次のページにつづく

ラジオ/データ放送を楽しむ (つづき)

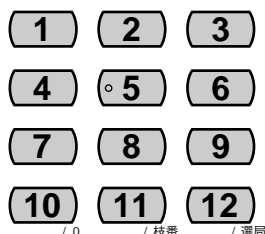
データ放送を楽しむ

データ放送の画面で何かを選んだり入力したりするときは

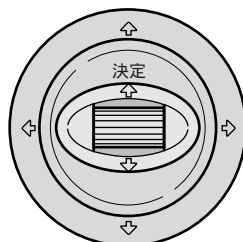
詳しくは、画面の指示に従って、リモコンを操作してください。



色で選ぶとき



数字を入力するとき



選んで決定するとき



前に戻るとき

連動データ放送に切り換えるには

連動データ放送は、デジタル放送のテレビやラジオの番組に連動しているデータ放送です。



押す。

データ放送が行われていれば、「データ取得中です」と表示されたあと、画面が切り換わる。



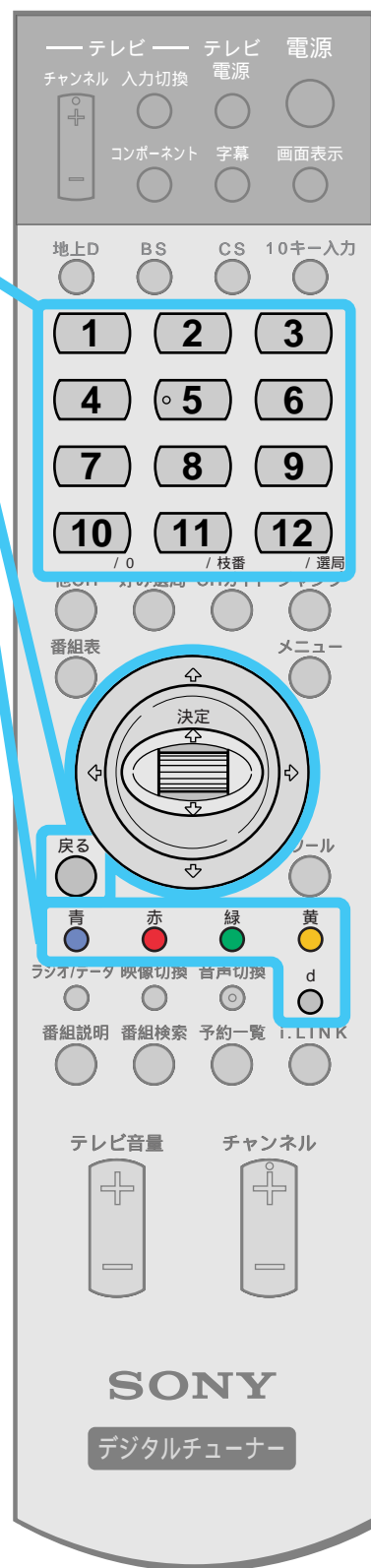
情報欄(ニュースなど)

ご注意

連動データ放送は、チャンネル+/- ボタンや、数字ボタン、ラジオ/データボタンでは選べません。

ちょっと一言

- データ放送の文字や記号の入力で、ソフトウェアキーボードを使うときは、自動的にソフトウェアキーボードが表示されます。
- データ通信をするときに、登録しておいて、あとで通信することができます。詳しくは、「放送局と情報をやりとりする[登録発呼]」(㊥82ページ)をご覧ください。
- お気に入りのデータ放送を登録しておいて、簡単に呼び出すことができます。詳しくは、「お気に入りのデータ放送を登録する[ブックマーク]」(㊥85ページ)をご覧ください。
- 終了する場合も、画面の指示に従ってください。dボタンや戻るボタンで終了できる場合もあります。



データ放送の番組を楽しむときは

- あらかじめ電話回線の接続(㊦134ページ)と設定(㊦160ページ)を行ってください。
- 番組によっては、デジタル放送のデータ番組が自動的に画面に表示されることがあります。
- リモコンや本体のボタンは、デジタル放送のデータ番組で使うときだけ機能が変わる場合があります。番組の指示に従ってください。
- デジタル放送のデータ番組では、本機につないだ電話回線を使って通信を行う場合があります。通信中(本機前面の表示窓に「通話」と表示)は、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。また、通話料がかかる場合があります。

ツール

ツールを使う(㊦2-3ページ)

ラジオ/データを視聴中にツールボタンを押すと...

- ツールを消す。
- 番組説明を見る(㊦24ページ)。
- 現在放送中の他の番組をチェックする(㊦43ページ)。
- 視聴中の番組を録画する(㊦55ページ)。
- データ画像は録画できません。
- 好み選局にチャンネルを登録する(㊦31ページ)。
- 画面表示ボタンを押したときに、簡単な番組説明を表示するかを設定する(㊦21ページ)。
- データ放送で通信中にのみ選べ、通信を切断する。

ちょっと便利な機能

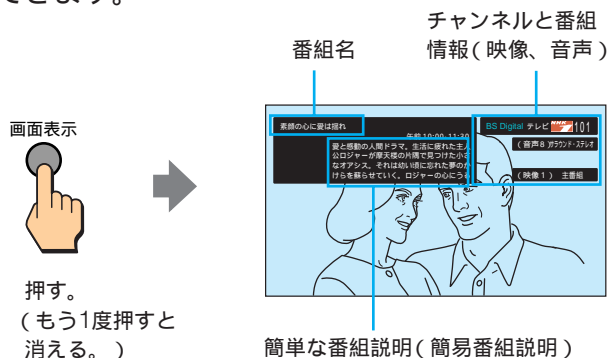
直前のチャンネルに戻る

放送の種類(地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)にかかわらず、直前のチャンネルに戻れます。



見ているチャンネルの番号など、情報を確認する

見ている番組の情報や、チャンネルなどを確認できます。



🗨️ ちょっと一言

画面表示ボタンを押したあと、約5秒後に自動的に画面表示は消えます。

簡易番組説明について

「簡易番組説明入/切」を「入」に設定しておくと、画面表示ボタンを押したときに、見ている番組の放送時間やあらすじも表示します。

詳しい番組説明や、放送予定の番組の説明を見るときは、「番組説明を見る」(㊦24ページ)をご覧ください。

🗨️ 簡易番組説明を表示するには

- 「セットアップ」メニューから
「セットアップ」「表示設定」「簡易番組説明入/切」
「入」を選ぶ。
- デジタル放送視聴中にツールから
「簡易番組説明入/切」「入」を選ぶ。
- i.LINK Studioで再生中にツールから
「簡易番組説明入/切」「入」を選ぶ。

ちょっと便利な機能(つづき)

ワンタッチ選局のチャンネルを確認する

1 ~ **12** ボタンにどのチャンネルが登録されているか確認できます。



押す。
(もう1度押すと消える。)

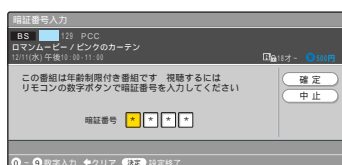
見ている放送の登録チャンネルが表示される。

ちょっと一言

1 ~ **12** ボタンには、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル(CS1、CS2)ごとにお好きなチャンネルを登録できます(☎179ページ)。

視聴年齢制限付き番組を選んだときは

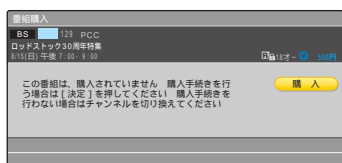
「暗証番号入力」画面が表示されます。**1** ~ **10**までの数字ボタンまたは \square で4桁の暗証番号(☎183ページ)を入力してください。



番組購入画面が出たときは

ペイ・パー・ビュー(PPV)番組のため、視聴するには別途料金がかかります(☎77ページ)。

購入するときは、画面の指示に従って、購入手続きを行ってください。



ちょっと一言

デジタル放送のPPV番組の先月分と今月分の購入概算金額を確認できます(☎78ページ)。

シームレス選局にする

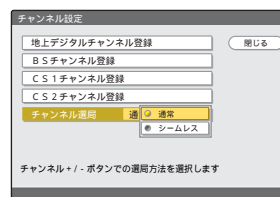
チャンネル+/- ボタンを押したときに、テレビ、ラジオ、独立データの放送サービスごとに、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルのすべてのチャンネルを順送りで選べるように設定できます。

例：BSデジタル独立データを見ているときに、チャンネル+/- ボタンを押すと以下の順ですべての独立データのチャンネルを順送りで切り換えます。

BS Digitalデータ CS1 Digitalデータ

地上 Digitalデータ CS2 Digitalデータ

- 1 メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 2 \square で「セットアップ」を選んで、 \square 決定する。
- 3 \square で「受信設定」を選んで、 \square 決定する。
- 4 \square で「チャンネル設定」を選んで、 \square 決定する。
- 5 \square で「チャンネル選局」を選んで、 \square 決定する。



- 6 \square で「シームレス」を選んで、 \square 決定する。

「通常」(お買い上げ時の設定): 視聴中の放送内で、視聴中の放送サービス(テレビ、ラジオ、独立データ)のチャンネルを順送りします。

「シームレス」: すべての放送を通して、視聴中の放送サービス(テレビ、ラジオ、独立データ)のチャンネルを順送りします。

- 7 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

番組のいろいろな 選びかた・探しかた

地上デジタルなど放送の種類が増えたため、チャンネルや番組のジャンルも多彩になっています。
この章では、多くの番組の中から、簡単にすばやく見たい番組を探したり、番組の詳しい説明を見るための操作などを説明しています。

番組説明を見る[番組説明ボタン]	24
番組表で見たい番組を選ぶ[番組表ボタン]	26
番組表で見たい番組を選ぶ	28
登録したよく見るチャンネルを選ぶ[好み選局ボタン] ...	30
好み選局からお好みのチャンネルを選ぶ	30
好み選局にチャンネルを登録する	31
いろいろな方法で見たい番組を探す[番組検索ボタン] ...	32
番組の検索方法を選ぶ	32
ジャンルから簡単に番組を探す [かんたんジャンル検索]	34
キーワードから簡単に番組を探す [かんたんキーワード検索]	34
ジャンルやキーワードを登録する	35
すべてのジャンルから番組を探す [こだわりジャンル検索]	38
いろいろなキーワードから番組を探す [こだわりキーワード検索]	39
チャンネルと放送日を指定して検索する[検索範囲]	40
検索結果から番組を選ぶ	41
他チャンネルの番組をチェックする [他CHボタン]	43
他チャンネルリストからお好みのチャンネルを選ぶ	44

番組説明を見る

[番組説明ボタン]

地上デジタルやBSデジタル、110度CSデジタル放送の番組の、番組名やあらすじ、出演者、映像/音声情報、ジャンルなど詳しい情報を見ることができます。

番組説明を見る

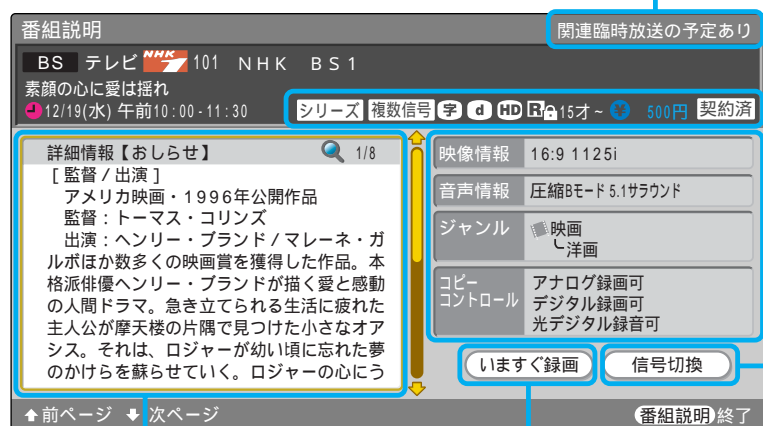
番組説明



デジタル放送視聴中に押す。
(もう1度押すと消える。)

下記の番組はフィクションであり、実際の放送局での放送内容や、実際の人物、地名などとは関係ありません。

視聴中の番組の番組説明



番組の状況

「開始前」や「終了」など

マーク (㊦25ページ)

番組情報欄

「映像情報」(㊦123、149ページ)

「音声情報」(㊦199ページ)

「ジャンル」(㊦36ページ)

「コピーコントロール」(㊦67、78、133、190ページ):
録画や録音についての情報

「信号切換」(㊦73ページ):

映像/音声信号の情報を表示することができます。
また、映像/音声信号が複数あるときは、信号を切り換えられます。

「いますぐ録画」(㊦55ページ):

「いますぐ録画」設定画面を表示します。

番組内容表示欄

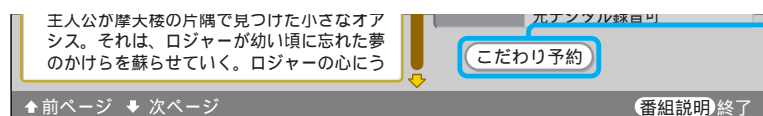
㊦でページをスクロールします。

1/8は8ページ中の1ページ目の意味です。

㊦: キーワード検索 (㊦32ページ) の対象となる番組情報。

㊦が表示されているページは、キーワード検索の対象となりません。

放送開始前の番組の番組説明



「こだわり予約」または「予約取消」
(㊦51、58、63ページ):

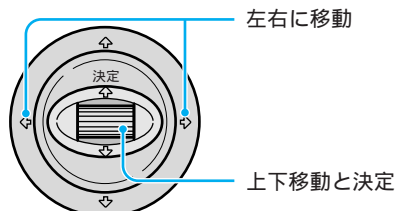
「こだわり予約」設定画面を表示します。
すでに予約しているときは、予約を取り消せます。

👁️ちょっと一言

放送開始前の番組の番組説明は、番組表 (㊦26ページ) や検索結果画面 (㊦41ページ)、予約一覧画面 (㊦62ページ) で放送開始前の番組を選んだときに表示されるサブメニューから「番組説明」を選ぶと表示できます。

画面上のボタンや項目を選ぶには

㊦/㊦で選んで、㊦で決定します。

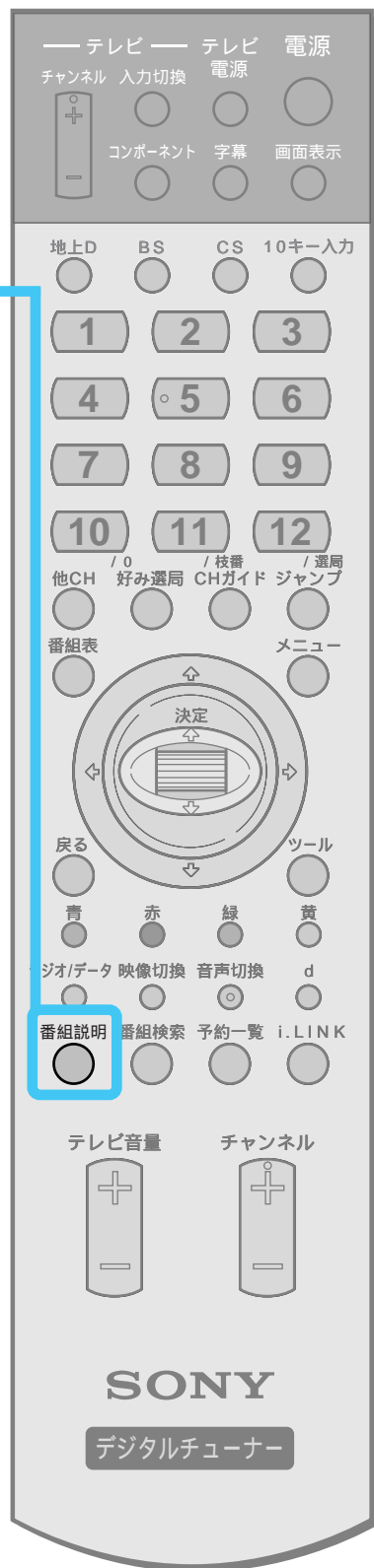


左右に移動

上下移動と決定

👁️他の方法でも表示できます

- 番組視聴中にツールから「番組説明」を選ぶ。
- i.LINK再生中にツールから「番組説明」を選ぶ。
- 番組表や検索結果画面、予約一覧画面から㊦で番組を選んで、㊦で決定すると表示されるサブメニューから「番組説明」を選ぶ。



番組説明からできること

番組説明画面上のボタンや項目を選ぶと、次のようなことができます。

ボタン/項目	できること
「信号切換」	映像/音声信号の情報を見ることができます。また、第2映像や第2音声など信号が複数あるときは視聴したい信号を選べます(㊦73ページ)。
「いますぐ録画」*1	視聴中の番組の録画に進めます(㊦55ページ)。
「こだわり予約」*2	録画予約や視聴予約に進めます(㊦51、58ページ)。
「予約取消」*2	すでに予約済みの番組のときは「こだわり予約」の代わりに「予約取消」が表示されます。番組の予約が取り消されます。

*1 視聴中の番組の番組説明でのみ表示されます。

*2 放送開始前の番組の番組説明でのみ表示されます。

表示マークの意味

- 字** : 字幕のある放送(㊦74ページ)
- d** : テレビやラジオと連動しているデータ放送(㊦20ページ)
- MV** : マルチビュー放送(㊦72ページ)
- HD** : デジタルハイビジョン信号 **HD**(㊦123ページ)
- SD** : 標準テレビ信号 **SD**(㊦123ページ)
- R** : 視聴年齢制限付き番組(㊦22、183ページ)
- ¥XXX円** : ペイ・パー・ビュー(PPV)など有料番組(㊦77ページ)と料金
- 📺** : 録画予約した番組(㊦49、51、55ページ)
- 📺** : 視聴予約した番組(㊦57ページ)
- 🔍** : キーワード検索(㊦32ページ)の対象となる番組情報
🔍が表示されているページは、キーワード検索の対象となりません。

シリーズ：野球中継や季節ごとの番組(毎週/毎回到属さないもの)

複数信号：第2映像など複数の映像/音声信号がある番組
契約済/未契約：放送事業者との契約が済んでいるかどうか(㊦159ページ)

👁️ちょっと一言

MV、**HD**または**SD**は同じ場所に表示されるため、いずれか1つが表示されます。

番組表で見たい番組を選ぶ[番組表ボタン]

地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルでは、放送局が送信する番組情報を元に、番組表(EPG*)を約1週間先まで見ることができます。

エレクトロニクス・プログラム・ガイド

* EPGは、電子番組表(Electronic Program Guide)の略です。

番組表を見る

チャンネル別番組表

番組表 デジタル放送視聴中に押す。
(もう1度押すと消える。)



番組表にはチャンネル別と時刻別があります。チャンネル別番組表は、現在放送中の番組から放送時刻順に表示され、◀/▶でチャンネルを切り換えられます。見たい番組を放送するチャンネルがわかっているときに便利です。

放送と放送サービス

放送(地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)と放送サービス(テレビ、ラジオ、独立データ)の種類。見ている番組に関係なく切り換えられる。

日付と時間帯



チャンネル表示欄

現在、番組表に表示中のチャンネル。◀/▶で、番組表に表示したいチャンネルを選べます。

①~⑫が表示されているのは、数字ボタンでワンタッチ選局(④12、16ページ)できるチャンネルです。

番組一覧

放送時間と番組名が表示されます。現在の時間は青く表示されます。

で選んでいる番組の情報

- 📺 : 録画予約した番組
(④49、51、55ページ)
- 📺 : 視聴予約した番組
(④57ページ)
- 📺 : 予約が重なっている番組
他のチャンネルで同じ時間帯に予約があるときに表示します。

操作ガイド表示欄

番組表を表示中にリモコンのカラーボタンとツールボタンを使ってできることをガイド表示します。

- 📺 : 前日へ切り換えます。
- 📺 : 翌日へ切り換えます。
- 📺 : 番組表の放送(地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)を切り換えます。押すたびに、次のように切り換わります。

地上 Digital → BS Digital → CS1 Digital → CS2 Digital

- 📺 : 時刻別番組表に切り換えます。もう1度押すと、チャンネル別番組表に戻ります。

ツール : ツールを表示します(④29ページ)。

他の方法でも表示できます

- メニューから
「番組表・予約」「チャンネル別番組表」を選ぶ。
- i.LINK操作画面から
「番組表予約」を選ぶ。

上記の番組はフィクションであり、実際の放送局での放送内容や、実際の人物、地名などとは関係ありません。

見たい番組が決まっているときは [チャンネル別番組表]

◀/▶でチャンネルを切り換える。

時間



押すたびに
切り換わる。

見たい時間帯が決まっているときは [時刻別番組表]

◀/▶で日時を切り換える。

チャンネル



時刻別番組表

番組表にはチャンネル別と時刻別があります。
時刻別番組表は、チャンネル別番組表を表示しているときに、黄ボタンを押して表示します。
◀/▶で時間帯や日付を切り換えられます。いつ見るか予定が決まっているときなどに便利です。

時間帯表示欄

現在番組表に表示中の時間帯。

◀/▶で、番組表に表示したい時間帯を1時間ごとに選べます。

日付表示欄

現在番組表に表示中の日付。

◀/▶で、番組表に表示したい日付を選べます。



ご注意

複数のチャンネルで同時に同じ番組を放送(イベント共有)しているときは、代表チャンネルのみ表示されます。

👁ちょっと一言

地上デジタルはチャンネル番号順に表示されないことがあります。

👁他の方法でも表示できます

メニューから

「番組表・予約」「時刻別番組表」を選ぶ。

表示マークの意味

- 字** : 字幕放送(📄74ページ)
- d** : テレビやラジオと連動しているデータ放送(📄20ページ)
- MV** : マルチビュー放送(📄72ページ)
- HD** : デジタルハイビジョン信号 **HD**(📄123ページ)
- SD** : 標準テレビ信号 **SD**(📄123ページ)
- R** : 視聴年齢制限付き番組(📄22、183ページ)
- ¥** : ペイ・パー・ビュー(PPV)など有料番組(📄77ページ)

👁ちょっと一言

MV、**HD**または**SD**は同じ場所に表示されるため、いずれか1つが表示されます。

他に、放送局から、番組の種類を表すマークが付いてくる場合があります。以下はその一例です。

- 二** : 二か国語放送(📄76ページ)
- S** : ステレオ放送(📄199ページ)
- 字** : 字幕放送(📄74ページ)
- B** : 圧縮Bモードステレオ放送(📄199ページ)
- N** : ニュース番組

👁ちょっと一言

番組表に表示できるチャンネルを変更するには📄181ページをご覧ください。

番組表で見たい番組を選ぶには...



次ページへ

次のページにつづく

番組のいろいろな選びかた・探しかた

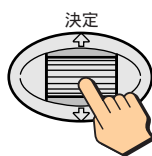
番組表で見たい番組を選ぶ [番組表ボタン](つづき)

番組表で見たい番組を選ぶ

チャンネル別番組表



時刻別番組表



で番組を選んで、で決定する。
サブメニューが表示されます。

現在放送中の番組を選んだときは



サブメニュー

放送開始前の番組を選んだときは



サブメニュー

で「選局」を選んで、で決定すると、番組を表示できます。



選んだチャンネルの画面になる。

録画予約や視聴予約に進めます。

視聴予約するときは

で「かんたん視聴予約」または「こだわり予約」を選んで、で決定します(57、59ページ)。

録画予約するときは

で「かんたん録画予約」または「こだわり予約」を選んで、で決定します(49、51ページ)。

番組表に表示されている番組の番組説明を見るには

で番組を選び、番組説明ボタンを押す。

サブメニューからできること

項目	できること
「戻る」	サブメニューを消して、他の番組を選べます。
「選局」* ¹	選んだ番組に切り換えます。
「番組説明」	番組説明を見ることができます (24ページ)
「かんたん視聴予約」* ²	簡単な視聴予約に進めます (57ページ)
「かんたん録画予約」* ²	簡単な録画予約に進めます (49ページ)
「こだわり予約」* ²	視聴予約や録画予約に進み、細かい設定ができます(51、58ページ)
「予約取消」* ²	すでに予約済みの番組のときは「かんたん視聴予約」、「かんたん録画予約」、「こだわり予約」の代わりに「予約取消」が表示されます。番組の予約を取り消せます。
「時刻別番組表」 または 「チャンネル別番組表」	番組表を切り換えます。

*¹ 現在放送中の番組を選んだときのみ表示されます。

*² 放送開始前の番組を選んだときのみ表示されます。

ツール

ツールを使う (2-3ページ)

番組表を表示中にツールボタンを押すと...

閉じる

番組検索

放送切換

テレビ/ラジオ/データ切換

予約一覧

番組情報取得

番組表のチャンネル登録

ツール

ツールを消す。

見たい番組を検索する
(32ページ)

番組表の放送 (地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル) を切り換える。

番組表の放送サービス (テレビ・ラジオ・データ) を切り換える。

予約一覧に進む
(62ページ)

番組表で表示中の放送の番組情報をデータ取得する。
詳しくは、下記をご覧ください。

番組表に表示するチャンネルを登録する
(181ページ)

番組のいろいろな選びかた・探しかた

デジタル放送の番組情報取得について

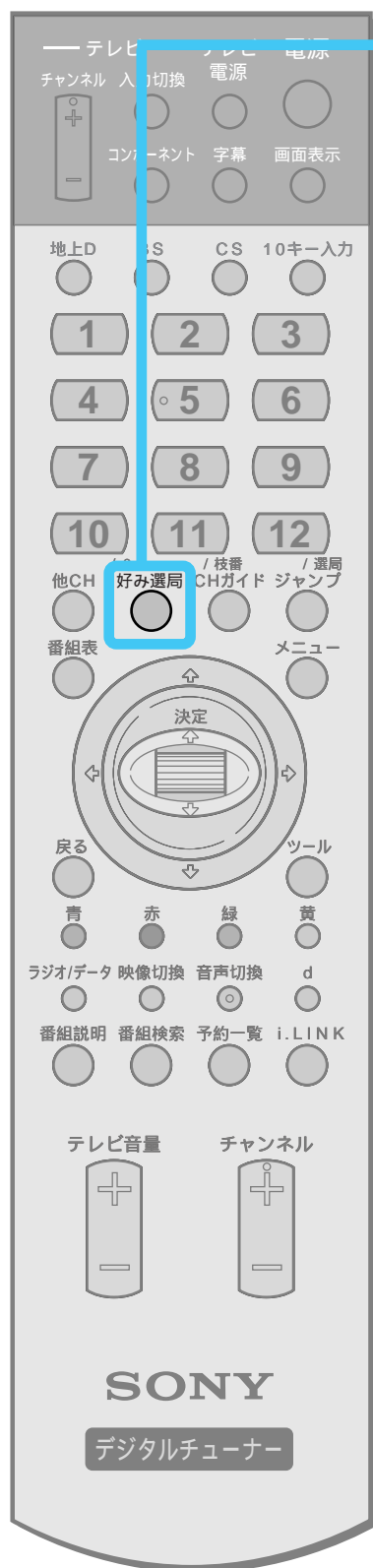
お買い上げ時、または長時間電源コードを抜いた状態のときは、次に電源を入れた後は、番組表に表示される番組が少ないことがあります。電源コードを抜いていると、放送局が送信する番組情報をデータ取得できないためです。

番組情報をデータ取得し直すには

番組情報のデータを取得し直すときは、上記のツールから「番組情報取得」を選んで、決定します。番組表で見ている放送の番組情報のデータを取得できます。
データ取得を中止するときは、取得中に「中止」を選びます。

登録したよく見る チャンネルを選ぶ [好み選局ボタン]

よく見るチャンネルを「好み選局」に登録すると、「好み選局」画面からチャンネルを選べます。放送（地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル）や放送サービス（テレビ、ラジオ、データ）を切り換えることなく、チャンネルを選べます。



好み選局を表示する

好み選局



押す。
(もう1度押すと消える。)

あらかじめ登録したチャンネルが、地上D、BS、CS1、CS2の順に表示されます。

☞ちょっと一言

地上Aは地上アナログ、地上Dは地上デジタルのことです。

☞他の方法でも表示できます
メニューから
「好み選局」を選ぶ。

好み選局										登録数：24（最大42）	
地上D	地上D	BS	BS	BS	BS	BS	BS	BS	BS		
102	103	NHK 101	NHK 102	NHK 103	BS 141	BS A 151					
BS A 151	BS 161	BS 171	BS 181	BS 191	BS 745	BS 900					
BS 910	BS 933	BS 940	BS 955	BS 963	CS1 001	CS1 009					
CS1 091	CS2 100	CS2 194									
NHK BS 1											
決定 選局 ツール 機能表示										好み選局 終了	

好み選局からお好みのチャンネルを選ぶ

1 好み選局ボタンを押す。

好み選局



好み選局										登録数：24（最大42）	
地上D	地上D	BS	BS	BS	BS	BS	BS	BS	BS		
102	103	NHK 101	NHK 102	NHK 103	BS 141	BS A 151					
BS A 151	BS 161	BS 171	BS 181	BS 191	BS 745	BS 900					
BS 910	BS 933	BS 940	BS 955	BS 963	CS1 001	CS1 009					
CS1 091	CS2 100	CS2 194									
NHK BS 1											
決定 選局 ツール 機能表示										好み選局 終了	






2 画面で見たチャンネルを選んで、決定する。

選んだチャンネルの画面になる。








好み選局にチャンネルを登録する

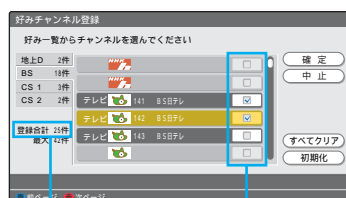
放送(地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)や放送サービス(テレビ、ラジオ、データ)の区別なく、42チャンネルまで登録できます。

- 1 メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 2 で「セットアップ」を選んで、で決定する。
- 3 で「好み登録」を選んで、で決定する。
- 4 「好みチャンネル登録」が選ばれていることを確認して、で決定する。



他の方法でも表示できます
好み選局を表示中にツールから
「好みチャンネル登録」を選ぶ。

- 5 /で放送(地上D、BS、CS1、CS2)を選んで、で決定する。
選んだ放送の受信可能なチャンネルがチャンネルリストに表示されます。
- 6 で登録したいチャンネルを選んで、で決定する。





現在登録済みのチャンネル数

チャンネルの登録状況
□ : 未登録
☑ : 登録済み



ご注意

臨時チャンネルや非対応のチャンネルは登録できません。

✓をはずすには

で✓の付いているチャンネルを選び、で決定する。

すべてのチャンネルの✓をはずすには

➡を押してから、で「すべてクリア」を選んで、で決定する。


お買い上げ時の設定に戻すには

➡/で「初期化」を選んで、で決定する。



- 7 引き続きチャンネルを登録するときは、手順6をくり返す。
続けてチャンネルを登録できます。

他の放送のチャンネルを登録するには

◀を押して、手順5から行ってください。

- 8 ➡を押してから、「確定」が選ばれていることを確認して、で決定する。
登録したチャンネルが、好み選局に登録されます。

チャンネルの登録を中止するには

➡/で「中止」を選んで、で決定する。設定を始める前の状態に戻ります。

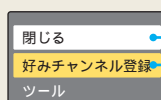
- 9 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

ツール



ツールを使う (2-3ページ)

好み選局を表示中にツールボタンを押すと...



ツールを消す。

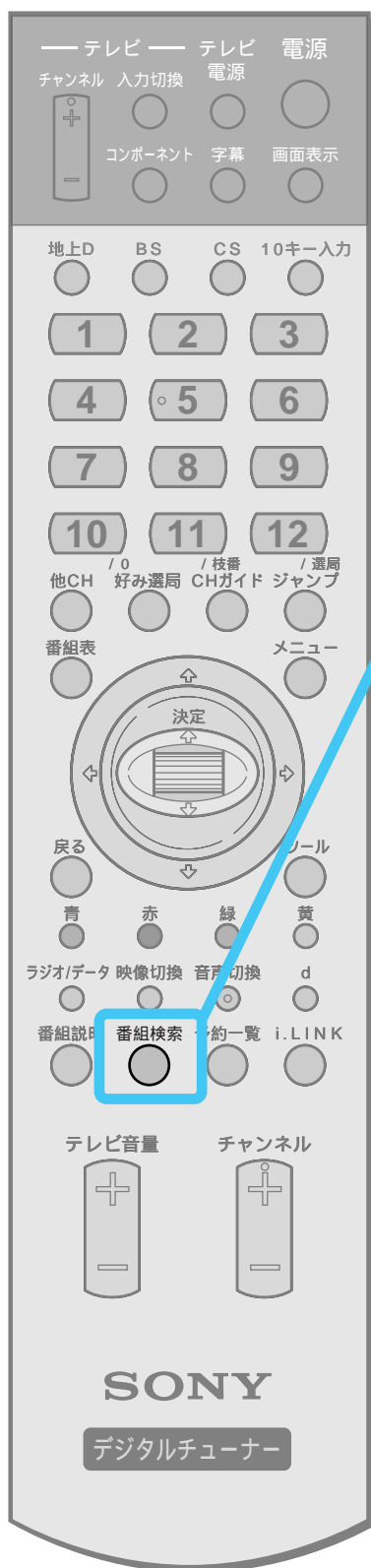
「好みチャンネル登録」画面を表示する。

番組を視聴中にツールボタンを押すと...
「好みチャンネル登録」を選ぶと、視聴中のチャンネルが好み選局に登録されます。

番組のいろいろな選びかた・探しかた

いろいろな方法で 見たい番組を探す

[番組検索ボタン]



番組検索ボタンで、お好みのジャンル(分野やテーマ)やキーワードから見たい番組を探せます。すべてのデジタル放送から検索するので、放送や放送サービスを切り換えると、他の放送や放送サービスの検索結果も表示できます。

ジャンル検索とは
デジタル放送の番組は複数のジャンルに属していることがあります。ジャンルを指定して検索するとそのジャンルに属する番組を検索します。

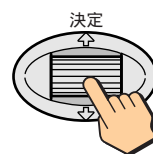
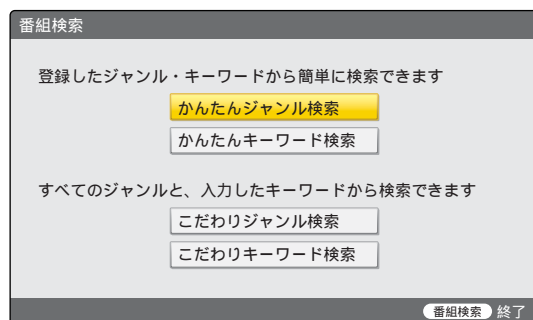
番組の検索方法を選ぶ

番組検索



番組の検索方法には、右ページの4つがあります。

デジタル放送視聴中に押す。
(もう1度押すと消える。)



■で番組を探す方法(検索方法)を選んで、■で決定する。

👁️他の方法でも選べます

- メニューから「番組検索」を選ぶ。
- 番組表を表示中にツールから「番組検索」を選ぶ。

キーワード検索とは

番組説明の番組情報に、キーワードが含まれている番組を探します。番組説明の番組情報欄に🔍マークが表示されているページがキーワード検索の対象となります(📄24ページ)。あらかじめ登録されているキーワードから選ぶ方法と、「こだわりキーワード検索」では、ソフトウェアキーボードでキーワードを入力する方法(フリーワード)があります。

検索結果の放送や放送サービスを切り換えるには検索結果(📄41ページ)が表示されたら、ツールから放送(地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)と放送サービス(テレビ、ラジオ、データ)を切り換えて(📄42ページ)他の放送や放送サービスの検索結果を表示できます。

ジャンルとキーワードの両方を指定して、番組を検索できます

「こだわりジャンル検索」と「こだわりキーワード検索」では、ジャンルとキーワードの両方に該当する番組を検索し、一覧表示できます(📄38、39ページ)。

検索範囲を指定して、番組を検索できます

「こだわりジャンル検索」と「こだわりキーワード検索」では、チャンネルや放送日を指定して番組を検索できます(📄40ページ)。

検索範囲を指定しないときは、すべてのチャンネルの8日分の番組から検索します。

[かんたんジャンル検索](📄34ページ)

よく見るジャンルから番組を絞り込んで探せます。例えば音楽番組なら、「音楽」に当てはまる番組が一覧できます。あらかじめ登録されているジャンルで探したり、好きなジャンルを登録して探せます。登録のしかたは、📄35ページをご覧ください。

[かんたんキーワード検索](📄34ページ)

よく見る番組のキーワードから番組を絞り込んで探せます。例えば好きなタレントが出演する番組を探したいときは、あらかじめその名前を登録しておけば、そのキーワードに当てはまる番組が一覧できます。登録のしかたは、📄37ページをご覧ください。

[こだわりジャンル検索](📄38ページ)

ジャンルを細かく指定して、番組を探せます。[こだわりキーワード検索]と組み合わせたり、チャンネル・放送日を指定することもできるため、さらに番組を絞り込めます。

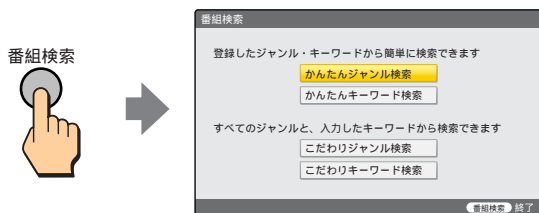
[こだわりキーワード検索](📄39ページ)

フリーワードでキーワードを指定して、番組を探せます。[こだわりジャンル検索]と組み合わせたり、チャンネル・放送日を指定することもできるため、さらに番組を絞り込めます。

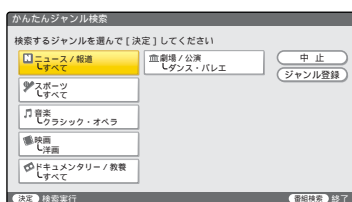
いろいろな方法で見たい番組を探す [番組検索ボタン](つづき)

ジャンルから簡単に番組を探す [かんたんジャンル検索]

1 番組検索ボタンを押す。



2 決定で「かんたんジャンル検索」を選んで、決定で決定する。 ジャンル登録したジャンルが一覧表示されます。

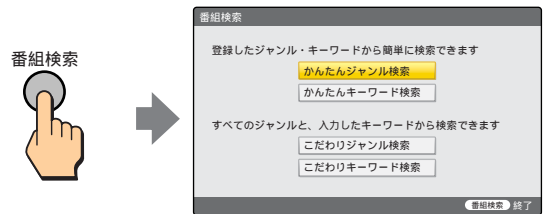


3 決定/←/→でジャンルを選んで、決定で決定する。 検索結果が表示されます。

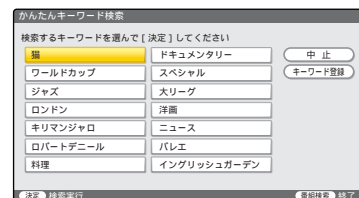


キーワードから簡単に番組を探す [かんたんキーワード検索]

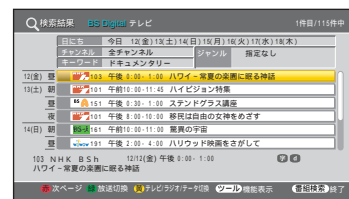
1 番組検索ボタンを押す。



2 決定で「かんたんキーワード検索」を選んで、決定で決定する。 キーワード登録したキーワードが一覧表示されます。



3 決定/←/→でキーワードを選んで、決定で決定する。 検索結果が表示されます。



検索結果から番組を選ぶには

「検索結果から番組を選ぶ」(41ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

他の放送や放送サービスの検索結果を見たいときは、緑ボタンまたは黄ボタンを押すと簡単に切り換えられます。

ジャンルやキーワードを登録する

「かんたんジャンル検索」に、よく見るジャンルをあらかじめ登録する

最大10件のジャンルを、大ジャンルと小ジャンルでそれぞれに登録できます。

🔍大ジャンルアイコンについて

大ジャンルには、それぞれアイコンが設定されています(🔍36ページ)。

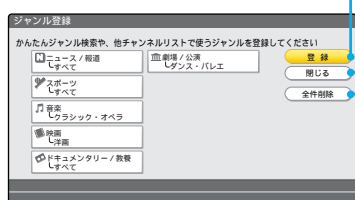
ジャンル登録すると、「他チャンネルリスト」(🔍43ページ)を表示したときに、チャンネル番号の横に登録した大ジャンルアイコンが表示されるようになります。

ここでは例として、「大ジャンル：🏆スポーツ、小ジャンル：サッカー」を登録する手順を説明します。

1 🔍34ページの「ジャンルから簡単に番組を探す[かんたんジャンル検索]」の手順1~2を行う。

2 ➡/🔍で「ジャンル登録」を選んで、🔍で決定する。

「登録」
新しくジャンルを登録する。



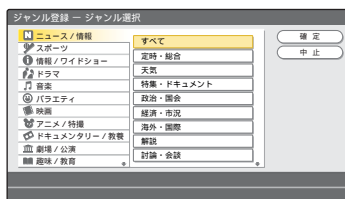
「閉じる」
画面を閉じる。

「全件削除」
登録されているジャンルをすべて削除する。

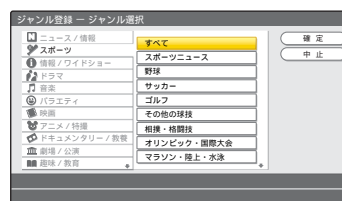
🔍他の方法でも表示できます

「セットアップ」メニューから
「セットアップ」「好み登録」「ジャンル登録」を選ぶ。

3 「登録」が選ばれていることを確認して、🔍で決定する。
ジャンルが一覧表示され、新しくジャンルを追加できます。



4 🔍で登録したい大ジャンル(ここでは「🏆スポーツ」)を選んで、🔍を押す。
小ジャンルを選ぶ画面になります。



5 🔍で登録したい小ジャンル(ここでは「サッカー」)を選んで、🔍で決定する。
大ジャンルだけ登録したいときは小ジャンルで「すべて」を選びます。

6 「確定」が選ばれていることを確認して、🔍で決定する。
選んだ大ジャンルとその小ジャンルが、ジャンル登録されます。

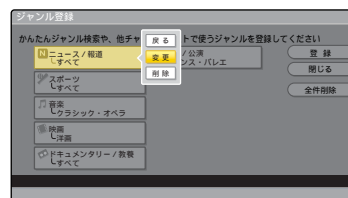
7 引き続きジャンルを登録するときは、手順3~6をくり返す。
最大10件のジャンルを登録できます。

8 ➡/🔍で「閉じる」を選んで、🔍で決定する。

9 番組検索ボタンを押して、設定画面を消す。

すでに登録されているジャンルを変更したいときは

手順3で、🔍/🔍/🔍で変更したいジャンルを選んで、🔍で決定する。サブメニューが表示されたら、🔍で「変更」を選んで、🔍で決定する。



サブメニューからできること

項目	できること
「戻る」	サブメニューを消して、他のジャンルを選べます。
「変更」	ジャンルを変更できます。
「削除」	ジャンルを削除します。

番組のいろいろな選びかた・探しかた

いろいろな方法で見たい番組を探す [番組検索ボタン] (つづき)

ジャンル一覧

太字が大ジャンルです。
大ジャンルには、それぞれアイコンが設定されています。

ニュース/報道

定時・総合

天気

特集・ドキュメント

政治・国会

経済・市況

海外・国際

解説

討論・会談

報道特番

ローカル・地域

交通

その他

スポーツ

スポーツニュース

野球

サッカー

ゴルフ

その他の球技

相撲・格闘技

オリンピック・国際大会

マラソン・陸上・水泳

モータースポーツ

マリリン・

ウィンタースポーツ

競馬・公営競技

その他

情報/ワイドショー

芸能・ワイドショー

ファッション

暮らし・住まい

健康・医療

ショッピング・通販

グルメ・料理

イベント

番組紹介・お知らせ

その他

ドラマ

国内ドラマ

海外ドラマ

時代劇

その他

音楽

国内ロック・ポップス

海外ロック・ポップス

クラシック・オペラ

ジャズ・フュージョン

歌謡曲・演歌

ライブ・コンサート

ランキング・リクエスト

カラオケ・のど自慢

民謡・邦楽

童謡・キッズ

民族音楽・

ワールドミュージック

その他

バラエティ

クイズ

ゲーム

トークバラエティ

お笑い・コメディ

音楽バラエティ

旅バラエティ

料理バラエティ

その他

映画

洋画

邦画

アニメ

その他

アニメ/特撮

国内アニメ

海外アニメ

特撮

その他

ドキュメンタリー/ 教養

社会・時事

歴史・紀行

自然・動物・環境

宇宙・科学・医学

カルチャー・伝統文化

文学・文芸

スポーツ

ドキュメンタリー全般

インタビュー・討論

その他

劇場/公演

現代劇・新劇

ミュージカル

ダンス・バレエ

落語・演芸

歌舞伎・古典

その他

趣味/教育

旅・釣り・アウトドア

園芸・ペット・手芸

音楽・美術・工芸

囲碁・将棋

麻雀・パチンコ

車・オートバイ

コンピュータ・TVゲーム

会話・語学

幼児・小学生

中学生・高校生

大学生・受験

生涯教育・資格

教育問題

その他

福祉

高齢者

障害者

社会福祉

ボランティア

手話

文字(字幕)

音声解説

その他

その他

110度CS専用ジャンル

スポーツ(CS)

テニス

バスケットボール

ラグビー

アメリカンフットボール

ボクシング

プロレス

その他

洋画(CS)

アクション

SF/ファンタジー

コメディ

サスペンス/ミステリー

恋愛/ロマンス

ホラー/スリラー

ウエスタン

ドラマ/社会派ドラマ

アニメーション

ドキュメンタリー

アドベンチャー/冒険

ミュージカル/音楽映画

ホームドラマ

その他

邦画(CS)

アクション

SF/ファンタジー

お笑い/コメディ

サスペンス/ミステリー

恋愛/ロマンス

ホラー/スリラー

青春/学園/アイドル

仁侠/時代劇

アニメーション

ドキュメンタリー

アドベンチャー/冒険

ミュージカル/音楽映画

ホームドラマ

その他

「かんたんキーワード検索」に、よく使うキーワードをあらかじめ登録する


最大14件のキーワードを、登録できます。

👁️ちょっと一言

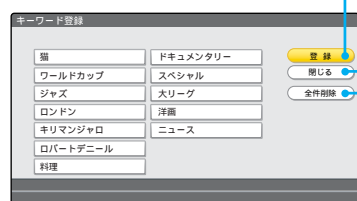
「こだわりキーワード検索」で入力したキーワードを、キーワード登録できます。

検索結果を表示したあと、ツールから「検索キーワード登録」を選ぶと検索に使ったキーワードを登録します(🔍42ページ)。

- 1 🔍34ページの「キーワードから簡単に番組を探す[かんたんキーワード検索]」の手順1~2を行う。

- 2 ➡️/🔍で「キーワード登録」を選んで、で決定する。

「登録」
新しくキーワードを登録する。




「閉じる」
画面を閉じる。

「全件削除」
登録されているキーワードをすべて削除する。

👁️他の方法でも表示できます

「セットアップ」メニューから



「セットアップ」「好み登録」「キーワード登録」を選ぶ。

- 3 「登録」が選ばれていることを確認して、で決定する。
ソフトウェアキーボード(🔍79ページ)が表示され、新しくキーワードを追加できます。




- 4 ソフトウェアキーボードで、キーワードを入力する。

入力のしかたについては、「文字を入力する[ソフトウェアキーボード]」(🔍79ページ)をご覧ください。

- 5 /➡️/🔍/🔍で「入力」を選んで、で決定する。





入力したキーワードが、キーワード登録されます。

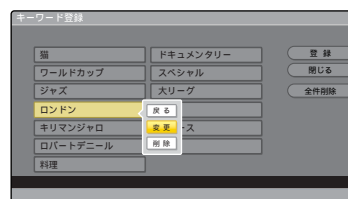
- 6 引き続きキーワードを登録するときは、手順3~5をくり返す。
最大14件のキーワードを登録できます。

- 7 で「閉じる」を選んで、で決定する。

- 8 番組検索ボタンを押して、設定画面を消す。

すでに登録されているキーワードを変更したいときは

手順3で、/➡️/🔍で変更したいキーワードを選んで、で決定する。サブメニューが表示されたら、で「変更」を選んで、で決定する。



サブメニューからできること

項目	できること
「戻る」	サブメニューを消して、他のキーワードを選べます。
「変更」	キーワードを変更できます。
「削除」	キーワードを削除します。

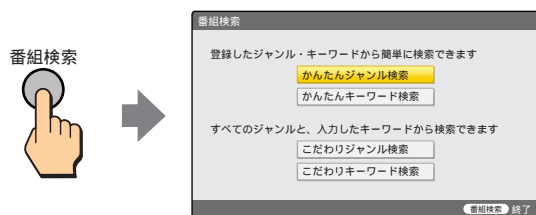
番組のいろいろな選びかた・探しかた

次のページにつづく

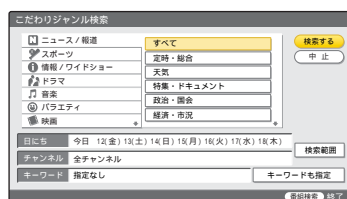
いろいろな方法で見たい番組を探す [番組検索ボタン](つづき)

すべてのジャンルから番組を探す [こだわりジャンル検索]

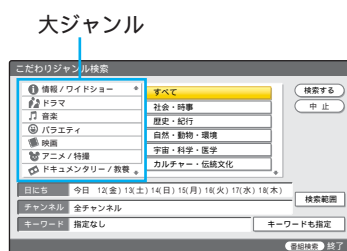
1 番組検索ボタンを押す。



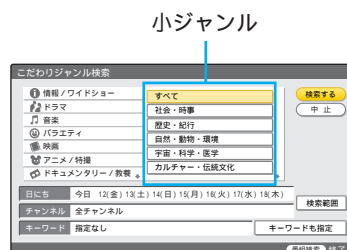
2 緑ボタンで「こだわりジャンル検索」を選んで、黄ボタンで決定する。



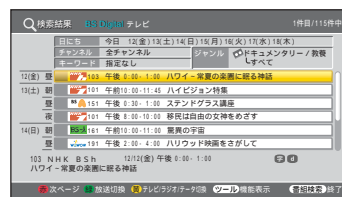
3 緑ボタンで見たい大ジャンルを選んで、黄ボタンで決定する。



4 緑ボタンで見たい小ジャンルを選んで、黄ボタンで決定する。 「すべて」を選ぶと大ジャンルのみ選ばれます。



5 「検索する」が選ばれていることを確認して、黄ボタンで決定する。 選んだジャンルの番組が開始時刻順に表示されます。



検索結果から番組を選ぶには

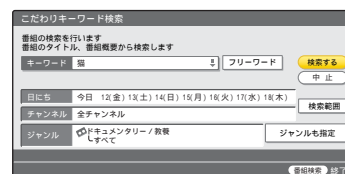
「検索結果から番組を選ぶ」(41ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

他の放送や放送サービスの検索結果を見たいときは、緑ボタンまたは黄ボタンを押すと簡単に切り換えられます。

キーワードも指定するときは

手順4のあとで、緑ボタンで「キーワードも指定」を選んで、黄ボタンで決定する。「こだわりキーワード検索」が表示されます。



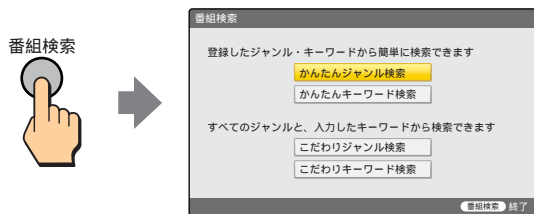
「いろいろなキーワードから番組を探す[こだわりキーワード検索]」(39ページ)の手順3～5を行ってください。

検索範囲を指定するときは

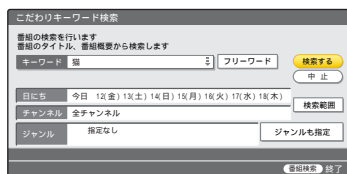
「チャンネルと放送日を指定して検索する[検索範囲]」(40ページ)をご覧ください。

いろいろなキーワードから番組を探す[こだわりキーワード検索]

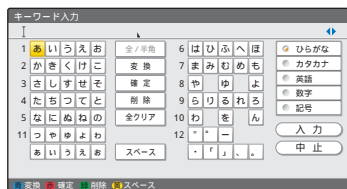
1 番組検索ボタンを押す。



2 決定で「こだわりキーワード検索」を選んで、決定で決定する。



3 決定で「フリーワード」を選んで、決定で決定する。 ソフトウェアキーボード(79ページ)が表示されます。



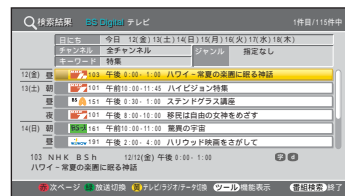
すでに登録されているキーワードで検索するときは

「登録されているキーワードで検索するときは」をご覧ください。

4 ソフトウェアキーボードで、キーワードを入力する。 入力のしかたについては、「文字を入力する[ソフトウェアキーボード]」(79ページ)をご覧ください。

5 決定/決定/決定/決定/決定で「入力」を選んで、決定で決定する。 入力したキーワードが表示されます。

6 決定で「検索する」を選んで、決定で決定する。 キーワードを含む番組が開始時刻順に表示されます。



ちょっと一言

「こだわりキーワード検索」で入力したキーワードを、キーワード登録できます。

検索結果を表示したあと、ツールから「検索キーワード登録」を選ぶと検索に使ったキーワードを登録します(42ページ)。

登録されているキーワードで検索するときには

1 「いろいろなキーワードから番組を探す[こだわりキーワード検索]」の手順1~2を行う。

2 決定で「キーワード」欄を選んで、決定で決定する。

3 決定でキーワードを選んで、決定で決定する。

4 決定で「検索する」を選んで、決定で決定する。 キーワードを含む番組が開始時刻順に表示されます。

番組のいろいろな選びかた・探しかた

いろいろな方法で見たい番組を探す [番組検索ボタン](つづき)

検索結果から番組を選ぶには

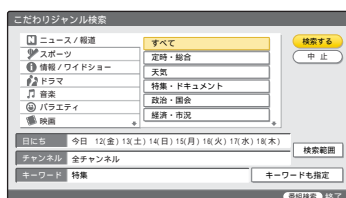
「検索結果から番組を選ぶ」(㊦41ページ)をご覧ください。

👁️ちょっと一言

他の放送や放送サービスの検索結果を見たいときは、緑ボタンまたは黄ボタンを押すと簡単に切り換えられます。

ジャンルも指定するときは

「いろいろなキーワードから番組を探す[こだわりキーワード検索]」(㊦39ページ)の手順5のあとで、➡/📺で「ジャンルも指定」を選んで、📺で決定する。「こだわりジャンル検索」が表示されます。



「すべてのジャンルから番組を探す[こだわりジャンル検索]」(㊦38ページ)の手順3～4を行ってください。

検索範囲を指定するときは

「チャンネルと放送日を指定して検索する[検索範囲]」をご覧ください。

チャンネルと放送日を指定して 検索する[検索範囲]

「こだわりジャンル検索」(㊦38ページ)と「こだわりキーワード検索」(㊦39ページ)では、チャンネルと放送日を指定して検索することができます。

1 ジャンルやキーワードを指定する。

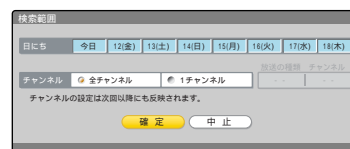
「こだわりジャンル検索」で検索範囲を指定するときは

「すべてのジャンルから番組を探す[こだわりジャンル検索]」(㊦38ページ)の手順1～4を行う。

「こだわりキーワード検索」で検索範囲を指定するときは

「いろいろなキーワードから番組を探す[こだわりキーワード検索]」(㊦39ページ)の手順1～5を行う。

2 ➡/📺で「検索範囲」を選んで、📺で決定する。

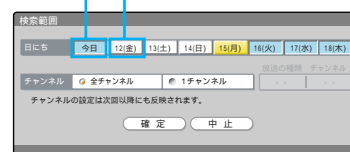


3 検索する日にちを絞りこむ。 現在から8日間先まで検索するように設定されています。

1 📺で「日にち」欄を選ぶ。

2 ⬅/➡で検索しない日にちを選んで、📺で決定する。

検索する日にちの指定状況
指定済み 未指定



👁️ちょっと一言

検索しないように設定した日にちを、検索するように戻すときは、もう1度⬅/➡で日にちを選んで、📺で決定します。

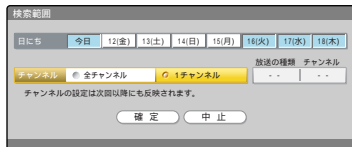
4 検索するチャンネルを選ぶ。

- 1 で「全チャンネル」または「1チャンネル」を選んで、 で決定する。

「全チャンネル」：すべてのデジタル放送のチャンネルから検索します。

「全チャンネル」を選んだときは、手順4-5に進んでください。

「1チャンネル」：指定したチャンネルから検索します。



- 2 で「放送の種類/チャンネル」欄を選んで、 で決定する。

- 3 で放送を選んで、 を押す。

- 4 でチャンネルを選んで、 で決定する。

- 5 で「確定」を選んで、 で決定する。
検索範囲が登録され、「こだわりキーワード検索」または「こだわりジャンル検索」に戻ります。

- 5 で「検索する」を選んで、 で決定する。
検索された番組が開始時刻順に表示される。



検索結果から番組を選ぶ

「かんたんジャンル検索」(34ページ)

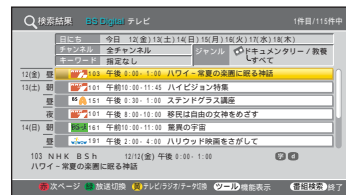
「かんたんキーワード検索」(34ページ)

「こだわりジャンル検索」(38ページ)

「こだわりキーワード検索」(39ページ)

で表示される検索結果から番組を選びます。

検索結果を表示中に、他の放送や放送サービスの検索結果に切り換えることもできます。



操作ガイド表示欄

「検索結果」画面を表示中にリモコンを使ってできることをガイド表示します。

：前ページへ切り換えます。

：次ページへ切り換えます。

：検索結果の放送を切り換えます。押すたびに、次のように切り換わります。

地上 Digital BS Digital CS1 Digital CS2 Digital

：検索結果の放送サービスを切り換えます。押すたびに、次のように切り換わります。

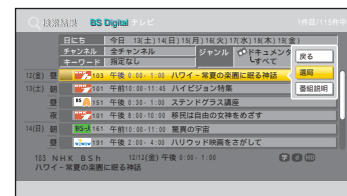
テレビ ラジオ データ

ツール：ツールを表示します(42ページ)

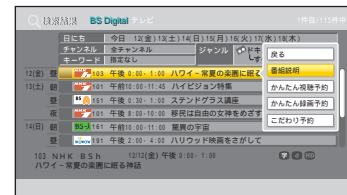
番組のいろいろな選びかた・探しかた

- 1 で番組を選んで、 で決定する。
サブメニューが表示されます。

現在放送中の番組を選んだとき



放送開始前の番組を選んだとき



いろいろな方法で見たい番組を探す [番組検索ボタン](つづき)

2 番組検索ボタンでサブメニューの項目を選んで、決定する。

手順1で現在放送中の番組を選んだときは
「選局」を選ぶと、番組を表示できます。

選んだチャンネルの画面になる。



手順1で放送開始前の番組を選んだときは
録画予約や視聴予約に進めます。

視聴予約するときは

番組検索ボタンで「かんたん視聴予約」または「こだわり予約」を選んで、決定します(④57、58ページ)。

録画予約するときは

番組検索ボタンで「かんたん録画予約」または「こだわり予約」を選んで、決定します(④49、51ページ)。

検索結果に表示される番組の放送や放送サービスを切り換えるには

検索結果を表示中に、放送を切り換えるときは緑ボタンを、放送サービスを切り換えるときは黄ボタンをくり返し押す。

検索結果に表示されている番組の番組説明を見るには

番組検索ボタンで番組を選び、番組説明ボタンを押す。

サブメニューからできること

項目	できること
「戻る」	サブメニューを消して、他の番組を選べます。
「選局」*1	選んだ番組に切り換えます。
「番組説明」	番組説明を見ることができます(④24ページ)。
「かんたん視聴予約」*2	簡単な視聴予約に進めます(④57ページ)。
「かんたん録画予約」*2	簡単な録画予約に進めます(④49ページ)。
「こだわり予約」*2	視聴予約や録画予約に進み、細かい設定ができます(④51、58ページ)。
「予約取消」*2	すでに予約済みの番組のときは「かんたん視聴予約」、「かんたん録画予約」、「こだわり予約」の代わりに「予約取消」が表示されます。番組の予約を取り消せます。

*1 現在放送中の番組を選んだときのみ表示されます。

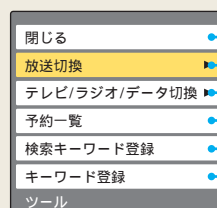
*2 放送開始前の番組を選んだときのみ表示されます。

ツール



ツールを使う (④2-3ページ)

検索結果を表示中にツールボタンを押すと...



ツールメニューを消す。
検索結果の放送(地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)を切り換える。*3

検索結果の放送サービス(テレビ・ラジオ・データ)を切り換える。*3

予約一覧に進む(④62ページ)。

検索に使ったキーワードを登録する。
詳しくは、下記をご覧ください。

キーワード登録に進む(④37ページ)。

*3 チャンネルを指定して検索したときは切り換えられません。

検索に使ったキーワードを登録する

「こだわりキーワード検索」で入力したキーワードを、キーワード登録できます。

検索結果を表示したら、ツールから「検索キーワード登録」を選んで決定すると、検索に使ったキーワードを登録します。

いったん登録すると、「かんたんキーワード検索」で検索を行えます。また、「こだわりキーワード検索」でキーワードを選ぶときに、登録キーワードの一覧に表示されるようになります。

他チャンネルの番組を チェックする

[他CHボタン]

番組を見ながら、放送(地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)の種類にかかわらず、他のチャンネルでどのような番組を放送しているかを確認できます。

他チャンネルの番組をチェックする



放送視聴中に押す。
(もう1度押すと消える。)

視聴中の番組の情報
画面表示ボタンを押すと消える。

リスト表示中
の放送と放送
サービス



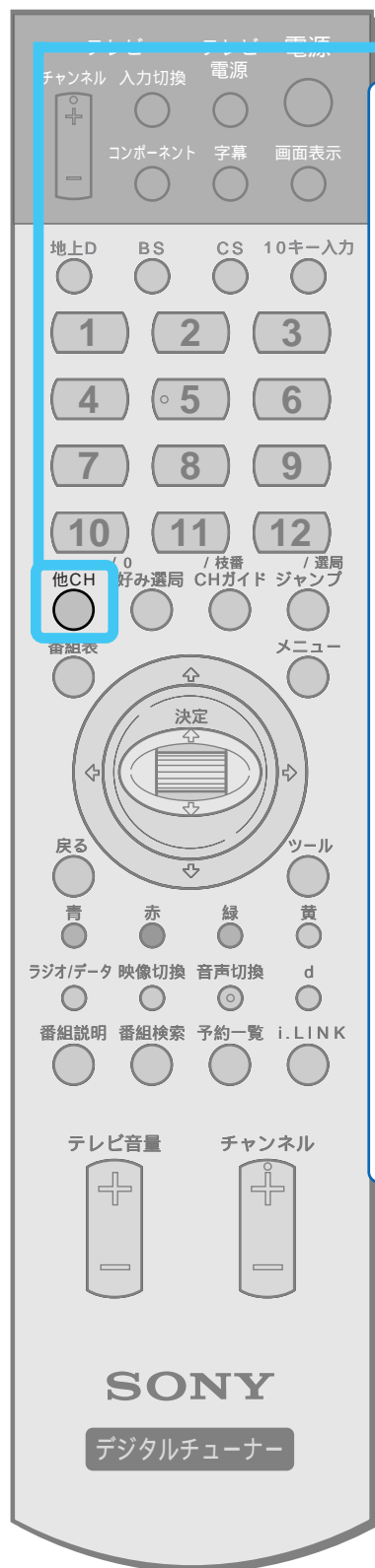
チャンネル番号リスト*

で選んでいるチャンネルの現
在放送中の番組の番組名、放送時間、
ジャンルなどの番組情報を表示します。

* ジャンル登録(35ページ)されてい
るジャンルの番組が放送中のチャン
ネルは、チャンネル番号の横に登録した
大ジャンルアイコンが表示されます。

他の方法でも表示できます
番組視聴中にツールから
「他チャンネルリスト」を選ぶ。

番組のいろいろな選びかた・探しかた

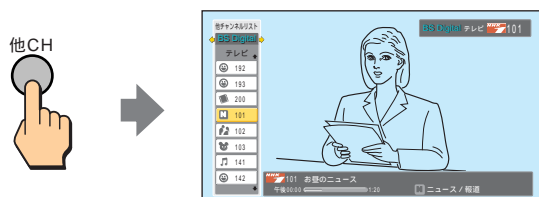


次のページにつづく

他チャンネルの番組をチェックする [他CHボタン](つづき)

他チャンネルリストから、お好みのチャンネルを選ぶ

1 他CHボタンを押す。



2 で見たいチャンネルを選んで、決定

選んだチャンネルの画面になる。



放送(地上 Digital、BS Digital、CS1 Digital、CS2 Digital)を切り換えるには
◀/▶または緑ボタンを押す。

サービス(テレビ、ラジオ、データ)を切り換えるには
黄ボタンを押す。

3 他CHボタンを押して、他チャンネルリストを消す。

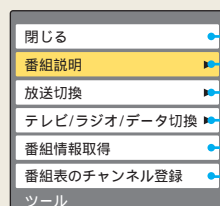
リスト上のチャンネルの番組説明を見るには
でチャンネルを選び、番組説明ボタンを押す。
選んだチャンネルで現在放送中の番組の番組説明を見ることができます。

ツール



ツールを使う (2-3ページ)

他チャンネルリストを表示中にツールボタンを押すと...



ツールを消す。

他チャンネルリスト上で選ばれているチャンネルの番組説明を見ることができる (24ページ)。

他チャンネルリストの放送(地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)を切り換える。

他チャンネルリストの放送サービス(テレビ・ラジオ・データ)を切り換える。

デジタル放送の番組情報をデータ取得する (29ページ)。

番組表に表示されるチャンネルを登録できる (181ページ)。他チャンネルリストには、番組表に表示されるチャンネルと同じチャンネルが表示される。

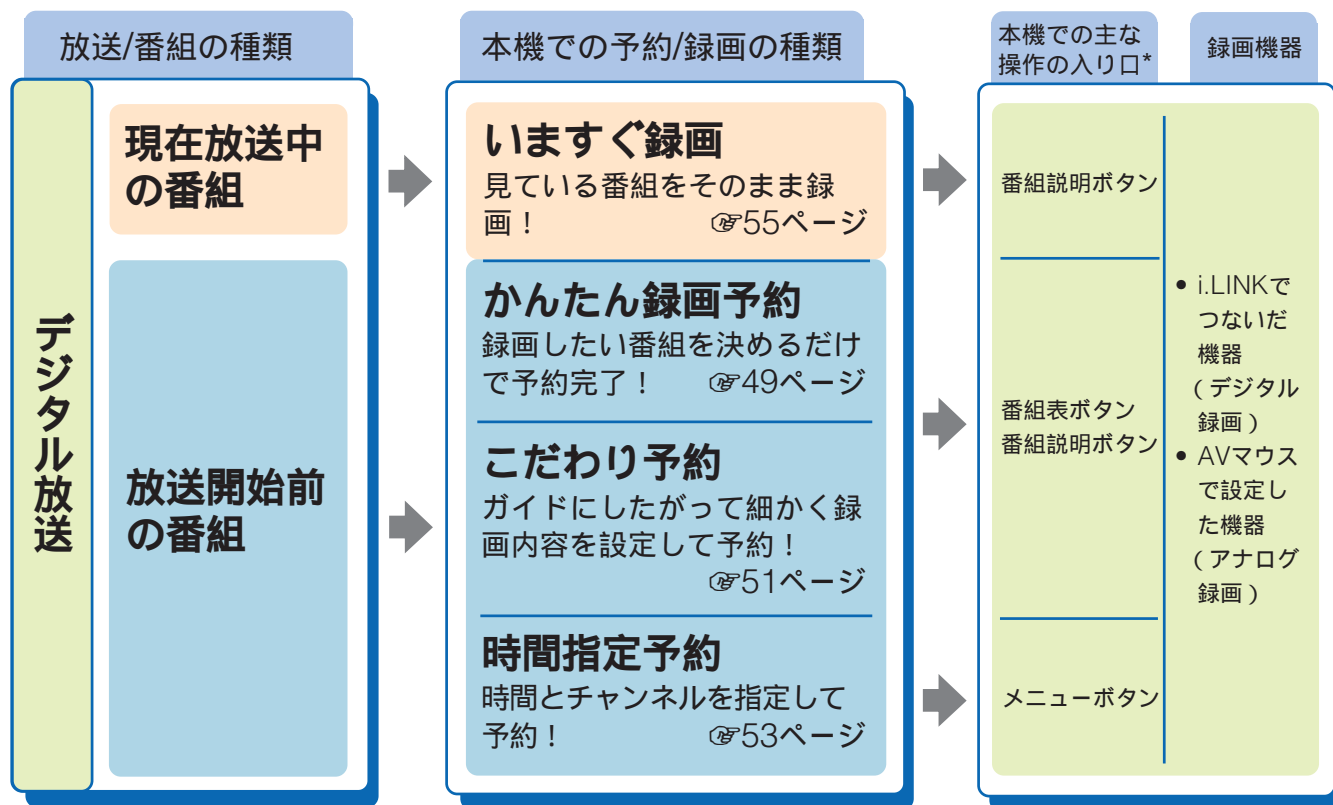
番組を予約/録画する

ここでは、デジタル放送の番組や放送時間を本機で指定/予約し、他機を使って録画する操作について説明しています。

放送と録画の関係	46
デジタル放送をi.LINKで録画する	46
デジタル放送をAVマウスで録画する	46
デジタル放送を録画するための準備をする	47
簡単に録画予約する[かんたん録画予約]	49
細かい設定をして録画予約する[こだわり予約]	51
録画したい日時を決めて録画予約する [時間指定予約]	53
今見ている番組を録画する[いますぐ録画]	55
見たい番組を逃さず見る[視聴予約]	57
簡単に視聴予約する[かんたん視聴予約]	57
[こだわり予約] から視聴予約する	58
日時を指定して視聴予約する[時間指定予約]	60
予約が正しく実行されるか確認する [予約一覧ボタン]	62
「予約一覧」画面について	62
予約一覧で予約を修正/取消する	63
録画制約について	67

放送と録画の関係

お手持ちの録画機器や、録画する放送によって、録画予約のしかたが異なります。



* 主な操作の入り口のみ示しています。詳しくは、各予約の説明ページをご覧ください。

デジタル放送をi.LINKで録画する

本機とハードディスクレコーダー*¹やD-VHSビデオ*²をi.LINKでつないで、デジタル放送を高画質・高音質でデジタル録画できます。

*¹ ソニー製のハードディスクレコーダーVRP-T1/VRP-T3などです。

*² 2003年8月現在推奨機種日本ビクター製デジタルハイビジョンビデオHM-DHS1/HM-DHX1です。

デジタル放送をAVマウスで録画する

本機とつないだ録画機器に本機付属のAVマウスを使えば、デジタル放送を録画機器側で予約しなくても、地上アナログ放送と同等の画質で録画できます。

また、i.LINK対応していないハードディスクレコーダーやDVDレコーダー、ブルーレイディスクレコーダーなどを本機後面のS映像/映像/音声出力端子(ビデオへ)につないだときも、AVマウスに対応している機器であれば、AVマウスを使って録画予約できます。

AVマウスが使えないときは

AVマウスの接続テスト(176ページ)がうまくいかなかったときや、AVマウスを使えないメーカーの録画機器をお使いのときは、録画機器の予約機能を使って録画してください。まず本機で予約の設定を行い、録画機器側で予約した時刻に本機をつないだ入力から録画できるように設定してください。

なお、予約した番組の放送時刻などの変更には対応できません。

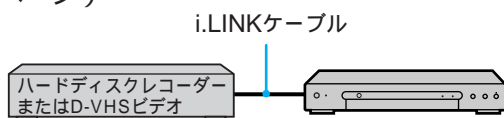
例：前の番組が延長されて、予約した番組の開始時刻がくり下がったときは、途中までしか録画されません。ペイ・パー・ビュー(PPV)番組は、途中までの録画でも料金ががかかりますのでご注意ください。

デジタル放送を録画するための準備をする

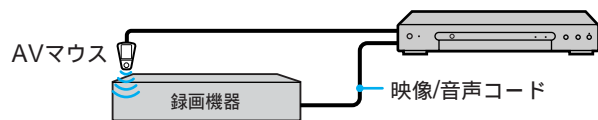
録画する機器をつなぐ

本機と正しくつなぎ、必要な設定を行ってください。

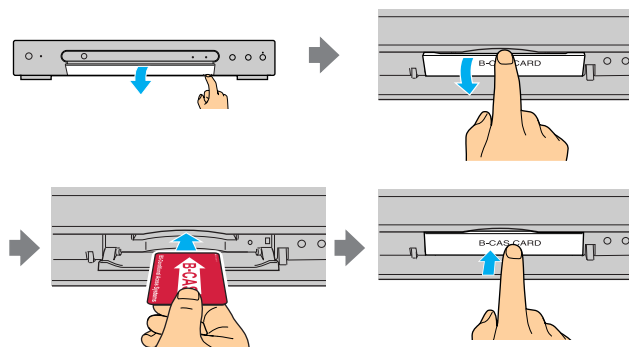
i.LINK対応機器
(189ページ)



録画機器とAVマウス
(133、176ページ)



B-CASカードを本機に挿入する

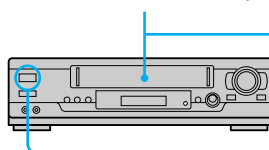


B-CASカードを正しく入れて、B-CASカード挿入口のふたを開める(157ページ)

録画する機器の準備をする

入力切替(AVマウスを使って録画予約するときのみ)
本機をつないだ入力にする。

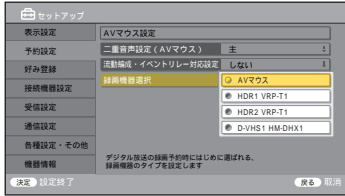
録画モードを設定する



電源「切」(AVマウスを使って録画予約するときのみ)
必ず録画前に録画機器の電源は切っておく(入ったままだと録画されません)。

あらかじめ録画機器を選ぶ

あらかじめ録画する機器を設定しておけば、予約のたびに機器を選ぶ必要はありません。選択できる機器は、AVマウスが設定されている機器(1台)と接続登録されているi.LINK機器(最大5台)です。お買い上げ時は、「AVマウス」に設定されています。







- 1 メニューボタンを押して、メニューを出す。
 - 2 方向キーで「セットアップ」を選んで、決定ボタンで決定する。
 - 3 方向キーで「予約設定」を選んで、決定ボタンで決定する。
 - 4 方向キーで「録画機器選択」を選んで、決定ボタンで決定する。
- 
- 5 方向キーでよく使う録画機器を選んで、決定ボタンで決定する。
 - 6 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

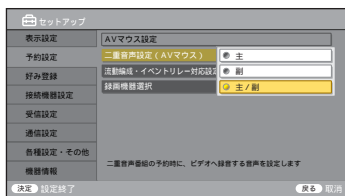
録画予約のご注意について詳しくは、「録画予約について」(67ページ)をご覧ください。



放送と録画の関係 (つづき)

あらかじめ二重音声番組の音声を選ぶ (AVマウスでの録画予約)

本機後面のS映像/映像/音声出力端子(ビデオへ)から出力する音声はあらかじめ選んだ音声に固定されます。設定を変更しないかぎり、すべての二重音声番組が選んだ音声で録画されます。録画中は音声切替ボタンを押しても、スピーカーから出る音声を変えられません。お買い上げ時は、主音声と副音声記録されるように設定されています。

- 1 メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 2 で「セットアップ」を選んで、で決定する。
- 3 で「予約設定」を選んで、で決定する。
- 4 で「二重音声設定(AVマウス)」を選んで、で決定する。











- 5 で「主」、「副」または「主/副」を選んで、で決定する。
設定を変更しないかぎり、すべての二重音声番組が選んだ音声で録画されます。
- 6 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

放送時間などの変更に対応して予約する

予約した番組に次のような変更があったとき、放送局が送信する放映時刻情報を本機が検知して、その変更に合わせて予約が実行されるように設定できます。

- 開始時刻がくり下がったとき
例：野球の延長などで開始時刻がくり下がったとき
 - 放送中に中断や割込みがあったとき
 - 放送時間内に終わらず、引き続き他のチャンネルで放送するとき(イベントリレー)
- お買い上げ時は、放送時間などの変更に対応するように設定されています。

- 1 メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 2 で「セットアップ」を選んで、で決定する。
- 3 で「予約設定」を選んで、で決定する。
- 4 で「流動編成・イベントリレー対応設定」を選んで、で決定する。
- 5 で「する」を選んで、で決定する。
「しない」を選ぶと
番組編成に変更があったときは、予約が取り消されることがあります。
- 6 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

ご注意

- 以下のときは、放送時間などの変更に対応しません。
 - 放送局が放映時刻情報を送信しない番組のとき
 - AVマウスやi.LINK接続を使わないで、録画機器の予約機能を使って録画するとき(47ページ)
 - 予約した番組が予定より早く始まったとき(早まった時間は、録画されません。)
- 「する」を選び、録画時間が変更されて、次の予約番組と時間が重複したときは、前の番組が自動的に番組終了まで録画されます。あとの番組は前の番組の終了約10秒*後から録画されます。ただしあとの番組がペイ・パー・ビュー(PPV)番組のときは、予約自体が自動的に取り消されます(66ページ)。
* 録画する機器を切り換えるときは、時間がかかることがあります。

簡単に録画予約する

「かんたん録画予約」

デジタル放送の番組表や番組検索から、録画したい番組を選ぶだけで簡単に録画予約できます。

1 録画したい番組を選ぶ。

1 番組表ボタンを押す。

番組表が表示されます。番組表について詳しくは、P26ページをご覧ください。

番組表



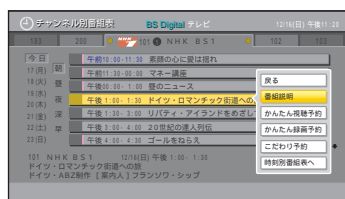
他の方法でも表示できます

- メニューから
「番組表・予約」「チャンネル別番組表」を選ぶ。
- i.LINK Studio 操作画面から
「番組表予約」を選ぶ。

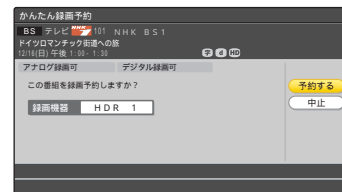
2 録画したい番組を選んで、決定する。

サブメニューが表示されます。

例：放送開始前の番組を選んだとき



2 録画したい番組を選んで、決定する。



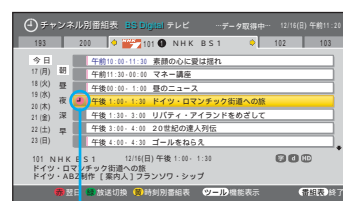
録画する機器を変更するときは

「予約時に録画機器を選ぶには」(P50ページ)をご覧ください。

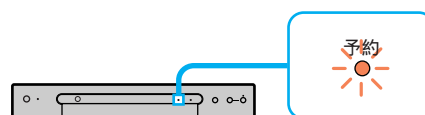
3 「予約する」が選ばれていることを確認して、決定する。

「予約設定を完了しました」と表示されたあと、番組表に戻り、予約した番組に「予約」が表示されます。また、本機前面の予約ランプがオレンジ色に点灯します。

これで予約完了です！



予約がつく



4 番組表ボタンを押して、番組表を消す。

番組を予約／録画する

次のページにつづく

簡単に録画予約する [かんたん録画予約](つづき)

ご注意

- 次の場合は録画予約できません。
 - すでに放送開始している番組
 - コピープロテクションにより録画できない番組
 - すでに予約が20件あるとき(☞62ページ)
 - 視聴予約(☞57ページ)/録画予約の実行中
 - i.LINKダビング中(☞101ページ) i.LINK録画中
 - 放送開始時間が未定の番組
 - 未契約チャンネルの番組
 - 番組終了時刻まで残り時間が少ないとき
- 次の場合はAVマウスで録画できません。
 - デジタル放送のテレビやラジオと連動しているデータ(予約できても録画されません。)
 - デジタル放送の独立データ

「重複確認」画面が表示されたときは重複している内容のメッセージが表示されます。「予約する」を選んで決定すれば、予約できます。正しく録画されるかは、「予約一覧」画面で予約内容を確認してください(☞62ページ)。

視聴年齢制限付き番組を選んだときは「暗証番号入力」画面が表示されます。(1)~(10)までの数字ボタンまたは \blacksquare /➡で4桁の暗証番号を入力してください。

ご注意

有料番組を予約すると、予約時には料金がかかりません。録画が始まると料金がかかります。

開始時刻になると

録画機器の電源が入り、録画が始まります。また、本機は開始時刻の数分前に予約したチャンネルに固定され、他のデジタル放送のチャンネルに切り換わらなくなります。

ご注意

AVマウスで録画機器に録画するときは、ビデオのAPC(アダプティブ・ピクチャー・コントロール)機能などが働くと、録画の冒頭が途切れることがあります。

録画実行中は

本機前面の表示窓に「予約実行中」と表示されます。



ご注意

- 次のときは録画が解除されます。
 - 他の予約と重なっているとき(☞66ページ)
 - i.LINKダビング中(☞101ページ) i.LINK録画中に、予約した番組が始まる時
- 録画を妨げるようなデジタル放送の操作(例：チャンネル切換、信号切換など)はできません。
- 電源ボタンで電源スタンバイにしても、録画はそのまま実行されます。
- 接続した他のi.LINK対応機器の電源を入/切したり、接続を外したりすると、画像が乱れたり途切れたりすることがあります。

終了時刻になると

録画が停止し、録画機器の電源が自動的に切れます。

予約時に録画機器を選ぶには

あらかじめメニューで設定しておけば、予約のたびに選ぶ必要はありません(☞47ページ)。予約するときに録画機器を変更するには次の操作をしてください。

1 「簡単に録画予約する[かんたん録画予約]」(☞49ページ)の手順1~2を行う。

2 ◀で「録画機器」欄を選んで、 \blacksquare で決定する。
録画機器は、i.LINK、AVマウスでつないだ機器から選びます。

ご注意

i.LINK対応機器やAVマウスを本機と正しくつないでいないと(☞176、189ページ) 録画はできません。

3 \blacksquare で録画する機器を選んで、 \blacksquare で決定する。

4 ➡で「予約する」を選んで、 \blacksquare で決定する。

5 番組表ボタンを押して、番組表を消す。

細かい設定をして録画予約する[こだわり予約]

デジタル放送のお気に入りの番組をくり返し(毎週、毎日など)予約したり、映像/音声などの信号や録画に追加料金があったときに購入手続きをするなど、詳細な録画予約ができます。

1 録画したい番組を選ぶ。

1 番組表ボタンを押す。

番組表が表示されます。番組表について詳しくは、②26ページをご覧ください。



他の方法でも表示できます

- メニューから
「番組表・予約」「チャンネル別番組表」を選ぶ。
- i.LINK Studio 操作画面から
「番組表予約」を選ぶ。

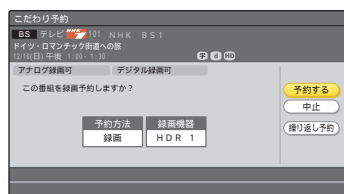
2 録画したい番組を選んで、決定する。

サブメニューが表示されます。

例：放送開始前の番組を選んだとき



2 録画する機器を変更するときは「こだわり予約」を選んで、決定する。

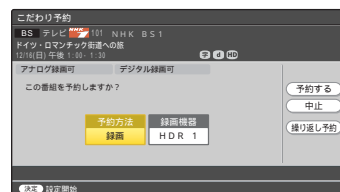


録画する機器を変更するときは


「予約時に録画機器を選ぶには」(②53ページ)をご覧ください。

3 ◀で「予約方法」を選んで、決定する。

4 ▶で「録画」を選んで、決定する。



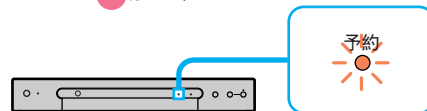
5 ▶で「予約する」を選んで、決定する。

「予約設定を完了しました」と表示されたあと、番組表に戻り、予約した番組に「」が表示されます。また、本機前面の予約ランプがオレンジ色に点灯します。

これで予約完了です！



がつく



6 番組表ボタンを押して、番組表を消す。

追加課金のあるマルチビュー番組を選んだときは(i.LINK録画時のみ)

料金確認画面が表示され、「この番組はマルチビュー番組です。マルチビューのすべての番組を録画するには追加料金***円がかかります。追加録画しますか？」とメッセージが表示されます。追加録画するときは、「追加録画」を選んでください。「追加しない」を選ぶと、無料のマルチ番組のみ録画されます。

「重複確認」画面が表示されたときは

重複している内容のメッセージが表示されます。「予約する」を選んで決定すれば、予約できます。正しく録画されるかは、「予約一覧」画面で予約内容を確認してください(②62ページ)。

視聴年齢制限付き番組を選んだときは

「暗証番号入力」画面が表示されます。(1)~(10)までの数字ボタンまたは▶で4桁の暗証番号を入力してください。

ご注意

有料番組を予約すると、予約時には料金がかかりません。録画が始まると料金がかかります。

次のページにつづく

細かい設定をして録画予約する [こだわり予約](つづき)

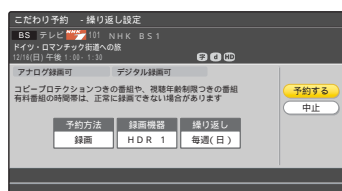
映像/音声信号などが複数ある番組を選んだときは

- 1 で予約する信号を選んで、 で決定する。
i.LINKで録画するときは、追加したい有料の信号を複数選べ、無料の信号はすべて録画されます。
AVマウスで録画するときは、有料無料を含め、映像と音声の信号を1つずつ選べます。

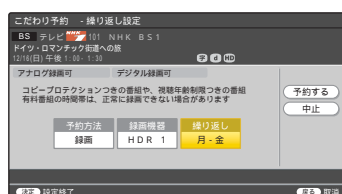
- 2 料金を確認して で「確定」を選んで、 で決定する。

くり返して録画するように設定するには
「こだわり予約」では、違う日の同じ時間帯にくり返して録画するように設定できます。

- 1 「細かい設定をして録画予約する[こだわり予約]」(㊦51ページ) の手順1～3を行う。
- 2 / で「繰り返し予約」を選んで、 で決定する。



- 3 で「繰り返し」欄を選んで、 で決定する。
- 4 で「毎週(日)」～「毎週(土)」または「月 - 金」、「月 - 土」、「毎日」を選んで、 で決定する。



- 5 ㊦51ページの手順5～6を行う。

ご注意

- 次の場合は予約できても録画できません。
 - 未購入のペイ・パー・ビュー(PPV)番組
 - 視聴できないデータサービス
 - コピープロテクションにより録画できない番組
 - 未契約チャンネルの番組
 - 視聴年齢制限付きの番組
- 次の場合はAVマウスで録画できません。
 - デジタル放送のテレビやラジオと連動しているデータ(予約できても録画されません。)
 - デジタル放送の独立データ
- くり返し設定をしたときは、番組の内容に関係なく指定した日時に録画を行います。そのため、番組によっては正しく録画されないことがあります。
- 放送時間などの変更に対応するように設定(㊦48ページ) していても、くり返し設定をしたときは対応しません。

開始時刻になると

録画機器の電源が入り、録画が始まります。
また、本機は開始時刻の数分前に予約したチャンネルに固定され、他のデジタル放送のチャンネルに切り換わらなくなります。

ご注意

AVマウスで録画機器に録画するときは、ビデオのAPC(アダプティブ・ピクチャー・コントロール)機能などが働くと、録画の冒頭が途切れることがあります。

録画実行中は

本機前面の表示窓に「予約実行中」と表示されます。



ご注意




- 次のときは録画が解除されます。
 - 他の予約と重なっているとき(㊦66ページ)
 - i.LINKダビング中(㊦101ページ) i.LINK録画中に、予約した番組が始まる時
- 録画を妨げるようなデジタル放送の操作(例：チャンネル切替、信号切替など)はできません。
- 電源ボタンで電源スタンバイにしても、録画はそのまま実行されます。
- 接続した他のi.LINK対応機器の電源を入/切したり、接続を外したりすると、画像が乱れたり途切れたりすることがあります。

終了時刻になると

録画が停止し、録画機器の電源が自動的に切れます。

予約時に録画機器を選ぶには

あらかじめメニューで設定しておけば、予約のたびに選ぶ必要はありません(㊦47ページ)。予約するときに録画機器を変更するには次の操作をしてください。

- 1 「細かい設定をして録画予約する[こだわり予約]」(㊦51ページ) の手順1~4を行う。
 - 2 ➡で「録画機器」欄を選んで、で決定する。
録画機器は、i.LINK、AVマウスでつないだ機器から選びます。
- ご注意**
i.LINK対応機器やAVマウスを本機と正しくつないでいないと(㊦176、189ページ) 録画はできません。
- 3 で録画する機器を選んで、で決定する。
 - 4 ㊦51ページの手順5~6を行う。

ご注意

- 次の場合は録画予約できません。
 - すでに放送開始している番組
 - コピープロテクションにより録画できない番組
 - すでに予約が20件あるとき(㊦62ページ)
 - 視聴予約(㊦57ページ)/録画予約の実行中
 - i.LINKダビング中(㊦101ページ) i.LINK録画中
 - 放送時間が未定の番組
 - 未契約チャンネルの番組
 - 番組終了時刻まで残り時間が少ないとき
- 次の場合はAVマウスで録画予約できません。
 - デジタル放送のテレビやラジオと連動しているデータ(予約できても録画されません。)
 - デジタル放送の独立データ

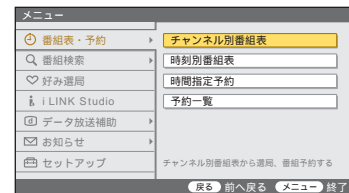
録画したい日時を 決めて録画予約する [時間指定予約]

デジタル放送のチャンネルと録画時間を決めて予約できます。

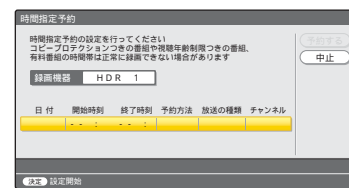
1 メニューボタンを押す。



2 で「番組表・予約」を選んで、で決定する。



3 で「時間指定予約」を選んで、で決定する。




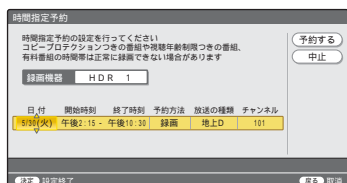
録画する機器を変更するときは



「予約時に録画機器を選ぶには」(㊦55ページ) をご覧ください。

録画したい日時を決めて録画 予約する[時間指定予約](つづき)

4 日時を設定する。

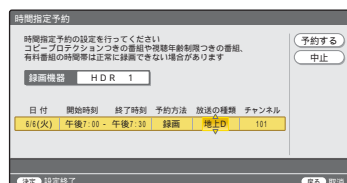
- 1 「日付」欄が選ばれていることを確認して、で決定する。



- 2 で録画する日付を選んで、を押す。

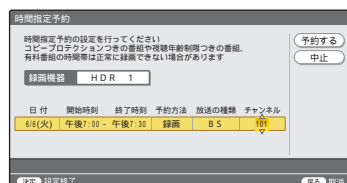
- 3 手順4-2を繰り返して、開始時刻と終了時刻を設定する。



5 で「録画」を選んで、を押す。



6 チャンネルを設定する。

- 1 で放送を選んで、を押す。

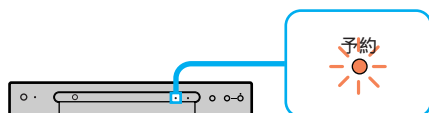


- 2 でチャンネルを選んで、で決定する。

7 で「予約する」を選んで、で決定する。

「予約設定を完了しました」と表示され、本機前面の予約ランプがオレンジ色に点灯します。

これで予約完了です！



「重複確認」画面が表示されたときは重複している内容のメッセージが表示されます。「予約する」を選んで決定すれば、予約できます。正しく録画されるかは、「予約一覧」画面で予約内容を確認してください(㊦62ページ)。

開始時刻になると

録画機器の電源が入り、録画が始まります。また、本機は開始時刻の数分前に予約したチャンネルに固定され、他のデジタル放送のチャンネルに切り換わらなくなります。

ご注意

AVマウスで録画機器に録画するときは、ビデオのAPC(アダプティブ・ピクチャー・コントロール)機能などが働くと、録画の冒頭が途切れることがあります。

録画実行中は

本機前面の表示窓に「予約実行中」と表示されます。



ご注意

- 次のときは録画が解除されます。
 - 他の予約と重なっているとき(㊦66ページ)
 - i.LINKダビング中(㊦101ページ) i.LINK録画中に、予約した番組が始まる時
- 録画を妨げるようなデジタル放送の操作(例：チャンネル切換、信号切換など)はできません。
- 電源ボタンで電源スタンバイにしても、録画はそのまま実行されます。
- 接続した他のi.LINK対応機器の電源を入/切したり、接続を外したりすると、画像が乱れたり途切れたりすることがあります。



終了時刻になると

録画が停止し、録画機器の電源が自動的に切れます。

予約時に録画機器を選ぶには



あらかじめメニューで設定しておけば、予約のたびに選ぶ必要はありません(㊟47ページ)。予約するときに録画機器を変更するには次の操作をしてください。

1 「録画したい日時を決めて録画予約する [時間指定予約]」(㊟53ページ) の手順1～3を行う。

2  で「録画機器」欄を選んで、 で決定する。
録画機器は、i.LINK、AVマウスでつないだ機器から選びます。

ご注意

i.LINK対応機器やAVマウスを本機と正しくつないでない(㊟176、189ページ) 録画はできません。

3  で録画する機器を選んで、 で決定する。

4 ㊟54ページの手順4～7を行う。

ご注意

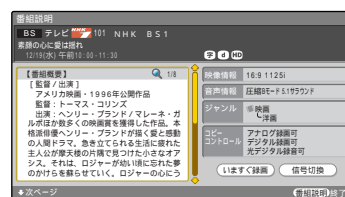
- 次の場合は録画予約できません。
 - すでに予約が20件あるとき(㊟62ページ)
 - 視聴予約(㊟57ページ)/録画予約の実行中
 - i.LINKダビング中(㊟101ページ) i.LINK録画中
 - 地上デジタルで1度もチャンネルスキャンが行われていないとき
- 次の場合は予約できても録画できません。
 - 未購入のペイ・パー・ビュー(PPV)番組
 - 視聴できないデータサービス
 - コピープロテクションにより録画できない番組
 - 未契約チャンネルの番組
 - 視聴年齢制限付きの番組
- 次の場合はAVマウスで録画できません。
 - デジタル放送のテレビやラジオと連動しているデータ (予約できても録画されません。)
 - デジタル放送の独立データ
- 時間指定予約をしたときは、番組の内容に関係なく指定した日時に録画を行います。そのため、番組によっては正しく録画されないことがあります。



今見ている番組を 録画する[いますぐ録画]

今見ているデジタル放送の番組をその場で録画予約できます。

1 録画したいデジタル放送の番組を見ているときに番組説明ボタンを押す。
番組説明が表示されます。

番組説明



2  で「いますぐ録画」を選んで、 で決定する。



👁 他の方でも表示できます
デジタル放送視聴中にツールから
「いますぐ録画」を選ぶ。

番組を予約／録画する

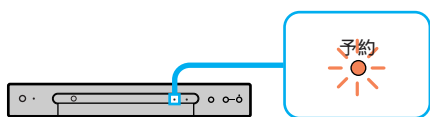
次のページにつづく

今見ている番組を録画する [いますぐ録画](つづき)

3 「予約する」が選ばれていることを確認して、で決定する。

これで予約完了です！

録画機器の準備がととのったら、録画が開始され、本機前面の予約ランプがオレンジ色に点灯します。



ご注意

- 次の場合は録画できません。
 - 未購入のペイ・パー・ビュー(PPV)番組
 - 視聴年齢制限を解除していない番組
 - コピープロテクションにより録画できない番組
 - すでに予約が20件あるとき(62ページ)
 - 視聴予約(57ページ)/録画予約の実行中
 - i.LINKダビング中(101ページ) i.LINK録画中
 - 番組終了時刻まで残り時間が少ないとき
 - 未契約チャンネルの番組
- 次の場合はAVマウスで録画できません。
 - デジタル放送のテレビやラジオと連動しているデータ(予約できても録画されません。)
 - デジタル放送の独立データ

「重複確認」画面が表示されたときは重複している内容のメッセージが表示されます。「予約する」を選んで決定すれば、予約できます。正しく録画されるかは、「予約一覧」画面で予約内容を確認してください(62ページ)。

ご注意

AVマウスで録画機器に録画するときは、ビデオのAPC(アダプティブ・ピクチャー・コントロール)機能などが働くと、録画の冒頭が途切れることがあります。

録画を中止するには

予約一覧で、実行中の録画を取り消せます(63ページ)。

☺ちょっと一言

予約一覧では取り消し以外にも、設定内容の変更ができます。

録画実行中は

本機前面の表示窓に「予約実行中」と表示されます。



ご注意

- 録画を妨げるようなデジタル放送の操作(例：チャンネル切替、信号切替など)はできません。
- 接続した他のi.LINK対応機器の電源を入/切したり、接続を外したりすると、画像が乱れたり途切れたりすることがあります。


終了時刻になると

録画が停止し、録画機器の電源が自動的に切れます。

録画開始時に録画機器を選ぶには



あらかじめメニューで設定しておけば、録画のたびに選ぶ必要はありません(47ページ)。
録画するときに録画機器を変更するには次の操作をしてください。


1 「今見ている番組を録画する[いますぐ録画]」(55ページ)の手順1~2を行う。

2 ◀で「録画機器」欄を選んで、で決定する。
録画機器は、i.LINK、AVマウスでつないだ機器から選びます。

ご注意

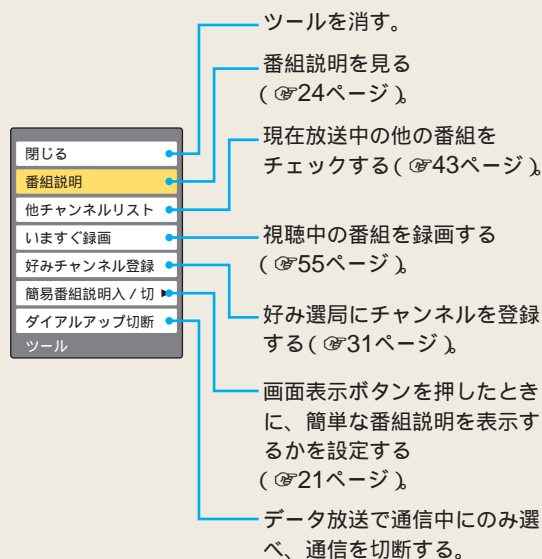
i.LINK対応機器やAVマウスを本機と正しくつないでいないと(176、189ページ) 録画はできません。

3 で録画する機器を選んで、で決定する。

4 ▶で「予約する」を選んで、で決定する。



デジタル放送視聴中にツールボタンを押すと...



見たい番組を逃さず 見る[視聴予約]

デジタル放送の番組を視聴予約しておく、予約したデジタル放送のチャンネルに自動的に切り換わります。

視聴予約には、次の3種類があります。

「かんたん視聴予約」：番組表や番組検索から、視聴したい番組を選ぶだけで簡単に予約できる。

「こだわり予約」：お気に入りの番組を繰り返し(毎週、毎日など)予約できる。

「時間指定予約」：チャンネルと録画時間を指定して予約できる。

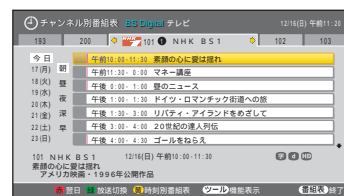
簡単に視聴予約する [かんたん視聴予約]

1 視聴したい番組を選ぶ。

1 番組表ボタンを押す。

番組表が表示されます。番組表について詳しくは、 26ページをご覧ください。

番組表



他の方法でも表示できます

- メニューから
「番組表・予約」「チャンネル別番組表」を選ぶ。
- i.LINK Studio 操作画面から
「番組表予約」を選ぶ。

2 番組表で視聴したい番組を選んで、決定する。

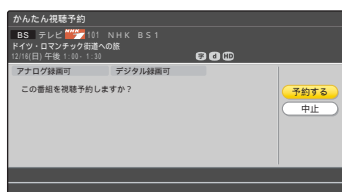
サブメニューが表示されます。

例：放送開始前の番組を選んだとき



見たい番組を逃さず見る [視聴予約](つづき)

- 2 で「かんたん視聴予約」を選んで、で決定する。

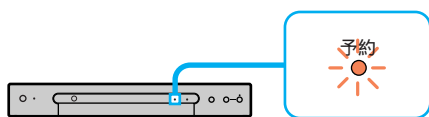


- 3 「予約する」が選ばれていることを確認して、で決定する。
「予約設定を完了しました」と表示されたあと、番組表に戻り、予約した番組にが表示されます。また、本機前面の予約ランプがオレンジ色に点灯します。

これで予約完了です！



がつく



- 4 番組表ボタンを押して、番組表を消す。

「重複確認」画面が表示されたときは重複している内容のメッセージが表示されます。「予約する」を選んで決定すれば、予約できます。正しく視聴できるかは、「予約一覧」画面で予約内容を確認してください(④62ページ)。

視聴年齢制限付き番組を選んだときは「暗証入力」画面が表示されます。(1)~(10)までの数字ボタンまたはで4桁の暗証番号を入力してください。

予約した時刻になると

本機の電源が入った状態でも、電源スタンバイ(本機前面の電源/スタンバイランプが赤く点灯)でも、予約したデジタル放送のチャンネルに切り換わります。

予約実行中は

本機前面の表示窓に「予約実行中」と表示されます。



ご注意

次のときは予約が解除されます。

- 他の予約と重なっているとき(④66ページ)
- i.LINKダビング中(④101ページ) i.LINK録画中に予約した番組が始まる時
- 視聴予約実行中に、チャンネル切替や入力切替をしたとき

ちょっと一言

- 映像/音声信号が複数ある番組のときは、視聴中に信号を切り換えてください。
- 予約開始時、本機が電源スタンバイ(本機前面の電源/スタンバイランプが赤く点灯)だったときは、予約した番組終了後、自動で電源が切れます。ただし、途中で予約した番組をキャンセルした場合などは、自動で電源は切れません。

[こだわり予約]から視聴予約する

- 1 予約したい番組を選ぶ。

- 1 番組表ボタンを押す。

番組表が表示されます。番組表について詳しくは、④26ページをご覧ください。

番組表



他の方法でも表示できます

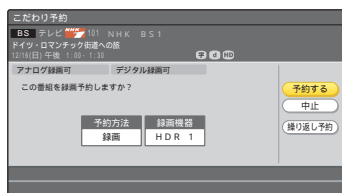
- メニューから「番組表・予約」「チャンネル別番組表」を選ぶ。
- i.LINK Studio 操作画面から「番組表予約」を選ぶ。

- 2 で視聴したい番組を選んで、で決定する。
サブメニューが表示されます。

例：放送開始前の番組を選んだとき

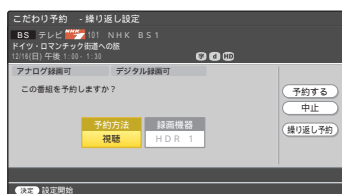


- 2 で「こだわり予約」を選んで、で決定する。



- 3 で「予約方法」を選んで、で決定する。

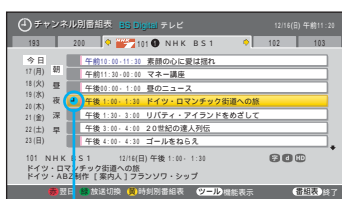
- 4 で「視聴」を選んで、で決定する。



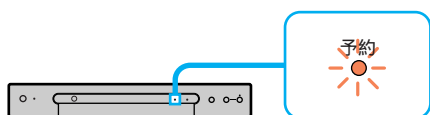
- 5 で「予約する」を選んで、で決定する。

「予約設定を完了しました」と表示されたあと、番組表に戻り、予約した番組にが表示されます。また、本機前面の予約ランプがオレンジ色に点灯します。

これで予約完了です！



がつく



- 6 番組表ボタンを押して、番組表を消す。

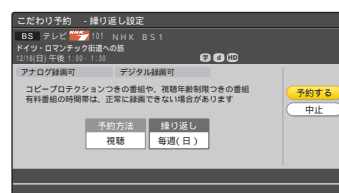
「重複確認」画面が表示されたときは重複している内容のメッセージが表示されます。「予約する」を選んで決定すれば、予約できます。正しく視聴できるかは、「予約一覧」画面で予約内容を確認してください（[P.62](#)ページ）。

視聴年齢制限付き番組を選んだときは「暗証入力」画面が表示されます。**(1)**～**(10)**までの数字ボタンまたは/➡で4桁の暗証番号を入力してください。

くり返して視聴するように設定するには
「こだわり予約」では、違う日の同じ時間帯にくり返して視聴するように設定できます。

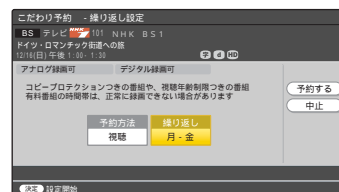
- 1 「[こだわり予約]から視聴予約する」([P.58](#)ページ)の手順1～4を行う。

- 2 /➡で「繰り返し予約」を選んで、で決定する。



- 3 で「繰り返し」欄を選んで、で決定する。

- 4 で「毎週(日)」～「毎週(土)」または「月 - 金」、「月 - 土」、「毎日」を選んで、で決定する。



- 5 「[こだわり予約]から視聴予約する」の手順5～6を行う。

見たい番組を逃さず見る [視聴予約](つづき)

予約した時刻になると

本機の電源が入った状態でも、電源スタンバイ(本機前面の電源/スタンバイランプが赤く点灯)でも、予約したデジタル放送のチャンネルに切り換わります。

予約実行中は

本機前面の表示窓に「予約実行中」と表示されます。



ご注意

次のときは予約が解除されます。

- 他の予約と重なっているとき(㊦66ページ)
- i.LINKダビング中(㊦101ページ) i.LINK録画中に予約した番組が始まる時
- 視聴予約実行中に、チャンネル切換や入力切換をしたとき

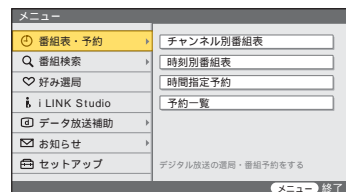
💡ちょっと一言

予約開始時、本機が電源スタンバイ(本機前面の電源/スタンバイランプが赤く点灯)だったときは、予約した番組終了後、自動で電源が切れます。ただし、途中で予約した番組をキャンセルした場合などは、自動で電源は切れません。

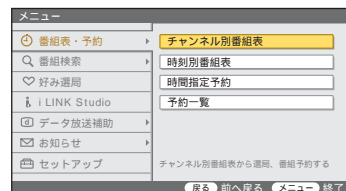
日時を指定して視聴予約する [時間指定予約]

デジタル放送のチャンネルと視聴時間を決めて予約できます。

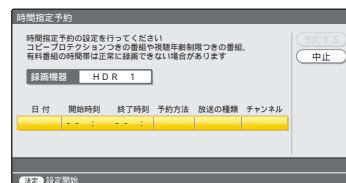
1 メニューボタンを押して、メニューを出す。



2 決定で「番組表・予約」を選んで、決定で決定する。

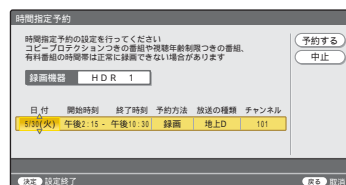


3 決定で「時間指定予約」を選んで、決定で決定する。



4 日時を設定する。

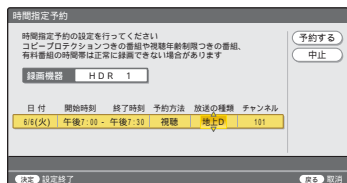
1 「日付」欄が選ばれていることを確認して、決定で決定する。



2 決定で視聴する日付を選んで、➡を押す。

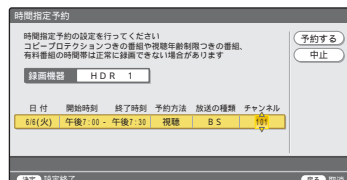
3 手順4-2をくり返して、開始時刻と終了時刻を設定する。

5 画面上で「視聴」を選んで、➡を押す。



6 チャンネルを設定する。

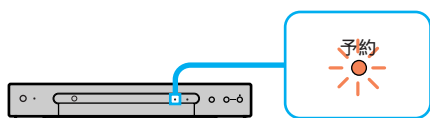
1 画面上で放送を選んで、➡を押す。



2 画面上でチャンネルを選んで、決定を押す。

7 ➡で「予約する」を選んで、決定を押す。

「予約設定を完了しました」と表示され、本機前面の予約ランプがオレンジ色に点灯します。



「重複確認」画面が表示されたときは重複している内容のメッセージが表示されます。「予約する」を選んで決定すれば、予約できます。正しく視聴できるかは、「予約一覧」画面で予約内容を確認してください(㊦62ページ)。

予約した時刻になると

本機の電源が入った状態でも、電源スタンバイ(本機前面の電源/スタンバイランプが赤く点灯)でも、予約したデジタル放送のチャンネルに切り換わります。

予約実行中は

本機前面の表示窓に「予約実行中」と表示されます。



ご注意

次のときは予約が解除されます。

- 他の予約と重なっているとき(㊦66ページ)
- i.LINKダビング中(㊦101ページ) i.LINK録画中に、予約した番組が始まる時
- 視聴予約実行中に、チャンネル切替や入力切替をしたとき

ちょっと一言

予約開始時、本機が電源スタンバイ(本機前面の電源/スタンバイランプが赤く点灯)だったときは、予約した番組終了後、自動で電源が切れます。ただし、途中で予約した番組をキャンセルした場合などは、自動で電源は切れません。

視聴予約を取り消すには

「予約一覧」画面(㊦63ページ)で予約を取り消してください。

予約が正しく実行されるか確認する

[予約一覧ボタン]

「予約一覧」画面について

予約が実行されるごとに「予約一覧」画面が更新されます。実行された予約は、「実行履歴一覧」画面に移り、予約結果を確認できます。

👁ちょっと一言

「予約一覧」画面では、予約した番組の放送時刻が秒単位まで表示され、秒単位で時刻が重なっていても重複している予約となります。

「予約一覧」画面

予約状況と重複マーク

「実行」：録画/視聴予約実行中。

- 🔄 : 重複しているがすべて録画/視聴できる。
- ✖ : 重複していて録画/視聴できない。
- 🔄 : 前部分が重複していて途中から録画/視聴できる。
- 🔄 : 後ろ部分が重複していて途中まで録画/視聴できる。
- 🔄 : 前後部分が重複していて途中のみ録画/視聴できる。
- ★ : 予約保護されている予約

重複マークの上に🔄がついているときは繰返し予約と重複していることを示します。



「実行履歴一覧」画面

予約結果マーク

▲ : 予約が正しく実行されなかった。

A 予約情報マーク

B 操作タブ

表示画面を切り換えます。

「実行履歴一覧」に「▲」が付いているときは、更新した実行履歴の中に正しく実行されなかった予約があることを示します。

C 操作ガイド表示部

予約一覧を表示中にリモコンを使ってできることをガイド表示します。

- 🔵 : 前ページへ送ります。
- 🔴 : 次ページへ送ります。

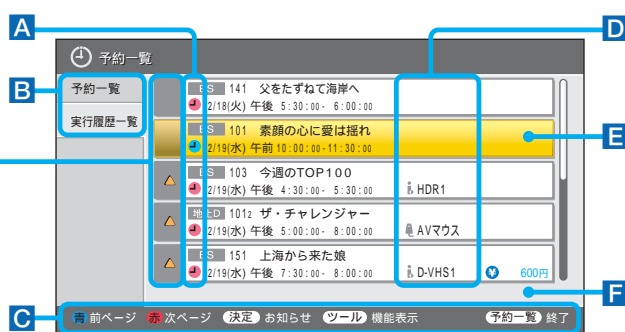
D 録画機器

E カーソル(選ばれているところ)

黄色で表示され、🔄で移動できます。

F メッセージ表示部

メッセージを表示します。



表示マークの意味

- 🔴 : 録画予約
- 🔵 : 視聴予約
- ¥ : 有料番組の購入あり
- ✖ : i.LINK機器が録画できない状況

予約一覧で予約を修正/取消する

予約一覧では予約の修正や取り消しができます。録画予約実行中に途中で録画を解除することもあります。

予約が重なっていたり、連続していると、予約が正しく実行されないことがありますので、予約一覧で確認してください。

👁️ちょっと一言

視聴予約は予約一覧で取り消さなくても、次の場合には自動的に取り消されます。

- 予約した番組の放送開始時に本機の電源が切れているとき
- 予約した番組を視聴中にチャンネル切替や入力切替をしたとき

1 予約一覧ボタンを押す。 「予約一覧」画面が表示される。



👁️他の方法でも表示できます

- 番組表や番組検索の検索結果表示中にツールから「予約一覧」を選ぶ。
- メニューから「番組表・予約」「予約一覧」を選ぶ。

2 画面上で「予約一覧」が選ばれていることを確認して、で決定する。 カーソルが右側に移動します。



3 予約が正しく実行されるか確認する。

予約重複
マーク






予約重複マークが表示されているときは予約時間が重複しているため、正しく実行されない予約があります。「重複している予約はどうなるの？」(P66ページ)で確認して、不要な予約を取り消してください。

4 予約一覧ボタンを押す。 「予約一覧」画面が消えます。

予約を取り消すには

重複している予約や不要な予約を取り消せます。


- 1 予約一覧ボタンを押して、予約一覧を出す。
- 2 画面上で「予約一覧」が選ばれていることを確認して、で決定する。
- 3 で取り消したい番組を選んで、で決定する。
サブメニューが表示されます。

4 で「予約取消」を選んで、で決定する。



番組を予約／録画する

予約が正しく実行されるか確認する[予約一覧ボタン](つづき)

5 ◀で「予約取消」を選んで、で決定する。予約が取り消されます。

6 予約一覧ボタンを押して、予約一覧を消す。


ご注意


「こだわり予約」や「時間指定予約」(49、51、53、58、60ページ)でくり返し設定をしている番組を取り消すと、2回目以降の予約も取り消されます。

予約した設定内容を修正するには


録画機器や予約時間など、予約した内容を変更できます。

1 予約一覧ボタンを押して、予約一覧を出す。

2 画面上で「予約一覧」が選ばれていることを確認して、で決定する。

3 で変更したい番組を選んで、決定する。サブメニューが表示されます。



4 で「予約修正」を選んで、決定する。予約設定を行ったときの画面が表示されます。

5 表示されている予約画面に従って、設定を変更する。
予約の設定について詳しくは、49、51、53、55、57、58、60、67ページをご覧ください。

ご注意

実行中の予約は修正できません。

予約の修正を途中でやめるには
手順5で「中止」を選ぶ。


優先する予約を選ぶ



予約を保護するように設定しておけば、他の予約と重複しているときでも、優先的に録画/視聴できます。予約保護を設定できる予約は1つだけです。

ご注意



実行中の予約には、予約保護の設定はできません。

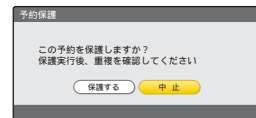
1 予約一覧ボタンを押して、予約一覧を出す。


2 画面上で「予約一覧」が選ばれていることを確認して、で決定する。

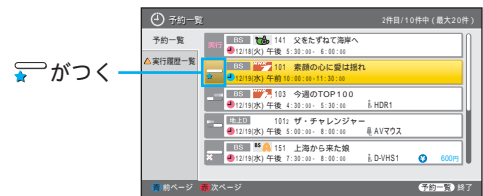
3 で予約を優先したい番組を選んで、で決定する。
サブメニューが表示されます。



4 で「予約保護」を選んで、で決定する。
「予約保護」画面が表示されます。



5 ◀で「保護する」を選んで、で決定する。
「予約一覧」画面に戻り、選んだ番組に★マークが表示されます。



6 保護された予約を確認する。

7 予約一覧ボタンを押して、予約一覧を消す。

予約保護を解除するには

手順4で「保護取消」を選ぶ。



「予約一覧」画面に戻り、選んだ番組から★マークが消えます。

実行された予約結果を確認する

[実行履歴一覧]

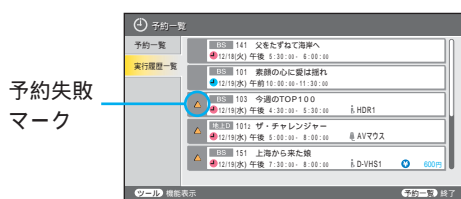
予約が正しく実行されたかどうか確認できます。実行されなかった予約については、その理由もお知らせします。予約確認後は、一覧された項目をまとめて消去できます。

1 予約一覧ボタンを押して、予約一覧を出す。



2  で「実行履歴一覧」を選んで、 で決定する。

実行された予約が一覧表示されます。

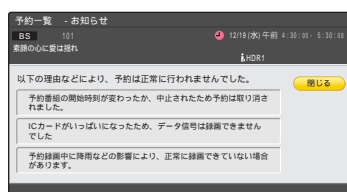
「実行履歴一覧」に「▲」が付いているときは、実行履歴が更新されています。




正しく予約が実行されていないと予約自体がキャンセルされたときや予約が正しく実行されなかったときは、画面右の予約結果表示欄に▲マークが表示されます。

3  で結果内容を確認したい項目を選んで、 で決定する。

「予約一覧 - お知らせ」画面に切り換わり、結果内容が表示されます。




4 結果内容を確認し、「閉じる」が選ばれていることを確認して、 で決定する。

「予約一覧」画面に戻ります。

他の予約の結果を確認するときは手順3~4をくり返し行ってください。

5 予約一覧ボタンを押して、予約一覧を消す。



ツール

ツールを使う (2-3ページ)

「実行履歴一覧」画面表示中にツールボタンを押すと...

閉じる

全件削除



ツール

ツールを消す。




「実行履歴一覧」画面の項目をすべて削除する (62ページ)

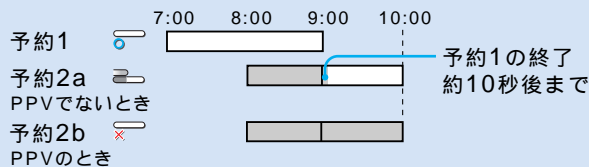
予約が正しく実行されるか確認する[予約一覧ボタン](つづき)





重複している予約はどうなるの？

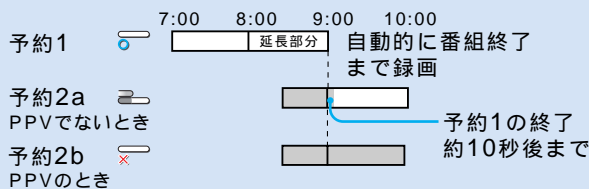
- 下の図で、の部分は実行されません(録画予約のときは録画されません)。
- ペイ・パー・ビュー(PPV)()は、番組の途中からは録画されず、予約自体が自動的に取り消されます。

放送時刻が重なっているときは？

先に始まる番組(予約1)が優先されます()。あとから始まる番組(予約2a)は、予約1の終了約10秒^{*1}後から録画されます()。ただし、ペイ・パー・ビュー(予約2b)は、予約自体が自動的に取り消されます()。



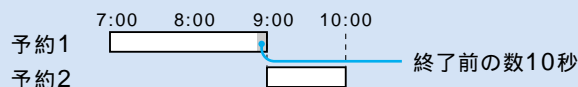
前の番組が延長されて、他の予約に重複したときは？
延長された番組(予約1)が自動的に番組終了まで録画(視聴)されます()。
延長により重複した番組(予約2a)は、予約1の終了約10秒^{*1}後から録画されます()。ただし、ペイ・パー・ビュー(予約2b)は、予約自体が自動的に取り消されます()。
「流動編成・イベントリレー対応設定」を「する」に設定している() 録画時間が変わり他の予約に重複したときも同じです。





前の予約の終了時刻と、後の予約の開始時刻が同じとき(予約が連続しているとき)は？

録画予約が重複していないため、予約重複マークは表示されません。



ただし、先に始まる番組(予約1)が録画予約のときは、終了前の数10秒^{*1}は録画されません。あとから始まる番組(予約2)にチャンネルが切り換わるためです。

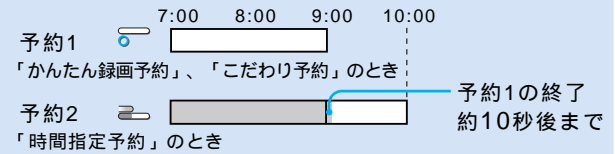


予約保護が設定されている予約と重複したときは？



予約保護の予約が優先して録画(視聴)されます()。他の予約が実行中のときも、予約保護の予約を優先します()。

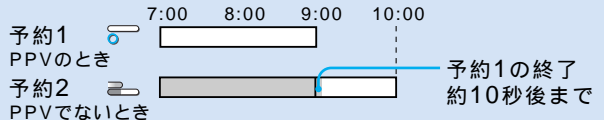
開始時刻が同じときは？

その1:「かんたん録画予約」または「こだわり予約」(予約1)が「時間指定予約^{*2}」(予約2)より優先されます()。重なった予約の放送時間が長いとき(予約2)は、予約1の終了約10秒^{*1}後から録画されます()。




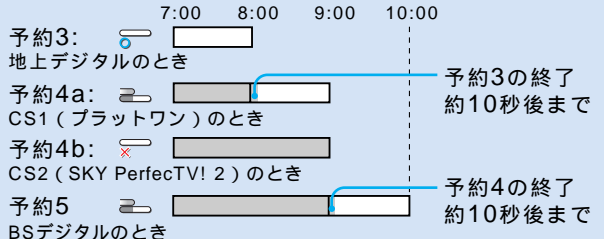
その2:「かんたん録画予約」または「こだわり予約」のとき


①ペイ・パー・ビュー(予約1)が優先されます()。重なった予約の放送時間が長いとき(予約2)は、予約1の終了約10秒^{*1}後から録画されます()。

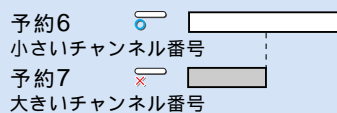


②地上デジタル、CS1(プラットワン)、CS2(SKY PerfecTV! 2)、BSデジタルの順に優先されます。

重なった予約がすべてペイ・パー・ビュー、あるいはすべてペイ・パー・ビューでないときは、優先順位の低い番組の放送時間が長いとき(予約4a、4b、5)は、優先順位の高い番組(予約3、4a、4b)の終了約10秒^{*1}後から録画されます()。




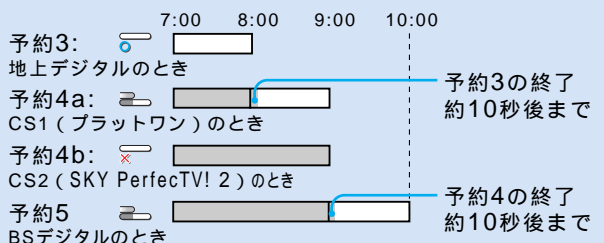
③小さいチャンネル番号が優先されます(予約6)()。重なった予約の両方が同じデジタル放送(BSデジタルとBSデジタルなど)で、両方ともペイ・パー・ビュー、あるいは両方ともペイ・パー・ビューでないときは、




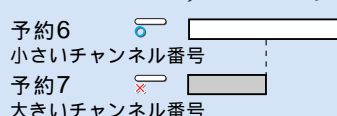
その3:「時間指定予約^{*2}」のとき

①地上デジタル、CS1(プラットワン)、CS2(SKY PerfecTV! 2)、BSデジタルの順に優先されます。

優先順位の低い番組の放送時間が長いとき(予約4a、4b、5)は、優先順位の高い番組(予約3、4a、4b)の終了約10秒^{*1}後から録画されます()。



②小さいチャンネル番号が優先されます(予約6)()。重なった予約の両方が同じデジタル放送(BSデジタルとBSデジタルなど)のときは、



^{*1} 録画する機器を切り換えたときは、時間がかかることがあります。

^{*2} 未購入のペイ・パー・ビュー(PPV)番組では、予約できても録画できません。

録画制約について

AVマウスを使った録画予約についての注意

あらかじめ録画機器側で録画できる状態に設定し、下記をご確認のうえ、本機で録画予約を設定してください。

- 録画機器側で録画モード(標準/3倍など)を選ぶ。
- フォーマットの必要なディスクメディア(DVD-RW、DVD-RAMなど)をフォーマットする。
- 録画機器側で設定した録画予約を解除する。
- DVDレコーダーなどで、録画ボタンを2回押さないと録画を始めない機器は、1回押せば録画を始めるように設定する。
- シンクロ録画など、外部入力端子に信号が入力されると自動的に録画を始める機能がある録画機器は、その機能を解除する。
- 録画機器が複合機の場合は、録画メディア(ハードディスクまたはDVD-Rなど)を選ぶ。

i.LINKでデジタル放送を録画するときの録画制限(コピープロテクション)

放送局が番組によって、次のように設定して、信号を送っています。「番組説明」画面(24ページ)の番組情報欄で「コピーコントロール」情報を確認してください。また、本機はDTLAのコピープロテクション技術に対応しています(190ページ)。

デジタル録画不可

デジタルハイビジョン信号 **HD**・標準テレビ信号 **SD** のどちらもデジタル録画できません。ただし、番組によっては、本機につないだビデオでアナログ録画できます。

デジタル録画可・デジタル録画可*

録画した番組を、さらにデジタルで録画・再生できます。

また、デジタル録画可*のときは、録画する機器によっては2回目以降のデジタル録画・再生ができないことがあります。

デジタル録画1回可(コピーワンス)

デジタル録画できますが、デジタル録画した番組をさらにデジタル録画することはできません。番組によっては有料となることがあります。

i.LINKでデジタル録画するときは

本機は、DTLAのコピープロテクション技術に対応しています。したがって、コピーを許可されていない番組は録画することはできません。コピープロテクションについて詳しくは、190ページをご覧ください。

本機では次のようなメッセージが表示されます。

「コピープロテクションにより録画はできません」とメッセージが表示されたときは
録画できない番組です。「予約方法」は「視聴」に固定され、視聴予約のみできます。

「コピープロテクションによりi.LINKでの録画予約はできません」と表示されたときは
i.LINKでデジタル録画できない番組です。「AVマウス録画」を選べば、他の録画機器に録画できます。

録画制約について(つづき)

AVマウスで録画するときの録画制限

本機は、録画防止機能(コピープロテクション)が付いています。そのため、番組によっては、正常な画像で録画できなかつたり、録画したものを正常な画像で再生できなかつたりするものがあります。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

また、デジタル放送を映像/音声コードでハードディスクレコーダーやDVDレコーダーにデジタル録画するときも制限されることがありますが、VHSビデオで録画できる場合もあります。

本機では次のようなメッセージが表示されます。

「コピープロテクションにより録画はできません」とメッセージが表示されたときは
録画できない番組です。「予約方法」は「視聴」に固定され、視聴予約のみできます。

「コピープロテクションによりVHS以外には録画できません」と表示されたときは
AVマウスの設定がビデオ以外の機器になっています。ビデオをつないで、AVマウスの設定をビデオにしてください(☞176ページ)。
ハードディスクレコーダーやDVDレコーダーなどでは録画できません。

著作権保護対応の番組を録画するときの録画制限

著作権保護対応の番組では、録画を1回のみ許可(コピーワンス)されている画像などコピー制御信号が含まれている場合は、録画機器によっては録画できないことがあります。

また、ペイ・パー・ビュー(PPV)や録画禁止の番組では、著作権保護情報のデータを確認するため、番組開始から数分程度、黒い画面が録画されることがあります。野球延長などにより番組開始時間に変更があった場合も、開始時間変更情報のデータを確認するため、同様に番組開始から数分程度、黒い画面が録画されることがあります。

デジタル放送の その他の機能

ここでは、デジタル放送特有の多彩な機能(マルチ放送や信号切換、字幕放送、有料番組の購入、お知らせを見るなど)の操作について説明しています。また、データ放送で通信するときに登録しておいて発呼する方法や、ブックマークの付けかた、ソフトウェアキーボードの使いかたも説明しています。

1つの放送局でのマルチ放送について	70
マルチ放送には次のような種類があります	71
マルチビュー放送や第2映像などを見る	
[映像切換ボタン].....	72
第2映像など映像信号が複数ある番組のとき	72
マルチビュー放送のとき	72
第2映像や第2音声などを選ぶ[信号切換]	73
字幕放送や文字スーパーを見る[字幕ボタン]	74
字幕を表示する	74
文字スーパーの言語を切り換える	75
音声を切り換える[音声切換ボタン]	76
二重音声番組のとき	76
音声信号が複数ある番組のとき	76
ペイ・パー・ビュー(PPV)を見る	77
文字を入力する[ソフトウェアキーボード]	79
文字や記号を入力する	79
「ソフトウェアキーボード」画面について	81
放送局と情報をやりとりする[登録発呼]	82
登録した発呼を実行する	82
「登録発呼一覧」画面について	84
「発呼履歴」画面について	84
「登録発呼詳細」画面について	84
お気に入りのデータ放送を登録する[ブックマーク]....	85
登録したデータ放送などにリンクする	85
「ブックマーク一覧」画面について	86
放送局からのお知らせを見る[メール・ボード]	86

1つの放送局での マルチ放送について

HD デジタルハイビジョン信号

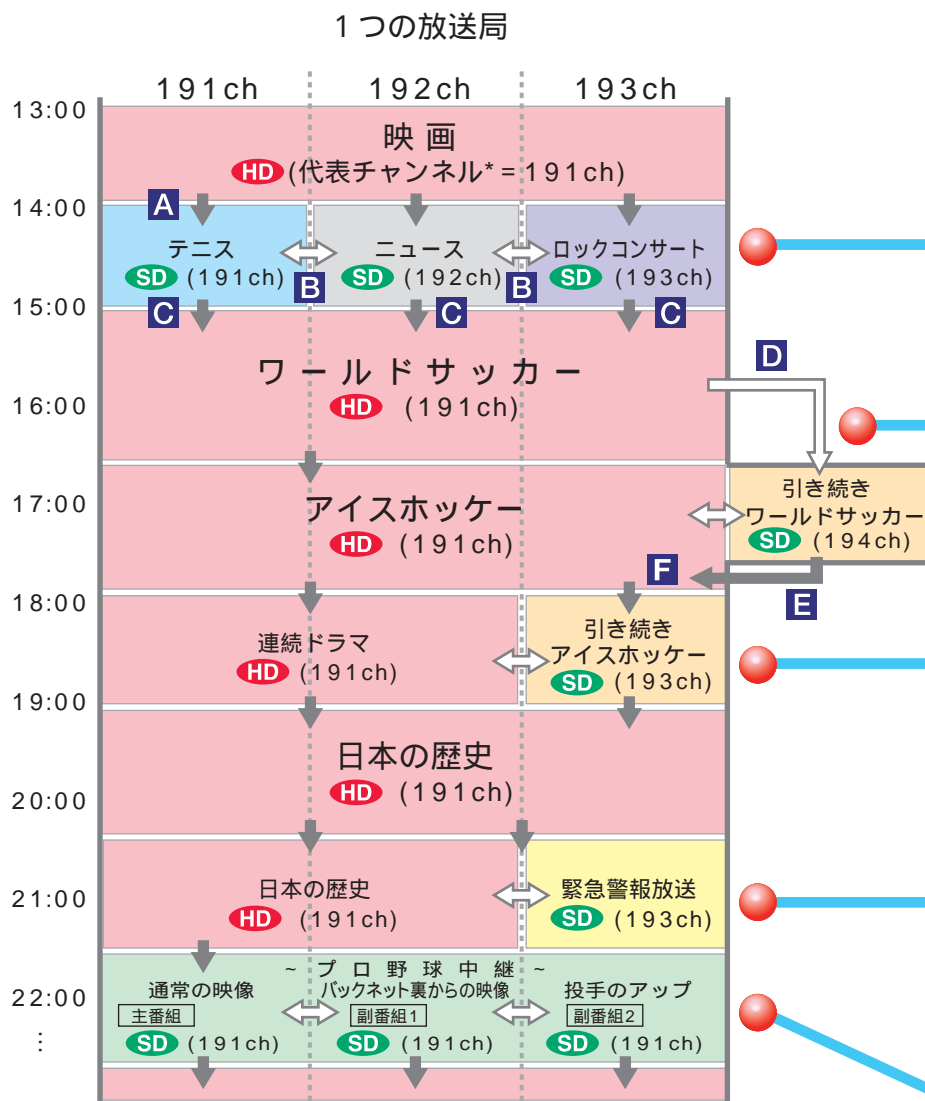
SD 標準テレビ信号

➡ 自動的に切り換わる

⇄ 手で切り換える

地上デジタルとBSデジタルでは、1つの放送局が、デジタルハイビジョン信号**HD**の1チャンネル放送と、標準テレビ信号**SD**の複数チャンネル(2~5チャンネル)放送を、下の図のように時間帯によって切り換えるマルチ放送とがあります。

それぞれのチャンネル(191ch、192ch、193ch)で同じ番組が放送されます(イベント共有)。時刻別番組表(27ページ)を見るときや、チャンネル+/-ボタンでチャンネルを選ぶときは、代表チャンネルのみが表示されます。



A マルチチャンネル放送開始

... **HD** から **SD** に変わり、それぞれのチャンネル(191ch、192ch、193ch)で別々の番組を放送します。

B マルチチャンネル放送中の選局

...チャンネル+/-ボタンを押して、見たいチャンネルに切り換えます。

C マルチチャンネル放送終了

...14:00から192chや193chを見ていたときは、代表チャンネルの191chに切り換わらないまま、見ていたチャンネル(192chや193ch)のまま引き続き、そのあとの番組(ワールドサッカーや連続ドラマ)をご覧いただけることもあります。

D 臨時放送開始

...中継延長になり**HD**から**SD**に変わり、引き続き放送します。ご覧になるときは、数字ボタンで3桁のチャンネル番号を入力して、臨時放送のチャンネル(上の例では194ch)に切り換えます。

E 臨時放送終了

...代表チャンネルへ自動的に移行します。

F イベントリレー

...イベントリレーが開始される前にお知らせが表示されます。「選局する」を選ぶと、時間になると自動的に切り換わります。

上記の番組はフィクションであり、実際の放送局での放送内容とは関係ありません。

マルチ放送には次のような種類があります

● 複数のチャンネルで違う番組を同時に放送 [マルチチャンネル放送] **A ~ C**

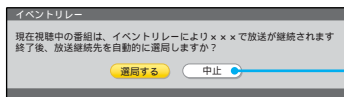
左の例のように、同じ放送局の別々のチャンネルで、テニス、ニュース、ロックコンサートなどのようにそれぞれ違う番組を同時時間帯に放送します。

● 延長した番組を最後まで放送 [臨時放送]

左の例のように、サッカー中継が予定放送時間内に終わらないときに、同じ放送局の別チャンネルで引き続き試合終了まで放送し、元のチャンネルでは予定どおり、後番組の連続ドラマを放送します。

● 他のチャンネルで引き続き放送 [イベントリレー]

放送中の番組が終了したあと別チャンネルで引き続き放送を行うときは、お知らせが表示されます。見るときは、「選局する」を選んでください。時間になると自動的に切り換わります。



放送局からイベントリレーのお知らせが表示される。表示を消すときは「中止」を選ぶ。

● 地震などの災害時に特別番組を放送 [緊急警報放送]

警戒警報や津波警報が発令されたときなどは、別チャンネルで緊急警報放送を行っていることのお知らせが表示されます。見るときは、「選局する」を選んでください。

● さまざまな角度から番組を放送 [マルチビュー放送]

左の例のように、プロ野球中継で、同じチャンネルのまま、最大3方向(通常の映像、バックネット裏からの映像、投手のアップ)の画面を、映像切換ボタンで切り換えて見ることができます(㊦72ページ)。

● 雨天など受信状態が悪いときの放送 [降雨対応放送]

お買い上げ時は、「降雨対応放送に切り換わりました」と表示され、画質や音質が通常放送に比べ低下した状態で引き続き受信するように設定されています。

☞ 降雨対応放送についてのちょっと一言

- 降雨時「受信できません 大雨・大雪やアンテナの調整ズレなどの場合もあります」と表示されて、映像や音声がなくなる場合は、受信中の放送が降雨対応でないためか、降雨対応放送で対応できない気象状況となっているためです。
- 天候回復後、自動的に通常の放送に戻ります。
- 「セットアップ」メニューで「降雨対応放送受信」を「切」にすると、降雨対応放送に切り換わりません。「セットアップ」「受信設定」「BS/CS設定」「降雨対応放送受信」「切」を選ぶ。

ご注意

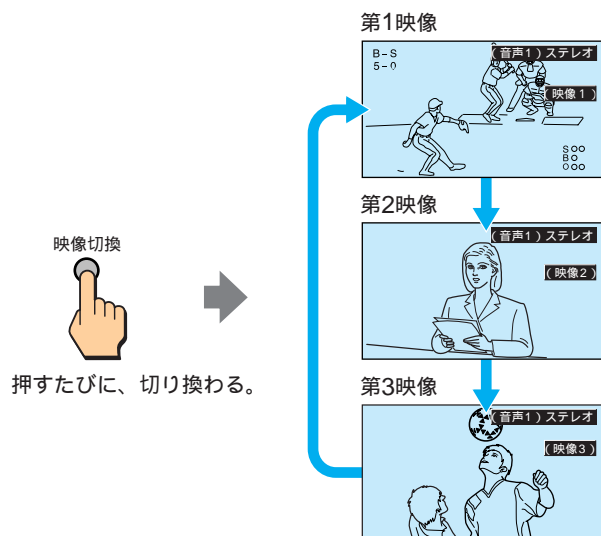
- 臨時放送のチャンネルはチャンネル+/- ボタンでは選べません。
- 「チャンネル+/- ボタンや番組表で選べるチャンネルを変更する」(㊦181ページ)で、選ばないように設定したチャンネルは選べません。

マルチビュー放送や 第2映像などを見る

〔映像切換ボタン〕

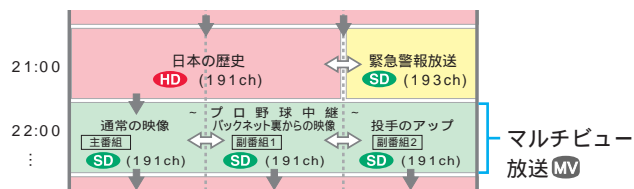
第2映像など映像信号が 複数ある番組のとき

映像信号の数は番組ごとに異なります(㊦73ページ)。



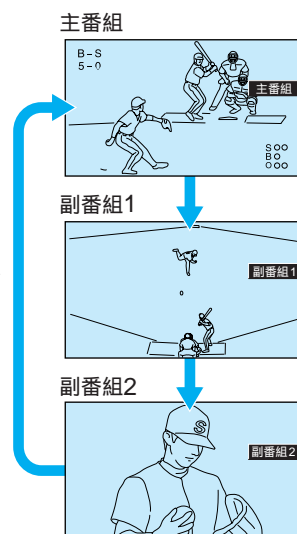
マルチビュー放送のとき

マルチビュー放送は、プロ野球中継の番組などで、最大3つの映像(下の図参照)を同じチャンネルで切り換えて楽しめます。また、放送が始まると、「マルチビュー放送中」などの案内が出ます。



マルチビュー放送を行っているときは

- 画面表示ボタンを押すと、「主番組」「副番組1」「副番組2」の1つが表示される。
- 番組表(㊦26ページ)や番組説明(㊦24ページ)でMVと表示される。



第2映像や第2音声などを選ぶ[信号切換]

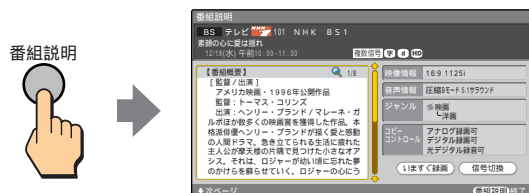
番組によっては、第2映像や第2音声など複数の映像/音声信号の中から視聴したい信号を選べます。

映像切換ボタン(☞72ページ)や音声切換ボタン(☞76ページ)でも切り換えられます。

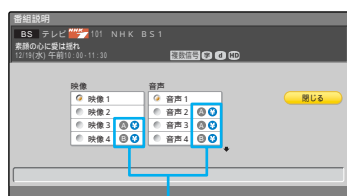
ご注意

- 切り換えられる信号がないときは切り換わりません。
- 予約した録画の実行中は切り換わりません。

1 番組説明ボタンを押す。



2 ➡で「信号切換」を選んで、決定する。



マーク

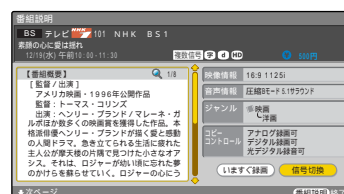
マーク表示について

- ：信号を切り換えたときは、購入が必要となります(☞77ページ)。
- 済：購入手続きが終わると、●が済になります。
- A ~ F：映像信号を購入すると、自動的に同じマークの付いた音声信号がセットで購入されます。同様に音声信号を購入すると、自動的に同じマークの付いた映像信号がセットで購入されます。

3 ➡/↔/➡で切り換えたい信号を選んで、決定する。
選んだ信号(第2映像や第2音声など)に切り換わります。



4 ➡で「閉じる」を選んで、決定する。
「番組説明」画面に戻ります。



5 番組説明ボタンを押す。
視聴中の番組に戻ります。

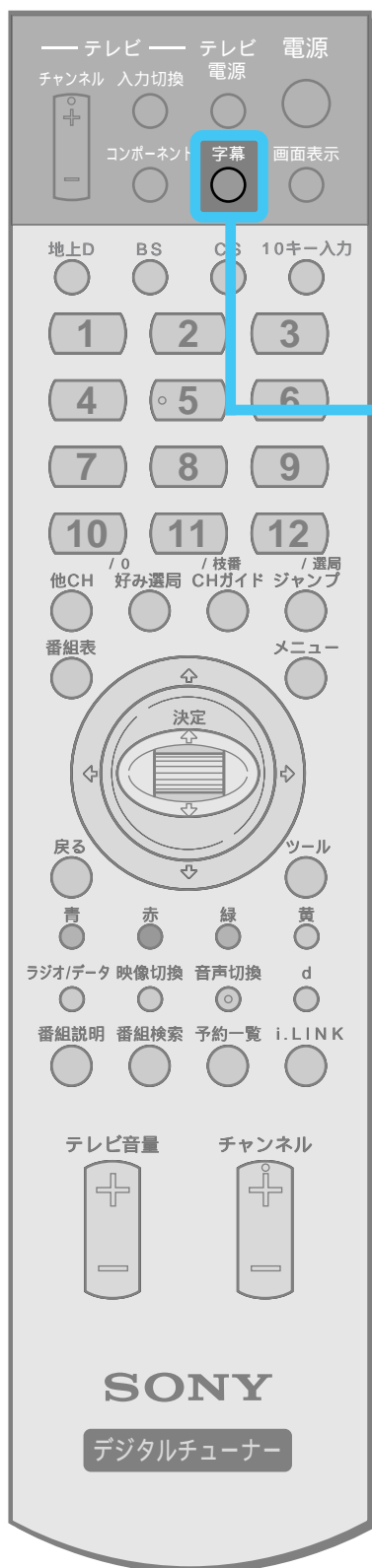
番組説明



ご注意

- チャンネルを切り換えたときは、第1音声に切り換わります。
- 切り換えた信号(例：第2音声に設定したとき)の番組が終了し、次の番組にも同じ信号(この例では第2音声)があるときは、引き続きその信号を受信します。
次の番組では第2音声を購入対象(●マークが表示される)になる場合があります。このときは、上記の手順に沿って、他の購入対象でない信号(例えば第1音声)を選んでください(第2音声を購入して引き続き視聴することもできます)。

字幕放送や文字スーパーを見る[字幕ボタン]



字幕放送や文字スーパーは最大2言語の放送が行われます。

字幕や文字スーパーを消したり、言語を切り換えたりできます。

字幕放送：映画やドラマなどの字幕

文字スーパー：臨時ニュースなど

ご注意

- S映像/映像/音声出力端子(ビデオへ)からは、字幕放送の字幕や文字スーパーは出力されないため、ビデオへは録画できません。
- メニューで「切」を選んでも、放送局側で字幕や文字スーパーを消せない設定にしている番組もあります。

👁ちょっと一言

字幕あり/なしに関わらず、「第1言語」、「第2言語」または「切」に切り換えられます。

1言語しか放送されていないときは、「第2言語」に切り換えても同じ言語が表示されます。

字幕を表示する

字幕



押すたびに、切り換わる

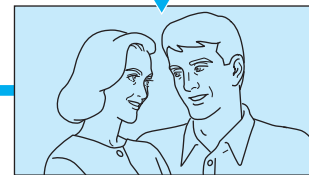
第1言語



第2言語



切



字幕放送を行っているか確認するには

字幕放送を行っているときは、画面表示ボタンを押すと画面右上に「字幕あり」と表示されます。

お買い上げ時は、字幕放送の字幕の表示は「切」に設定されています。







👁他の方法でも表示できます

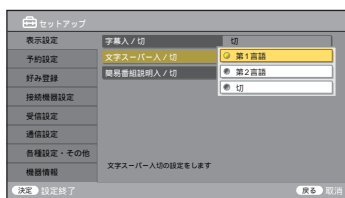
「セットアップ」メニューから



「セットアップ」 「表示設定」 「字幕入/切」 「第1言語」または「第2言語」を選ぶ。

文字スーパーの言語を切り換える

お買い上げ時は、文字スーパーがあるときには「第1言語」が自動的に表示されるように設定されています。

- 1 メニューボタンを押す。
- 2 で「セットアップ」を選んで、で決定する。
- 3 で「表示設定」を選んで、で決定する。
- 4 で「文字スーパー入/切」を選んで、で決定する。



- 5 で「第1言語」または「第2言語」、「切」を選んで、で決定する。
- 6 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

音声を切り換える [音声切換ボタン]

二重音声番組のとき

例：「主/副」を選んだとき

音声切換



押すたびに、
切り換わる。



左スピーカー
(主音声)

右スピーカー
(副音声)

画面表示 左スピーカーの
音声 右スピーカーの
音声

主 両方とも主音声

副 両方とも副音声

主/副 主音声 副音声

音声信号が複数ある番組 のとき

音声信号の数は番組ごとに異なります(73 ページ)。

第1音声



【音声1】ステレオ

第2音声



【音声2】ステレオ

第3音声



【音声3】ステレオ

両方のスピーカーから選んだ音
声が出る。

音声切換



押すたびに、
切り換わる。



ご注意

二重音声放送や第2音声などがないときは、切り換わりません。

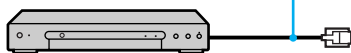
ペイ・パー・ビュー (PPV)を見る

ペイ・パー・ビュー(PPV: PAY PER VIEW)とは、「見るたびに支払う」の意味で、番組単位で随時、視聴購入します。ペイ・パー・ビュー(PPV)には、購入前に内容を確認(プレビュー: 事前視聴)できる番組もあります。

ペイ・パー・ビュー(PPV)の購入前に下記の準備をしてください。

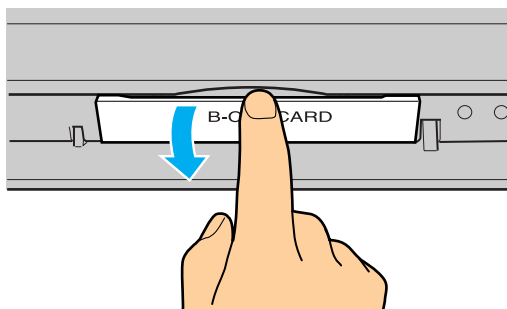
1 電話回線につなぐ(134ページ)

電話回線につなぐ。



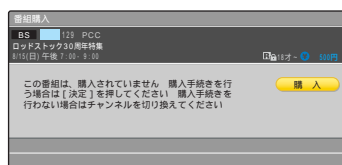
2 B-CASカードを入れる。

B-CASカードを正しく入れて、B-CASカード挿入口のふたを閉める(157ページ)

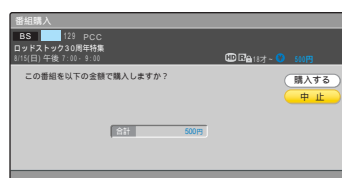


加入申し込みが別途必要になる放送局もあります。

1 PPV番組を選ぶ。



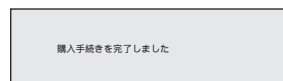
2 「購入」が選ばれていることを確認して、決定で決定する。



3 購入手続きを行う。

購入するときは

で「購入する」を選んで、で決定する。購入したPPV番組が映ります。



購入をやめるときは

で「中止」を選んで、で決定する。

ちょっと一言

コピープロテクションがかかった番組のときは、メッセージを確認した上で購入してください。

ご注意

購入操作の途中で他のチャンネルを選ぶと、購入は中止されます。この場合は、手順1から操作し直してください。

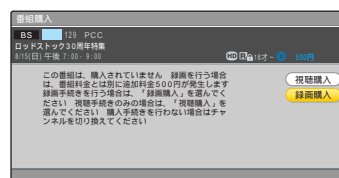
プレビューについて

- PPV番組により見られる回数、時間が異なります。プレビューが終了しても、購入操作は引き続き行えます。
- プレビューを見たあと、購入をやめるときは、チャンネルを変えてください。

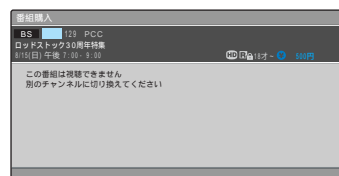
こんなメッセージが表示されたら

録画に別料金がかかるときは

録画有料番組となります。



視聴できない番組のときは



見るだけのときは

で「視聴購入」を選んで、で決定する。

録画するときは

で「録画購入」を選んで、で決定する。

録画防止信号が解除され、本機のi.LINK端子につないだハードディスクレコーダーやD-VHSビデオ、S映像/映像/音声出力端子(ビデオへ)につないだ録画機器で録画できるようになります。

次のページにつづく

ペイ・パー・ビュー(PPV)を見る (つづき)

「ICカードのデータが一杯になったので購入できません 電話線をつないだ後カードを抜き差しすると購入できるようになります」

購入額がカードの上限金額を越えています。

また、番組の購入可能件数を越えたときにも、この表示が出ます。

電話回線をつないでください。

「購入時間が過ぎているため購入できません」

番組によっては購入可能時間が決まっているため購入できない場合があります。

録画防止機能について

i.LINKでデジタル録画するときは

本機は、DTLAのコピープロテクション技術に対応しています。したがって、コピーを許可されていない番組は録画することはできません。

コピープロテクションについて詳しくは、P.68、190ページをご覧ください。

ビデオなどにアナログ録画するときは

本機は、録画防止機能(コピープロテクション)が付いています。そのため、番組によっては、正常な画像で録画できなかったり、録画したものを正常な画像で再生できなかったりするものがあります。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

音声について

本機後面の光デジタル音声出力端子からの信号を、正しく録音できない番組があります。ご注意ください。

追加信号について

映像/音声を選ぶ画面で、追加したい信号を選んで番組を楽しめます。

なお、**★**マークの付いた映像、音声などを選ぶと、選んだ分の追加料金が発生します。

また、**A**～**F**マークの付いた信号を購入すると、自動的に同じマークの付いた他の信号がセットで購入されます。



ペイ・パー・ビュー(PPV)の購入概算額 を見るには

先月分と今月分の購入概算額と最近購入した番組の一覧を確認できます。正確な購入合計額については、ご覧になっている各放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください(P.159ページ)。

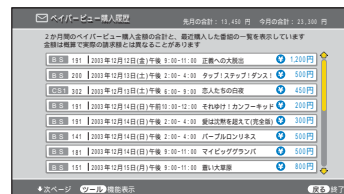
1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 で「お知らせ」を選んで、で決定する。

3 で「ペーパービュー購入履歴」を選んで、で決定する。

購入したPPV番組の前月分と今月分の概算金額が表示されます。

更新されていれば、「ペーパービュー購入履歴」の右横に「更新」と表示されます。

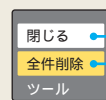


4 戻るボタンを押して、終了する。



ツールを使う (P.2-3ページ)

ペーパービュー購入履歴表示中に
ツールボタンを押すと...



ツールを消す。

履歴をすべて削除する。

文字を入力する [ソフトウェアキーボード]

ソフトウェアキーボードを表示して、画面上で文字や記号を入力できます。

ソフトウェアキーボードを表示する

ソフトウェアキーボードは、次のときに自動的に表示されます。

- 「番組検索」でキーワードを入力するとき (㊦32ページ)
- 新しいキーワードを登録するとき (㊦37ページ)
- 「セットアップ」「通信設定」で「接続ID」や「接続パスワード」を入力するとき (㊦165ページ)
半角の英語/数字/記号入力のみ使用できます。
- 「セットアップ」「通信設定」で「プロキシサーバー」を入力するとき (㊦168、173ページ)
半角の英語/数字/記号入力のみ使用できます。
- デジタル放送のデータで、文字や数字を入力するとき (㊦20ページ)

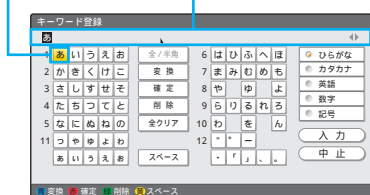
文字や記号を入力する

例：番組検索でキーワード「愛」を入力する

1 「[かんたんキーワード検索]に、よく使うキーワードをあらかじめ登録する」(㊦37ページ)の手順1～3を行う。

2 で、フォーカスを「あ」に移動して、 で決定する。
入力文字表示エリアに「あ」と表示されます。

フォーカス 入力文字表示エリア



3 で、フォーカスを「い」に移動して、 で決定する。
入力文字表示エリアに「あい」と表示されます。



4 で、フォーカスを「変換」ボタンに移動して、 で決定する。



5 「愛」が表示されるまで、くり返し ボタンを押す。





6 「確定」ボタンが選ばれていることを確認して、 で決定する。
反転文字から通常の文字に変わります。



デジタル放送のその他の機能

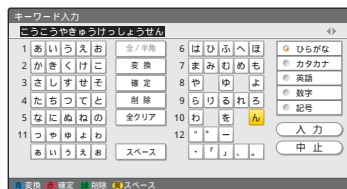
次のページにつづく



文字を入力する[ソフトウェアキーボード](つづき)

- 7 /▲/▼/◀/▶で、フォーカスを「入力」ボタンに移動して、で決定する。
ソフトウェアキーボードが消えて、キーワード「愛」が表示されます。


長い文を漢字に変換するには

例：「こうこうやきゅうけっしょうせん」




- 1 /▲/▼/◀/▶で、フォーカスを「変換」ボタンに移動して、で決定する。
文節ごとに漢字に変換されます。

孝行やきゅうけっしょうせん

- 2 正しい漢字が表示されるまで、くり返し/▲/▼を押す。

高校やきゅうけっしょうせん

- 3 「確定」ボタンが選ばれていることを確認して、で決定する。
次の文節が変換されます。

高校野球けっしょうせん

- 4 手順2、3をくり返す。

文節の長さを変えたいときは
◀/▶ボタンを押す。


こうこうやきゅう ←→ こうこうやきゅう

入力した文字を修正するには

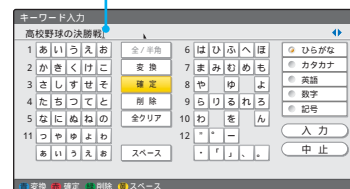
入力文字表示エリアに表示されている文字を修正できます。

文字を削除する

例：「高校野球の決勝戦」から「の」を削除する

- 1 /▲/▼/◀/▶で、フォーカスを入力文字表示エリアに移動する。


入力文字表示エリア



- 2 ◀/▶で、カーソルを削除する文字の左側に移動する。

高校野球の決勝戦


カーソルが右端にあるときは、カーソルの左側の文字が削除されます。

- 3 /▲/▼/◀/▶で、フォーカスを「削除」ボタンに移動して、で決定する。

高校野球決勝戦



文字を挿入する



例：「高校野球決勝戦」で「決勝戦」の前に「の」を挿入する

- 1 /▲/▼/◀/▶で、フォーカスを入力文字表示エリアに移動する。

- 2 ◀/▶で、カーソルを文字を入れたい位置に移動する。

高校野球決勝戦

- 3 /▲/▼/◀/▶で、フォーカスを挿入する文字ボタンに移動して、で決定する。

- 4 /▲/▼/◀/▶で、フォーカスを「確定」ボタンに移動して、で決定する。




高校野球の決勝戦





ソフトウェアキーボードで使えるリモコンのボタン

ソフトウェアキーボードを表示しているときに、リモコンの数字ボタンを使ったほうが簡単に操作できることがあります。

例：数字ボタンで「夢」を入力する

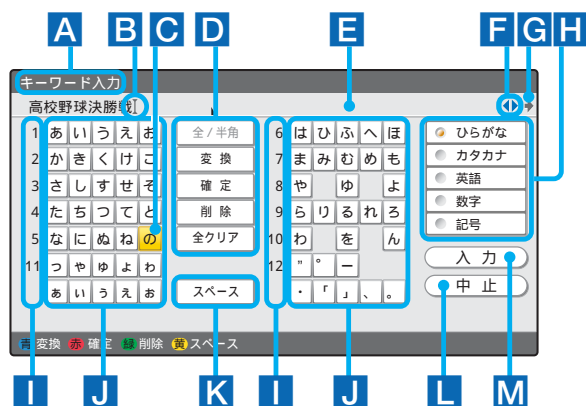
ソフトウェアキーボードの文字ボタンの行の左端に表示されている数字を見て、数字ボタンを押します。

- 1 「文字や記号を入力する」(79ページ)の手順1を行う。
- 2 数字ボタンの「8」を2回押して、で決定する。
入力文字表示エリアに「ゆ」と表示されます。
- 3 数字ボタンの「7」を4回押して、で決定する。
入力文字表示エリアに「ゆめ」と表示されます。
- 4 青ボタンを押して、で「夢」を選ぶ。
- 5 赤ボタンを押す。
- 6 80ページの手順7を行う。

ボタン	説明
	「ひらがな」入力、「カタカナ」入力のときは 入力した文字を漢字に変換します。 「変換」ボタンと同じ働き。 「英語」入力、「記号」入力のときは 全角文字と半角文字を切り換えます。 「全/半角」ボタンと同じ働き。
	「ひらがな」入力、「カタカナ」入力のときは 変換した文字を確定します。 「確定」ボタンと同じ働き。
	カーソルの右側の文字を削除します。 ただし、カーソルが右端にあるときは、左側の文字を削除します。 「削除」ボタンと同じ働き。
	カーソルの位置にスペース(空白)を入力します。 「スペース」ボタンと同じ働き。
① ② ③	キーボードの文字ボタンの行の左端に表示
④ ⑤ ⑥	されている数字を見て、数字ボタンで文字
⑦ ⑧ ⑨	を入力します。
⑩ ⑪ ⑫	

「ソフトウェアキーボード」画面について

ソフトウェアキーボード



- A** 入力する設定項目
- B** カーソル
- C** フォーカス
- D** 編集用ボタン
「全角 / 半角」: 英語や記号の全角、半角を切り換える。
「変換」: 入力した文字を漢字に変換する。
「確定」: 文字を確定する。
「削除」: カーソルの右側の文字を削除する。ただし、カーソルが右端にあるときは、左側の文字を削除する。
「全クリア」: 入力文字表示エリアにある文字をすべて削除する。
- E** 入力文字表示エリア
入力中の文字が表示されます。
▲の位置までの確定後の文字が、キーワードなどとして設定されます。▲を越えたときは、確定時に文字列の後が削除されます。
- F** ◀▶マーク
入力文字表示エリアでカーソルを移動できるときに表示されます。
- G** ◀/▶マーク
入力された文字が入力文字表示エリアに表示しきれないときに表示されます。カーソルを移動すると残りの文字が表示されます。
- H** 入力できる文字の種類を変えて、ソフトウェアキーボードを表示します。
- I** リモコンの数字ボタンを押すと、同じ数字の行にフォーカスが移動します。さらにくり返し押すとフォーカスが右に移動します。
- J** 文字ボタン
文字や記号を入力します。
- K** 「スペース」ボタン
スペース(空白)を入力します。
- L** 「中止」ボタン
文字入力を中止して元の画面に戻ります。入力文字表示エリアに表示されている文字は設定されません。
- M** 「入力」ボタン
入力した文字を確定してソフトウェアキーボードを消します。

放送局と情報を やりとりする[登録発呼]

データ放送で、クイズ番組に解答を送ったり、アンケートに投票するなど放送局と通信して楽しむときに、回線が混んでいて通信できないことがあります。そのようなときは登録しておく、あとで発信できます。また、発呼受付時間帯以外のものは予約しておく、発呼予定日時に自動的に発信されます。

番組によっては登録発呼ができないものもあります。

あらかじめ「データ放送のためのネットワークを設定する」(P163ページ)を行ってください。

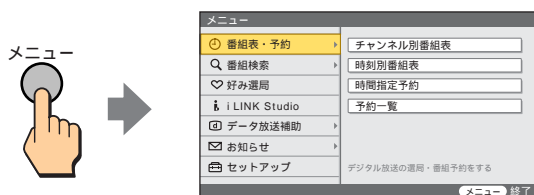
発呼を登録するには

データ放送で発呼登録ができることが表示されたときに登録します。

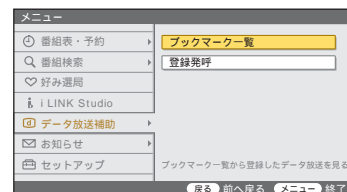
登録後に「登録発呼一覧」画面を表示すると、登録した内容を確認できます。

登録した発呼を実行する

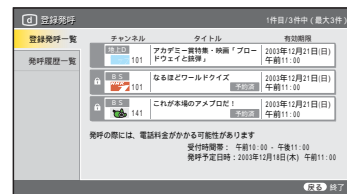
1 メニューボタンを押す。



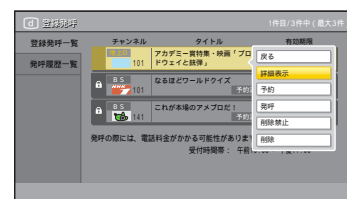
2 画面上で「データ放送補助」を選んで、画面右下の「決定」ボタンで決定する。



3 画面上で「登録発呼」を選んで、画面右下の「決定」ボタンで決定する。



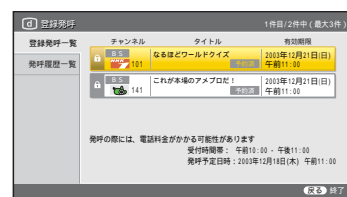
4 画面上で発呼する番組を選んで、画面右下の「決定」ボタンで決定する。サブメニューが表示されます。



5 画面上で「発呼」を選んで、画面右下の「決定」ボタンで決定する。



6 「発呼する」が選ばれていることを確認して、画面右下の「決定」ボタンで決定する。発呼が終わると、発呼した項目が登録発呼一覧から削除され、発呼履歴へ移動します。



7 戻るボタンを押して、「登録発呼一覧」画面を消す。

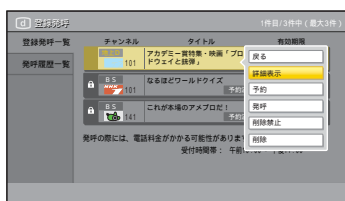


発呼を予約するには

予約しておく、発呼予定日時に自動的に発呼されます。

1 「登録した発呼を実行する」(☎82ページ)の手順1～3を行って「登録発呼一覧」画面を出す。

2 ➡/📺で予約したい番組を選んで、📺で決定する。
サブメニューが表示されます。



3 📺で「予約」を選んで、📺で決定する。

4 戻るボタンを押して、「登録発呼一覧」画面を消す。
予約発呼が行われるときは予約発呼を実行するメッセージが表示されます。

サブメニューからできること

サブメニューは「登録発呼一覧」画面で、📺で番組を選んで、📺で決定すると表示できます。

項目	できること
「戻る」	サブメニューを消して、他の番組を選べます。
「詳細表示」	詳細情報を見ることができます(☎84ページ)。
「発呼」 または	発呼受付期間中の番組は、すぐに発呼します(☎82ページ)。
「発呼中止」	発呼中は発呼を取り消せます。
「予約」 または	発呼受付開始前の番組は、発呼の予約ができます。
「予約取消」	予約済みの番組は、予約を取り消せます。
「削除禁止」 または	項目の削除を禁止します。有効期限が切れても、削除できません。
「削除禁止解除」	すでに🔒マークのついているものは、削除禁止を解除します。
「削除」	登録発呼一覧から削除します。

発呼履歴を見るには

発呼、予約発呼の結果を確認できます。

「登録発呼一覧」画面で、📺/🔍で「発呼履歴一覧」を選びます。

「発呼履歴一覧」画面が表示されます。

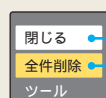


ツール



ツールを使う(☎2-3ページ)

「発呼履歴一覧」画面表示中にツールボタンを押すと...



→ ツールを消す。

→ 「発呼履歴一覧」画面に表示されている発呼をすべて削除する。

放送局と情報をやりとりする [登録発呼](つづき)

「登録発呼一覧」画面について

内容に変更があったときのみ更新されます。

削除禁止マーク
削除禁止にしていると、有効期限を過ぎても、削除できません。

「発呼履歴一覧」画面を表示します。

カーソル(選ばれているところ)

操作ガイド表示欄
登録発呼一覧を表示中にリモコンを使ってできることをガイド表示します。

予約済マーク
登録件数(最大3件)
有効期限
有効期限を過ぎると、発呼されなかった番組は削除されます。

発呼予定日時/受付時間帯
カーソルで選んでいる番組の
発呼予定日時(予約設定時のみ)と受付時間帯。

ガイド表示部
エラーメッセージなど。

「発呼履歴一覧」画面について

内容に変更があったときのみ更新されます。

「登録発呼一覧」画面を表示します。

「結果」
発呼が成功したかどうかを表示します。
▲：発呼失敗

操作ガイド表示欄
発呼履歴一覧を表示中にリモコンを使ってできることをガイド表示します。

通信日時または「有効期限切れ」表示

▲：前ページへ切り換えます。
●：次ページへ切り換えます。

「登録発呼 - 詳細表示」画面について

番組補足情報
番組についての補足情報。

視聴者へのお知らせ
放送局から視聴者へのお知らせ。

「予約済」
発呼予約済みです。

「閉じる」
「登録発呼 - 詳細表示」画面を消して、「登録発呼一覧」画面に戻ります。

お気に入りのデータ 放送を登録する [ブックマーク]

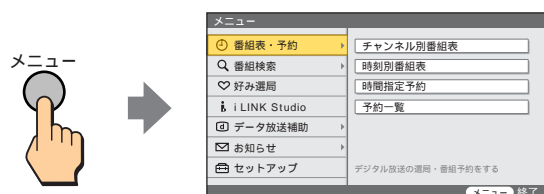
データ放送によってはブックマークを登録できます。お気に入りのデータ放送を登録しておくと、「ブックマーク一覧」画面で選ぶだけで切り換えられます。

ブックマークを登録するには

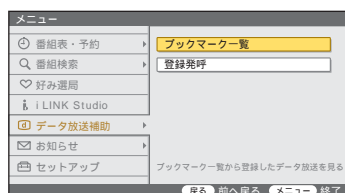
データ放送上の「お気に入りに追加する」などの項目を選びます。

登録したデータ放送などに リンクする

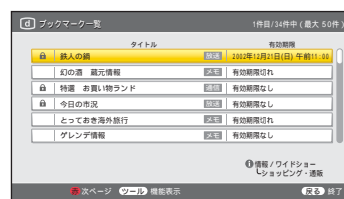
1 メニューボタンを押す。



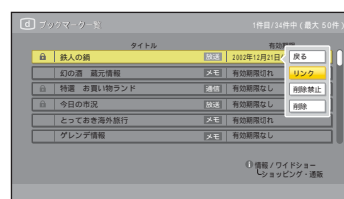
2 ④で「データ放送補助」を選んで、⑤で決定する。 「データ放送補助」は④を下に回すと表示されます。



3 ⑥で「ブックマーク一覧」を選んで、⑦で決定する。



4 ⑧でリンク先を選んで、⑨で決定する。 サブメニューが表示されます。



5 ⑩で「リンク」を選んで、⑪で決定する。 「ブックマーク一覧」画面が消えて、データ放送の画面に切り換わります。

ご注意

「メモ」を選んだときは「リンク」は選べません。

サブメニューからできること

サブメニューは「ブックマーク一覧」画面で、リンク先を選ぶと表示できます。

項目	できること
「戻る」	サブメニューを消して、他のリンク先を選べます。
「リンク」	選んだデータ放送に切り換わります。
「削除禁止」 または 「削除禁止解除」	削除できないようにします。 すでに🔒マークのついているものは、 削除禁止を解除します。
「削除」	ブックマーク一覧から削除します。

デジタル放送のその他の機能

次のページにつづく

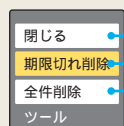
お気に入りのデータ放送を登録する [ブックマーク](つづき)

ツール



ツールを使う (2-3ページ)

「ブックマーク一覧」画面表示中に
ツールボタンを押すと



ツールを消す。

有効期限の切れているブックマークを
すべて削除する。

「ブックマーク一覧」画面に表示されて
いるブックマークをすべて削除する。

「ブックマーク一覧」画面に ついて

ブックマークタイトル

有効期限
有効期限を過ぎたものは
リンクできません。

削除禁止
マーク

リンク先の種類
放送/メモ/通信

登録件数
1件目/34件中 (最大 50件)

ブックマークの詳細説明
選んでいるブックマークに
ついての情報を表示しま
す。

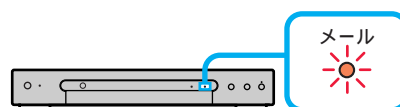
ジャンル表示部
選んでいるリンク先の
ジャンル。

操作ガイド表示欄
ブックマーク一覧を表示中にリモコンを使っ
てできることをガイド表示します。
青 : 前ページへ切り換えます。
赤 : 次ページへ切り換えます。

放送局からの お知らせを見る [メール・ボード]

お客様に宛てた、放送局や本機からのお知らせ
(メール)や、110度CSデジタルの利用者全員
へ共通のお知らせ、番組案内など(ボード)を
見ることができます。

新しいメールや未読のメールがあるときは、本
機前面のメールランプが点灯します。

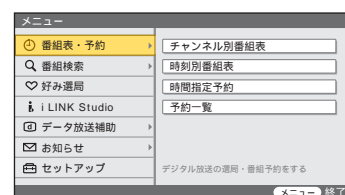


1 ボードを見るときは、CSボタン
を押して、CS1またはCS2に切
り換える。

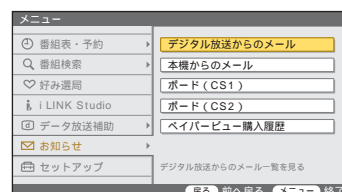


メールを見るときは、この操作は不要で
す。

2 メニューボタンを押す。



3 青で「お知らせ」を選んで、
決定する。



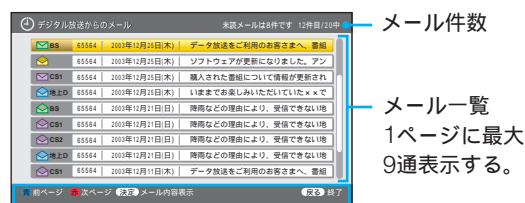
4

☰で「デジタル放送からのメール」、「本機からのメール」、「ボード (CS1)」または「ボード (CS2)」を選んで、☑で決定する。

「デジタル放送からのメール」または「本機からのメール」を選んだときは

メールを一覧表示します。

「デジタル放送からのメール」は合計31通まで、「本機からのメール」は10通まで保管します。



操作ガイド表示欄

リモコンを使ってできることをガイド表示します。

🔵：前ページへ切り換えます。

🔴：次ページへ切り換えます。

メールマークの意味

📧 (既読)：すでに読んだメール

📧 (未読)：まだ読んでいないメール

📧：本機からのメール

📧 地上D：地上デジタルからのメール

📧 BS：BSデジタルからのメール

📧 CS1：CS1 (プラットフォーム)からのメール

📧 CS2：CS2 (SKY PerfecTV! 2)からのメール

ご注意

- 既読メールの古い順から削除され、新しいメールを追加します。既読メールがないときは、未読メールの古い順から削除されます。
- i.LINKダビング(📄101ページ)についてのメールは、次のダビングを実行すると、未読であっても削除されます。
- メールはお客様自身で削除できません。

「ボード (CS1)」または「ボード (CS2)」を選んだときは
ボードを一覧表示します。



操作ガイド表示欄

リモコンを使ってできることをガイド表示します。

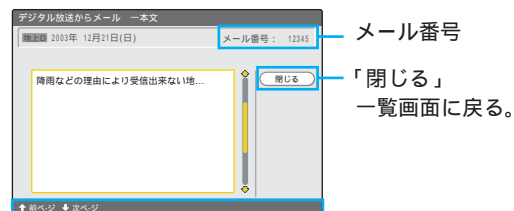
🔵：前ページへ切り換えます。

🔴：次ページへ切り換えます。

5

☰で見たいメールまたはボードを選んで、☑で決定する。

例：メールを選んだとき



操作ガイド表示欄

リモコンを使ってできることをガイド表示します。

🔼：前ページへ切り換えます。

🔽：次ページへ切り換えます。

6

読み終わったら➡で「閉じる」を選んで、☑で決定する。

7

戻るボタンを押して、一覧画面を消す。



アイリンク i.LINKで操作する アイリンク スタジオ [i.LINK Studio]

ここでは、本機のi.LINK操作画面を使って、デジタル放送を録画やダビングしたり、録画した映像を再生する操作およびi.LINK機器の設定について説明しています。

本機でi.LINK操作できる機器について	90
ハードディスクレコーダー	90
D-VHS	91
デジタルビデオカメラレコーダー	91
ハードディスクレコーダーの 操作画面について (HDR)	92
D-VHSの操作画面について (D-VHS)	93
デジタルビデオカメラレコーダーの 操作画面について (CAM)	94
i.LINKでデジタル再生する	95
ハードディスクレコーダーやD-VHSで再生する [i.LINKボタン]	95
「再生リスト」画面について (HDR)	97
デジタルビデオカメラレコーダーの映像を 再生する [i.LINKボタン]	98
i.LINKでデジタル録画する	99
ハードディスクレコーダーやD-VHSで録画する [i.LINKボタン]	99
ハードディスクレコーダーからD-VHSに ダビングする	101
映像や音声だけをやりとりする [i.LINKボタン]	104
その他のi.LINK機器の操作画面について (OTHER) ...	105
i.LINK対応機器の設定をする	106
i.LINK機器の登録を変更する [登録変更]	106
LINC中のi.LINK対応機器をいったん解除するときは [LINC解除]	107
「接続機器選択」画面について	108
電源スタンバイ時に本機を中継してデジタル信号の やりとりをするには [i.LINK待機設定]	109

本機でi.LINK操作 できる機器について

本機では、次のi.LINK対応機器を操作できます
(2003年8月現在)
あらかじめ、「i.LINKでの接続」(92ページ)
を行ってください。

ハードディスクレコーダー

ソニー製ハードディスクレコーダーVRP-T1/
VRP-T3*1などです。

*1 ソニー製のデジタル レコーディング ハードディスクド
ライブ(Digital Recording HDD)のことです。

D-VHSビデオ

2003年8月現在推奨機種

日本ビクター製デジタルハイビジョンビデオ
HM-DHX1/HM-DHS1、HM-DH35000(生産
完了品)です。

この製品に関するお問い合わせ

日本ビクター株式会社

お客様ご相談センター

TEL. 0120-282-817(フリーダイヤル)

携帯電話やPHSなどから

東京 : TEL. 03-5684-9311

大阪 : TEL. 06-6765-4161

受付時間 : 月 ~ 金曜日 9 : 00 ~ 17 : 00(祝祭日
を除く)

ご注意

上記推奨機種以外のD-VHSビデオを本機につないでも、正しく動作しない場合があります。

デジタルビデオカメラレコーダー

ソニー製MICROMV方式デジタルビデオカメラ
レコーダーなどです。

ご注意

DV方式の機器には対応していません。

本機が対応していないi.LINK対応機器

次のi.LINK対応機器は、本機が対応していない
ため、つながないでください。

- パソコン
- MDデッキ
- DV方式デジタルビデオカメラレコーダー
- DVデッキ

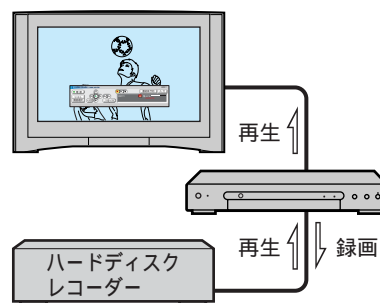
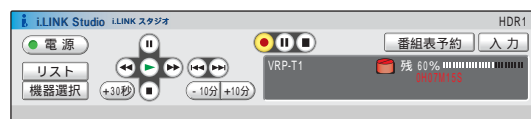
ハードディスクレコーダー

「i.LINK Studio」操作画面(92ページ)で
は、「HDR」と表示されます。

なお、i.LINK端子のないソニー製ハードディスクビデオ
レコーダーClip-Onなどは、i.LINK対応機器でない
ため、つなげません。



押す。
(もう1度押すと消える。)



→ : 映像・音声信号の流れ

D-VHS

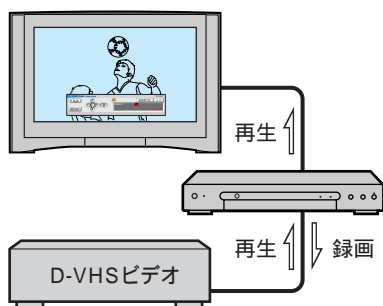
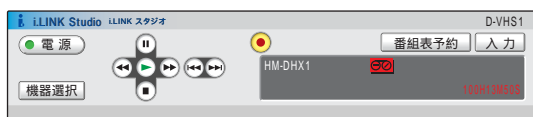
「i.LINK Studio」操作画面(93ページ)では、「D-VHS」と表示されます。

ご注意

- D-VHSビデオによっては、本機の操作画面で操作できないことがあります。
- D-VHSビデオによっては、放送を録画できないことがあります。
- ソニー製D-VHSビデオデッキSLD-DC1は、本機の操作画面で操作できますが、デジタルハイビジョン信号 **HD** は録画できません。



押す。
(もう1度押すと消える。)



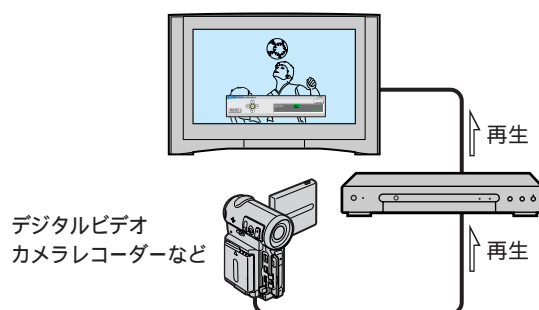
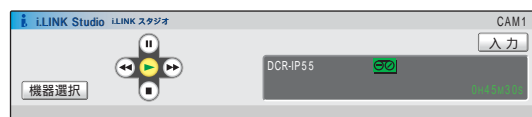
⇒ : 映像・音声信号の流れ

デジタルビデオカメラレコーダー

「i.LINK Studio」操作画面(94ページ)では、「CAM」と表示されます。



押す。
(もう1度押すと消える。)

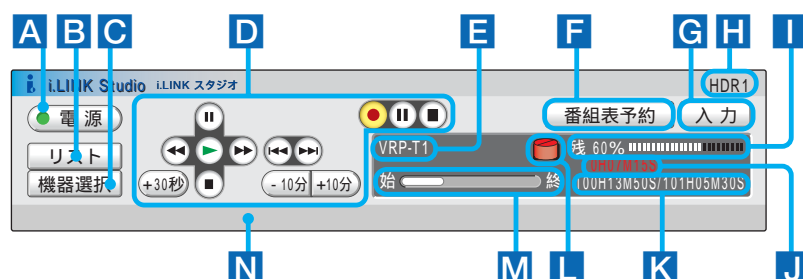


⇒ : 映像・音声信号の流れ

本機でi.LINK操作できる機器について(つづき)

ハードディスクレコーダーの操作画面について(HDR)

「i.LINK Studio」(HDR)操作画面



A 「電源」ボタン

ハードディスクレコーダーの電源を入/切します(電源が入っているときは、左のランプが緑色に点灯します)。

ソニー製ハードディスクレコーダーVRP-T1/VRP-T3をお使いのときは

リモコンまたは本体の電源ボタンで電源を切ると、約10分後にハードディスクレコーダーVRP-T1/VRP-T3の電源も自動的に切れます。

B 「リスト」ボタン

LINC中のハードディスクレコーダーに録画された番組のリストを表示します(97ページ)。

C 「機器選択」ボタン

「接続機器選択」画面に切り換え、接続(LINC)機器を選びます。

D 操作ボタン

接続機器を操作するときに使います。
 で選んで、 で決定します。

操作	操作画面上のボタン
録画	
録画一時停止	
録画停止	
再生	
再生停止	
再生一時停止	
早送り再生	
早戻し再生	
次の番組の前回再生した位置から再生	*2
今の番組を頭出し	*1、*2
10分早送り	*2
10分早戻し	*2
30秒早送り	*2

*1 番組再生開始直後に押すと、その前の番組の前回再生した位置から再生します。

*2 停止中に押すと、その位置から再生を始めます。

E ハードディスクレコーダーの製品名

F 「番組表予約」ボタン

チャンネル別番組表を表示して録画予約の設定に進めます(9101ページ)。

G 「入力」ボタン

ハードディスクレコーダーが再生以外に出力するチューナーなどの映像を見るときに使います。

ソニー製ハードディスクレコーダーVRP-T1/VRP-T3をお使いのときは

再生以外に出力するチューナーはありません。

H 接続機器表示

現在LINCしている機器が表示されます。

I ハードディスクレコーダーの残り容量

残 60%
 空容量 記録済容量

J 録画時間

録画開始からの位置を表示します。

0H00M00S
 時間 分 秒

K 再生経過時間/総時間

番組ごとの再生開始からの時間と総時間を表示します。

L ハードディスクレコーダーの状態

: 停止時
 (回転) : 録画時
 (点滅) : 録画一時停止時
 (回転) : 再生時
 (点滅) : 再生一時停止時
 : 録画/再生同時動作中
 表示無し : 電源が入っていない

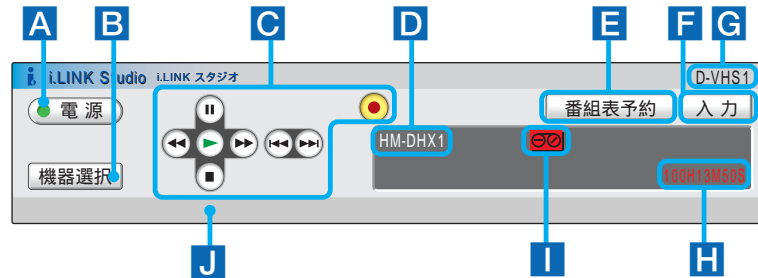
M 現在再生している番組の再生位置

始 終
 再生位置

N メッセージ表示部

D-VHSの操作画面について(D-VHS)

「i.LINK Studio」(D-VHS)操作画面



A 「電源」ボタン

D-VHSビデオの電源を入/切します(電源が入っているときは、左のランプが緑色に点灯します)。

B 「機器選択」ボタン

「接続機器選択」画面に切り換え、接続(LINK)機器を選びます。

C 操作ボタン

接続機器を操作するときに使います。
 で選んで、 で決定します。

操作	操作画面上のボタン
録画	
再生	
停止	
一時停止	
早送り再生	*1
早戻し再生	*1
早送り(停止中)	
早戻し(停止中)	
次の番号を頭出し	
今の番号を頭出し	*2

*1 押しても映像がすぐに出ないことがあります。

*2 番組再生開始直後に押すと、ひとつ前の番組の頭出しになります。また、D-VHSビデオの機種によっては正しく動作しないことがあります。

D D-VHSビデオの製品名

E 「番組表予約」ボタン

チャンネル別番組表を表示して録画予約の設定に進めます(④101ページ)。

F 「入力」ボタン

D-VHSビデオが再生以外に出力するチューナーなどの映像を見るときに使います(選局すると解除されます)。

G 接続機器表示

現在LINKしている機器が表示されます。

H 録画、再生経過時間

0H00M00S
 時間 分 秒

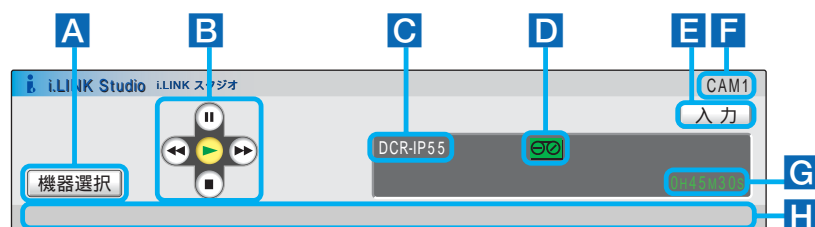
I D-VHSビデオの状態

: 停止時
 (回転) : 録画時
 (点滅) : 録画一時停止時
 (回転) : 再生時
 (点滅) : 再生一時停止時
表示無し : テープが入っていない

J メッセージ表示部

本機でi.LINK操作できる機器について(つづき)

デジタルビデオカメラレコーダーの操作画面について(CAM)



A 「機器選択」ボタン

「接続機器選択」画面に切り換え、接続(LINC)機器を選びます。

B 操作ボタン

接続機器を操作するときに使います。

■/▶/◀/▶で選んで、決定で決めます。

操作	操作画面上のボタン
再生	▶
再生停止	■
再生一時停止	⏸
早送り再生	⏩
早戻し再生	⏪
早送り(停止中)	⏩
早戻し(停止中)	⏪

C デジタルビデオカメラレコーダーの製品名

D デジタルビデオカメラレコーダーの状態

⏸ : 停止時

▶ (回転) : 再生時

▶ (点滅) : 再生一時停止時

⏺ : 録画時

⏺ (点滅) : 録画一時停止時

表示無し : LINCしているデジタルビデオカメラレコーダーの電源が入っていないとき、または、デジタルビデオカメラレコーダーにカセットテープが入っていないとき

E 「入力」ボタン

デジタルビデオカメラレコーダーが映している映像を本機で見ることができます。

デジタルビデオカメラレコーダーで撮影中は、その映像が本機の画面に表示されます。本機のデジタル放送を録画しているわけではありません。

F 接続機器を表示

現在LINCしている機器が表示されます。

G 再生経過時間

0H00M00s

時間 分 秒

H メッセージ表示部

i.LINKでデジタル再生する

本機の「i.LINK Studio」操作画面で、再生の操作ができます。

あらかじめ、i.LINK対応機器の接続と設定を行っておいてください(106、189ページ)。

ハードディスクレコーダーやD-VHSで再生する[i.LINKボタン]

「i.LINK Studio」操作画面を使って、デジタル録画した番組を再生します。

また、ハードディスクレコーダーの「再生リスト」画面から番組を選んで、再生できます。

1 i.LINKボタンを押す。

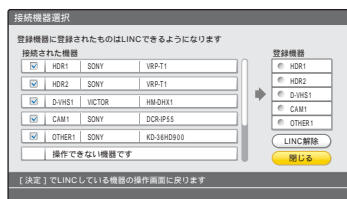
「i.LINK Studio」操作画面が表示されます。



2 再生する機器を選ぶ。

1 「機器選択」ボタンが選ばれていることを確認して、決定

「接続機器選択」画面が表示されます。



2 決定

「HDR」または「D-VHS」を1台選んで、決定

「LINC中です」と表示され、選んだ「HDR」または「D-VHS」に○が付きます。

すでにLINC中のときは、「LINC中です」は表示されません。



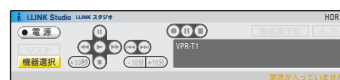
* LINCについて詳しくは、「i.LINK(アイリンク)について」(190ページ)をご覧ください。

6台以上のi.LINK対応機器をつないでいて、使おうとしている機器が表示されていないときは登録機器を変更してください(106ページ)。

3 決定

選んだ機器の「i.LINK Studio」操作画面が表示されます。

HDR操作画面



D-VHS操作画面



i.LINKでデジタル再生する (つづき)

- 3** で「電源」ボタンを選んで、 で決定する。
LINCした機器の電源が入り、●が付きます。

HDR操作画面



D-VHS操作画面



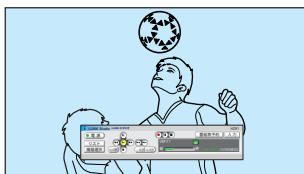
「電源」ボタン
電源が入ると緑色に点灯します。

D-VHSで
電源を入れてもマークが表示されてないときは
D-VHSビデオのテープが正しく入っていません。
確認してください。

すでに「電源」ボタンに●が付いていたときは

この操作は必要ありません。次に進んでください。

- 4** / / で (再生) ボタンを選んで、 で決定する。
録画した番組があれば、再生が始まり、本機前面表示窓に「i.LINK」と表示されます。
再生中の操作については⑨2、93ページをご覧ください。



☝ちょっと一言

再生中に番組説明ボタンを押すと、「番組説明」画面が表示されます。ただし、「サービスタイプ」や「コピーコントロール」などの番組情報は表示されません。

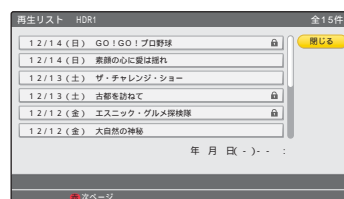
「i.LINK Studio」操作画面を消すときはもう1度、i.LINKボタンを押す。

ハードディスクレコーダーに録画した番組のリストからデジタル再生するときは

- 1** 「ハードディスクレコーダーやD-VHSで再生する[i.LINKボタン]」(⑨95ページ)の手順1～3を行う。

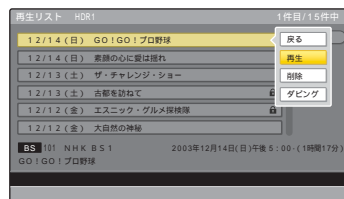
- 2** で「リスト」ボタンを選んで、 で決定する。

「再生リスト」画面

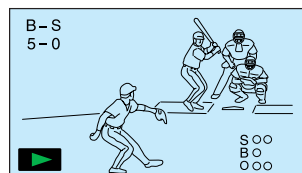


「再生リスト」画面について詳しくは、⑨97ページをご覧ください。

- 3** / / で再生したい番組を選んで、 で決定する。
サブメニューが表示されます。

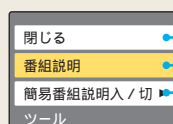


- 4** で「再生」を選んで、 で決定する。
選んだ番組が前回再生した位置から始まり、マークが約3秒間表示されます。



ツールを使う (⑨2-3ページ)

i.LINKで再生中にツールボタンを押すと...

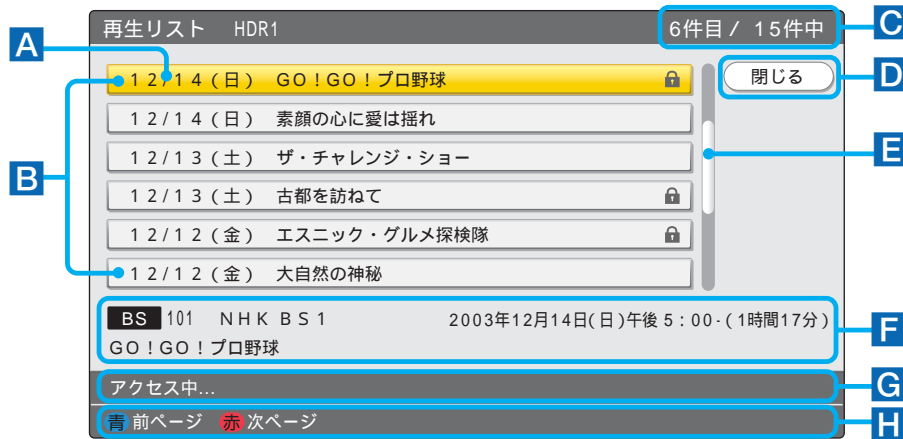


ツールを消す。

i.LINKで視聴中の番組の番組説明を見る (⑨24ページ)。

画面表示ボタンを押したときに、簡単な番組説明を表示するかを設定する (⑨21ページ)。

「再生リスト」画面について(HDR)



A カーソル(選ばれているところ)

黄色で表示され、リモコンの で移動できます。

B 番組のタイトルと放送日

リモコンの で前後の番組を表示できます。

: 削除禁止にしている番組

C 録画件数

カーソルで選んでいる項目の順番と総件数を表示します。
「閉じる」にカーソルがあるときは、総件数のみ表示します。

D 「閉じる」ボタン

ハードディスクレコーダー(HDR)の「i.LINK Studio」操作画面に戻ります。

E スクロールバー

カーソルで選ばれている番組の全体件数に対する位置を示します。

F 番組情報欄

(カーソル) で選んでいる番組の情報です。

G メッセージ表示部

H 操作ガイド表示欄

再生リスト表示中にリモコンを使ってできることをガイド表示します。

ハードディスクレコーダーのリストから 不要な番組を削除するには

1 「ハードディスクレコーダーやD-VHSで再生する[i.LINKボタン]」() (95ページ)の手順1～3を行う。

2 で「リスト」ボタンを選んで、 で決定する。

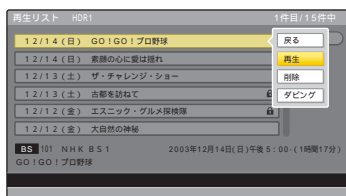
「再生リスト」画面が表示されます。

ご注意

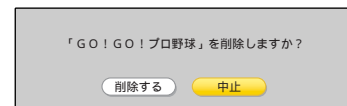
- 録画中は、「リスト」ボタンを選んでも「再生リスト」画面を表示できません。
- 再生中は「再生リスト」画面を表示できますが、削除の操作はできません。

3 / で削除したい番組を選んで、 で決定する。

サブメニューが表示されます。



4 で「削除」を選んで、 で決定する。



5 で「削除する」を選んで、 で決定する。
「再生リスト」画面に戻り、リストから番組が削除されます。

6 で「閉じる」ボタンを選んで、 で決定する。
「i.LINK Studio」(HDR)操作画面に戻ります。

7 i.LINKボタンを押して、「i.LINK Studio」(HDR)操作画面を消す。

ご注意


「再生リスト」画面表示中に予約が実行されると、自動的に「再生リスト」画面は終了し操作できません。

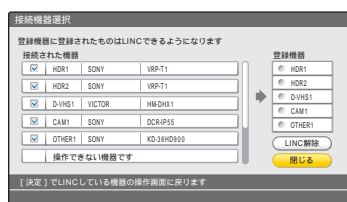
次のページにつづく




i.LINKでデジタル再生する (つづき)

デジタルビデオカメラレコーダー の映像を再生する[i.LINKボタン]

デジタルビデオカメラレコーダーなどに録画された映像を本機でデジタル再生できます。
本機で受信中のデジタル放送は、i.LINK接続しても上記の機器にデジタル録画できません。

- 1 デジタルビデオカメラレコーダーの電源スイッチをビデオモードにする。
- 2 i.LINKボタンを押す。
「i.LINK Studio」操作画面が表示されます。
- 3 再生する機器を選ぶ。
 - 1 「機器選択」ボタンが選ばれていることを確認して、で決定する。
「接続機器選択」画面が表示されます。





- 2 でLINC*したい(操作したい)「CAM」を1台選んで、で決定する。
「LINC中です」と表示され、選んだ「CAM」にが付きまゝす。
すでにLINC中のときは、「LINC中です」は表示されません。








* LINCについて詳しくは、「i.LINK(アイリンク)について」(P190ページ)をご覧ください。

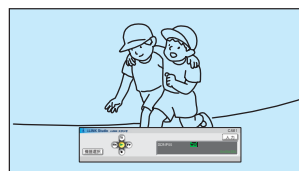
6台以上のi.LINK対応機器をつないでいて、使おうとしている機器が表示されていないときは登録機器を変更してください(P106ページ)。

- 3 で「閉じる」を選んで、で決定する。
選んだ機器の「i.LINK Studio」操作画面が表示されます。



が表示されないときはデジタルビデオカメラレコーダーのカセットが正しく入っているかを確認してください。

- 4 //で(再生)ボタンを選んで、で決定する。
再生が始まり、本機前面表示窓に「i.LINK」と表示されます。
再生中の操作についてはP94ページをご覧ください。



「i.LINK Studio」操作画面を消すときはもう1度、i.LINKボタンを押す。

i.LINKでデジタル録画する

本機の「i.LINK Studio」操作画面で、録画の操作ができます。

あらかじめ、i.LINK対応機器の接続と設定を行っておいてください(106、189ページ)。

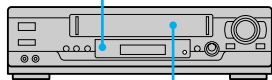
ハードディスクレコーダーやD-VHSで録画する [i.LINKボタン]

「i.LINK Studio」操作画面(92、93ページ)を使って、受信中のデジタル放送をハードディスクレコーダーやD-VHSビデオにデジタル録画します。

- デジタル放送を録画予約するときは、 49、51、53、55ページをご覧ください。
- デジタル放送は、つないだ機器によっては録画できないことがあります。

D-VHSビデオを操作する前に、D-VHSビデオの準備をしてください。

録画モード
HS/STD/LS3モードなど
詳しくは、D-VHSビデオの取扱説明書をご覧ください。



録画したい部分まで
テープを頭出しする。

つめの付いたD-VHSテープを入れる。
VHSテープにはデジタル録画できません。

1 録画したいデジタル放送のチャンネルを選ぶ。

詳しくは 12、16ページをご覧ください。

2 i.LINKボタンを押す。

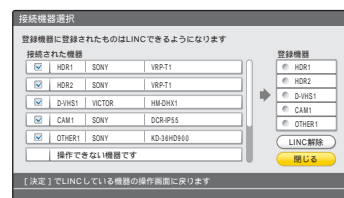
「i.LINK Studio」操作画面が表示されます。




3 録画する機器を選ぶ。


- 「機器選択」ボタンが選ばれていることを確認して、で決定する。

「接続機器選択」画面が表示されます。



- でLINC*したい(操作したい)

「HDR」または「D-VHS」を1台選んで、で決定する。

「LINC中です」と表示され、選んだ「HDR」または「D-VHS」にが付きます。

すでにLINC中のときは、「LINC中です」は表示されません。





LINCしている機器

* LINCについて詳しくは、「i.LINK(アイリンク)」について(190ページ)をご覧ください。

6台以上のi.LINK対応機器をつないでいて、使おうとしている機器が表示されていないときは登録機器を変更してください(106ページ)。

i.LINKでデジタル録画する (つづき)

- 3 で「閉じる」を選んで、で決定する。



選んだ機器の「i.LINK Studio」操作画面が表示されます。

HDR操作画面



D-VHS操作画面



- 4 で「電源」ボタンを選んで、で決定する。

LINCした機器の電源が入り、●が付きます。


HDR操作画面





D-VHS操作画面



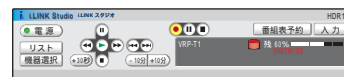
「電源」ボタン
電源が入ると緑色に点灯します。

D-VHSで
電源を入れてもマークが表示されていないときは
D-VHSビデオのテープが正しく入っていません。
確認してください。

すでに「電源」ボタンに●が付いていたときは
この操作は必要ありません。次に進んでください。

- 5 /◀▶で●(録画)ボタンを選んで、で決定する。
録画が始まります。
録画中の操作については92、93ページをご覧ください。

HDR操作画面



D-VHS操作画面



HDRで
「ディスクがいっぱいです」と表示されるときは
ハードディスクレコーダーに空き容量がありません。不要な番組を削除してください(97ページ)。

D-VHSで
「テープが入っていません」、「録画できません」、「デジタル録画できないテープです」と表示されるときは
D-VHSビデオに、つめの付いた、デジタル録画用のテープを入れてください。

「コピープロテクションにより録画できません」と表示されるときは
録画できない番組です。

録画中のご注意

- デジタル放送の操作(例: デジタル放送のチャンネル切換など)はできません。
- リモコンや本機の電源ボタンで、電源を切らないでください。
- i.LINK対応機器のケーブルを抜き差ししたり、つないでいるi.LINK対応機器の電源を入/切したりしないでください。

録画を途中でやめるときは

HDR操作画面のとき

➡で●(録画停止)ボタンを選んで、■で決定する。



D-VHS操作画面のとき

↔で●(停止)ボタンを選んで、■で決定する。



「i.LINK Studio」操作画面を消すときは
i.LINKボタンを押す。

「i.LINK Studio」操作画面から録画予約するときは

- 1 「ハードディスクレコーダーやD-VHSで録画する[i.LINKボタン]」(㊦99ページ)の手順1～4を行う。

HDR操作画面



番組表予約

D-VHS操作画面



- 2 ■/↔で「番組表予約」ボタンを選んで、■で決定する。
- 3 ■で録画予約したい番組を選んで、■で決定する。
サブメニューが表示されます。

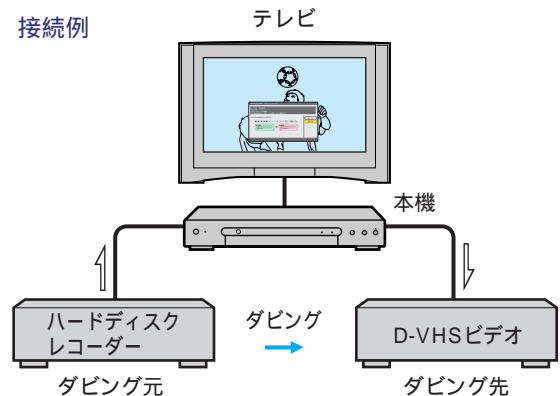


- 4 録画予約の方法を選んで、■で決定する。
録画予約の操作について詳しくは、㊦49、51ページをご覧ください。

ハードディスクレコーダーからD-VHSにダビングする

本機のi.LINK操作画面で、ハードディスクレコーダーの「再生リスト」画面にある番組を、D-VHSビデオにダビングできます。
あらかじめ、ハードディスクレコーダーとD-VHSビデオの接続と設定、D-VHSテープの頭出しをしておいてください(㊦106、192、193ページ)。

接続例



→：信号の流れ

ご注意

- ダビングができるのは、ハードディスクレコーダーからD-VHSへのみです。
- コピープロテクション(㊦67、190ページ)が設定されている地上デジタルやBSデジタル、110度CSデジタル放送の番組は、ダビングできません。
- 録画予約実行中、i.LINK録画中は、ダビングできません。
- ダビング中に予約した番組が始まったときは、その予約は取り消されます。ダビングを始める前に、「予約一覧」画面(㊦62ページ)で予約の状況を確認してください。
- VHSテープには、デジタル録画できません。
- D-VHSビデオにオートリンク機能があるときは「切」にしておいてください。


- 1 i.LINKボタンを押す。
「i.LINK Studio」操作画面が表示されます。

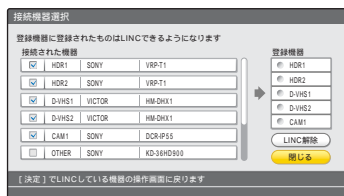





次のページにつづく

ハードディスクレコーダーから D-VHSにダビングする(つづき)

2 ダビングしたい番組が録画されている「HDR」を選ぶ。

- 1 「機器選択」ボタンが選ばれていることを確認して、で決定する。
「接続機器選択」画面が表示されます。





- 2 でLINC*したい(操作したい)「HDR」を1台選んで、で決定する。
「LINC中です」と表示され、選んだ「HDR」にが付きます。
すでにLINC中のときは、「LINC中です」は表示されません。






* LINCについて詳しくは、「i.LINK(アイリンク)について」(P190ページ)をご覧ください。

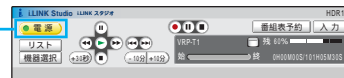
6台以上のi.LINK対応機器をつないでいて、使おうとしている機器が表示されていないときは登録機器を変更してください(P106ページ)。

- 3 で「閉じる」を選んで、で決定する。
選んだ機器の「i.LINK Studio」操作画面が表示されます。





- 3 で「電源」ボタンを選んで、で決定する。

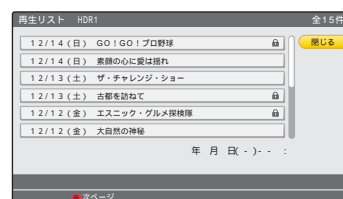
LINCした機器の電源が入り、が付きます。





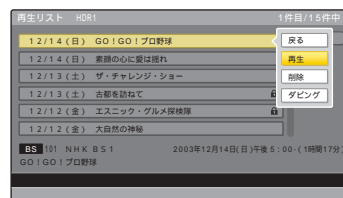
「電源」ボタン
電源が入ると緑色に点灯します。



4 ダビングする番組を選ぶ。

- 1 で「リスト」ボタンを選んで、で決定する。
「再生リスト」画面が表示されます。



- 2 でダビングしたい番組を選んで、で決定する。
サブメニューが表示されます。



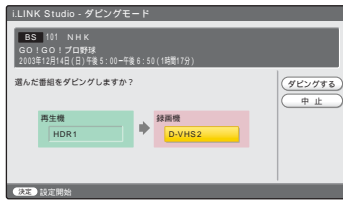
- 3 で「ダビング」を選んで、で決定する。
「ダビングモード」画面が表示されます。



「予約が入っています ダビング中に始まった予約は取り消されます 選んだ番組をダビングしますか?」と表示されたときは「予約一覧」画面(P62ページ)で予約状況を確認してください。

5 ダビング先の機器を選ぶ。

- 1 ◀で「録画機」を選んで、▶で決定する。



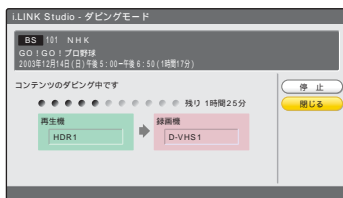
- 2 ▶で録画する「D-VHS」を選んで、▶で決定する。



6 ▶で「ダビングする」を選んで、▶で決定する。

「ダビングできるか確認中です」とメッセージが表示されたあと、ダビングが始まり、「ダビングモード」実行画面が表示されます。

本機前面の表示窓に「i.LINK」と表示されます。



「操作できる録画機が1台もありません」と表示されたときは

録画するD-VHSビデオを登録してください
(8106ページ)。

「XXXに入っているテープはデジタル録画できないテープです」または「XXXにテープが入っていません」と表示されたときは
つめの折れていない、デジタル録画用のテープを入れてください。

i.LINK再生中の番組を選んだときは
番組の先頭に戻ってダビングが始まります。

ダビング中は

ダビング中のご注意

電源ボタンで電源を切り、電源スタンバイ(電源/スタンバイランプが赤色に点灯)にしても、ダビングはそのまま実行されます。

「ダビングモード」実行画面を消すには

▶で「閉じる」ボタンを選んで▶で決定するか、チャンネルを切り換えます。

「ダビングモード」実行画面を表示するときは、もう1度i.LINKボタンを押します。

ダビング中にダビングが中断されたときは

「ダビングモード」画面表示中は、画面にエラーメッセージが表示され、キャンセルメールが発行されます。「ダビングモード」画面を表示していなかったときは、ダビングが正しく実行されたかをメール(86ページ)で確認してください。



エラーメッセージ

ダビングが終了すると

「再生リスト」画面に戻ります。

引き続き他の番組をダビングするときは
「ハードディスクレコーダーからD-VHSにダビングする」
(8102ページ)の手順4-2~6を行ってください。

「i.LINK Studio」操作画面を消すときは
もう1度、i.LINKボタンを押してください。

ハードディスクレコーダーから D-VHSにダビングする(つづき)

ダビングを途中で止めるときは

- 1 で「停止」を選んで、で決定する。
「ダビングを停止しますか?」と確認のメッセージが表示されます。
- 2 で「停止する」を選んで、で決定する。
ダビングが中止され、ダビング停止処理を行ったあと、「再生リスト」画面が表示されます。

映像や音声だけを やりとりする [i.LINKボタン]

「i.LINK Studio」操作画面で「OTHER」と表示されるi.LINK機器は、本機で録画や再生の操作はできませんが、映像や音声の信号を送受信することができます。その他の操作は、i.LINK機器側で行ってください。

1 i.LINKボタンを押す。



2 機器を選ぶ。



- 1 「機器選択」ボタンが選ばれていることを確認して、で決定する。
「接続機器選択」画面が表示されます。



- 2 でLINCしたい(操作したい)「OTHER」*を1台選んで、で決定する。
「LINC中です」と表示されて、選んだ「OTHER」にが付きます。
すでにLINC中のとき、「LINC中です」は表示されません。



* ハードディスクレコーダーと、デジタルビデオカメラレコーダー、D-VHSビデオ以外で本機とLINCできるi.LINK対応機器は、すべて「OTHER」と表示されます。

6台以上のi.LINK対応機器をつないでいて、使おうとしている機器が表示されていないときは登録機器を変更してください(⑩106ページ)。

- 3 で「閉じる」を選んで、で決定する。

「i.LINK Studio」操作画面に戻り、画面右上に「OTHER」と表示されます。

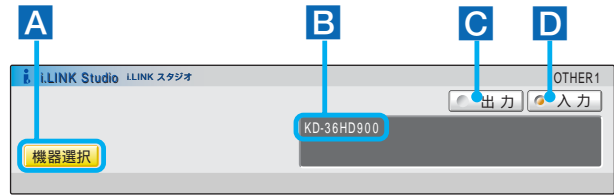


- 3 で「出力」または「入力」を選んで、で決定する。
i.LINK対応機器との間で、デジタル信号の入出力ができるようになります。

ご注意

一部のi.LINK対応機器は、「OTHER」と表示されて本機とLINCできても、デジタル信号が正しくやりとりできない場合があります。つないだi.LINK対応機器の取扱説明書をご確認ください。

その他のi.LINK機器の操作画面について(OTHER)



A 「機器選択」ボタン

「接続機器選択」画面に切り換え、接続(LINC)機器を選びます。

B i.LINK対応機器の製品名

C 「出力」ボタン

本機で視聴中のデジタル放送のデータをi.LINK機器へ出力します。

D 「入力」ボタン

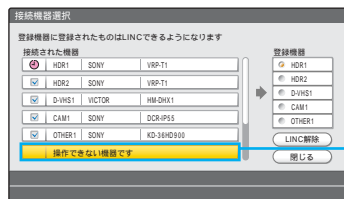
チューナー搭載のハードディスクレコーダーやD-VHSビデオとLINCしているときは、チューナーからの映像や音声を受信します。デジタルビデオカメラレコーダーとLINCしているときは、映している映像を見ることができます。

「i.LINK Studio」操作画面を消すときはもう1度i.LINKボタンを押す。

本機が対応していないi.LINK対応機器のときは

「操作できない機器です」というメッセージが表示されます。本機では、操作できません。つないだi.LINK対応機器の取扱説明書をご確認ください。

「接続機器選択」画面



本機が対応していないi.LINK対応機器の場合

i.LINK対応機器の設定をする

本機にi.LINK機器をつなぐと、機器の情報を認識し接続機器のリストに記録されます。はじめにつないだi.LINK機器5台までは、本機から操作できる機器として自動登録され、6台以上つないでいるときは、必要に応じて登録変更できます。

また、i.LINK機器のLINCを一時的に解除することもできます。

i.LINK機器の登録を変更する [登録変更]

本機につないだ6台目以降のi.LINK機器を本機で操作するときは、すでに登録されている機器と入れ換えてください。

ご注意

つないだi.LINK機器が5台以内のときは、この操作はできません。

ここでは例として、「CAM2」のかわりに、ハードディスクレコーダーを登録します。

1 i.LINK対応機器の電源を切る。

2 i.LINKボタンを押す。 「i.LINK Studio」操作画面が表示されます。

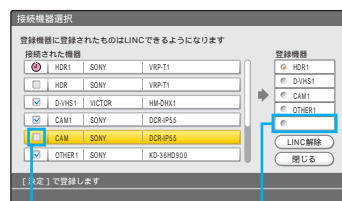


3 [決定]で「機器選択」ボタンを選んで、[決定]で決定する。

「接続機器選択」画面が表示されます。
「接続機器選択」画面について詳しくは、
P108ページをご覧ください。



4 [決定]で「接続された機器」のリストから入れ換えたい機器を選んで、[決定]で決定する。



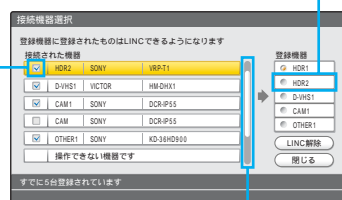
☑から✓がはずれます。「登録機器」から「CAM2」が消えます。

ご注意

現在LINC中および録画予約されている機器(🕒マーク)は、入れ換えられません。

5 [決定]で新たに登録したい機器(ここでは未登録の「HDR」)を選んで、[決定]で決定する。



☐に✓が付きます。「登録機器」に「HDR2」として登録されます。



リモコンの[決定]で前後の機器を見ることができます。

ご注意

「操作できない機器です」と表示されるi.LINK対応機器は登録できません。

- 6 で「閉じる」ボタンを選んで、
で決定する。
「i.LINK Studio」操作画面に戻ります。

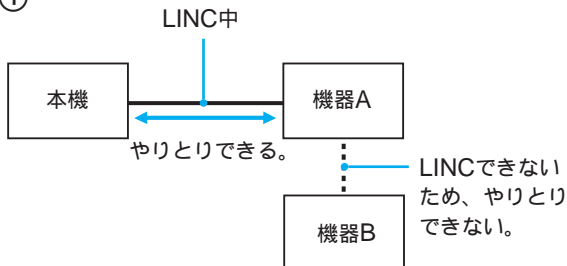


- 7 i.LINKボタンを押して、
「i.LINK Studio」操作画面を消す。

LINC中のi.LINK対応機器を いったん解除するときは [LINC解除]

下の図①で、本機とLINC中の「機器A」は、本機とだけ、デジタル信号のやりとりができます。

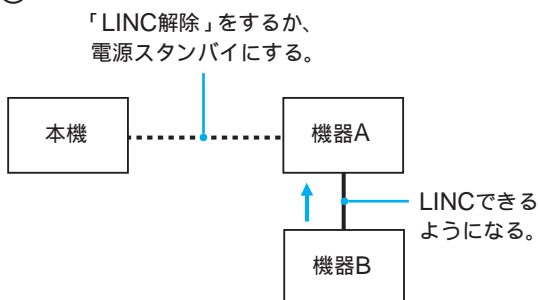
図①



「機器B」が「機器A」とやりとりする(図②)ためには、本機と「機器A」間のLINCを停止する必要があります。

電源スタンバイ(本機前面の電源/スタンバイランプが赤色に点灯)にする、または以下の手順を行ってください。

図②





ご注意

i.LINK対応機器の録画予約終了後は、予約したi.LINK対応機器がLINCされたままになる場合があります。

- 1 LINCしているi.LINK対応機器の動作を停止させる。



- 2 i.LINKボタンを押す。
「i.LINK Studio」操作画面が表示されます。





- 3 で「機器選択」ボタンを選んで、
で決定する。

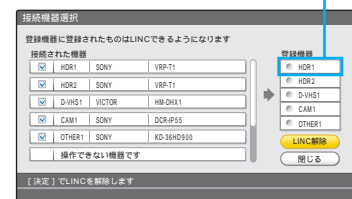
「接続機器選択」画面が表示されます。
「接続機器選択」画面について詳しくは、
P108ページをご覧ください。





- 4 で「LINC解除」ボタンを選んで、
で決定する。

LINCしていたi.LINK対応機器のが消えて、LINCが解除されます。

が消えて、
LINCが解除される



- 5 で「閉じる」ボタンを選んで、
で決定する。

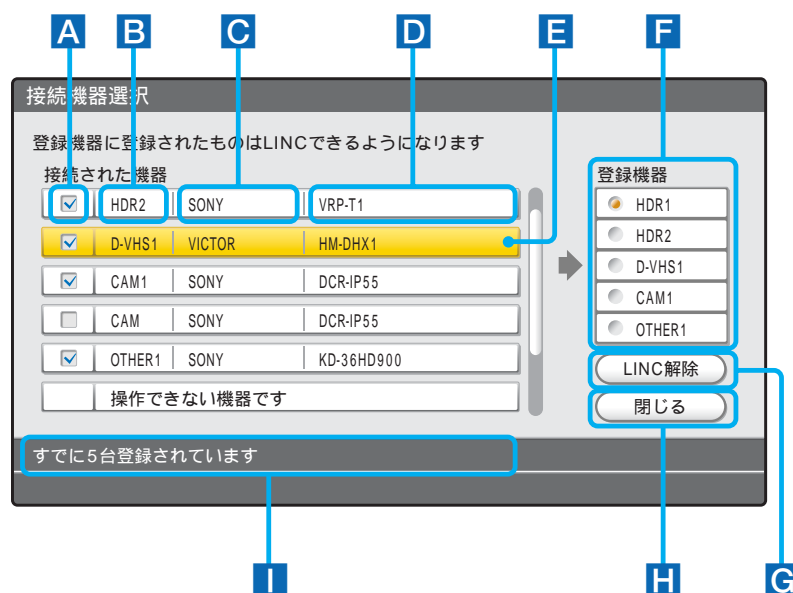
「i.LINK Studio」操作画面に戻ります。



- 6 i.LINKボタンを押して、
「i.LINK Studio」操作画面を消す。

i.LINK対応機器の設定をする (つづき)

「接続機器選択」画面について



A i.LINK対応機器の登録状況

- ☐ : 未登録のi.LINK対応機器
- ☒ : 登録中のi.LINK対応機器 (5台まで登録できます)
- : 録画予約されているi.LINK対応機器(「接続機器」リストから登録を削除できません。)

B i.LINK対応機器の登録名

つないだ機器の登録名として、本機が決めた名前です。

C メーカー名

D 製品名

E カーソル(選ばれているところ)

黄色で表示され、リモコンので移動させて、i.LINK対応機器を選びます。

F 「登録機器」リスト

i.LINK操作画面から操作できるi.LINK対応機器を表示します。つないだ順に5台まで自動的に登録されます。接続機器の右の数字は、同じHDRやD-VHS、CAMの中で何番目につないだ機器かを示します。HDR、D-VHS、CAM OTHERの順に表示します。

- : 現在LINC中のi.LINK対応機器
- HDR : ハードディスクレコーダー(92ページ)
- D-VHS : D-VHSビデオ(93ページ)
- CAM : MICROMV方式デジタルビデオカメラレコーダー(94ページ)
- OTHER : 上記以外のi.LINK対応機器(105ページ)

G 「LINC解除」ボタン

LINC中のi.LINK対応機器をいったん解除します(107ページ)。

H 「閉じる」ボタン

「接続機器選択」画面を閉じます。

I メッセージ表示欄

カーソルで選択しているi.LINK対応機器や操作ボタンの操作ガイドやエラーメッセージを表示します。

電源スタンバイ時に本機を中継してデジタル信号のやりとりをするには[i.LINK待機設定]

本機の電源スタンバイ時(電源/スタンバイランプが赤色に点灯)でも、「機器A」と「機器B」が本機を中継してデジタル信号のやりとりを行えるように設定できます。

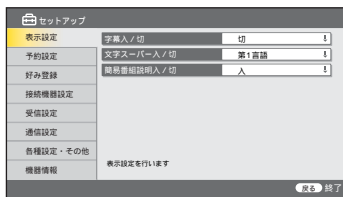


「機器A」と「機器B」を直接つながなくてもデジタル信号のやりとりを行えます。

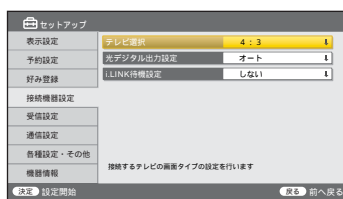
1 メニューボタンを押す。



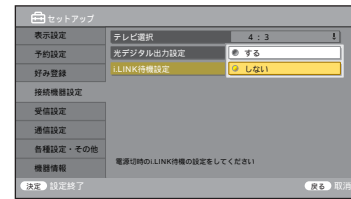
2 設定ボタンを押して「セットアップ」を選んで、決定ボタンを押す。



3 設定ボタンを押して「接続機器設定」を選んで、決定ボタンを押す。



4 設定ボタンを押して「i.LINK待機設定」を選んで、決定ボタンを押す。



5 設定ボタンを押して「する」を選んで、決定ボタンを押す。

「する」: 本機が電源スタンバイ時でも、本機を中継してデジタル信号のやりとりを行えます。

「しない」設定よりも、電源スタンバイ時の消費電力が上がります。

「しない」(お買い上げ時の設定): 本機が電源スタンバイ時は、本機を中継してデジタル信号のやりとりを行えません。



6 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。



準備の前に

ここでは、本機をお使いいただく前の、付属品の確認や、お客様のご登録について説明します。

付属品を確認する	112
ソニー用お客様ご登録カードを登録する	113

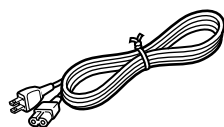
付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

地上・BS・110度CSデジタルチューナーDST-TX1(1)



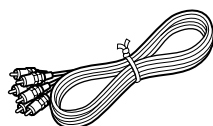
電源コード(1本)



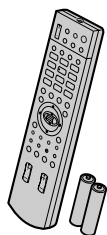
モジュラーテレホンコード
カプラー(1個)



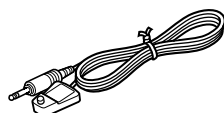
映像/音声コード(1本)



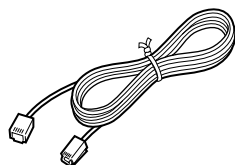
リモコン(1個)
単3型乾電池(2個)



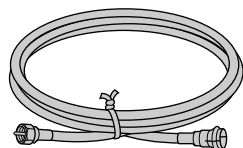
AVマウス(1本)



テレホンコード(10m)
(1本)



VHF/UHF用アンテナ
接続ケーブル(1本)



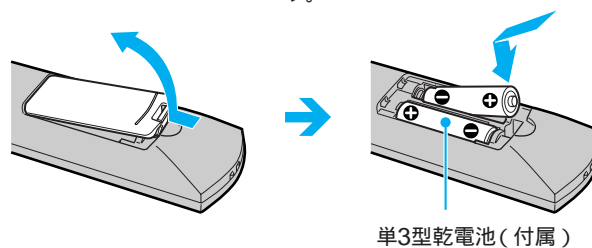
ビーカス
B-CASカード(1)
(デジタル放送用ICカード)
とB-CAS用ユーザー登録
はがき台紙(1)
取扱説明書(1)
地上デジタル放送・地域別
チャンネル割り当て一覧表
(1)
安全のために(1)
ソニーご相談窓口のご案内
(1)
ソニー用お客様ご登録カード
(1)
保証書(1)
ソフトウェア使用許諾契約書
(1)

別売りアクセサリーについて

アンテナや他機との接続(115、189、197 ページ)には、別売りアクセサリーが必要です。本書記載の別売りアクセサリーは、2003年8月現在のものです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

リモコンに電池を入れるには

必ずイラストのように●極側から電池を入れてください。無理に入れたり逆に入れたりするとショートの原因になり、発熱することがあります。



単3型乾電池(付属)

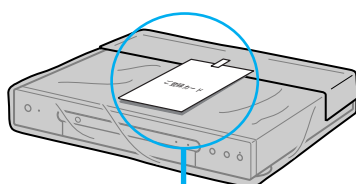
ソニー用お客様ご登録カードを登録する

ソニーでは、デジタル放送の環境の変化に対応して、本機内部のソフトウェアの機能改善（バージョンアップ）サービスを行うことがあります。ソニー用お客様ご登録カードは、その際のご連絡を差し上げる際に必要となるため、必要事項を記入し、必ずご返送ください。

ご注意

- 返送していただかないと、バージョンアップのサービスが受けられなくなることがあります。
- 転居されたときは、お手数ですが、「デジタルハイビジョンチューナーお客様ご登録窓口」まで、忘れずにご連絡ください。

1 本体上面に貼り付けられている「ソニー用お客様ご登録カード」を取り出す。




ご登録カード

2 「ソニー用お客様ご登録カード」の必要事項を記入し、投函する。

「ご氏名」と「ご住所」、「お電話」を必ずご記入ください。

ソニー用お客様ご登録カードに関するお問い合わせは、「デジタルハイビジョンチューナーお客様ご登録窓口」へ

ナビダイヤル  0570-00-3311
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)
携帯電話・PHSでのご利用は 0586-25-6470
受付時間：月～金 9:00～18:00(年末年始祝日を除く)

接 続

ここでは、本機とアンテナや、テレビ、ビデオとのつなぎかた、およびテレビに合わせた本機の設定などを説明しています。また、電話回線やネットワークのつなぎかたも、説明しています。

i.LINK機器をつないでお使いになるときは、「i.LINKでの接続」(189ページ)を、オーディオ機器などをつなぐときは「他機との接続」(197ページ)をご覧ください。

- 本機の電源コードは、すべての接続が終わってからつないでください。
- 本機の上面に、物を置いたり、布などでふさいだりしないでください。

接続する前に	116
準備1:地上波アンテナをつなぐ	117
準備2:衛星アンテナをつなぐ	119
準備3:テレビにつなぐ	123
デジタル放送の画質について	123
テレビのつなぎかたを選ぶ	124
テレビをつないで本機の映像出力切換の設定をする	126
準備4:ビデオをつなぐ	133
準備5:電話回線につなぐ	134
電話回線の使用状況に合わせてつなぐ	135
A 壁の電話コンセントから電話を 直接つないでいるとき	136
B 壁の電話コンセントからパソコンなどを つないでいるとき	136
C ISDN回線を使ってつないでいるとき	137
D ADSL回線を使ってつないでいるとき	138
E CATV(ケーブルテレビ)回線を 使ってつないでいるとき	139
F FTTH(光ファイバー)回線を 使ってつないでいるとき	140

接続する前に

ご覧になる放送によって、接続するアンテナが異なります。また、電話回線を接続することをおすすめします。

お手持ちのテレビの種類によって、本機とテレビの接続が異なります。また、本機で受信した放送を録画機器に録画するときは、アナログ録画とデジタル録画で、録画機器の接続が異なります。

地上デジタル放送を見たい

準備1：地上波アンテナをつなぐ

地上デジタル^{*1}を見ることができます。

^{*1} 地上波アンテナが地上デジタルに対応している必要があります。

BSデジタル放送を見たい

110度CSデジタル放送を見たい

準備2：衛星アンテナをつなぐ

BSデジタルも110度CSデジタルも、本機に1本のアンテナ線をつなぐだけで、どちらも見ることができます。

準備3：テレビをつなぐ

お手持ちのテレビの種類に合わせて本機をつなぎ、画像方式を切り換えると、本機で受信した放送を見ることができます。

デジタル放送をアナログ録画したい

準備4：ビデオをつなぐ

本機でデジタル放送をアナログ録画予約したりするときは、ビデオをつなぎます。デジタル録画するときは、「i.LINKでの接続」(P189ページ)をご覧ください。

デジタル放送のデータ放送を楽しみたい

準備5：電話回線をつなぐ

データ放送のゲームや双方向通信などを楽しめます。

準備1： 地上波アンテナを つなぐ

地上デジタル放送をご覧になるときは、地上波アンテナをつないでください。

ご注意

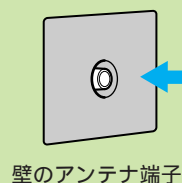
付属のVHF/UHF用アンテナ接続ケーブルは、BS/110度CS IF入力端子にはつなげません。

地上デジタルのアンテナは、これまで使用していた地上アナログのUHF用アンテナを使用することがあります。ただし、地域によっては、アンテナの取り換えや方向の変更、ブースター（増幅器）の追加などが必要となることがあります。詳しくは、お買い上げ店などにお問い合わせください。

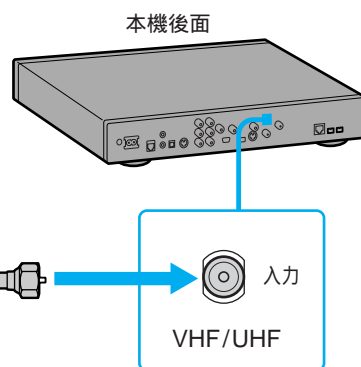
地上波アンテナのつながりかたは、壁のアンテナ端子の形や使うケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、つないでください。いずれにも当てはまらない場合は、お買い上げ店などにご相談ください。

接
続

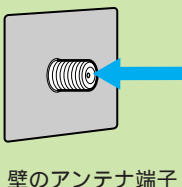
VHF/UHF混合、
またはUHF



VHF/UHF用アンテナ
接続ケーブル（付属）



マンションな
どの共同受信
システム
(VHF/UHF/
BS/110度
CS混合)



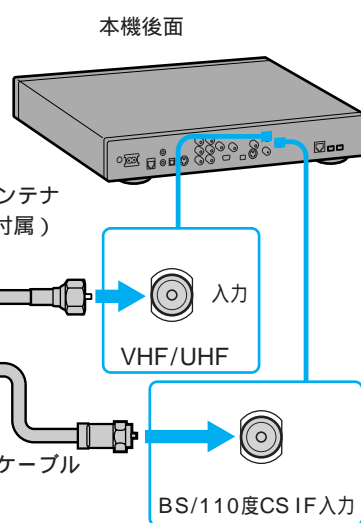
サテライト/UV混合分波器
(別売り：EAC-BD67など)

VHF/UHF用アンテナ
接続ケーブル（付属）

VHF/UHF側
BS/110度CS側

サテライト用同軸ケーブル
(室内用：別売り)

サテライト用同軸ケーブル
(室内用：別売り)



110度CSに共同受信システムが対応していれば、110度CSデジタルを受信できます。対応していない場合もBSデジタルは受信できます。詳しくは、マンション管理会社にお問い合わせください。

準備1：地上波アンテナをつなぐ(つづき)

きれいな画像をお楽しみいただくために

本機には、多くのデジタル回路による新テクノロジーが搭載されています。このため、安定した映像をお楽しみいただくためにはアンテナの接続状態がとても重要です。下記のようにアンテナの接続と設置を確実にを行い、電波妨害を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

- 本機後面のVHF/UHF端子への接続は、必ず付属のアンテナ接続ケーブルを使ってください。
- アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。
- 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。

ご注意

- フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。地上デジタル放送をご覧になるときは、同軸ケーブルでつなぐことをおすすめします。
- これまでお使いの、屋外に設定しているUHFアンテナは、劣化することがあります。地上デジタル用に使用する際に、うまく映らなかったり画面が乱れたりするときは、点検や調整することをおすすめします。

地上デジタルのアンテナ工事について

お買い上げ店などにご相談ください。

特に、地上デジタル受信用に地上アナログ受信用とは別のアンテナを設置するときは、お買い上げ店やアンテナ工事業者とご相談の上、VHF/UHFアンテナ混合器をお使いください。

準備2： 衛星アンテナをつなぐ

BSデジタルや110度CSデジタルをご覧になるときは、衛星アンテナをつないでください。衛星アンテナを本機に直接つなぎます。衛星アンテナの設置には技術が必要なため、お買い上げ店などに依頼することをおすすめします。マンションなどの共同受信システムなどVHF/UHF/BS/110度CS混合のときは、㊦117ページをご覧ください。

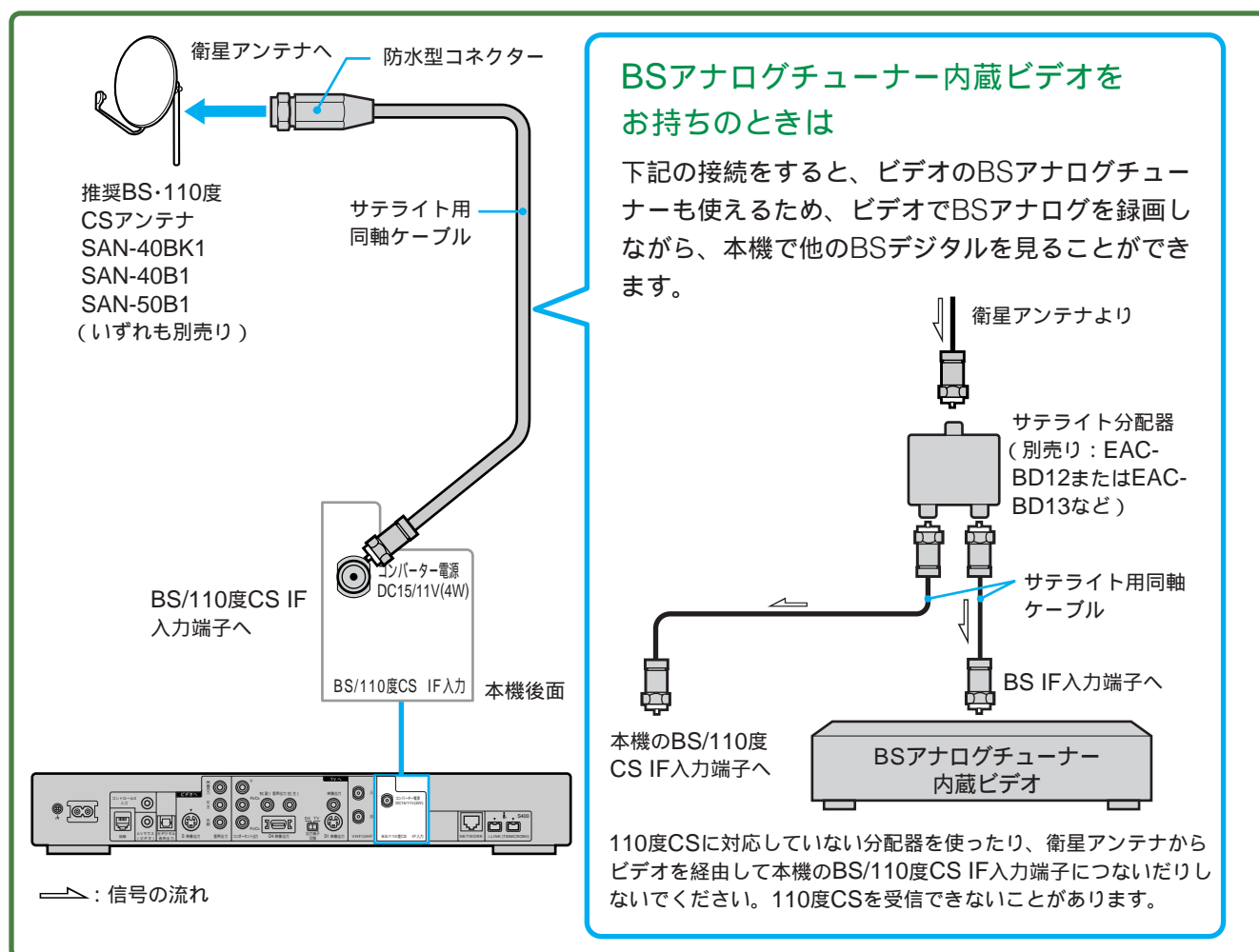
本機の電源コードは、すべての接続が終わってからつないでください。
コンバーター電源のショートを防ぐためにも、下記の手順で接続してください。

- ① サテライト用同軸ケーブルをつなぐ。
- ② 接続がすべて終わった後に、電源コードをつなぐ。
- ③ 本機の電源を入れる。

ご注意

サテライト用同軸ケーブルを抜き差しするときは、必ず、電源コードを抜いてから行ってください。

接
続



ご注意

- BS/110度CS IF入力端子には、必ずサテライト用同軸ケーブルをつないでください。BS/110度CS IF入力端子からは衛星アンテナ用の電源(DC 15/11V)が供給されているため、サテライト用同軸ケーブル以外のケーブルをつなぐと、ショートして火災などの原因となります。
- 次のようなときはBSデジタルや110度CSデジタルを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。

- お住まいの地域またはBSデジタルや110度CSデジタルを送信する放送衛星会社、衛星サービス会社(㊦159ページ)の地域が雷雨、強風などの悪天候のとき
- 衛星アンテナに雪が付着しているとき
- 強風などでアンテナの向きが変わったとき(衛星アンテナの向きを調整してください。㊦154ページ)
- サテライト分配器を使って複数のBS機器をつなぐときは(㊦120ページ)、別売りEAC-BD12またはEAC-BD13などを必ずお使いください。

準備2：衛星アンテナをつなぐ (つづき)

110度CSデジタル放送を受信するには

110度CSデジタル放送に衛星アンテナや分配器、ブースター（増幅器）および共同受信システムが対応していれば、110度CSデジタル放送を受信できます。対応していない場合もBSデジタルは受信できます。詳しくは、お買い上げ店か、マンション管理会社にお問い合わせください。

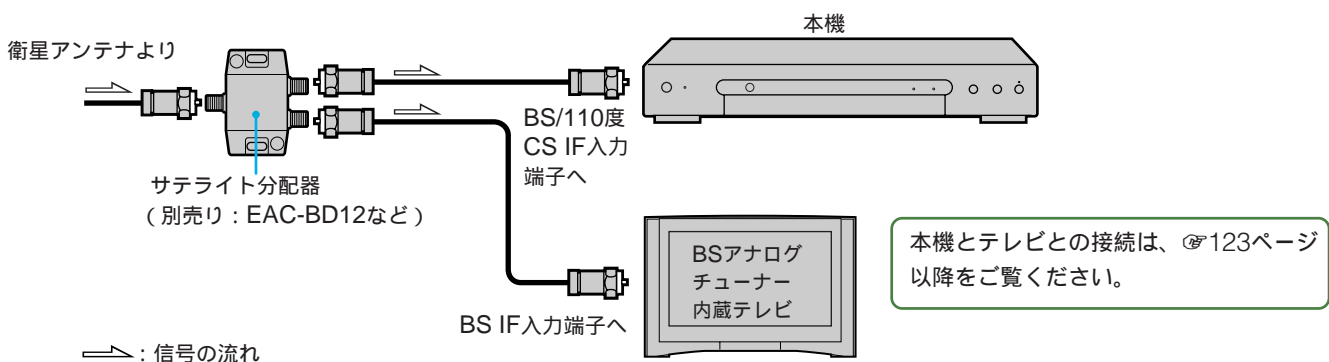
すでにBSアナログ放送をご覧いただいているときは

お持ちの衛星アンテナの向きを変えることなく、そのままBS・110度CSデジタルもBSアナログもそれぞれに対応したチューナーで受信できます。

ただし、一部の衛星アンテナでは、性能の劣化やデジタル化に必要な性能が確保されていないこともあります。受信状況が悪い場合は、衛星アンテナ製造元のお客窓口や、お買い上げ店などにお問い合わせください。

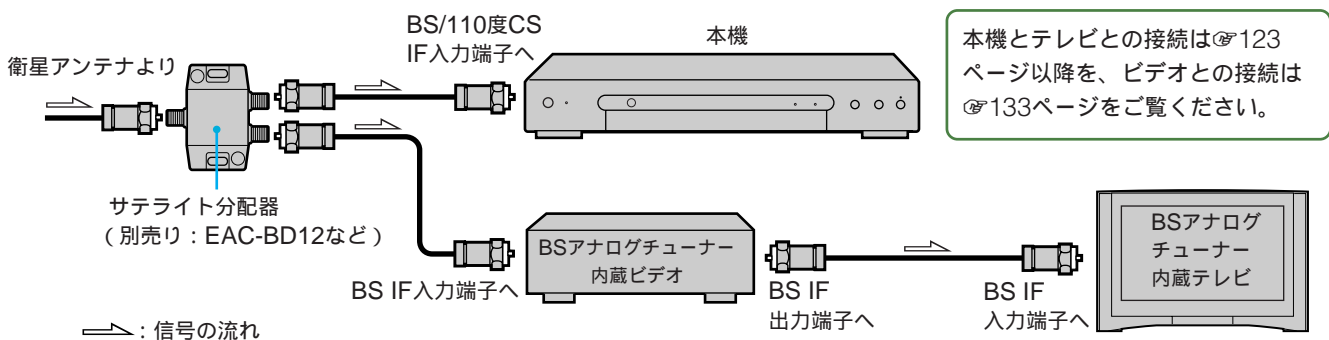
BSアナログチューナー内蔵テレビをお持ちのときは

別売りのサテライト分配器EAC-BD12などを使うと、テレビでBSアナログを受信できます。



BSアナログチューナー内蔵ビデオとBSアナログチューナー内蔵テレビの両方をお持ちのときは

別売りのサテライト分配器EAC-BD12などを使うと、ビデオとテレビでBSアナログを受信できます。



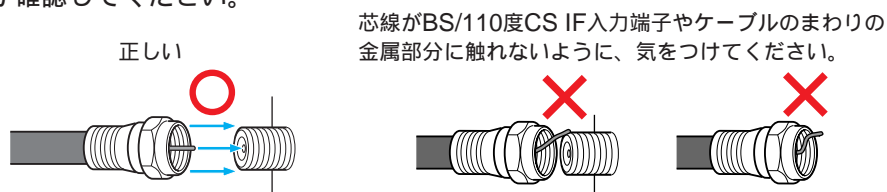
「取扱説明書をご覧ください、衛星アンテナ電源(コンバーター電源)を確認してください」という表示がテレビ画面に出たら

本機前面の電源/スタンバイランプが緑色に点滅して、「衛星アンテナ設定」が自動的に「切」になります。

1 いったん本機の電源を切り、電源コードを抜く。

2 以下のことを確認する。

- サテライト用同軸ケーブルの芯線が、BS/110度CS IF入力端子やケーブルのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。



- サテライト用同軸ケーブルをアンテナコネクタでつないでいるときは、アンテナコネクタの芯線が、BS/110度CS IF入力端子やコネクタのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。それでも表示が消えないときは、アンテナコネクタのふたを開けて、内部を確認してください。

3 再び電源を入れたあと、メニューで「衛星アンテナ設定」を設定する(④153ページ)。
「セットアップ」「受信設定」「BS/CS設定」「衛星アンテナ設定」「オート」または「入」「切」を選ぶ。

「オート」または「入」: 衛星アンテナを本機につないでいるとき。

「切」: マンションなどの共同受信システムのとき。

接
続

次のページにつづく

準備2：衛星アンテナをつなぐ (つづき)

マンションなどの共同受信システムの場合は

壁のアンテナ端子ひとつでBSデジタル、110度CSデジタルと地上波放送を受信できる共同受信システムの場合は、BSデジタル、110度CSデジタルと地上波放送を分波して接続してください。接続のしかたについて詳しくは、「準備1：地上波アンテナをつなぐ」(P117ページ)をご覧ください。

また、「セットアップ」メニューで「衛星アンテナ設定」を「切」にしてください(P153ページ)。「セットアップ」「受信設定」「BS/CS設定」「衛星アンテナ設定」「切」を選ぶ。

ケーブルテレビに加入されているときは

受信契約をされているケーブルテレビ放送会社に、BSデジタルや110度CSデジタルに対応しているかを確認してください。ケーブルテレビ放送会社に対応していれば、BSデジタル、110度CSデジタルはご覧いただけます。詳しくは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

デジタルCS放送*を含めた共同受信システムの場合は

お住まいのマンションの共同受信システムによって、壁のアンテナ端子への接続のしかたが異なります。マンション管理会社(または管理人や管理組合など)に、共同受信システム方式を確認して、その指示に従って、接続および受信方法の設定(P117、153ページ)を行ってください。

* SKY PerfecTV!のことで、110度CSデジタル放送ではありません。

準備3： テレビにつなぐ

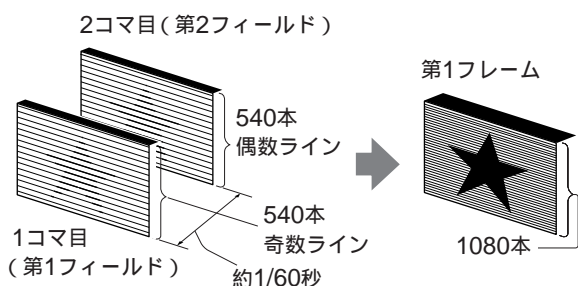
本機の上面に、物を置いたり、布などでふさいだりしないでください。
内部に熱がこもって本体内部の温度上昇の原因となることがあります。

デジタル放送の画質について

デジタル放送には、高画質のデジタルハイビジョン信号 **HD** と、地上アナログ放送と同等の画質の標準テレビ信号 **SD** の2種類があります。それぞれの放送に2つずつ、以下のように全部で4種類の画像方式があります。本機は、すべての画像方式を受信できます。

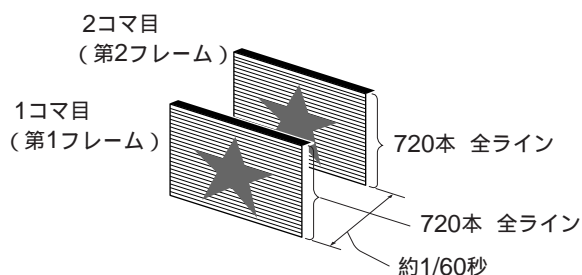
お手持ちのテレビの種類によって、本機からテレビに出力する画像方式を切り換える必要があります。お手持ちのテレビに合わせたつなぎかたや、本機の設定については、「テレビのつなぎかたを選ぶ」(P124ページ)をご覧ください。

1125i (1080i) の デジタルハイビジョン信号 **HD**



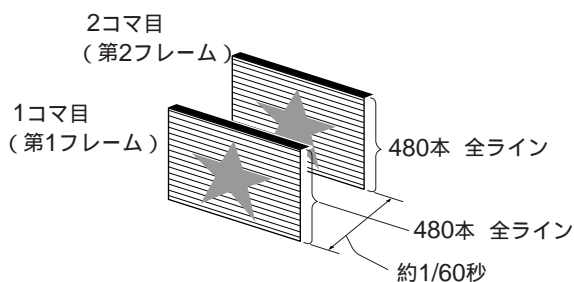
1125本 (1080本) の走査線*を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す (飛び越し走査: インターレース方式*) の画像方式。

750p (720p) の デジタルハイビジョン信号 **HD**



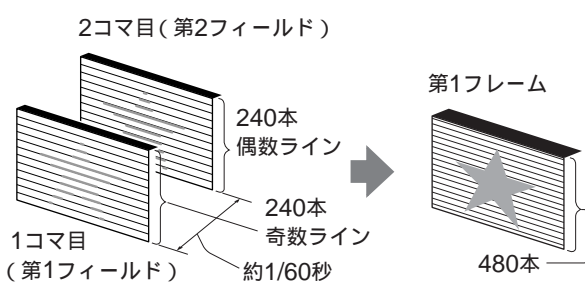
750本 (720本) 全部の走査線を順番どおりに描く (順次走査: プログレッシブ方式*) の画像方式。画面や文字のちらつきが少ないため、静止画放送に適しています。

525p (480p) の標準テレビ信号 **SD**



525本 (480本) 全部の走査線を順番どおりに描く (プログレッシブ方式*) の画像方式。画面や文字のちらつきが少なくなります。

525i (480i) の標準テレビ信号 **SD**



525本 (480本) の走査線を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す (インターレース方式*) の画像方式。地上アナログ放送やBSアナログ放送と同等の解像度です。

iはインターレース (飛び越し走査)、pはプログレッシブ (順次走査) の略。()内は有効走査線数*で数えたときの別称です。

* の詳しい説明は、用語集 (P216～217ページ) をご覧ください。

接
続

次のページにつづく

準備3：テレビにつなぐ (つづき)

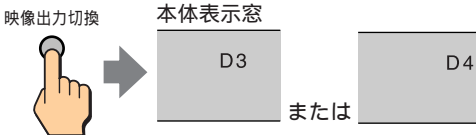
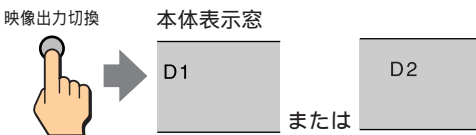
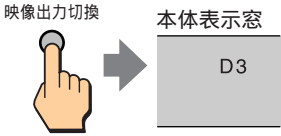
テレビのつなぎかたを選ぶ

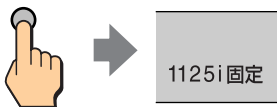
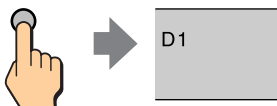
つなぎかたについて詳しくは、④126～132ページをご覧ください。

お手持ちのテレビの映像入力端子によって

- 本機とテレビのつなぎかた
 - 本機前面の映像出力切換 (D1/D2/D3/D4/1125i固定) の設定
 - 本機後面の出力端子切換 (D4/TV) の設定
- の3つがそれぞれ異なります。

よりよい画質でお楽しみいただくために、お手持ちのテレビのタイプに合わせて、本機とつないでください。

ステップ1： テレビの映像入力端子を調べて、テレビのつなぎかたを、 タイプ1～6 から選ぶ。 テレビが 1～6 のどのタイプか分からないときは、テレビのメーカーのお客様窓口またはテレビのお買い上げ店にお問い合わせください。	ステップ2： 本機後面の出力端子切換スイッチと、本機前面の映像出力切換ボタンを設定する。 (お買い上げ時は「D3」に設定されています) 本機後面のD4映像出力端子から出力する信号を設定します。	ステップ3： テレビにつなぐ。 つなぎかたについて詳しくは、④126～132ページをご覧ください。
1 テレビにD4またはD3映像入力端子があるとき	1 出力端子切換スイッチを「D4」側にする。 2 テレビのD映像入力端子と同じ「D4」または「D3」を表示させる。 	別売りのD端子ケーブル ¹⁾ でつなぎます。テレビのD端子の種類によって画質は異なります。 1 ④126ページ
2 テレビにD2またはD1 ²⁾ 映像入力端子があるとき	1 出力端子切換スイッチを「D4」側にする。 2 テレビのD映像入力端子と同じ「D2」または「D1」を表示させる。 	別売りのD端子ケーブル ¹⁾ でデジタルハイビジョン信号 HD も標準テレビ信号 SD も、525pまたは525iに変換して気軽に楽しめます。 2 ④128ページ
3 HD/DVD入力端子 (Y P _B /C _B P _R /C _R) があるハイビジョンテレビなどのとき	1 出力端子切換スイッチを「D4」側にする。 2 「D3」を表示させる。 	別売りのコンポーネント用映像コード ¹⁾ でデジタルハイビジョン信号 HD も標準テレビ信号 SD も、オリジナル画像を生かした高画質のまま楽しめます。 3 ④129ページ

<p>ステップ1： テレビの映像入力端子を調べて、テレビのつなぎかたを、タイプ1～6から選ぶ。 テレビが1～6のどのタイプが分からないときは、テレビのメーカーのお客様窓口またはテレビのお買い上げ店にお問い合わせください。</p>	<p>ステップ2： 本機後面の出力端子切換スイッチと本機前面の映像出力切換ボタンを設定する。 (お買い上げ時は「D3」に設定されています) 本機後面のD4映像出力端子から出力する信号を設定します。</p>	<p>ステップ3： テレビにつなく。 つなぎかたについて詳しくは、㊦126～132のページをご覧ください。</p>
<p>4 ハイビジョン入力専用のコンポーネント入力端子 (Y/P_B/P_R)があるハイビジョンテレビなどのとき³⁾</p>	<p>1 出力端子切換スイッチを「D4」側に する。 2 「1125i固定」を表示させる。</p> <div data-bbox="555 593 865 728"> <p>映像出力切換 本体表示窓</p>  </div>	<p>別売りのコンポーネント用映像コード¹⁾で1125iのデジタルハイビジョン信号HDはオリジナル映像を生かした高画質のまま、その他の放送もすべて1125iに変換して気軽に楽しめます。</p> <p>4 ㊦130ページ</p>
<p>5 テレビにDVD入力端子 (Y/C_B/C_R)があるとき</p>	<p>1 出力端子切換スイッチを「D4」側に する。 2 「D1」を表示させる。</p> <div data-bbox="555 900 865 1034"> <p>映像出力切換 本体表示窓</p>  </div>	<p>別売りのコンポーネント用映像コード¹⁾でデジタルハイビジョン信号HDも標準テレビ信号SDも、すべて525iに変換して気軽に楽しめます。</p> <p>5 ㊦131ページ</p>
<p>6 S映像入力端子または映像入力端子しかないテレビのとき</p>	<p>出力端子切換スイッチを「TV」側に する。</p>	<p>付属の映像/音声コードでデジタルハイビジョン信号HDも標準テレビ信号SDも、すべて525iに変換して気軽に楽しめます。</p> <p>6 ㊦132ページ</p>

¹⁾ 別売りのD端子ケーブルやコンポーネント用映像コードがなくても、付属の映像/音声コードを使って、お手持ちのテレビの映像入力端子につなぎます。

「**6** S映像入力端子または映像入力端子しかないテレビのとき」(㊦132ページ)をご覧ください。

²⁾ D1映像入力端子があるソニー製テレビには、DVD入力 (Y/C_B/C_R)端子も備えているものがあります。このときは、D1映像入力端子につないでください。

³⁾ 該当するソニー製テレビの型名は、㊦130ページをご覧ください。

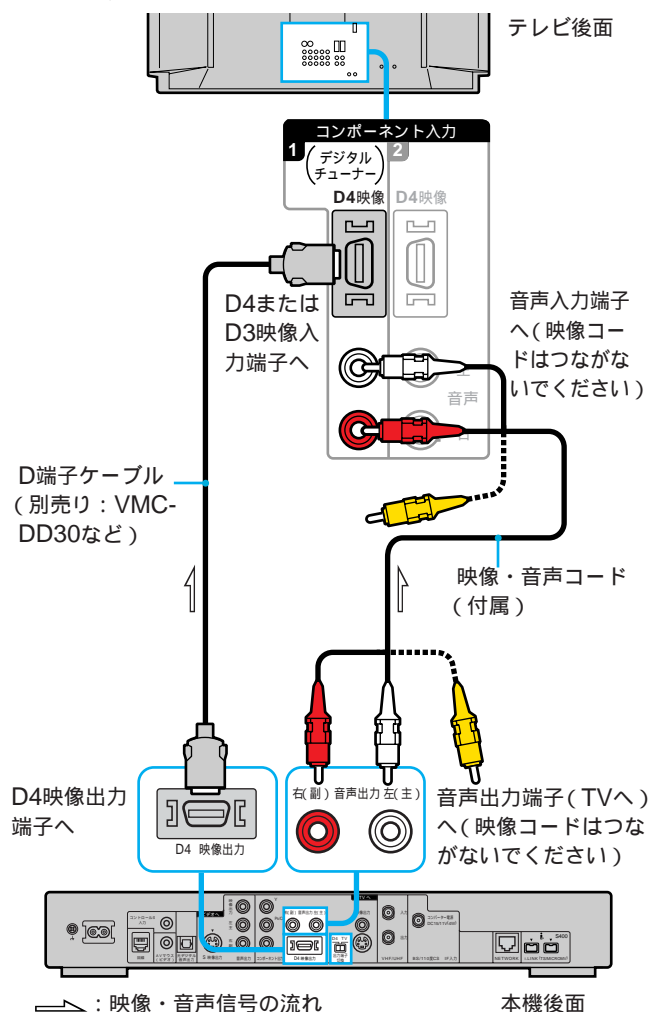
ご注意

- 本機後面のS1映像/映像/音声出力端子 (TVへ)からの信号は、出力端子切換スイッチを「TV」側にすると出力されます。
- 本機後面のS映像/映像/音声出力端子 (ビデオへ)からの信号は、映像出力切換の設定に関係なく、つねに525i (480i)の標準テレビ信号**SD**に変換されて出力されます。
- ビデオ一体型テレビをモニターとして本機とつないで視聴すると、テレビによってコピープロテクションが付いた番組が映らないことがあります。このときは、本機をビデオ一体型テレビのテレビ側の入力端子に直接つないでください。なお、ビデオ側の入力端子しかないテレビでは、コピープロテクションの付いた番組は視聴できません。

準備3：テレビにつなぐ (つづき)

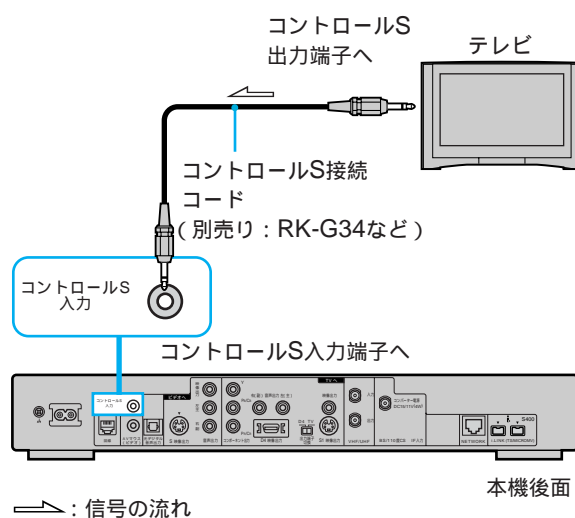
テレビをつないで本機の映像出力切換の設定をする

1 テレビにD4またはD3映像入力端子があるとき



デジタル放送を見るときは
テレビ側で、本機をつないだ端子の入力
(「コンポーネント」など)に切り換える。
詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせて
ご覧ください。

コントロールS出力端子付きのソニー製テレビをお持ちの
ときは
別売りのコントロールS接続コード(RK-G34など)を使っ
て、本機のコントロールS入力端子と、テレビのコント
ロールS出力端子をつないでください。
本機のリモコンをテレビに向けて、本機を操作できます。
ただし、テレビの主電源が入っていない(スタンバイ/オフタ
イマーランプが点灯していない)ときは、本機に向けて操作
してください。

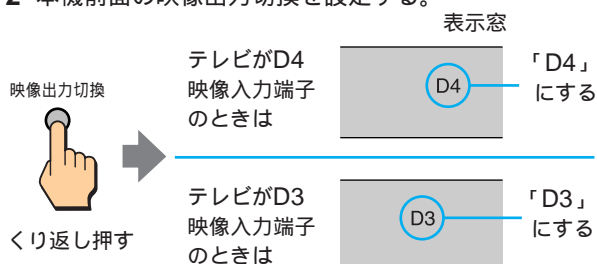


テレビによっては、テレビのリモコンで本機を操作できます。
詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 本機後面の出力端子切換スイッチを「D4」側にする。



2 本機前面の映像出力切換を設定する。



テレビに出力される信号について
テレビのD映像入力端子の種類と、それに合わせた本機の映像出力切換の設定によって異なります。

テレビがD4映像入力端子で、
本機表示窓も「D4」と点灯しているとき

	本機が受信する デジタル信号	本機後面のD4映像出力 端子からテレビに出力 する信号*
HD デジタル ハイビジョン	HD (750p)	HD (750p)
	HD (1125i)	HD (1125i)
SD 標準 テレビ信号	SD (525p)	SD (525p)
	SD (525i)	SD (525i)

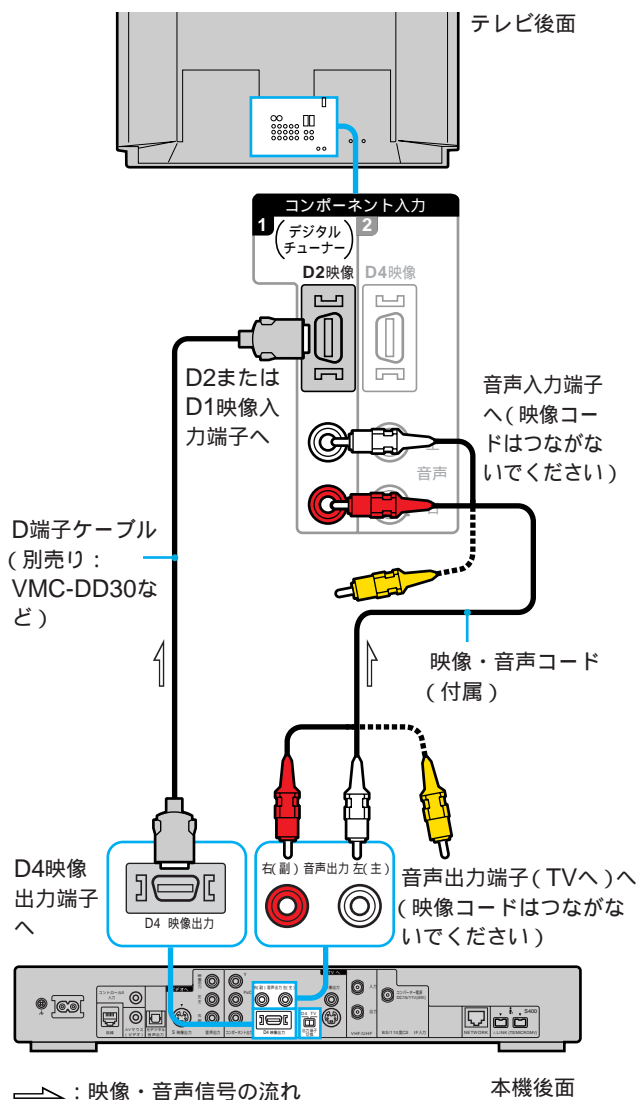
テレビがD3映像入力端子で、
本機表示窓も「D3」と点灯しているとき

	本機が受信する デジタル信号	本機後面のD4映像出力 端子からテレビに出力 する信号*
HD デジタル ハイビジョン	HD (750p)	HD (1125i)
	HD (1125i)	HD (1125i)
SD 標準 テレビ信号	SD (525p)	SD (525p)
	SD (525i)	SD (525i)

* 本機後面のS映像/映像/音声出力端子(ビデオへ)からの信号は、映像出力切換の設定に関係なく、つねに525i(480i)の標準テレビ信号 SD に変換されて出力されます。

準備3：テレビにつなぐ (つづき)

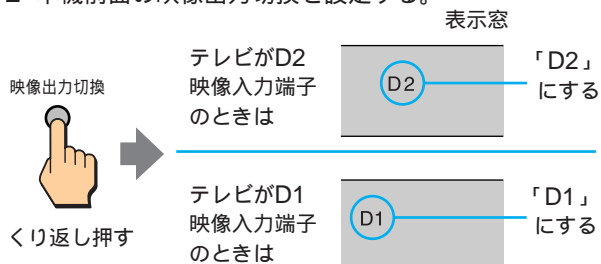
2 テレビにD2またはD1映像入力端子があるとき



1 本機後面の出力端子切換スイッチを「D4」側にする。



2 本機前面の映像出力切換を設定する。



デジタル放送を見るときは
テレビ側で、本機をつないだ端子の入力
(「コンポーネント」など)に切り換える。
詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせて
ご覧ください。

テレビに出力される信号について
テレビのD映像入力端子の種類と、それに合わせた本機の映像出力切換の設定によって異なります。
テレビがD2映像入力端子で、
本機表示窓に「D2」と点灯しているとき

	本機が受信するデジタル信号	本機後面のD4映像出力端子からテレビに出力する信号*
HD デジタルハイビジョン	HD (750p)	SD (525p)
	HD (1125i)	SD (525p)
SD 標準テレビ信号	SD (525p)	SD (525p)
	SD (525i)	SD (525i)

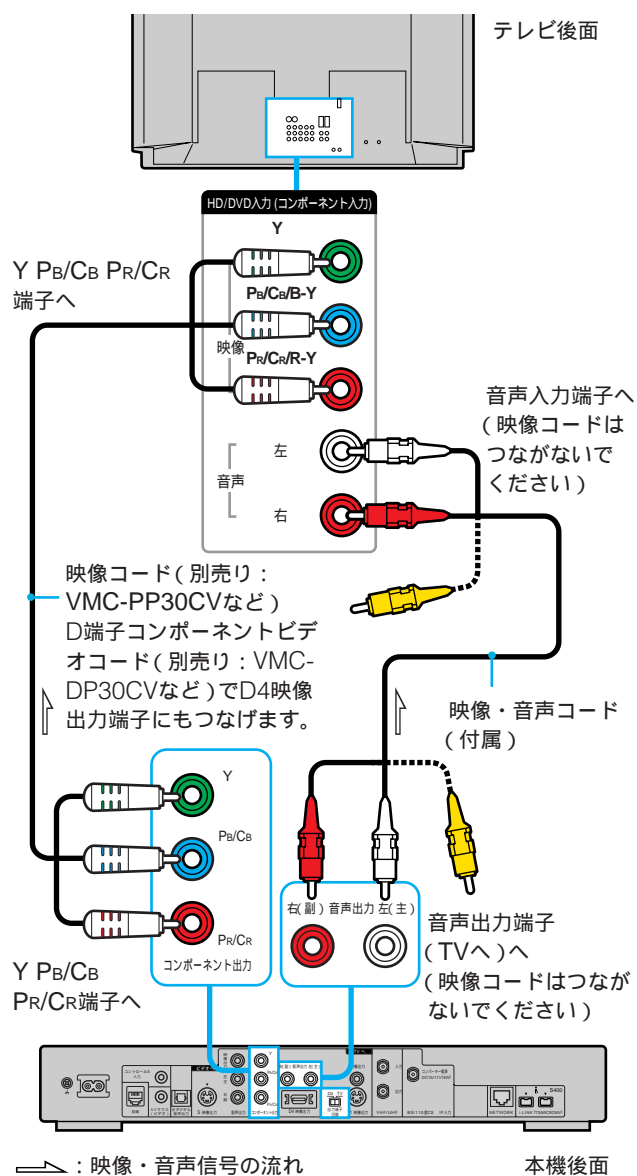
テレビがD1映像入力端子で、
本機表示窓に「D1」と点灯しているとき

	本機が受信するデジタル信号	本機後面のD4映像出力端子からテレビに出力する信号*
HD デジタルハイビジョン	HD (750p)	SD (525p)
	HD (1125i)	SD (525p)
SD 標準テレビ信号	SD (525p)	SD (525p)
	SD (525i)	SD (525i)

* 本機後面のS映像/映像/音声出力端子(ビデオへ)からの信号は、映像出力切換の設定に関係なく、つねに525i(480i)の標準テレビ信号SDに変換されて出力されます。

コントロールS出力端子付きのソニー製テレビをお持ちのときは
126ページをご覧ください。

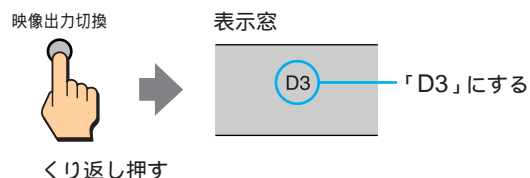
3 HD/DVD入力端子(Y P_B/C_B P_R/C_R)があるハイビジョンテレビなどのとき



1 本機後面の出力端子切換スイッチを「D4」側にする。



2 本機前面の映像出力切換を設定する。



デジタル放送を見るときは
テレビ側で、本機をつないだ端子の入力
(「HD/DVD」や「コンポーネント」など)に
切り換える。
詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせて
ご覧ください。

テレビに出力される信号について

	本機が受信する デジタル信号	本機後面のD4映像出力 端子からテレビに出力 する信号*
HD デジタル ハイビジョン	HD (750p)	HD (1125i)
	HD (1125i)	HD (1125i)
SD 標準 テレビ信号	SD (525p)	SD (525p)
	SD (525i)	SD (525i)

* 本機後面のS映像/映像/音声出力端子(ビデオへ)からの信号は、映像出力切換の設定に関係なく、つねに525i(480i)の標準テレビ信号SDに変換されて出力されます。

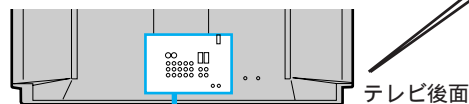
コントロールS出力端子付きのソニー製テレビをお持ちのときは
④126ページをご覧ください。

接
続

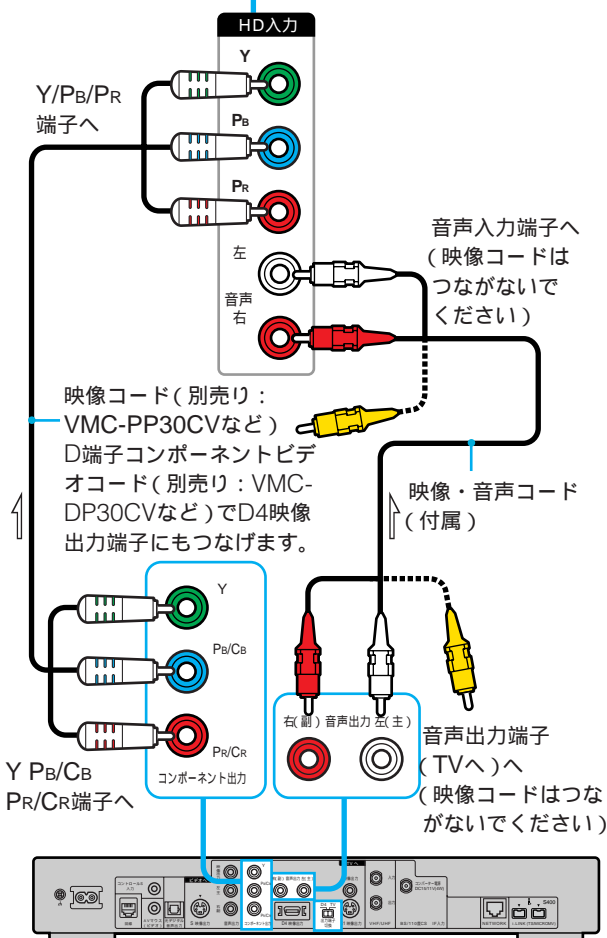
次のページにつづく

準備3：テレビにつなぐ (つづき)

4 ハイビジョン入力専用のコンポーネント入力端子(Y/Pb/Pr)があるハイビジョンテレビなどのとき



テレビ後面



映像・音声信号の流れ

本機後面

1 本機後面の出力端子切換スイッチを「D4」側にする。



D4 TV



出力端子
切換

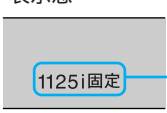
2 本機前面の映像出力切換を設定する。

映像出力切換



くり返し押す

表示窓



「1125i 固定」
にする

該当するソニー製テレビは下記です。

- ハイビジョンテレビ(96年以前発売の下記モデル):
KW-28HD1、KW-28HD2、KW-28HD5、
KW-32HD1、KW-32HD5、KW-2810HD、
KW-3200HD、KW-3210HD、KW-3220HD
- モニター: KX-32HV50

デジタル放送を見るときは
テレビ側で、本機をつないだ端子の入力
(「HD/DVD」や「コンポーネント」など)に
切り換える。
詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせて
ご覧ください。

テレビに出力される信号について

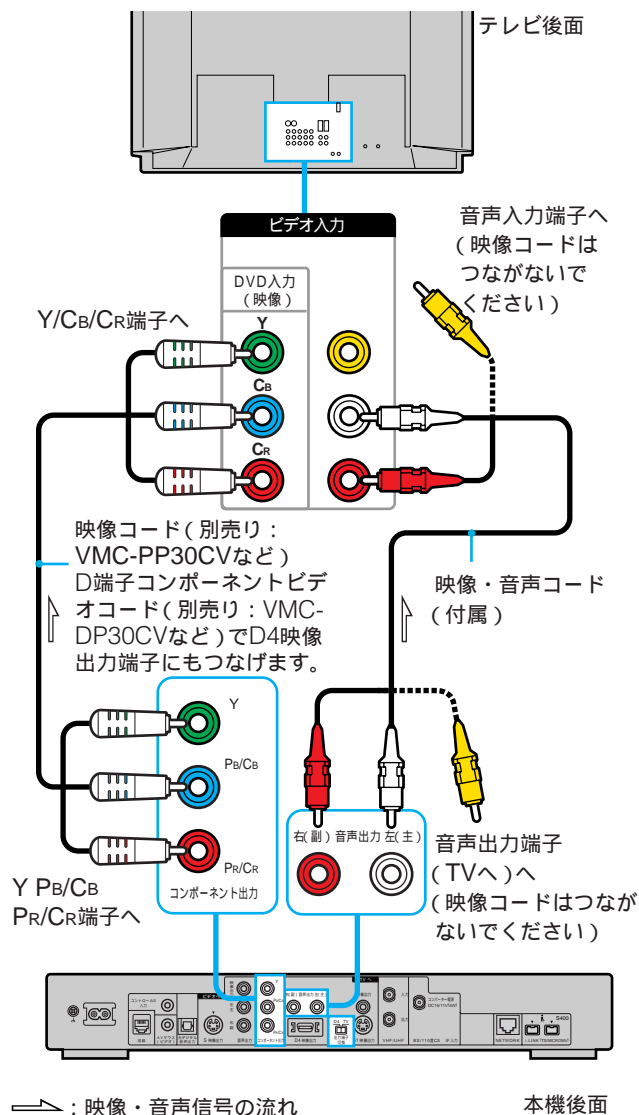
	本機が受信する デジタル信号	本機後面のD4映像出力 端子からテレビに出力 する信号*
HD デジタル ハイビジョン 信号	HD (750p)	HD (1125i)
	HD (1125i)	
SD 標準 テレビ信号	SD (525p)	SD (525i)
	SD (525i)	

* 本機後面のS映像/映像/音声出力端子(ビデオへ)からの信号は、映像出力切換の設定に関係なく、つねに525i(480i)の標準テレビ放送(SD)に変換されて出力されます。

コントロールS出力端子付きのソニー製テレビをお持ちのときは

④126ページをご覧ください。

5 テレビにDVD入力端子(Y/Cb/Cr)があるとき



デジタル放送を見るときは
テレビ側で、本機をつないだ端子の入力
('DVD入力'や'ビデオ入力'など)に切り
換える。
詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせて
ご覧ください。

テレビに出力される信号について

	本機が受信するデジタル信号	本機後面のD4映像出力端子からテレビに出力する信号*
HD デジタルハイビジョン	HD (750p)	SD (525i)
	HD (1125i)	
SD 標準テレビ信号	SD (525p)	
	SD (525i)	

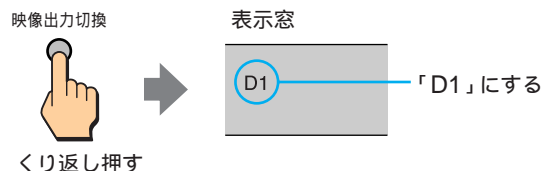
* 本機後面のS映像/映像/音声出力端子 (ビデオへ) からの信号は、映像出力切換の設定に関係なく、つねに525i (480i) の標準テレビ信号 SD に変換されて出力されます。

コントロールS出力端子付きのソニー製テレビをお持ちのときは
④126ページをご覧ください。

1 本機後面の出力端子切換スイッチを「D4」側にする。



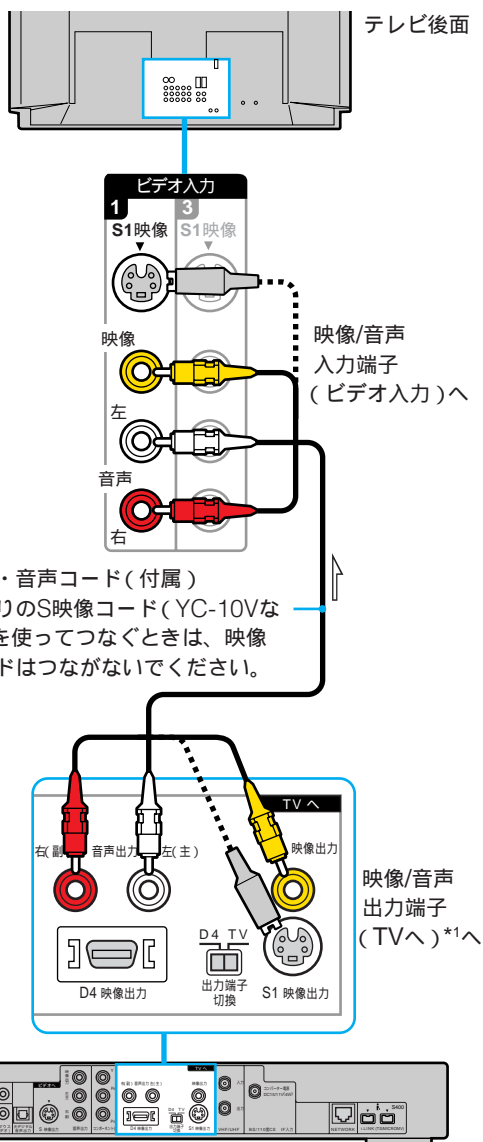
2 本機前面の映像出力切換を設定する。



次のページにつづく

準備3：テレビにつなぐ (つづき)

6 S映像入力端子または映像入力端子 しかないテレビのとき



→：映像・音声信号の流れ

本機後面の出力端子切換スイッチを「TV」側にする。



- *1 誤って映像/音声出力端子(ビデオへ)につないでしまうと：
- 初期設定画面が出力されないため、設定の操作ができません。
 - 本機の画面表示や番組表などの信号が出力されません。出力されない信号については、④133ページをご覧ください。

デジタル放送を見るときは
テレビ側で、本機をつないだ端子の入力
(「ビデオ1」など)に切り換える。
詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせて
ご覧ください。

テレビに出力される信号について
本機前面表示窓の映像出力切換表示に関係な
く、次のように変換されてテレビに出力されま
す。

	本機が受信する デジタル信号	本機後面のS2映像/映 像出力端子(TVへ) からテレビに出力す る信号*
HD デジタル ハイビジョン 信号	HD (750p)	SD (525i)
	HD (1125i)	
SD 標準 テレビ信号	SD (525p)	
	SD (525i)	

* 本機後面のS映像/映像/音声出力端子(ビデオへ)からの信
号は、映像出力切換の設定に関係なく、つねに525i
(480i)の標準テレビ信号SDに変換されて出力されま
す。

コントロールS出力端子付きのソニー製テレビをお持ちの
ときは

④126ページをご覧ください。

準備4： ビデオをつなぐ

本機でデジタル放送をビデオにアナログ録画予約したりするための接続です。

地上アナログ放送と同等の画質(525i)に変換された信号でお手持ちのビデオに録画できます。

ビデオの取扱説明書もあわせてご覧ください。

本機のS映像/映像/音声出力端子(ビデオへ)につないだときのご注意

- デジタルハイビジョン信号 **HD** も標準テレビ信号 **SD** も、すべて525iに変換して出力されます。
- 以下の信号は出力されないため、記録できません。
 - 本機の初期設定などの画面表示や番組表
 - 字幕放送の字幕
 - 画面上に出る字幕スーパー放送
- デジタル放送を録画するときは、録画予約することをおすすめします(㊦49、51、53、55ページ)。録画予約をしないと、録画中にチャンネルを選んだりしたときなどに、画像が切り換わったり、乱れたりします。
- ラジオやデータ放送の音声は記録できますが、画像は正しく記録されないことがあります。

録画防止機能について

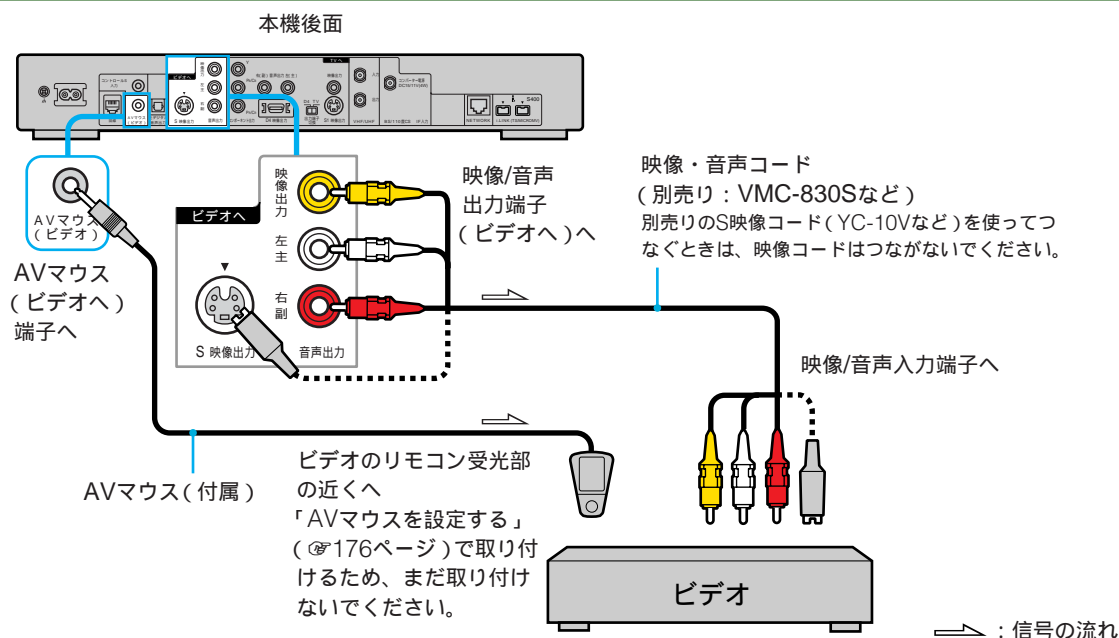
本機は、録画防止機能(コピープロテクション)が付いています。そのため、番組によっては、正常な画像で録画できなかったり、録画したものを正常な画像で再生できなかったりするものがあります。

また、音声に関しても、本機後面の光デジタル音声出力端子からの信号を、正しく録音できない番組があります。ご注意ください。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

i.LINKでつなげば、デジタル放送をデジタル録画できます。i.LINKでの接続については㊦189ページをご覧ください。

接
続



本機とビデオを重ねて、置かないでください。
本機の上面に、物を置いたり、布などでふさいだりしないでください。
内部に熱がこもって本体内部の温度上昇の原因となることがあります。

準備5： 電話回線につなぐ

電話回線設定

☎160ページ

データ放送(アンケートなどの双方向通信)、B-CASカードの通信などで必要になります。「準備12：電話回線を設定する」(☎160ページ)で必ず設定してください。

プロバイダー契約が必要

ダイヤルアップ 設定

☎135ページのA、B、C
のとき

または

ネットワーク 設定

☎135ページのD、
E、Fのとき

データ放送のコンテンツ*1を放送局などのサーバーからインターネット経由で楽しむときなどに必要になります。

*1 地上デジタル/BSデジタル/110度CSデジタルで運用されています。

データ放送への接続方法を設定するには

上の図のように、お使いの機器や通信環境によって、データ放送への接続方法を設定できます。

詳しくは「データ放送のためのネットワークを設定する」(☎163ページ)をご覧ください。

以下のようなときは、本機を電話回線につなぐ必要があります。

- B-CASカードに記憶された番組購入・契約状況などの情報を、電話回線を通じて定期的に本機から放送局へ自動送信するとき
- ^{ビーキャスト}ペイ・パー・ビュー(PPV)契約をして、番組などを購入するとき(☎77ページ)
- データ放送を見ているときに、放送局と通信を行うとき(☎20ページ)(通信中は、本機前面の表示窓に「通話」と表示されます。)
また、本機後面のネットワーク端子に常時接続回線をつなげば、地上デジタルのデータ放送はさらに快適に楽しめます。

ご注意

次の電話回線にはつなげません。

- 公衆電話および共同電話、地域集団電話
- 携帯電話およびPHS、自動車電話
- 船舶電話
- 外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」または「9」以外の数字を付けるとき

☝ちょっと一言

番組購入・契約状況などの情報の送受信について

- 購入情報などの送受信中には、本機前面の表示窓に「通話」と表示されます。
- 本機が電源スタンバイ(本機前面の電源/スタンバイランプが赤色に点灯)のまま、自動的に購入情報などを送受信することがあります。
- 購入情報などの送信には、1回あたり約30秒程度かかります。このときは、本機前面の表示窓に「通話」と表示され、電話がかかってきたときは話し中になります。
- 本機が放送局と、購入情報などを送受信しているときは、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。
その際、一部の通信機器で呼び出し音が鳴ることがあります。このときは、付属のモジュラーテレホンコードカバーのかわりに、別売りの自動転換機TL-P20C(スタンダードモデル)を使ってください。なお、パソコンなどをお使いの場合は、高速データ通信用自動転換器(高速通信対応モデル)をご使用ください。
また、このときに緊急に電話をかけたいときなどは、本機の電源コードを抜いて、電源を切ってください。
- BS・110度CSデジタル放送局へ登録などができないときは、NTTに問い合わせ、「回線ごと非通知設定」を解除してください。
- 電話機やファクシミリを使っているときは、購入情報などの送受信はできません。

電話回線の使用状況に合わせてつなぐ

お住まいの電話回線の状況を右から選んで、つないでください。

また、壁の電話コンセントがモジュラージャック式でないときは、お買い上げ店や専門業者などにお問い合わせください。

モジュラージャック



ご注意

ホームテレホンのときは、壁の電話コンセントがモジュラージャック式でも専門業者による工事が必要です。

☝ちょっと一言

壁の電話コンセントに複数の通信機器をつなぐときは、別売りのテレホンモジュラートリプルアダプターTL-23を使ってください。なお、パソコンなどをお使いの場合は、高速データ通信用自動転換器TL-P31(3口用)を使ってください。

常時接続回線をお使いのときは、本機後面のネットワーク端子につないでデジタル放送のデータ放送との高速通信などをさらに快適に楽しめます。

壁の電話コンセントから電話を直接つないでいるとき

📖 136ページ **A**へ

壁の電話コンセントからパソコンなどをつないでいるとき

📖 136ページ **B**へ

ISDN回線を使ってつないでいるとき

📖 137ページ **C**へ

ADSL回線を使ってつないでいるとき

📖 138ページ **D**へ

CATV(ケーブルテレビ)回線を使ってつないでいるとき

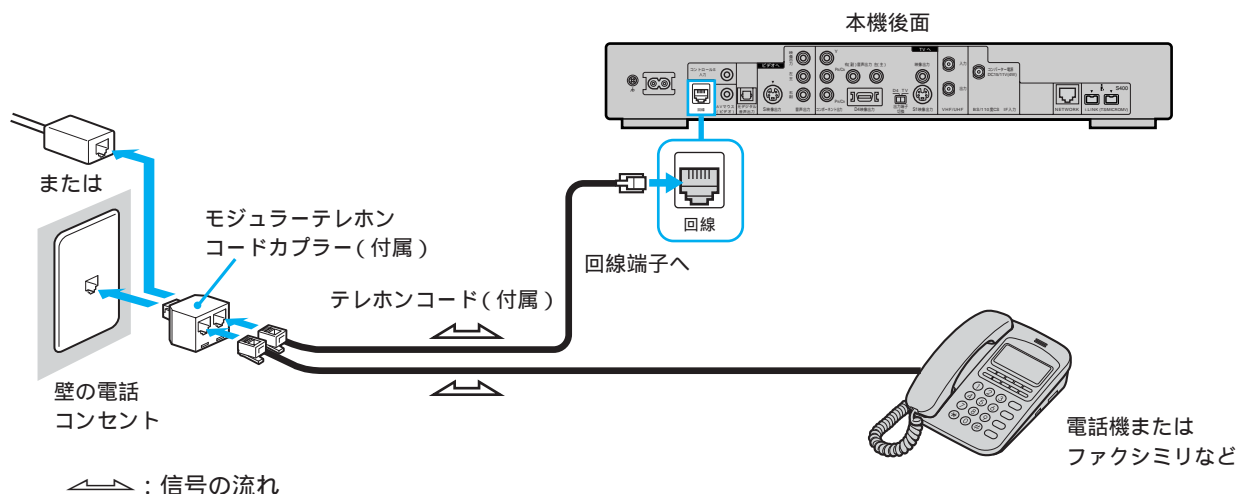
📖 139ページ **E**へ

FTTH(光ファイバー)回線を使ってつないでいるとき

📖 140ページ **F**へ

準備5：電話回線につなぐ (つづき)

A 壁の電話コンセントから電話を直接つないでいるとき

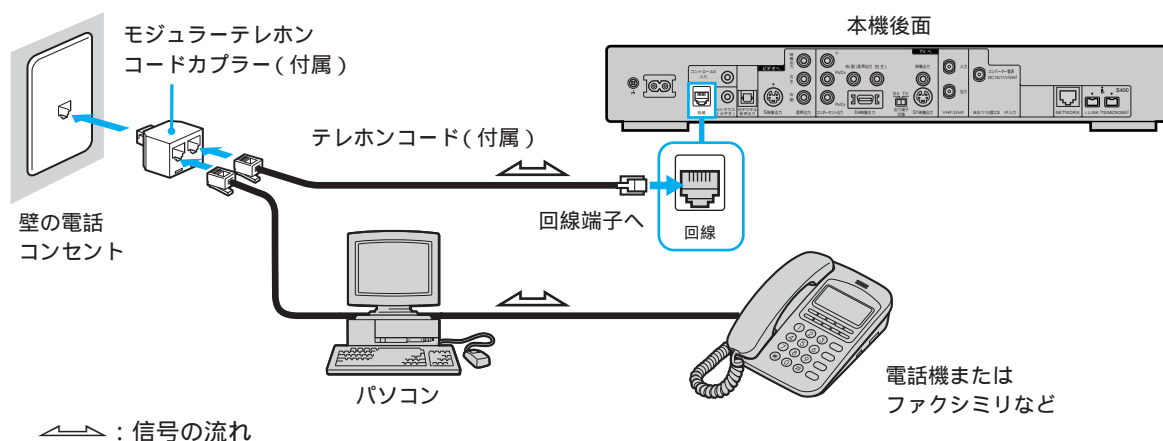


💡ちょっと一言

電話回線の設定も行ってください。設定について詳しくは、「準備12：電話回線を設定する」(160ページ)をご覧ください。また、プロバイダーを利用したネットワーク

の設定が必要なときは、「データ放送のためのネットワークを設定する」(163ページ)で、「ダイヤルアップ」も設定してください。

B 壁の電話コンセントからパソコンなどをつないでいるとき



💡ちょっと一言

電話回線の設定も行ってください。設定について詳しくは、「準備12：電話回線を設定する」(160ページ)をご覧ください。また、プロバイダーを利用したネットワーク

の設定が必要なときは、「データ放送のためのネットワークを設定する」(163ページ)で、「ダイヤルアップ」も設定してください。

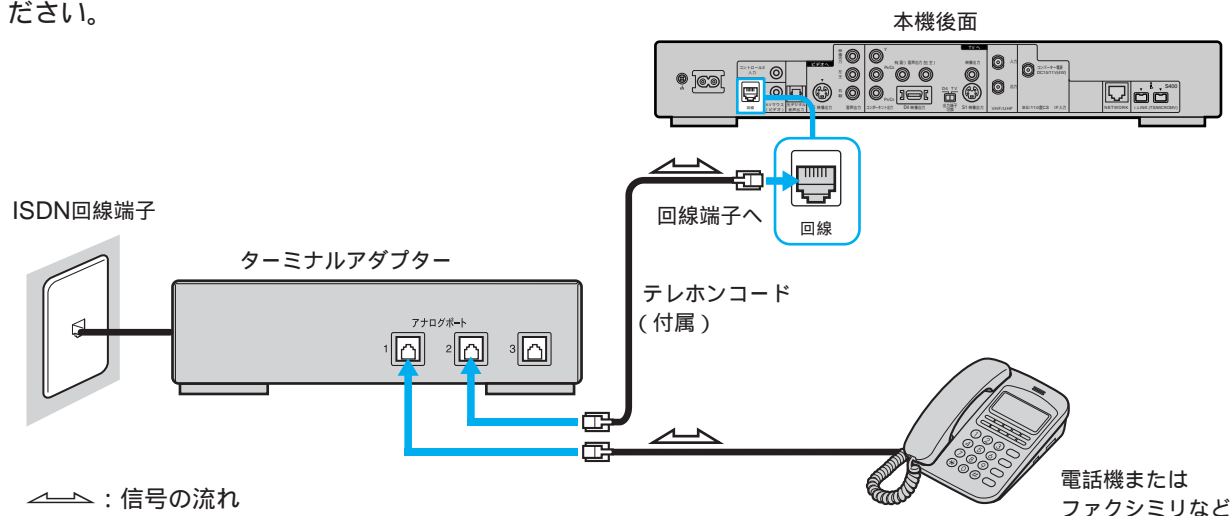
💡ちょっと一言

パソコンなどの通信や、すでに電話機やファクシミリなど通信機器を2台以上電話回線につないでいるときは、接続された通信機器がお互いに影響しあって、通信がうまくできないことがあります。このときは、付属のモジュラーテレホンコードカプラーのかわりに、別売りの高速データ通信用自動転換器TL-P21(2口用)やTL-P31(3口用)を使ってください。

C ISDN回線を使ってつないでいるとき

アナログ接続のときは

お手持ちのターミナルアダプターやダイヤルアップルーターのアナログポートに直接、本機をつないでください。



ご注意

- アナログポートには、付属のモジュラーテレホンコードカバーをつながないでください。2分配すると、正しく本機が働かないことがあります。
- ISDN回線端子に付属のモジュラーテレホンコードカバーをつながないでください。無理に押し込むと破損することがあります。
- ターミナルアダプターによっては、うまく通信できないことがあります。詳しくは、ターミナルアダプターの製造元にお問い合わせください。

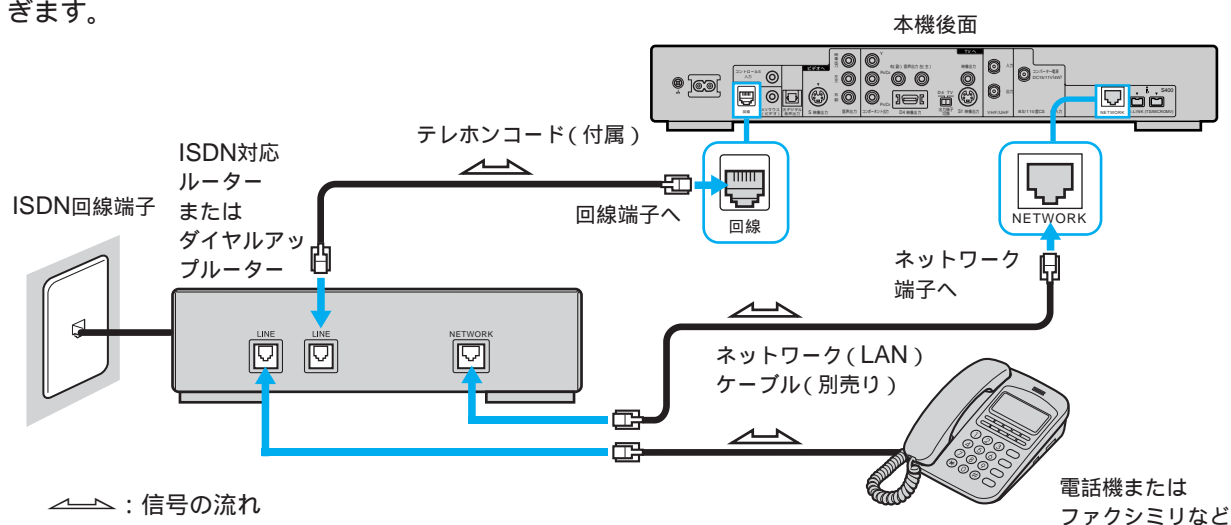
- 本機の電話回線を「トーン」に設定してください (160ページ)。

☺ちょっと一言

電話回線の設定も行ってください。設定について詳しくは、「準備12：電話回線を設定する」(160ページ)をご覧ください。また、プロバイダーを利用したネットワークの設定が必要なときは、「データ放送のためのネットワークを設定する」(163ページ)で、「ダイヤルアップ」も設定してください。

デジタル接続のときは

本機とISDN対応ルーターまたはダイヤルアップルーターを、ネットワーク(LAN)ケーブルを使ってつなぎます。



ご注意

フレッツISDNをご利用のときは、フレッツISDN対応のダイヤルアップルーターをご使用ください。

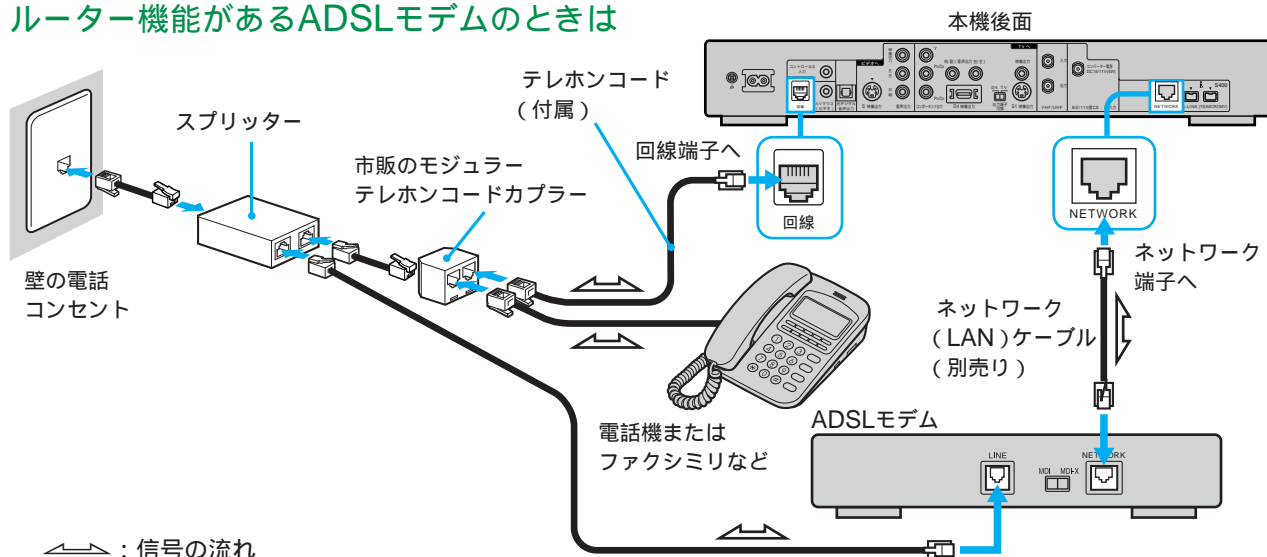
☺ちょっと一言

電話回線の設定も行ってください。設定について詳しくは、「準備12：電話回線を設定する」(160ページ)をご覧ください。また、「データ放送のためのネットワークを設定する」(163ページ)で、「ネットワーク」も設定してください。

準備5：電話回線につなぐ (つづき)

D ADSL回線を使ってつないでいるとき

ルーター機能があるADSLモデムのときは



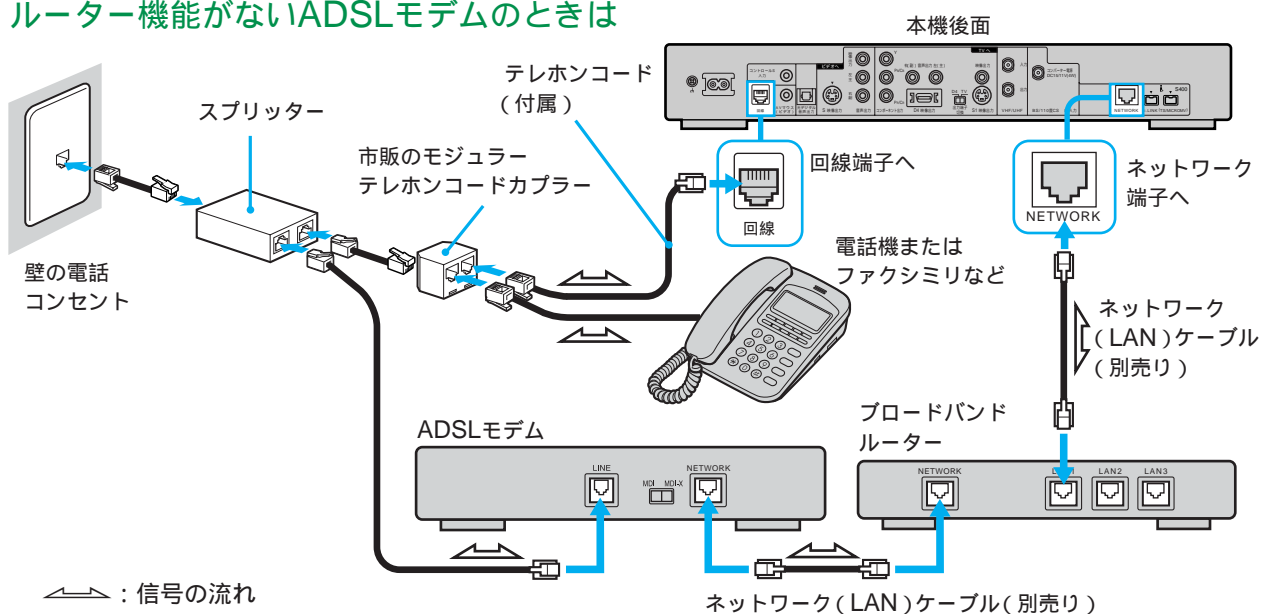
ご注意

ADSLモデムについてご不明な点は、ご利用のADSL回線事業者にお問い合わせください。

ちょっと一言

電話回線の設定も行ってください。設定について詳しくは、「準備12：電話回線を設定する」(P160ページ)をご覧ください。また、「データ放送のためのネットワークを設定する」(P163ページ)で、「ネットワーク」も設定してください。

ルーター機能がないADSLモデムのときは



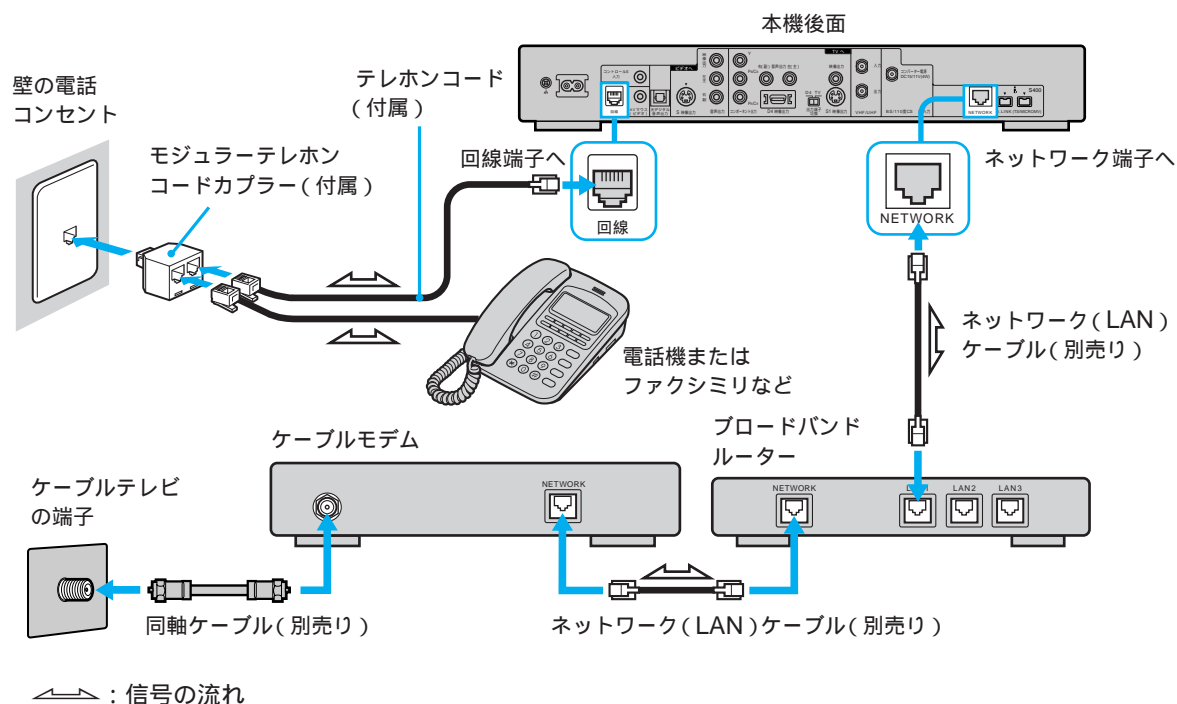
ご注意

契約によっては、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できないことがあります。ご利用のADSL回線事業者へご確認ください。

ちょっと一言

電話回線の設定も行ってください。設定について詳しくは、「準備12：電話回線を設定する」(P160ページ)をご覧ください。また、「データ放送のためのネットワークを設定する」(P163ページ)で、「ネットワーク」も設定してください。

E CATV(ケーブルテレビ)回線を使ってつないでいるとき



ご注意

契約によっては、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できないことがあります。ご利用のケーブルテレビ会社へご確認ください。

☺ちょっと一言

電話回線の設定も行ってください。設定については、「準備12：電話回線を設定する」(P160ページ)をご覧ください。また、「データ放送のためのネットワークを設定する」(P163ページ)で、「ネットワーク」も設定してください。

ネットワーク(LAN)ケーブルをお使いになるときは

- ネットワーク(LAN)ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。
モデムやルーターなどの種類により、使用するケーブルの種類が異なります。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 100BASE-TX/10BASE-Tタイプのネットワーク(LAN)ケーブルをお使いください。
詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。

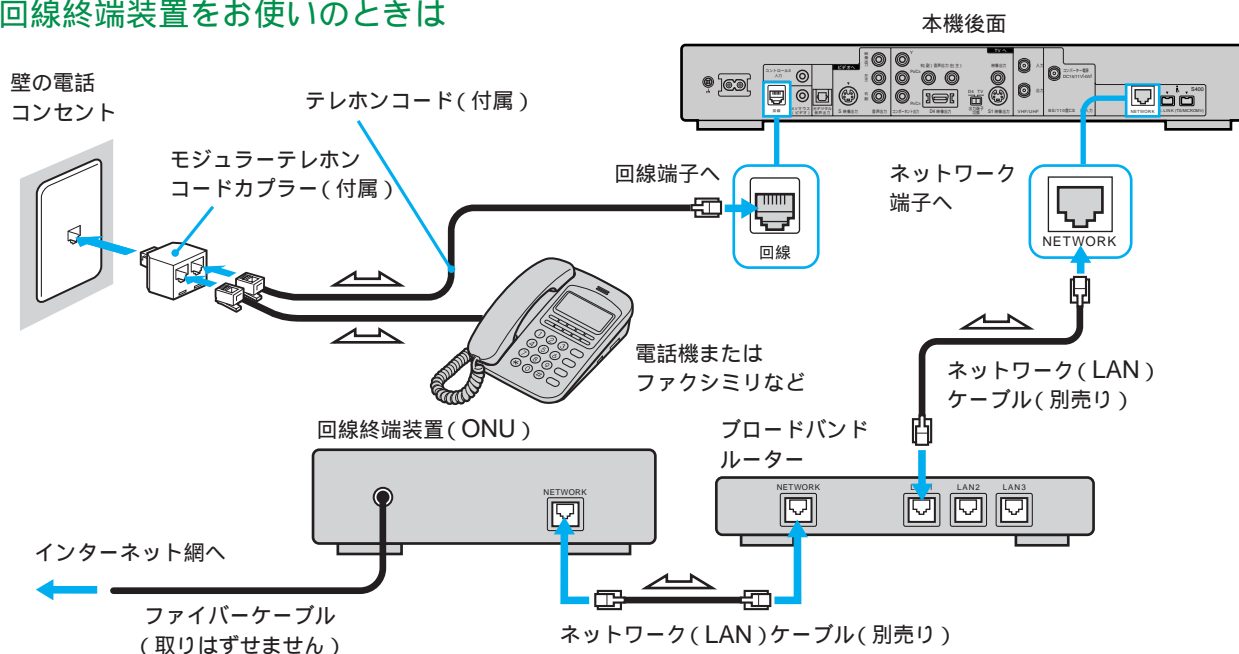
接
続

次のページにつづく

準備5：電話回線につなぐ (つづき)

F FTTH(光ファイバー)回線を使ってつないでいるとき

回線終端装置をお使いのときは



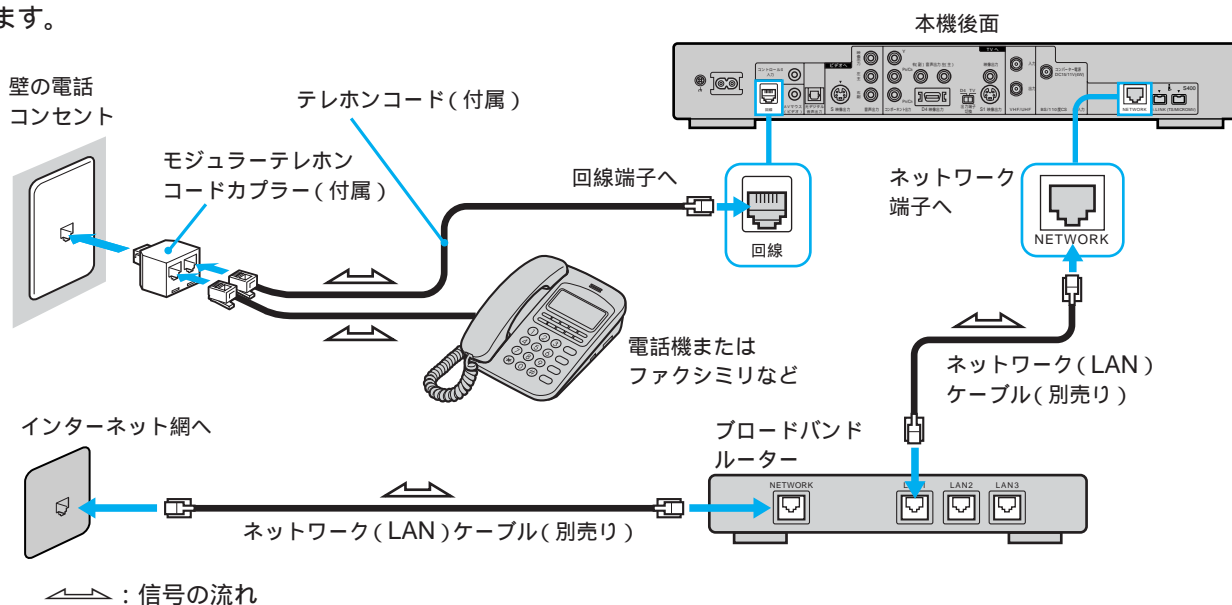
☞ちょっと一言

電話回線の設定も行ってください。設定について詳しくは、「準備12：電話回線を設定する」(☞160ページ)を

ご覧ください。また、「データ放送のためのネットワークを設定する」(☞163ページ)で、「ネットワーク」も設定してください。

回線終端装置を使わなくてよいときは

マンションタイプなどの共同インターネット回線をお使いの場合は、回線終端装置が必要ないことがあります。



☞ちょっと一言

電話回線の設定も行ってください。設定について詳しくは、「準備12：電話回線を設定する」(☞160ページ)を

ご覧ください。また、「データ放送のためのネットワークを設定する」(☞163ページ)で、「ネットワーク」も設定してください。

受信設定

お買い上げ後、はじめてお使いになるときの初期設定や、デジタル放送をテレビで見るために必要な設定を説明しています。

準備12まで終わらせると、本機で受信できるすべての放送をテレビで見ることができます。

準備6:お買い上げ時の初期設定をする	142
初期設定をする	142
お住まいの地域を設定する	145
準備7:テレビの横縦比に映像を合わせる	147
準備8:地上デジタル放送の設定をする	150
地上デジタルのチャンネルを自動設定する	150
準備9:衛星アンテナの設定をする	153
衛星アンテナ電源を設定する	153
衛星アンテナの向きを調整する	154
準備10:B-CASカード(デジタル放送用ICカード) を入れて登録する	157
準備11:各放送局に視聴を申し込む	159
準備12:電話回線を設定する	160
データ放送のためのネットワークを設定する	163
データ放送の接続方法を選ぶ	164
ダイヤルアップを設定する	165
ネットワークを設定する	170
データ放送の通信接続を自動にする [データ放送通信設定]	174
AVマウスを設定する	176
ワンタッチ選局できるチャンネルを変更する	179
チャンネル+/- ボタンや番組表で 選べるチャンネルを変更する	181
本機のリモコンでテレビも操作する	182
メーカー登録番号を設定する	182
テレビを操作する	183
暗証番号や視聴年齢制限を設定する	183
個人情報情報を消去する	186

準備6： お買い上げ時の初期設定をする

はじめて本機の電源を入れると、デジタル放送を受信するための初期設定画面が表示されます。

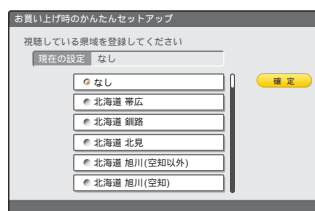
初期設定が終わってから設定を変更したいときは、「セットアップ」メニューで各設定画面を表示して、設定し直してください。

初期設定をする

初期設定では、お住まいの地域の設定と、地上デジタルのチャンネルを受信するための自動設定、衛星アンテナの受信レベルの設定を行います。

- 1 本体の電源ボタンを押す。
「県域設定」画面が表示されます。

電源



💡ちょっと一言

県域設定は「セットアップ」メニューでも設定できます。

「セットアップ」「受信設定」「地域設定」「県域設定」を選ぶ。

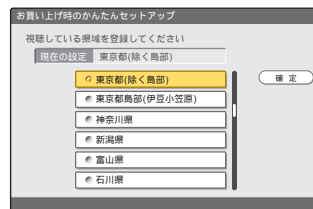
詳しくは、「引っ越しなどで県域設定を変えたいときは」(P.146ページ)をご覧ください。

ご注意

テレビに接続するときに誤って本機の映像/音声出力端子(ビデオへ)につないでいると、初期設定の画面は表示されません。

- 2 ◀/▶で住まいの都道府県名を選んで、決定で決定する。

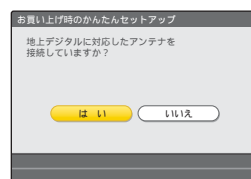
設定した地域のチャンネルを設定できるようになります。受信できるチャンネルについて詳しくは、同梱の「地上デジタル放送・地域別チャンネル割り当て一覧表」をご覧ください。



ご注意

お住まいの地域の設定には、上記の県域設定の他に郵便番号を設定する必要があります。設定のしかたについて詳しくは、「お住まいの地域を設定する」(P.145ページ)をご覧ください。

- 3 ▶で「確定」を選んで、決定で決定する。



- 4 「はい」が選ばれていることを確認して、決定で決定する。





地上デジタルに対応したアンテナをつないでいないときは、「いいえ」を選んで、手順9に進んでください。

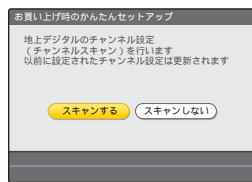
- 5 ◀/▶で「UHF」または「CATV」を選んで、決定で決定する。



「UHF」: UHFアンテナをつないでいるときに選ぶ。

「CATV」: ケーブルテレビで地上デジタル放送が配信されているときに選ぶ。

6 で「確定」を選んで、で決定する。




☝ちょっと一言

チャンネルスキャンは「セットアップ」メニューでも設定できます。

「セットアップ」「受信設定」「地上デジタル設定」「チャンネルスキャン」を選ぶ。

詳しくは、「地上デジタルのチャンネルを自動設定する」(150ページ)をご覧ください。

7 「スキャンする」が選ばれていることを確認して、で決定する。

地上デジタルの受信できるチャンネルを自動設定します。

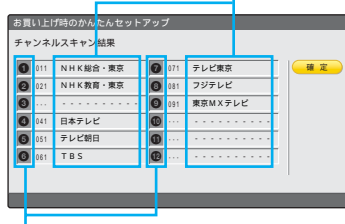
➡で「スキャンしない」を選んだときは、手順9へ進んでください。



チャンネルスキャン中は、電源を切らないでください。


チャンネルスキャンが終わると、下の画面になります。

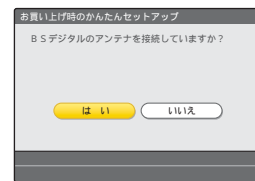
自動設定したチャンネル



(1) ~ (12) の数字ボタン
7 画面

画面は手順2で「東京都(除く島部)」を選んだときの一例です。

8 設定されたチャンネルを確認して、で決定する。



9 /➡で「はい」または「いいえ」を選んで、で決定する。

「はい」: 衛星アンテナを直接つないでいるときに選びます。

「はい」を選んだときは「衛星アンテナレベル」画面が表示されます。

「いいえ」: マンションなどの共同受信システムのときや、BSデジタル、110度CSデジタルを視聴しないときに選びます。

「いいえ」を選んだときは、手順12へ進みます。



☝ちょっと一言

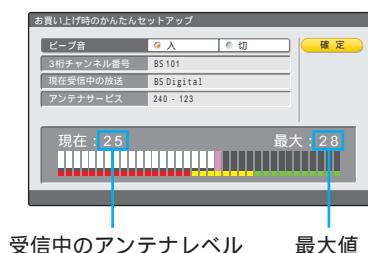
衛星アンテナレベルは「セットアップ」メニューでも確認できます。


「セットアップ」「受信設定」「BS/CS設定」「衛星アンテナレベル」を選ぶ。

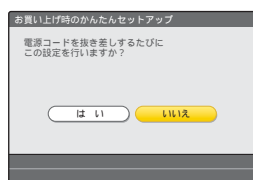
詳しくは、「衛星アンテナの向きを調整する」(154ページ)をご覧ください。


準備6：お買い上げ時の初期設定をする(つづき)

- 10** 衛星アンテナを動かして、アンテナレベルを調整する。
アンテナレベルができるかぎり最大値に近くなるように、アンテナの向きを調整し固定します。
衛星アンテナの向きの調整について詳しくは、「衛星アンテナの向きを調整する」(P154ページ)をご覧ください。











- 11** 「確定」を選んで、で決定する。





- 12** 「いいえ」が選ばれていることを確認して、で決定する。
電源コードを抜き差ししても初期設定は行いません。
「はい」を選んだときは、電源コードを抜き差しするたびに初期設定を行います。

ケーブルテレビをお使いのときは









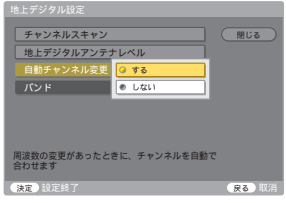


本機ではアナログ放送は受信できません。

- 1** メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 2** で「セットアップ」を選んで、で決定する。
- 3** で「受信設定」を選んで、で決定する。
- 4** で「地上デジタル設定」を選んで、で決定する。
- 5** で「バンド」を選んで、で決定する。



- 6** で「CATV」を選んで、で決定する。
- 7** 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

新しい放送局やチャンネルが増えたときに自動的に受信できるようにする

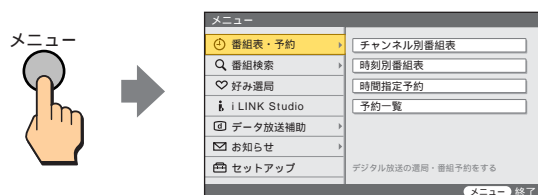
- 1 メニューボタンを押して、メニューを出す。
 - 2 で「セットアップ」を選んで、で決定する。
 - 3 で「受信設定」を選んで、で決定する。
 - 4 で「地上デジタル設定」を選んで、で決定する。
 - 5 で「自動チャンネル変更」を選んで、で決定する。
- 
- 6 で「する」を選んで、で決定する。
 - 7 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。



お住まいの地域を設定する

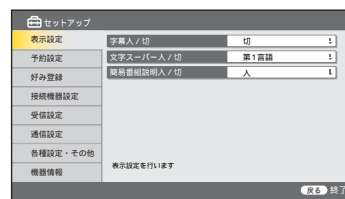
デジタル放送では、地域ごとに特有の放送が行われる場合があります。お住まいの地域の放送を受信できるように、地域設定を行っておく必要があります。



お買い上げ時の初期設定で行った県域設定に加えて、郵便番号設定を行ってください。

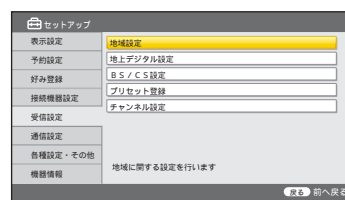
- 1 メニューボタンを押す。





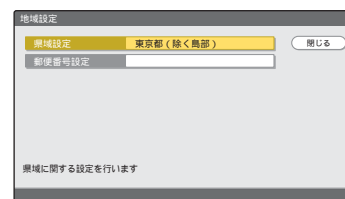
- 2 で「セットアップ」を選んで、で決定する。



- 3 で「受信設定」を選んで、で決定する。





- 4 で「地域設定」を選んで、で決定する。

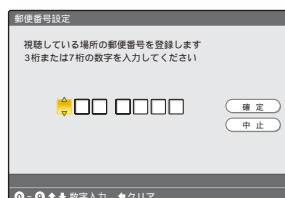


受信設定

次のページにつづく

準備6：お買い上げ時の初期設定をする(つづき)

- 5 で「郵便番号設定」を選んで、で決定する。

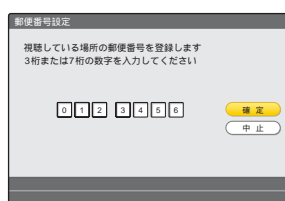
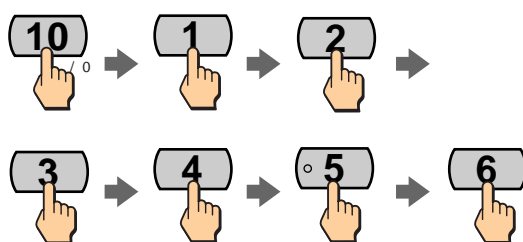


- 6 **①** ~ **⑩**までの数字ボタンで、お住まいの地域の郵便番号3桁または7桁を入力する。

「0」を入力するときは、**⑩**ボタンを押す。

郵便番号を間違えたときは \leftarrow で戻り、入力し直してください。


例：郵便番号が 012-3456のとき




ご注意

お住まいの地域の郵便番号を正しく入力してください。間違った郵便番号を入れると、お住まいの地域に密着した情報が受信できなかったり、お住まいでない地域の情報を誤って受信してしまいます。

👉ちょっと一言

郵便番号を入力するときは、リモコンの \leftarrow / \rightarrow でも行えます。 \leftarrow / \rightarrow で入力する桁を選び、 \rightarrow で0~9の数字が選べます。 \rightarrow を押すと、数字が決定して次の桁に移動します。訂正するときは \leftarrow を押して数字を削除します。7桁すべての数字を入力したら、 \rightarrow で「確定」を選んで、で決定します。

- 7 「確定」が選ばれていることを確認して、で決定する。







- 8 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

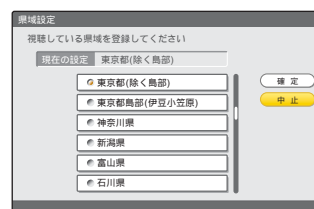


引っ越しなどで県域設定を変えたいときは
お買い上げ時の初期設定で設定した県域設定を変更したいときは、下記の手順で設定し直してください。県域設定に対応したチャンネルが優先的にスキャンされます。

ご注意

県域設定を変更したときは、「地上デジタルのチャンネルを自動設定する」(p 150ページ)で「初期スキャン」を行ってください。

- 1 メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 2 \rightarrow で「セットアップ」を選んで、で決定する。
- 3 \rightarrow で「受信設定」を選んで、で決定する。
- 4 \rightarrow で「地域設定」を選んで、で決定する。
- 5 \rightarrow で「県域設定」を選んで、で決定する。



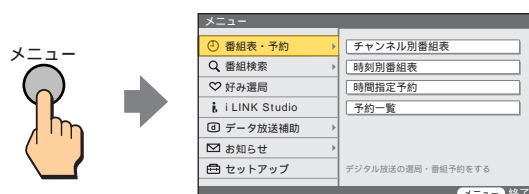
- 6 ◀/▶で住まいの都道府県名を選んで、
決定で決定する。
- 7 ➡で「確定」を選んで、決定で決定する。
- 8 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。
- 9 「地上デジタルのチャンネルを自動設定する」(P150ページ)を行う。

準備7： テレビの横縦比に映像 を合わせる

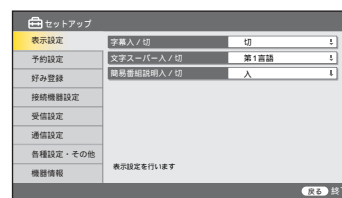
「準備6：お買い上げ時の初期設定をする」が終わったら、テレビの横縦比に合った映像が映るように設定します。

テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

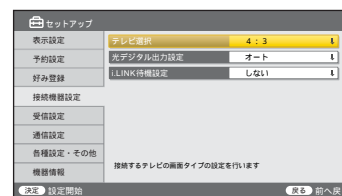
1 メニューボタンを押す。



2 決定で「セットアップ」を選んで、決定で決定する。




3 決定で「接続機器設定」を選んで、決定で決定する。

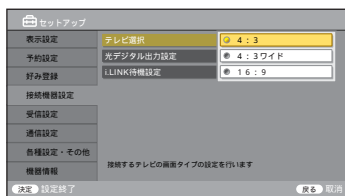


受信設定

次のページにつづく

準備7：テレビの横縦比に映像を合わせる(つづき)

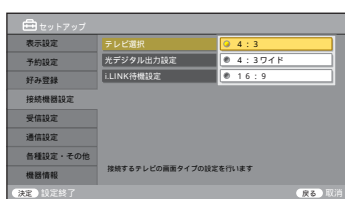
- 4** で「テレビ選択」を選んで、で決定する。



- 5** お使いのテレビのタイプを選ぶ。

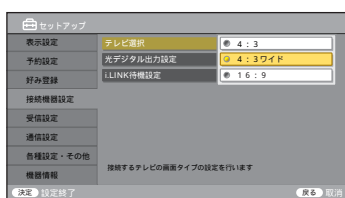
テレビ(横縦比4:3)でワイド*がないときは

で「4:3」を選び、で決定する。



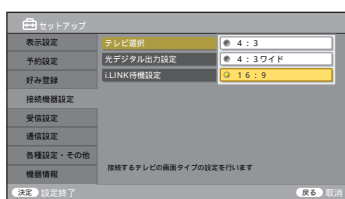
テレビ(横縦比4:3)でワイド*があるときは

で「4:3ワイド」を選び、で決定する。



ワイドテレビ(横縦比16:9)のときは

で「16:9」を選び、で決定する。



👉ちょっと一言

テレビ(横縦比4:3)でワイド*があるかないかは、テレビの取扱説明書で確認してください。

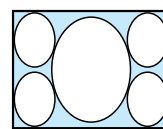
- 6** 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。



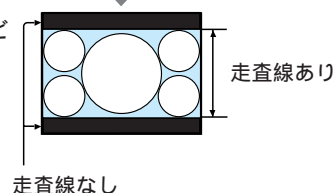
* ワイドとは

下のイラストのように、デジタル放送やDVDプレーヤー、ビデオカメラなどで、あらかじめ縦長に圧縮(スキーズ)して記録された横縦比4:3映像を、元の16:9のワイド画像で見ることができるテレビの機能です。画面上下の黒帯を除いた映像部分に水平走査線を集めるため、16:9のワイド画像をよりオリジナルに近い画質で楽しめます。

オリジナルの映像
(16:9映像を4:3に
縦長圧縮した映像)



ワイドが働いたテレビ
での映像
走査線を密にして
より高画質にします。



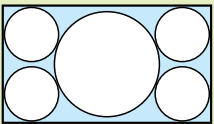
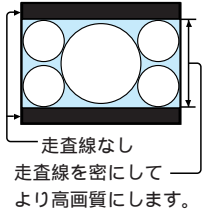
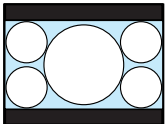
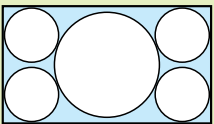
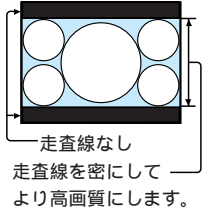
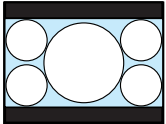
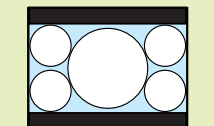
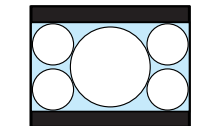
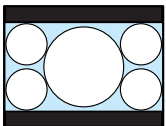
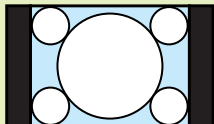
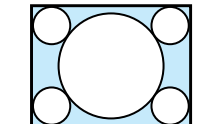
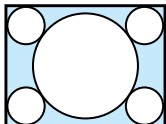
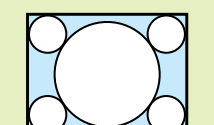
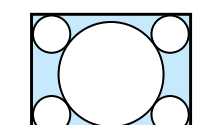
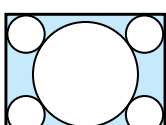
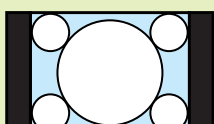
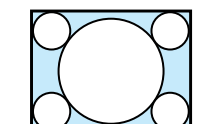
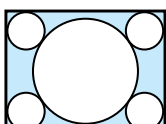
ご注意

本機前面の映像出力切換の設定(🔍124ページ)が「D3」または「D4」のときは「4:3」を、「1125i固定」のときは「4:3」と「4:3ワイド」を選ばません。

ワイドテレビやワイド付きのテレビのときは、テレビ側のワイド設定もあわせて行ってください。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

デジタル放送の画質(**HD** と **SD**)については、④123ページもご覧ください。

テレビ画面での映像の見えかた一覧

オリジナルの映像	「テレビ選択」の設定によるテレビ画面での映像の見えかた		
	「16:9」を選んだとき	「4:3ワイド」を選んだとき	「4:3」を選んだとき
デジタルハイビジョン信号 HD の16:9映像			
標準テレビ信号 SD の16:9映像			
標準テレビ信号 SD のレターボックス4:3映像 (画面上下の黒帯を除いた映像部分は16:9)			
デジタルハイビジョン信号 HD のサイドパネル16:9映像 (画面左右の黒帯を除いた映像部分は4:3)			
標準テレビ信号 SD の4:3映像			
標準テレビ信号 SD のサイドパネル16:9映像 (画面左右の黒帯を除いた映像部分は4:3)			

¹⁾ 本機前面の映像出力切替の設定が「D1」のときや本機後面の出力端子切替を「TV」にしているときは、標準テレビ信号 **SD** (525i)に変換されて映ります。

²⁾ 本機前面の映像出力切替の設定が「1125i固定」のときは、デジタルハイビジョン信号 **HD** (1125i)に変換されて映ります。

³⁾ 本機前面の映像出力切替の設定が「D1」、「D2」、「D3」または「D4」のときは、テレビ側のワイド設定によっては、チャンネル表示などが画面からはみ出ることがあります。

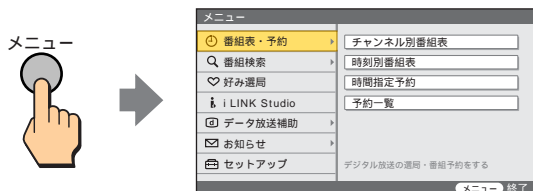
準備8： 地上デジタル放送の 設定をする

地上デジタルを見るときは、地上デジタルアンテナレベルの確認を行ってください。
また、初期設定で行った地上デジタルのチャンネルを自動設定し直すことができます。

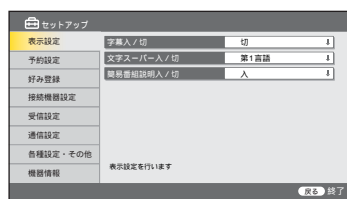
地上デジタルのチャンネルを自動設定する

受信できる地上デジタルを、**(1) ~ (12)** の数字ボタンに自動的に設定します。地上デジタルが放送中の時間帯に行ってください。
初期設定で地上デジタルの自動設定(チャンネルスキャン)([P.142](#)ページ)を行った場合は、この操作は不要です。

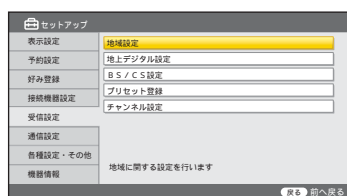
1 地上Dボタンを押して、メニューボタンを押す。



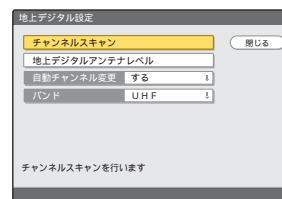
2 設定で「セットアップ」を選んで、決定する。



3 設定で「受信設定」を選んで、決定する。

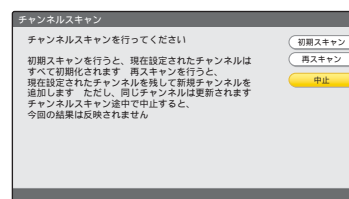


4 設定で「地上デジタル設定」を選んで、決定する。



5 設定で「チャンネルスキャン」を選んで、決定する。

選ばれていないときは、設定で「チャンネルスキャン」を選んで、決定する。



6 設定で「初期スキャン」を選んで、決定する。

自動的に設定が始まります。



スキャン中は、電源を切らないでください。

自動設定し終わると、下のメニューに変わります。

自動設定したチャンネル



(1) ~ (12) の数字ボタン

7 設定されたチャンネルを確認する。

設定したチャンネルを変更するときは [P.179](#) ページをご覧ください。

8 「閉じる」が選ばれていることを確認して、で決定する。

9 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。



新しく受信できるチャンネルを追加したいときは

「地上デジタルのチャンネルを自動設定する」(P150ページ)の手順6で「再スキャン」を選びます。初期スキャンですでに設定されたチャンネルはそのまま、新しく受信できるチャンネルのみをスキャンして自動設定します。

地上デジタルのアンテナレベルを確認する

中継局などを經由して、地上デジタルの電波を送っているため、ご家庭の屋根などに設置されている、これまでのUHF用地上波アンテナで受信できる場合があります。



受信できないときは、お買い上げ店や工事店に依頼して、アンテナの取り換えや調整を行ってください。



まず、地上デジタルのアンテナ受信レベルを確認してください。

1 地上Dボタンを押す。



2 NHKを選局する。

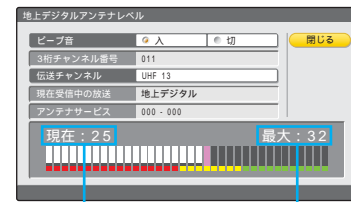
3 メニューボタンを押して、メニューを出す。

4 で「セットアップ」を選んで、で決定する。

5 で「受信設定」を選んで、で決定する。


6 で「地上デジタル設定」を選んで、で決定する。

7 で「地上デジタルアンテナレベル」を選んで、で決定する。



受信中のアンテナレベル 最大値

8 アンテナレベルを確認する。

9 「閉じる」が選ばれていることを確認して、で決定する。

10 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

手順2で選局した地上デジタルテレビの画面が映ります。画面がきれいに映らないときはソーサーサービス窓口などにご相談ください。

音を聞いて確認するには

画面で確認できないときに便利です。







地上デジタルアンテナレベル画面で「ビーブ音」が「入」になっているときは、音を聞いて確認できます。

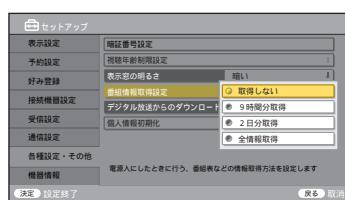
ビーブ音を消すときは「切」を選んでください。



準備8：地上デジタル放送の設定をする(つづき)

地上デジタルの番組情報取得について設定する


本機の電源コードを抜いた状態から、次に電源を入れたときに、番組情報を取得するかどうかと、取得する番組情報の量を設定します。番組情報を取得している間は、番組を画面に表示できません。

- 1 メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 2 で「セットアップ」を選んで、で決定する。
- 3 で「各種設定・その他」を選んで、で決定する。
- 4 で「番組情報取得設定」を選んで、で決定する。



- 5 で「取得しない」または「9時間分取得」、「2日分取得」、「全情報取得」を選んで、で決定する。
「取得しない」(お買い上げ時の設定)：本機の電源コードを抜いた状態から、次に電源を入れたときには、番組情報を取得しません。
「9時間分取得」：現在から9時間先までの番組情報を取得します。
「2日分取得」：現在から2日先までの番組情報を取得します。
「全情報取得」：現在取得可能な全番組情報を取得します。
- 6 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

番組情報取得を途中で止めるには

「中止」が選ばれていることを確認して、で決定する。

ご注意

- 取得する番組情報が多いほど時間がかかり、その間番組を見ることはできません。
- 地上デジタルを表示している状態で電源を切って本機の電源コードを抜き、次に電源を入れたときにのみ番組情報を取得します。
- 新しい番組情報がないときは、番組情報を取得しません。

準備9： 衛星アンテナの設定をする

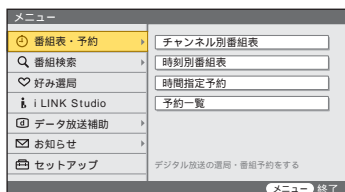
BSデジタルや110度CSデジタルを見るときは、衛星アンテナ電源(コンバーター電源)の設定と、衛星アンテナの向きの調整を行ってください。

また、お住まいの地域に特有の放送を受信するために、地域設定(145ページ)も行ってください。

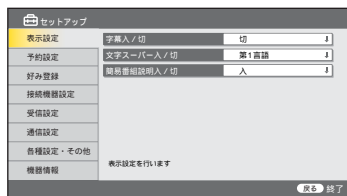
衛星アンテナ電源を設定する

衛星アンテナのつながりかた(マンションなどの共同受信システムか、本機などに直接つないでいるかなど)に合わせて、衛星アンテナへの電源供給を設定します。

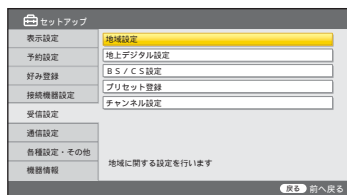
- 1 BSまたはCSボタンを押して、メニューボタンを押す。



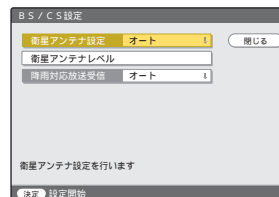
- 2 決定で「セットアップ」を選んで、決定で決定する。



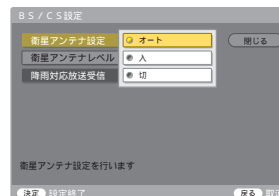
- 3 決定で「受信設定」を選んで、決定で決定する。



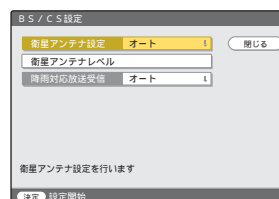
- 4 決定で「BS/CS設定」を選んで、決定で決定する。



- 5 決定で「衛星アンテナ設定」を選んで、決定で決定する。



- 6 決定で衛星アンテナへの電源の供給のしかたを選んで、決定で決定する。



マンションなどの共同受信システムの場合は

「切」を選んで、決定する。

衛星アンテナをつないでいるときは

「オート」(お買い上げ時の設定)または「入」を選んで、決定する。

BSデジタルが映ったり消えたりするときは「入」を選んでください。

設定 衛星アンテナへの電源供給のしかた

オート(お買い上げ時の設定) 本機の電源が入っているときに、本機が衛星アンテナに電源を供給するかどうかを自動的に判断する。本機の電源が切れているときは供給しない。

入 本機の電源が入っているときはつねに電源を供給する。本機の電源が切れているときは供給しない。

切 電源を供給しない。

準備9：衛星アンテナの設定をする (つづき)

ご注意

- 「オート」にしても、衛星アンテナの電源供給システムによっては、うまく働かないことがあります。このときは「入」にしてください。
- 1本の衛星アンテナに分配器などをつないでBS電波を分け、本機と他のテレビやビデオ機器の両方でBSデジタルを受信できるようにしているときは、本機を「オート」に、他の機器を「入」(または「連動」)にしてください。このようにしないと、本機の電源を切ると他のテレビやビデオ機器から衛星アンテナに電源が供給されないことがあります。他の機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

7 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。



衛星アンテナの向きを調整する

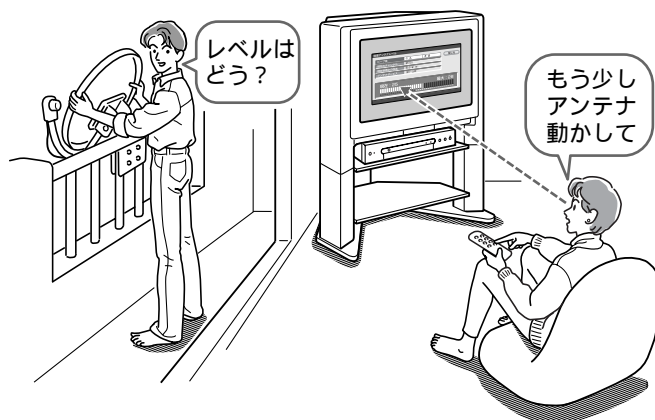
衛星アンテナを本機に直接つないだときは、アンテナの向きを2人で調整します。1人がテレビ画面のレベル表示を見て、もう1人が衛星アンテナを動かしながら、レベル表示が最大になるように調整します。

向きや角度については、衛星アンテナの取扱説明書もあわせてご覧ください。

一部の衛星アンテナでは、性能の劣化やデジタル化に必要な性能が確保されていないことがあります。受信状況が悪い場合は、衛星アンテナ製造元のお客様窓口や、衛星アンテナを購入したお買い上げ店などにお問い合わせください。

ご注意

「衛星アンテナ設定」が「切」になっているときは、「オート」または「入」にしたあと、電源を入れ直してください(㊞153ページ)。



1人で調整するときは

手順7まで行ったのち、「1人で調整するときは」(㊞156ページ)の手順にしたがって調整してください。

1 BSボタンを押す。

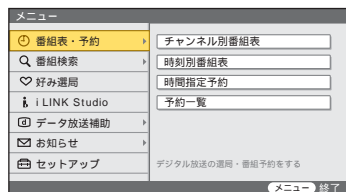


- 2 チャンネル数字ボタンの $\boxed{1}$ *を押して、NHK BS1を選局する。

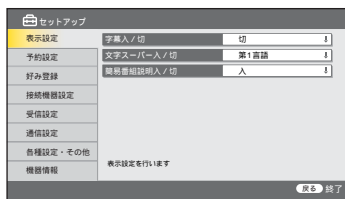


* お買い上げ時はチャンネル数字ボタンの $\boxed{1}$ を押すと、NHK BS1が映るように設定されています。

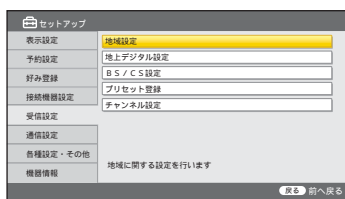
- 3 メニューボタンを押す。



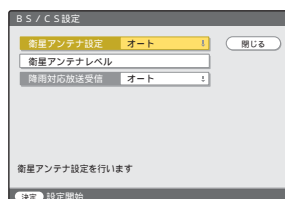
- 4 \leftarrow/\rightarrow で「セットアップ」を選んで、 $\boxed{\text{決定}}$ で決定する。



- 5 \leftarrow/\rightarrow で「受信設定」を選んで、 $\boxed{\text{決定}}$ で決定する。



- 6 \leftarrow/\rightarrow で「BS/CS設定」を選んで、 $\boxed{\text{決定}}$ で決定する。



- 7 \leftarrow/\rightarrow で「衛星アンテナレベル」を選んで、 $\boxed{\text{決定}}$ で決定する。



- 8 衛星アンテナを動かして、アンテナレベルを調整する。
アンテナレベルが、できるかぎり最大値に近くなるように、アンテナの向きを調整し固定します。



受信中のアンテナレベル 最大値

- 9 「閉じる」が選ばれていることを確認して、 $\boxed{\text{決定}}$ で決定する。

- 10 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。
BSテレビ(NHK BS1)の画面が映ります。画面がきれいに映らないときはソニーサービス窓口などにご相談ください。



音を聞いて調整するには

画面で確認できないときに便利です。

- 手順7のあと、 \leftarrow/\rightarrow で「ピープ音」の「入」を選んで、 $\boxed{\text{決定}}$ で決定する。
- 手順8で最も高い音階の音になるよう、衛星アンテナを調整する。

準備9：衛星アンテナの設定をする (つづき)

1人で調整するとき

調整は本機前面の表示窓に表示されるアンテナレベルを見ながら行います。

- 1 テレビ画面に「衛星アンテナレベル」の画面(㊚155ページの手順7の画面)が表示されている状態のまま、本機の電源を入れたままで、電源コードを抜く。
- 2 アンテナ設置場所に本機を移動する。
- 3 市販の延長コードなどを利用して本機の電源を入れ、数秒間待つ。
表示窓にアンテナレベルが表示されます。



現在のアンテナレベル アンテナレベルの最大値

- 4 表示窓のアンテナレベル表示を見ながら、衛星アンテナを動かして調整する。
アンテナレベルが、少しでも大きくなるように、アンテナの向きを調整し固定します。
- 5 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

110度CSデジタルのアンテナレベルを確認するには

110度CSデジタルをご覧にならないときは確認する必要はありません。また、BSデジタルを受信できているときは110度CSデジタルのアンテナレベルが低くても、衛星アンテナの向きを調整する必要はありません。

あらかじめ下記を行ってください。

- 「衛星アンテナの向きを調整する」(㊚154ページ)を行って、BSデジタルを受信する。
- お使いのアンテナや分配器、ブースター(増幅器) および共同受信システムが110度CSデジタルに対応していることを確認する。

- 1 CSボタンを押して、CS1に切り換える。

- 2 004chに切り換える。



- 3 「衛星アンテナの向きを調整する」(㊚155ページ)の手順3～8を行う。

「現在受信中の放送」に「PLAT-ONE」と表示されます。

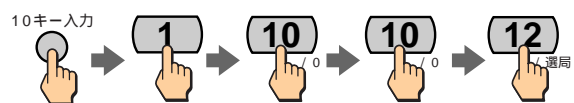
- 4 アンテナレベルがBSデジタル(㊚155ページ)と同等か確認する。

プラットワンに視聴申し込みをしていないときは放送は映りませんが、アンテナレベルは確認できます。

- 5 ◀▶で「閉じる」を選んで、で決定する。

- 6 CSボタンを押して、CS2に切り換える。

- 7 100chに切り換える。



「現在受信中の放送」に「SKY PerfecTV! 2」と表示されます。

- 8 手順3～5をもう1度行う。

- 9 SKY PerfecTV! 2の100ch(プロモチャンネル)が映るか確認する。

ご注意

110度CSデジタルの映らないチャンネルがあるときや、映像が乱れるときは、アンテナや分配器、ブースターなどが110度CSデジタルに対応していないことがあります。詳しくは、お買い上げ店か、マンション管理会社にお問い合わせください。

ビーキャス 準備10 : B-CASカード (デジタル放送用ICカード)を入れて登録する

B-CAS*カード(デジタル放送用ICカード)はお客様と地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの放送局をつなぐカードです。デジタル放送では、このカードを利用したCAS(限定受信システム)が採用されています。

ご登録いただくと各種サービスが利用できるようになります。

B-CASカードを本機に入れたあと、ユーザー登録はがきに必要事項を記入し、投函してください。

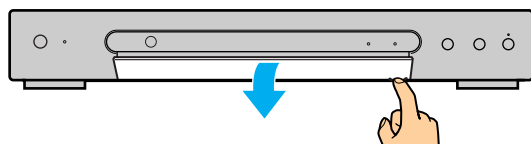
また、有料番組やPPV番組(㊦77ページ)を見たり、データ放送の双方向サービスを受けたりするときも、B-CASカードを使用します。

* B-CASは(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。

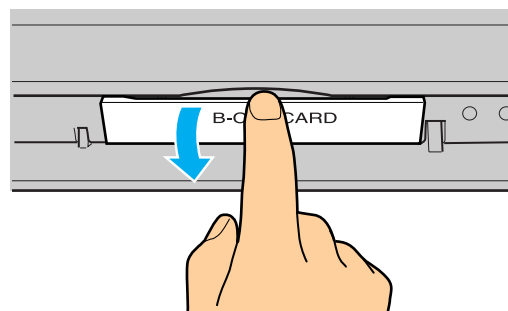
ご注意

ユーザー登録をしないと、有料番組(㊦77ページ)が視聴できなかったり、データ放送の双方向サービスが受けられなかったりします。また、連絡先不明のため、カードの交換や更改などのサービスが受けられません。

1 本機前面のパネルを開ける。

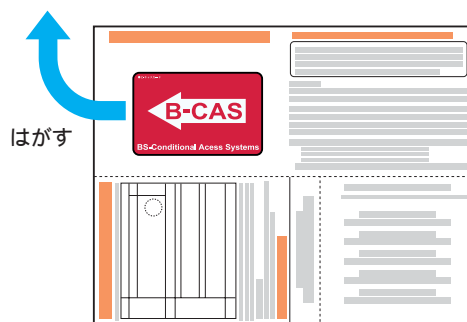


2 B-CASカード挿入口のふたを指で手前に開ける。

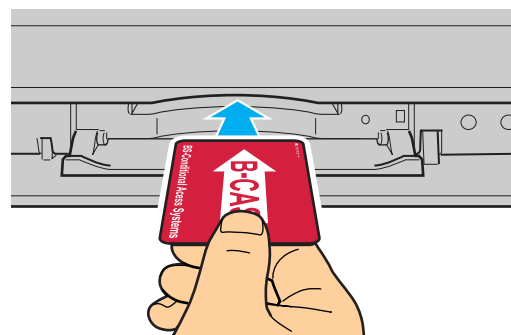


3 同封の「ビーキャス(B-CAS)カード使用許諾契約約款」の内容をお読みになり了解された上で、台紙からB-CASカードをはがす。

B-CAS用ユーザー登録はがき台紙の内容にご不明な点があるときは、B-CASカスタマーセンター(電話番号0570-000-250)へお問い合わせください。



4 B-CASカードを奥までしっかり挿入する。



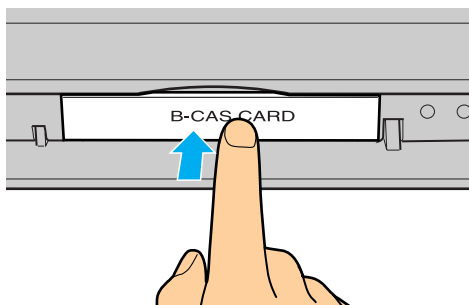
B-CASと描かれた面を上にして、印刷された矢印の方向に挿入する。

受信設定

次のページにつづく

ビーキャスト
準備10：B-CASカード(デジタル放送用ICカード)を入れて登録する(つづき)

5 B-CASカード挿入口のふたを開める。



ご注意

ふたは必ず閉めてください。ふたがしっかり閉まっていないと、B-CASカードが正しく挿入されているかを本機が判断できないためです。

6 同梱のB-CAS用ユーザー登録はがきに必要事項を記入し、投函する。

B-CAS用ユーザー登録はがきの登録作業が終了すると、各種サービスが利用できるようになります。

ご注意

- B-CASユーザー登録はがき台紙は、大切に保管しておいてください。有料放送に視聴を申し込む(☎159ページ)ときに必要なバーコードシールが付いていたり、B-CASカスタマーセンターへのお問い合わせ先が案内されていたりするためです。
- 転居などの際には、B-CASカスタマーセンターに連絡してください。

💡ちょっと一言

こんなメッセージが表示されたら...

(ICカードはB-CASカードのことです。)

- 「ICカードとのアクセスが成立しません

ICカードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターへ連絡してください：XXXX」

→B-CASカードが奥までしっかり入っていない。

→B-CASカードが前後逆向きに入っている。

→B-CASカードが表裏逆向きに入っている。

→B-CASカードが破損している。

→B-CASカードとは別の種類のカードが入っている。

→ご覧になっている放送局や110度CSデジタルの衛星サービス会社のカスタマーセンター(☎159ページ)またはB-CASカスタマーセンター

(電話番号0570-000-250)へお問い合わせください。

- 「ICカード挿入口のふたを閉めてください」

→B-CASカード挿入口のふたが開いている。

- 「ICカードを入れてください」

→B-CASカードが奥までしっかり入っていない。

準備11： 各放送局に視聴を 申し込む

加入申し込みが必要な有料BSデジタル放送局と110度CSデジタル衛星サービス会社の カスタマーセンター（お問い合わせ先）一覧

BSデジタルの有料放送や110度CSデジタルを視聴するには、各局へ加入申し込みをして契約する必要があります。

加入申し込み方法はBSデジタル放送局や110度CSデジタル衛星サービス会社により異なります。詳しくは、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

なお、無料放送でも登録が必要な場合があります。詳しくは、ご覧になりたい放送局へお問い合わせください。

また、B-CASカード（デジタル放送用ICカード）を本機のB-CASカード挿入口に入れて、B-CAS用ユーザー登録はがきを投函してください（☎157ページ）。

ご注意

ユーザー登録はがきをご投函いただかないと、NHK（BS1、BS2、デジタルハイビジョン）を受信するたびに、テレビ画面に連絡をお願いする案内が、自動表示されるようになります。

NHK受信契約のお申し込みや転居のご連絡先：

0120-151515

受付 9：00～22：00（通話料無料）

<http://www.nhk.or.jp/eigy/>

2003年8月現在の電話番号とホームページアドレスです。

有料BSデジタル放送局

放送局	お問い合わせ電話番号/ ホームページアドレス
-----	---------------------------

WOWOW 0570-008080
（携帯電話などをお使いの方は、045-683-8080）
受付 9:00～20:00
<http://www.wowow.co.jp/>

テレビ放送のみが、視聴申込が必要な有料放送です。ラジオ放送（WOWOW wave：491、492ch）と独立データ放送（WOWOW navi：791、792ch）は無料放送です。

スター・チャンネルBS 0570-010-110
（携帯電話などをお使いの方は、045-339-1555）
受付 10:00～20:00
<http://www.star-ch.co.jp/>

テレビ放送のみが、視聴申込が必要な有料放送です。独立データ放送（800ch）は無料放送です。

110度CSデジタル衛星サービス会社

110度CS衛星 サービス	お問い合わせ電話番号/ ホームページアドレス
------------------	---------------------------

プラットワン（CS1）  0570-001-012
（携帯電話などをお使いの方は、045-227-9650）
受付 10:00～20:00
<http://www.plat-one.com>

SKY PerfecTV! 2（CS2）  0570-088-222
（または、045-339-0002）
受付 10:00～20:00
<http://www.skyperfecTV2.jp>

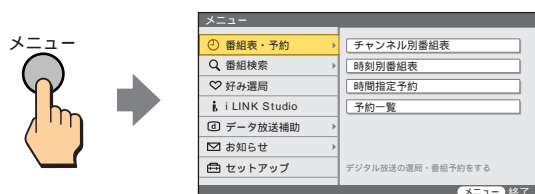
☺ ちょっと一言

110度CSデジタルの無料放送は、各衛星サービス会社への加入申込みや契約をしなくてもご覧いただけます。受信料は請求されません。

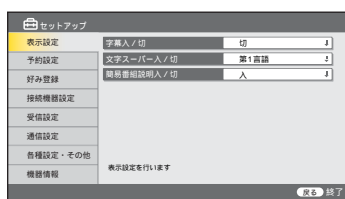
準備12： 電話回線を設定する

電話回線の設定と、接続テストを行います。
お買い上げ時は、「自動設定」で「通常発信」の
電話回線に設定されています。
必ず電話回線を設定してください。

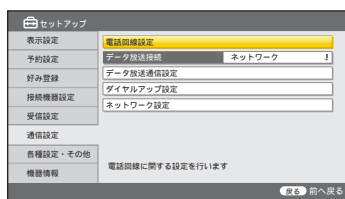
1 メニューボタンを押す。



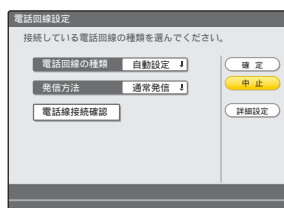
2 で「セットアップ」を選んで、 決定



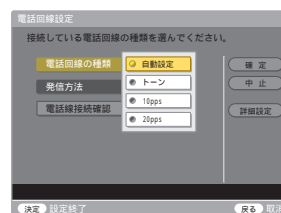
3 で「通信設定」を選んで、 決定



4 で「電話回線設定」を選んで、 決定



5 で、「電話回線の種類」欄を 決定



6 で、電話回線の種類を選んで、 決定

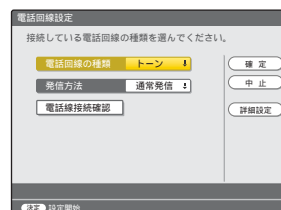
「自動設定」でうまく通信できないときは
NTTの料金明細書で「ブッシュホン回線使用料」
が請求されているときは、「トーン」を選んでくだ
さい。

請求されていないときは、「20pps」または
「10pps」を選んでください。

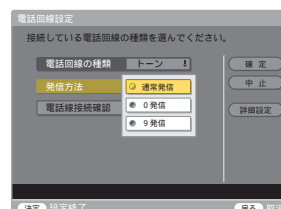
ISDN回線などによるターミナルアダプターやダ
イヤルアップルーターを使っているときは
(137ページ)

「トーン」を選んでください。

ADSL回線を使っているときは(138ページ)
「自動設定」(お買い上げ時の設定)のままお使い
ください。



7 で、「発信方法」欄を選んで、 決定



8

☑で、「発信方法」を選んで、☑で決定する。

お買い上げ時は「通常発信」に設定されています。

外線に電話するときに、相手の電話番号にそのままかけるときは

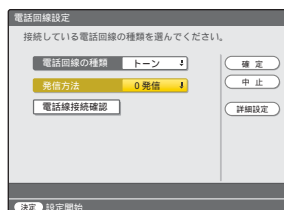
手順9に進んでください。

外線に電話するときに、電話番号の前に「0」または「9」を付けるときは

寮や会社、学校、団体、法人などでPBX（交換機）を使い、外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」を付ける（0発信） または「9」を付ける（9発信）場合のみ、次のように設定します。

0発信するとき → 「0発信」を選ぶ。

9発信するとき → 「9発信」を選ぶ。



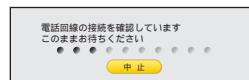
ご注意

- 会社や法人などでビジネス回線を使っているときは、本機をつなげません。寮やビルの電話を管理している担当の方に「2線式一般アナログ回線」を依頼してください。通常、ファクシミリはこの回線に接続されています。
- 引っ越しなどで外線に電話する方法が変わったときは、必ず発信方法の設定を行ってください。
- デジタル放送の放送局へ登録などができないときは、NTTに問い合わせ、「回線ごと非通知設定」を解除してください。

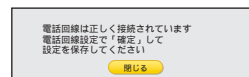
9

☑で「電話線接続確認」を選んで、☑で決定する。

接続確認が始まります。確認途中で止めるときは、「中止」が選ばれていることを確認して、☑で決定してください。



確認結果が正常のときは、下の画面に変わります。



ご注意

「電話線接続確認」は、本機と電話回線が物理的に接続されてやり取りできるかをテストするもので、実際に電話が放送局へつながるかどうかはテストされていません。

そのため、本機と電話回線が接続されていても電話がつながないことがあります。

このときは、再び手順6で電話回線の種類（「トーン」や「10pps」、「20pps」）を正しく設定し直してください。

受信設定

10

「閉じる」が選ばれていることを確認して、☑で決定する。

11

➡/☑で「確定」を選んで、☑で決定する。

12

戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。





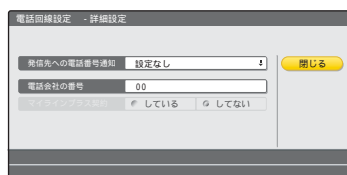
次のページにつづく





準備12：電話回線を設定する (つづき)

電話番号の通知/非通知の設定をするには [詳細設定]

データ放送などでは、本機に接続した電話回線で、放送局と双方向で通信を行う場合があります。電話番号を通知しないで、放送局と通信したいときは、以下の設定を行ってください(マイラインプラスの契約をしていますが設定できます)。
データ放送によって、通知しないと双方向通信できないときは、通知する設定に変更してください。

- 1 「準備12：電話回線を設定する」(P160ページ)の手順1～4を行う。
- 2  で「詳細設定」を選んで、 で決定する。



- 3  で「発信先への電話番号通知」を選んで、 で決定する。
- 4  で「通知しない」、「通知する」または「設定なし」を選んで、 で決定する。





「通知しない」：電話番号の先頭に「184」を付けて、相手先にこちらの電話番号を知らせません。

「通知する」：電話番号の先頭に「186」を付けて、相手先にこちらの電話番号を知らせます。

「設定なし」：(お買い上げ時の設定)電話番号の先頭に何も付けません。

ご注意

デジタル放送の放送局へ登録などができないときは、NTTに問い合わせ、「回線ごとの非通知設定」を解除してください。



- 5  で「閉じる」を選んで、 で決定する。
- 6  で「確定」を選んで、 で決定する。
- 7 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

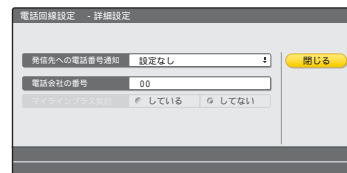
ご注意




データ放送によっては、設定した内容が取り消されます。


電話会社を指定したりマイラインプラスの契約をしているかどうかを設定するには [詳細設定]

お客様が登録している電話会社以外の特定の電話会社を指定して双方向通信することができます。また、マイラインプラスの契約をしているかどうかも設定できます。

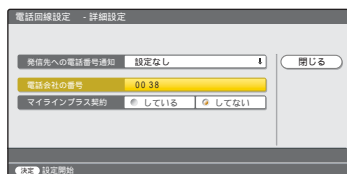
- 1 「準備12：電話回線を設定する」(P160ページ)の手順1～4を行う。
- 2  で「詳細設定」を選んで、 で決定する。



- 3  /  で「電話会社の番号」欄を選んで、 で決定する。

- 4 リモコンの(1)～(10)の数字ボタンで変更したい電話会社の番号の下2～5桁を入力して、で決定する。

例：識別番号が「0038」のとき





☺ちょっと一言

←を押すと、入力した数値を取り消せます。

ご注意

電話会社の番号を間違えると通信ができなくなりますので、電話会社からの請求書などで確認してください。

- 5 /←/→で(マイラインプラス契約)「している」または「していない」を選んで、で決定する。

- 6 →で「閉じる」を選んで、で決定する。

- 7 で「確定」を選んで、で決定する。

- 8 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

ご注意

データ放送によっては、マイラインプラスの契約どおりに通信できないことがあります。

データ放送のためのネットワークを設定する

データ放送との通信は、本機を電話回線につなぐとできますが、プロバイダーを利用したネットワークを設定すれば、データ放送をさらに快適に楽しめます。

本機後面のどの端子に接続したかによって、設定が変わります。

回線端子にのみ接続したときは
(☎136～137ページのA、B、C)

回線端子とネットワーク端子を両方とも接続したときは(☎138～140ページのD、E、F)

「データ放送の接続方法を選ぶ」(☎164ページ)で「ダイヤルアップ」を選ぶ。

「データ放送の接続方法を選ぶ」(☎164ページ)で「ネットワーク」または「ダイヤルアップ」を選ぶ。

「ダイヤルアップ」を選んだときは

「ネットワーク」を選んだときは

「ダイヤルアップを設定する」(☎165ページ)を行う。

「ネットワークを設定する」(☎170ページ)を行う。

受信設定

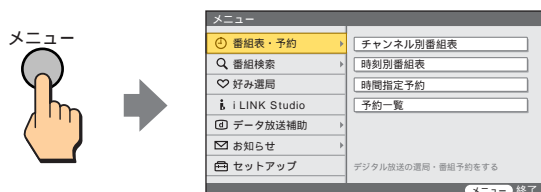
次のページにつづく

データ放送のためのネットワークを設定する(つづき)

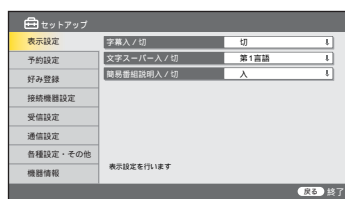
データ放送の接続方法を選ぶ

データ放送の通信のために、本機後面のネットワーク端子を使うか、回線端子を使うかを、設定します。

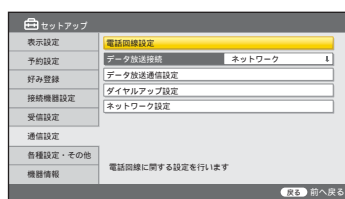
1 メニューボタンを押す。



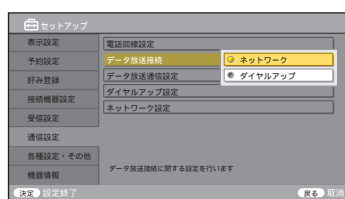
2 決定ボタンで「セットアップ」を選んで、決定ボタンで決定する。



3 決定ボタンで「通信設定」を選んで、決定ボタンで決定する。



4 決定ボタンで「データ放送接続」を選んで、決定ボタンで決定する。



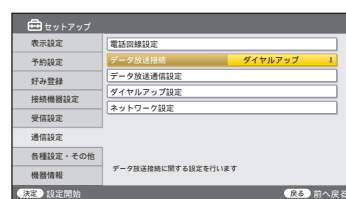
5 決定ボタンで「ネットワーク」または「ダイヤルアップ」を選んで、決定ボタンで決定する。

「ネットワーク」* (お買上げ時の設定):

本機後面のネットワーク端子にADSLモデムやルーターをつないでいるときに選びます。

* 一部の放送サービスでは、電話回線の接続も必要になります。

「ダイヤルアップ」: 本機後面の回線端子を電話コンセントにつないでいるときに選びます。



6 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。



ダイヤルアップを設定する

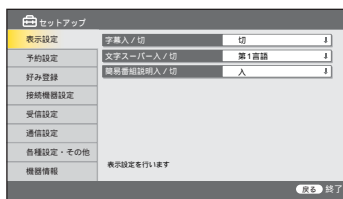
契約しているインターネットプロバイダーを通して通信する場合には、設定する必要があります。

インターネットプロバイダーからの資料などを参考に設定してください。

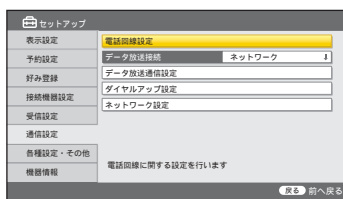
1 メニューボタンを押す。



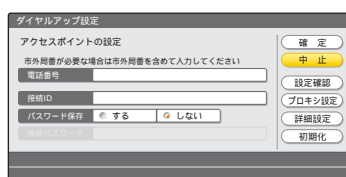
2 設定アイコンで「セットアップ」を選んで、決定ボタンで決定する。



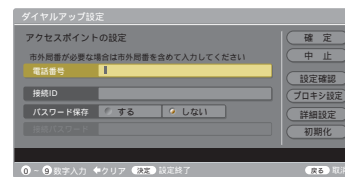
3 設定アイコンで「通信設定」を選んで、決定ボタンで決定する。



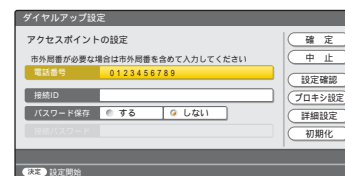
4 設定アイコンで「ダイヤルアップ設定」を選んで、決定ボタンで決定する。



5 決定アイコンで「電話番号」欄を選んで、決定ボタンで決定する。



6 数字ボタン(1)～(10)までの数字ボタンでアクセスポイントの電話番号を入力して、決定ボタンで決定する。

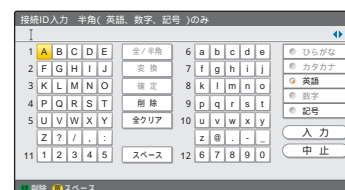


ちょっと一言

決定ボタンを押すと、入力した数値を取り消します。

7 設定アイコンで「接続ID」欄を選んで、決定ボタンで決定する。

ソフトウェアキーボード(79ページ)が表示されます。



8 ソフトウェアキーボードで接続ID名を入力する。

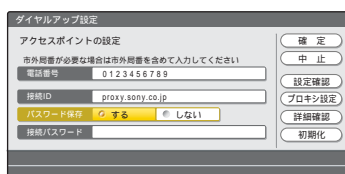
入力のしかたについては、「文字を入力する[ソフトウェアキーボード]」(79ページ)をご覧ください。

9 方向キー(上/下/左/右)で「入力」を選んで、決定ボタンで決定する。

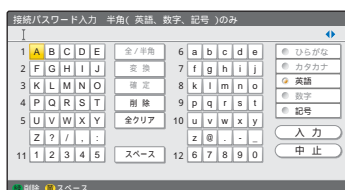
入力した接続IDが表示されます。文字数多くてすべて表示できないときは、接続IDのあとに「...」を表示します。

データ放送のためのネットワークを設定する(つづき)

- 10** /↔/↔で(パスワード保存を)「する」または「しない」を選んで、で決定する。
 「する」: パスワードを保存します。
 「しない」: 接続のたびにパスワードを入力する必要があります。「しない」を選んだときは手順14に進んでください。



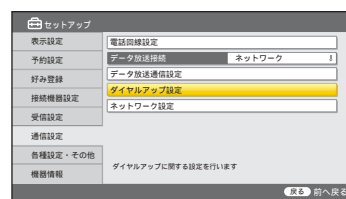
- 11** で「接続パスワード」欄を選んで、で決定する。
 ソフトウェアキーボード(☞79ページ)が表示されます。



- 12** ソフトウェアキーボードで接続パスワードを入力する。
 入力のしかたについては、「文字を入力する[ソフトウェアキーボード]」(☞79ページ)をご覧ください。

- 13** /↕/↕/↕/↕で「入力」を選んで、で決定する。
 入力したパスワードは*マークで表示されます。
 文字数が多くてすべて表示できないときは、パスワードのあとに「...」を表示します。

- 14** 設定内容を確認して、➡で「確定」を選んで、で決定する。



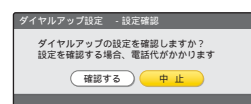
- 15** 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。




設定したアクセスポイントに接続できるか確認するには

実際に接続をしてみるのも、電話料金がかかります。

- 1** 「ダイヤルアップを設定する」(☞165ページ)の手順1～4を行う。
2 で「設定確認」を選んで、で決定する。



- 3 ◀で「確認する」を選んで、で決定する。
- 確認しないときは「中止」を選んでください。

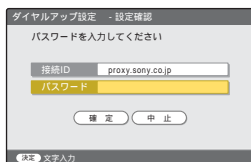
ご注意


設定確認するには電話料金がかかります。

「ダイヤルアップを設定する」の手順10 (☞166ページ)で(パスワード保存を)「する」に設定したときは、「設定を確認中です」と表示されます。手順8に進んでください。





「ダイヤルアップを設定する」の手順10 (☞166ページ)で(パスワード保存を)「しない」に設定したときは、手順4に進んでください。



- 4 パスワード欄が選ばれていることを確認して、で決定する。
- ソフトウェアキーボード (☞79ページ)が表示されます。



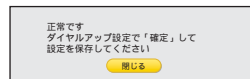
- 5 ソフトウェアキーボードで接続パスワードを入力する。
- 入力のしかたについては、「文字を入力する [ソフトウェアキーボード]」(☞79ページ)をご覧ください。

- 6 /◀/▶/↩/▶で「入力」を選んで、で決定する。
- 入力したパスワードは*マークで表示されます。
- 文字数が多くてすべて表示できないときは、パスワードのあとに「...」を表示します。

- 7 で「確定」を選んで、で決定する。





正常に接続できると下の画面に変わります。



接続や設定が正しくないときは

診断結果画面にエラー内容や対処方法が表示されます。エラー内容を確認して、接続または設定をし直してください。

- 8 結果内容と「閉じる」が選ばれていることを確認して、で決定する。

- 9 設定内容を確認して、で「確定」を選んで、で決定する。



- 10 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

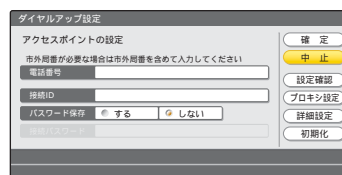
接続確認を途中で止めるには
手順7で「設定を確認中です」という表示がでているあいだに「中止」を選ぶ。

お買い上げ時の設定に戻すには

「ダイヤルアップ設定」のすべての項目をお買い上げ時の設定に戻せます。

- 1 「ダイヤルアップを設定する」(☞165ページ)の手順1~4を行う。


- 2 で「初期化」を選んで、で決定する。
- すべての項目がお買い上げ時の設定に戻ります。



データ放送のためのネットワークを設定する(つづき)

- 設定内容を確認して、で「確定」を選んで、で決定する。
初期化しないときは、「中止」を選んでください。設定画面が消えます。
- 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

インターネットプロバイダーからプロキシサーバーの指定があるときは

- 「ダイヤルアップを設定する」([④165ページ](#))の手順1～4を行う。
 - で「プロキシ設定」を選んで、で決定する。
- 
- で(プロキシサーバー使用)「する」を選んで、で決定する。
 - でプロキシサーバー欄を選んで、で決定する。
ソフトウェアキーボード([④79ページ](#))が表示されます。



- ソフトウェアキーボードでプロキシサーバー名を入力する。
入力のしかたについては、「文字を入力する」[ソフトウェアキーボード]([④79ページ](#))をご覧ください。

- ///で「入力」を選んで、で決定する。
入力したプロキシサーバー名が表示されます。文字数が多くてすべて表示できないときは、プロキシサーバー名のあとに「…」を表示します。

- で「ポート」欄を選んで、で決定する。

- リモコンの(1)～(10)ボタンでポート番号を入力して、で決定する。

☺ちょっと一言

◆を押すと、入力した数値を取り消せます。

- で「閉じる」を選んで、で決定する。
「ダイヤルアップ設定」画面に戻ります。

- 設定内容を確認して、で「確定」を選んで、で決定する。

- 必要であれば設定確認を行う。
詳しくは、「設定したアクセスポイントに接続できるか確認するには」([④166ページ](#))をご覧ください。
確認結果内容を確認して、「閉じる」をで決定してください。

正常です
ダイヤルアップ設定で「確定」して
設定を保存してください

- で「確定」を選んで、で決定する。

- 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。



☺ちょっと一言

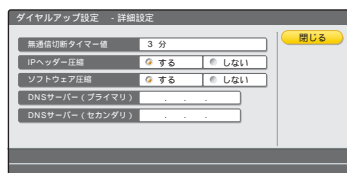
ダイヤルアップ設定でのプロキシサーバーの設定は、ネットワーク設定でのプロキシサーバーの設定とは別に管理されます。

さらに細かい設定を行うには

必要に応じて詳細設定をしてください。

- 1 「ダイヤルアップを設定する」(④165ページ) の手順1～4を行う。

- 2  で「詳細設定」を選んで、 で決定する。





- 3  /  で設定する項目を選ぶ。

項目	説明
無通信切断 タイマー値	通信の無い状態で何分たつと通信を切断するかを設定する。
IPヘッダー圧縮	「する」(お買い上げ時の設定): IPヘッダーを圧縮して転送効率を高くする。 「しない」: IPヘッダーを圧縮しない。
ソフトウェア 圧縮	「する」(お買い上げ時の設定): ソフトウェアによるデータ圧縮をして転送効率を高くする。 「しない」: ソフトウェアによるデータ圧縮をしない。
DNSサーバー (プライマリ) (セカンダリ)	ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバーで、IPアドレスで特定されている (例: 192.168.xxx.xxx)。




* DNSサーバーは、「ネームサーバー」、「プライマリDNSサーバー」、「プライマリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」ともいいます。

- 4 設定する。







「無通信切断タイマー値」を設定するときは

 で項目を選んで、 で決定する。
1分～20分の間で設定できます。

「IPヘッダー圧縮」、「ソフトウェア圧縮」を設定するときは

 /  で項目を選んで、 で決定する。




「DNSサーバー(プライマリ)」、「DNSサーバー(セカンダリ)」を設定するときは


- 1  で項目を選んで、 で決定する。
- 2 (1)～(10)の数字ボタンまたは で3桁の数値を入力して、 で決定する。
- 3  で右の枠に移動して、 で決定する。
- 4 手順2、3をくり返して、4つの枠に入力する。

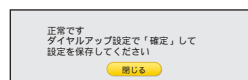
☞ちょっと一言

 を押すと、入力した数値を取り消せます。

「DNSサーバーアドレス(プライマリまたはセカンダリ)」が正しくありません 修正しないで閉じると無効になります」と表示されたときは
入力した設定値が範囲外(256以上)です。設定値を確認して、やり直してください。

- 5  /  で「閉じる」を選んで、 で決定する。

- 6 必要であれば設定確認を行う。
詳しくは、「設定したアクセスポイントに接続できるか確認するには」(④166ページ)をご覧ください。
確認結果内容を確認して、「閉じる」を で決定してください。



- 7  で「確定」を選んで、 で決定する。

- 8 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

データ放送のためのネットワークを設定する(つづき)

ネットワークを設定する

ネットワークの設定項目について

設定する項目は、状況によって異なります。プロバイダーからの資料などを参考に設定してください。

チェックシート

項目	入力する内容
IPアドレス取得方法	DHCPを利用 / 固定IPアドレスを指定
IPアドレス	. . .
サブネットマスク	. . .
デフォルトゲートウェイ	. . .
DNS サーバー (プライマリ)	. . .
DNS サーバー (セカンダリ)	. . .
プロキシサーバー	
ポート	

💡ちょっと一言

- 他人に見られないことがないように、チェックシートを複写したうえで各項目を記入し、厳重に保管することをおすすめします。
- 複写した紙に記入しておく、設定を行うときに便利です。

ご注意

- チェックシートに書き込む内容は、お客さまの個人情報です。取り扱いには充分ご注意ください。
- チェックシートは、将来、再度設定し直さなければならぬときなどに活用できますので、必ずご記入ください。

項目	説明
IPアドレス取得方法	ネットワークの接続に必要な設定値を自動的に割り当てるか手動で入力するかを選びます。 DHCPを利用(お買い上げ時の設定): ルーターのDHCPサーバー機能をお使いのときに設定します。IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーの設定がいらす、便利です。 固定IPアドレスを指定: DHCPサーバー機能を使わないときに手動で値を設定します。
IPアドレス	ネットワークに接続する機器に割り当てられる固有の番号です。通常は、3桁の数字4組を点で区切った形になっています (例192.168.xxx.xxx)。
サブネットマスク	ネットワークを区切るために、ネットワークに接続する機器に割り当てるIPアドレスの範囲を限定するしくみです (例255.255.xxx.xxx)。
デフォルトゲートウェイ	所属するネットワーク外の機器へアクセスするとき使用する「出入口」の代表となるコンピューターやルーターなどを指定します。IPアドレスで特定されています。
DNS サーバー* (プライマリ) DNS サーバー* (セカンダリ)	ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバーで、IPアドレスで特定されています (例: 192.168.xxx.xxx)。
プロキシサーバー	お使いのプロバイダーから指定がある場合は設定してください。ブラウザの代わりに目的のサーバーにアクセスし、ファイヤーウォール(外部からの不正侵入防護壁)を越えてデータを送る中継サーバーのことです。同じデータは高速で転送します (例: proxy.xxx.xxx.xxx)。
ポート	プロキシ用のポート番号です。お使いのプロバイダーから指定がある場合は設定してください (例: xxxx)。

* DNSサーバーは、「ネームサーバー」、「プライマリDNSサーバー」、「プライマリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」ともいいます。

ここではネットワークの設定を自動(DHCP)で割り当てる操作を説明します。
本機をつないだルーターや一部のプロバイダーによっては、ネットワークに必要なIPアドレスなどの設定値を自動的に割り当てます。この方法をDHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)といいます。

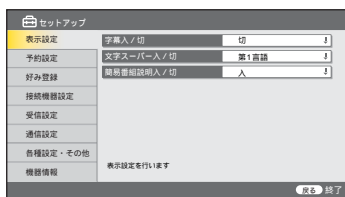
👉ちょっと一言

お使いのルーターの使用状況にあわせた値やプロバイダーが指定する値があるときは、「ネットワークの設定を手動で入力するときは」(📖173ページ)をご覧ください。

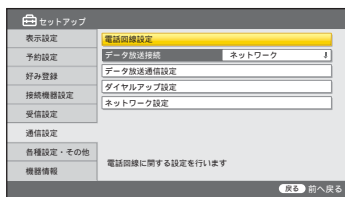
1 メニューボタンを押す。



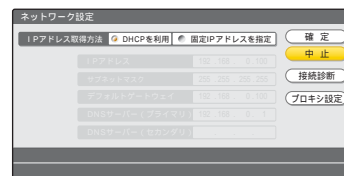
2 決定で「セットアップ」を選んで、決定で決定する。



3 決定で「通信設定」を選んで、決定で決定する。



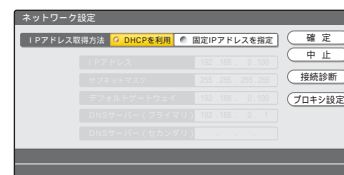
4 決定で「ネットワーク設定」を選んで、決定で決定する。



5 決定で「DHCPを利用」を選んで、決定で決定する。

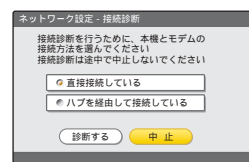
お買い上げ時の設定は、「DHCPを利用」が選ばれています。

プロキシサーバーの設定があるときは、「インターネットプロバイダーからプロキシサーバーの指定があるときは」(📖173ページ)をご覧ください。



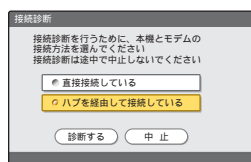
6 決定で「接続診断」を選んで、決定で決定する。

「接続診断」画面が表示されます。



データ放送のためのネットワークを設定する(つづき)

- 7 で本機とモデムの接続方法を選んで、で決定する。





本機のネットワーク端子に直接モデムをつないでいるときは

「直接接続している」を選ぶ。

本機のネットワーク端子にルーターを経由してモデムをつないでいるときは

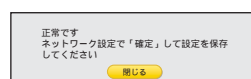
「ハブを経由して接続している」を選ぶ。

- 8 で「診断する」を選んで、で決定する。

「接続を確認中です」とメッセージが表示され、接続診断が始まります。

診断が終わると、診断結果が表示されます。



設定と接続が正しくされているか確認してください。



接続や設定が正しくないときは

診断結果画面にエラー内容や対処方法が表示されます。エラー内容を確認して、接続または設定をし直してください。




- 9 「閉じる」が選ばれていることを確認して、で決定する。

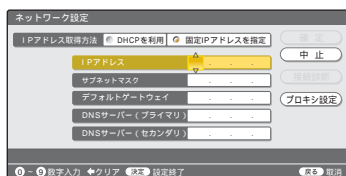
- 10 で「確定」を選んで、で決定する。



- 11 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。



ネットワークの設定を手動で入力するときは

- 1 「ネットワークを設定する」(㊦171ページ)の手順1～4を行う。
- 2 ㊦で「固定IPアドレスを指定」を選んで、で決定する。
- 3 で手動入力する項目を選んで、で決定する。



- 4 (1)～(10)の数字ボタンまたはで3桁の数値を入力して、で決定する。

㊦ちょっと一言


㊦を押すと、入力した数値を取り消せます。

- 5 ➡で右の枠に移動して、で決定する。

- 6 手順4、5をくり返して、4つの枠に入力する。



「～が入力範囲を超えています」と表示されたときは入力した設定値が範囲外(256以上)です。設定値を確認して、やり直してください。

- 7 他の項目を設定するときは、手順3～6をくり返す。


- 8 必要項目の入力が終わったら、➡/🔍で「接続診断」を選んで、で決定する。



- 9 「ネットワークを設定する」(㊦172ページ)の手順7～11を行う。

プロバイダーからプロキシサーバーの指定があるときは

- 1 「ネットワークを設定する」(㊦171ページ)の手順1～4を行う。
- 2 で「プロキシ設定」を選んで、で決定する。





- 3 ㊦で(プロキシサーバー使用)「する」を選んで、で決定する。



- 4 で「プロキシサーバー」を選んで、で決定する。
ソフトウェアキーボード(㊦79ページ)が表示されます。




- 5 ソフトウェアキーボードでプロキシサーバー名を入力する。

入力のしかたについては、「文字を入力する [ソフトウェアキーボード]」(㊦79ページ)をご覧ください。

- 6 /➡/⬅/➡/➡で「入力」を選んで、で決定する。
入力したプロキシサーバー名が表示されます。

- 7 で「ポート」欄を選んで、で決定する。

- 8 (1)～(10)の数字ボタンでポート番号を入力して、で決定する。

㊦ちょっと一言

㊦を押すと、入力した数値を取り消せます。

- 9 ➡で「閉じる」を選んで、で決定する。

- 10 「ネットワークを設定する」(㊦171ページ)の手順6～11を行う。

㊦ちょっと一言

ネットワーク設定でのプロキシサーバーの設定は、ダイヤルアップ設定でのプロキシサーバーの設定とは別に管理されます。

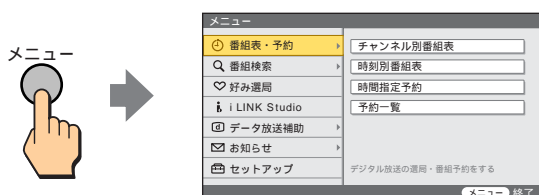
次のページにつづく

データ放送のためのネットワークを設定する(つづき)

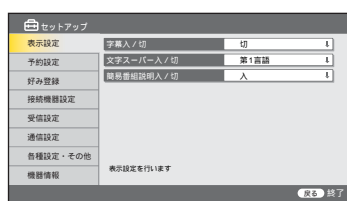
データ放送の通信接続を自動にする[データ放送通信設定]

地上デジタルでデータ放送のコンテンツに入るときなど、確認のダイアログが表示されます。これらの確認表示を出さずに、本機が通信の接続を自動的に行うよう設定できます。

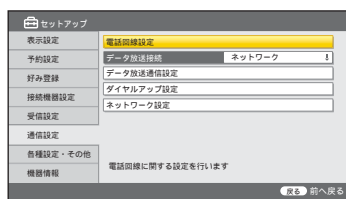
1 メニューボタンを押す。



2 設定アイコンで「セットアップ」を選んで、決定アイコンで決定する。



3 設定アイコンで「通信設定」を選んで、決定アイコンで決定する。



4 設定アイコンで「データ放送通信設定」を選んで、決定アイコンで決定する。



5 設定アイコンで「する」または「しない」を選んで、決定アイコンで決定する。

設定	説明
----	----

ダイヤルアップ自動接続 「する」: 放送用プロバイダーやインターネットサービスプロバイダーにダイヤルアップで接続するとき、ダイヤルアップ接続の確認ダイアログを表示しないで、自動接続します。

「しない」(お買上げ時の設定): ダイヤルアップ接続の確認ダイアログを表示します。

セキュリティ自動接続 「する」: セキュリティ保護されたサイトを表示しようとしたときや、セキュリティ保護されていないサイトへ移るとき、確認ダイアログを表示しないで、自動接続します。

「しない」(お買上げ時の設定): セキュリティサイト表示の確認ダイアログを表示します。

証明書のダウンロード確認 「する」(お買上げ時の設定): 放送局から新しい証明書が発行されたとき、ダウンロードの確認ダイアログを表示します。

「しない」: ダウンロードの確認ダイアログを表示しません。

証明書のダウンロード 「する」(お買上げ時の設定): 放送局から発行された新しい証明書を自動的にダウンロードします。

「しない」: 放送局から新しい証明書が発行されても、ダウンロードしません。

6 設定内容を確認して、戻るアイコンで「確定」を選んで、決定アイコンで決定する。

7 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。



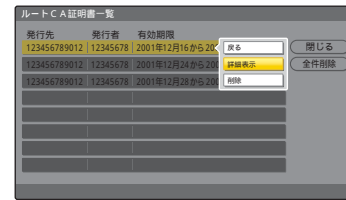
お買上げ時の設定に戻すときは

- 1 「データ放送の通信接続を自動にする
[データ放送通信設定]」(④174ページ)の
手順1～4を行う。



- 2 ④で「初期化」を選んで、⑤で決定する。
- 3 設定内容を確認して、④で「確定」を選んで、⑤で決定する。
初期化しないときは、「中止」を選んでください。
- 4 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

- 4 ④で見たい証明書を選んで、⑤で決定する。
「ルートCA証明書一覧」を選んだときは、サブメニューが表示されます。
「通信先証明書一覧」を選んだときは、サブメニューは表示されず、手順6になります。



- 5 ④で「詳細表示」を選んで、⑤で決定する。
- 6 詳細内容を確認し「閉じる」を選んで、⑤で決定する。
- 7 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

セキュリティ証明書を見るには

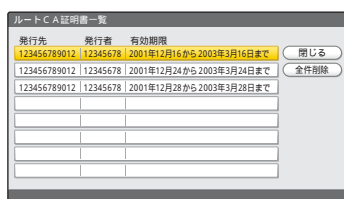
- 1 「データ放送の通信接続を自動にする
[データ放送通信設定]」(④174ページ)の
手順1～2を行う。

- 2 ④で「機器情報」を選んで、⑤で決定する。

- 3 ④で「ルートCA証明書一覧」または「通信先証明書一覧」を選んで、⑤で決定する。

💡ちょっと一言

- 通信先証明書はセキュリティサイトを表示しているときに見ることができます。セキュリティサイトを表示しているときは画面右下に🔒が表示されます。
- セキュリティサイトを表示中でも、証明書取得中は通信先証明書を表示できないことがあります。



「ルートCA証明書一覧」から証明書を削除するには
手順5で「削除」を選ぶ。
選んでいる証明書が削除されます。

「ルートCA証明書一覧」からすべての証明書を削除するには
手順4で、➡で「全件削除」を選んで、⑤で決定する。
「証明書一覧」に表示しているすべての証明書が削除されます。

AVマウスを設定する

本機後面のS映像/映像/音声出力端子(ビデオへ)に録画機器をつないで、デジタル放送を予約録画するときは(49、51、53、55ページ) AVマウスをつないで、設定しておく必要があります。

AVマウスは、本機と連動して録画機器で予約録画できるように信号を出します。そのため、AVマウスから発信される信号を、お手持ちのビデオやDVDレコーダー、ハードディスクレコーダーなどのリモコンコードに合わせて設定します。

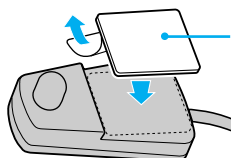
ご注意

- 次のときはAVマウスは使えないため、取り付ける必要はありません。お手持ちの録画機器の予約機能を使って予約録画してください(47ページ)。
 - ビデオ一体型テレビ(テレビデオやビデオコンボなど)のとき
 - AVマウスのリモコンコードで録画機器が操作できないとき(メーカーによっては、本機で操作できないリモコン信号が採用されているためです。)
 - 電源スイッチが入/切の2つの状態切換でなく、入/スタンバイ/切など3つの状態切換になる録画機器のとき
- AVマウスが使えないときは、はずしておいてください。
- 動作テストに1度成功しても、リモコンの受光感度の低い録画機器によっては、AVマウスでの予約録画(49、51、53、55ページ)がうまくいかないことがあります。詳しくは、録画機器の取扱説明書をご覧ください。

1 AVマウスを準備する。

1 AVマウスに付属のシールを貼る。

AVマウスに付属のシールの代わりに、市販の両面テープも使えます。



裏面のシールはまだはがさないでください。

2 AVマウスを本機後面のAVマウス端子につなぐ。

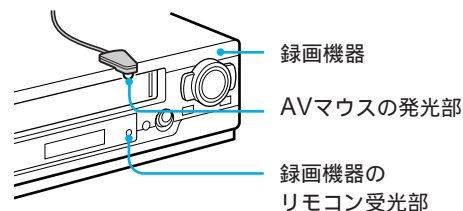
接続のしかたについて、詳しくは「ビデオをつなぐ」(133ページ)をご覧ください。

3 AVマウスの取り付け予定位置を決める。

録画機器の取扱説明書で録画機器のリモコン受光部位置を確認し、受光部の真上にAVマウスを置きます。

ご注意

- AVマウス裏面のシールは、まだはがさないでください。
- 取り付け位置によっては、動作しにくい録画機器があります。できるだけ受光部に近い位置に取り付けてください。



ちょっと一言

- AVマウスが録画機器に届かない場合は、別売りの接続コード RK-G131(3m)で延長してください。
- ソニー製録画機器のリモコン受光部にはマークが付いています。

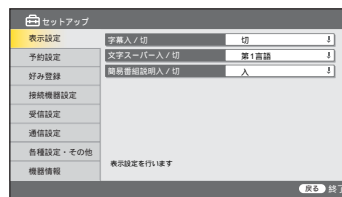
4 録画機器の電源を切っておく。



2 リモコンコードを設定する。

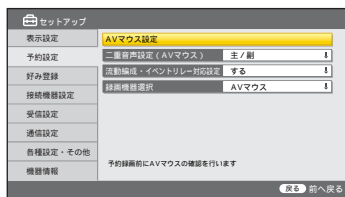
1 リモコンのメニューボタンを押す。





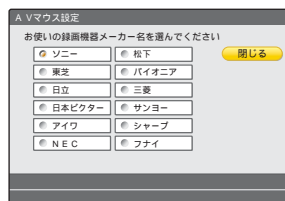
2 設定で「セットアップ」を選んで、決定で決定する。







- 3 で「予約設定」を選んで、で決定する。

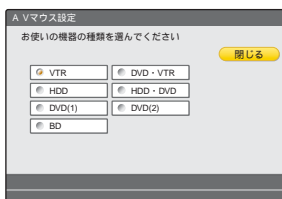






- 4 で「AVマウス設定」を選んで、で決定する。



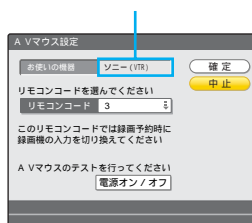
- 5 //でお使いの録画機器のメーカー名を選んで、で決定する。
「ソニー」または「松下」、「東芝」以外のメーカーを選んだときは、手順2-7に進んでください。

例：ソニーを選んだとき



- 6 //でお使いの録画機器の種類を選んで、で決定する。
手順2-5で「ソニー」または「松下」、「東芝」を選んだときのみ設定します。

例：ソニー製のビデオを選んだとき





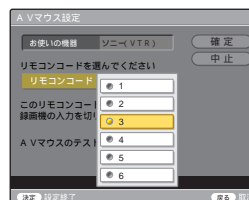
録画機器の種類



項目	説明
VTR	ビデオ
DVD・VTR*1	DVD一体型ビデオ
HDD*1	ハードディスクレコーダー
HDD・DVD	ハードディスクレコーダー・DVDレコーダー複合機*2
DVD(1)*1	DVDレコーダー (ハードディスクレコーダー・DVDレコーダー複合機*2)
DVD(2)*1	DVDレコーダー (ハードディスクレコーダー・DVDレコーダー複合機*2)
BD*1	ブルーレイディスクレコーダー

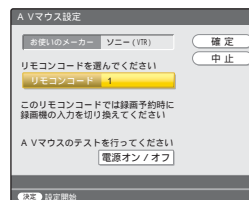
*1 手順2-5で「ソニー」を選んだときのみ表示されます。

*2 ハードディスクレコーダー・DVDレコーダー複合機を設定するとき、「HDD・DVD」で設定しても操作できないときは、「DVD(1)」または「DVD(2)」で設定してください。

- 7 で「リモコンコード」欄を選んで、で決定する。



- 8 でリモコンコードを選んで、で決定する。



「ソニー(VTR)」を登録するときと、ソニー以外のメーカーの録画機器を登録するときは、手順4に進んでください。

♪ちょっと一言

お買い上げ時は、ソニーのVTRの「3」を操作できるように設定されています。

受信設定

AVマウスを設定する (つづき)

リモコンコード表

メーカー	リモコンコード					
ソニー（VTR）	1	2	3*1	4	5	6
ソニー（DVD・VTR）	1*1					
ソニー（HDD）	1*1	2	3			
ソニー（HDD・DVD）	1*1					
ソニー（DVD（1））	1*1	2	3			
ソニー（DVD（2））	1*1	2	3			
ソニー（BD）	1*1	2	3			
松下（VTR）	1*1	2	3	4	5	
松下（HDD・DVD）	1*1	2	3			
東芝（VTR）	1*1	2	3	4		
東芝（HDD・DVD）	1*1	2				
パイオニア（HDD・DVD）	1*1	2	3			
日立（VTR）	1*1	2	3			
三菱（VTR）	1*1	2	3	4		
日本ビクター（VTR）	1*1	2	3	4	5	6
サンヨー（VTR）	1*1	2	3	4		
アイワ（VTR）*2	1*1	2	3	4		
シャープ（VTR）	1*1	2	3			
NEC（VTR）	1*1	2	3	4		
フナイ（VTR）	1*1					

*1 お買い上げ時の設定。

*2 アイワ(VTR)のリモコンコードを設定しても操作できないときは、ソニー(VTR)のリモコンコードで登録してください。



ご注意

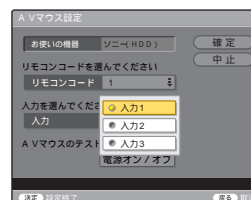
お使いの録画機器によってはリモコンコードが設定できないことがあります。



3

録画機器の入力を設定する。

手順2-**5**で「ソニー」を選び、手順2-**6**で「HDD」または「HDD・DVD」、
「DVD(1)」、
「BD」を選んだときのみ設定します。

- 1 で「入力」を選んで、で決定する。



- 2 で「入力1」～「入力3」*3のいずれかを選んで、で決定する。



本機をつないだ入力を選んでください。

予約録画開始時に自動的に入力も切り換わります。

*3 手順2-**6**で「HDD・DVD」または「BD」を選んだときは、「入力3」は表示されません。

4

動作テストをする。

- 1 で「電源オン/オフ」を選んで、で決定する。



AVマウスの動作テストが始まります。

録画機器の電源が自動的に入れば、テストは完了です。手順4-**3**に進んでください。電源が入らないときは、手順1-**3**でAVマウスの位置を再確認してから、もう1度手順4-**1**を行ってください。

- 2 ビデオにリモコンコードが2個以上あるときは、手順2-**7**～4-**1**をくり返して、録画機器を操作できるまで、リモコンコードの設定を変えてテストする。

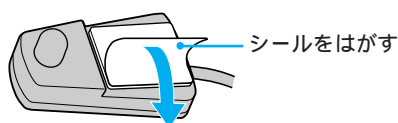
💡 ちょっと一言

手順2-**8**で選んだリモコンコードと録画機器のリモコンコードを合わせてください。そのリモコンコードで操作できないときは、本機と録画機器のリモコンコードを変えてください。本機と録画機器のリモコンコードが異なっても、操作できる場合があります。

- 3 「電源オン/オフ」が選ばれていることを確認して、で決定する。
録画機器の電源が切れます。
- 4 ➡で「確定」を選んで、で決定する。
- 5 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

5 AVマウスを固定する。

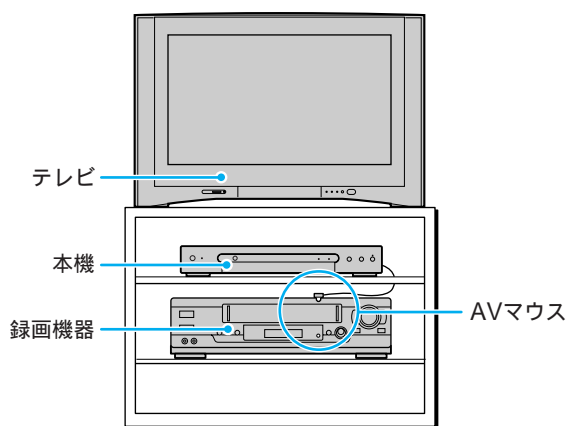
- 1 動作テストが終わったら、AVマウスの裏面のシールをはがす。



- 2 手順1-3で決めた取り付け予定位置にAVマウスを固定する。
無料番組などで予約録画できる(49、51、53、55ページ)ことを、もう1度確かめてから、使うことをおすすめします。

ご注意

録画機器にほこりが付いていると、きちんと固定できません。録画機器のほこりを取り除いてからAVマウスを固定してください。



ご注意

複合機器をつないでいるときは、予約録画する前に、複合機器側で録画する機器を選んでおいてください。

ワンタッチ選局できる チャンネルを変更する



ワンタッチ選局(12、16ページ)をしたときに切り換わるチャンネルを、放送(地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)ごとに変更できます。

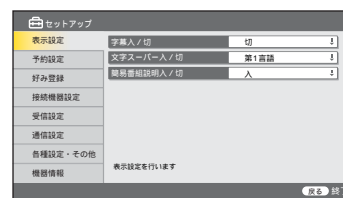
地上デジタルは、あらかじめ自動設定をしておいてください(150ページ)。



地上デジタル、BSデジタル、CS1デジタル、CS2デジタルそれぞれに設定できます。

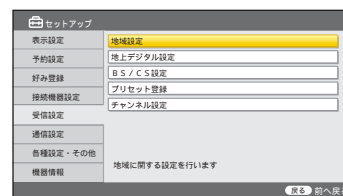
- 1 メニューボタンを押す。





- 2 で「セットアップ」を選んで、で決定する。

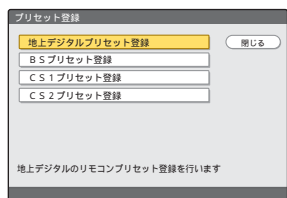




- 3 で「受信設定」を選んで、で決定する。



ワンタッチ選局できるチャンネル を変更する(つづき)

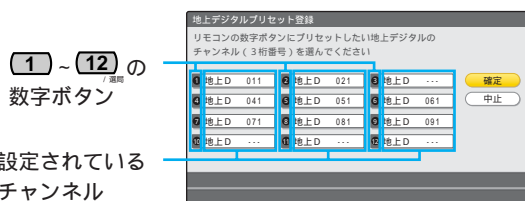
- 4 で「プリセット登録」を選んで、で決定する。



- 5 で設定したい放送を選んで、で決定する。

(1) ~ (12) の数字ボタンに登録されたチャンネルが一覧表示されます。



例：「地上デジタルプリセット登録」を選んだとき

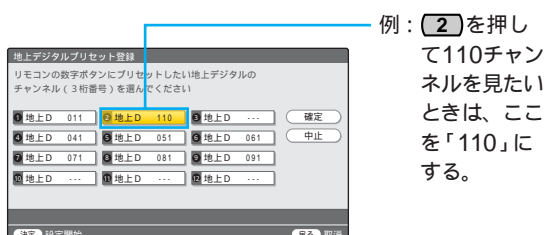


地上デジタルのチャンネル番号は地域によって異なります。



- 6 /←/→で変更したいチャンネルを選んで、で決定する。

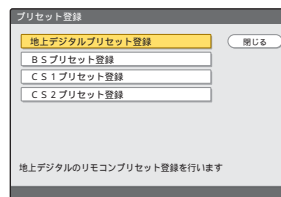


- 7 で3桁チャンネル番号を変更し、で決定する。
放送のあるチャンネルのなかから選べます。(1) ~ (12) の数字ボタンを押したとき、ここで選んだチャンネルに切り換わります。



例：(2)を押して110チャンネルを見たいときは、ここを「110」にする。





- 8 で「確定」を選んで、で決定する。



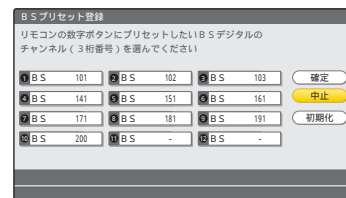
- 9 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。



BSデジタル、110度CSデジタルのチャンネルをお買い上げ時の設定に戻すには

手順6で、で「初期化」を選んでで決定したあとで、で「確定」を選んでで決定する。

例：BSデジタル



数字ボタンで選べるすべてのBSデジタルと110度CSデジタルのチャンネルが、お買い上げ時の設定(17ページ)に戻ります。

ご注意

地上デジタルのチャンネルはお買い上げ時の設定に戻せません。

チャンネル+/- ボタン や番組表で選べるチャン ネルを変更する

チャンネル+/- ボタンや番組表、他チャンネルリストで選べるチャンネルを追加したり削除したりできます。

お買い上げ時は、すべてのチャンネル*を選べるように設定されています。

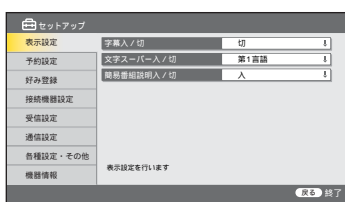
地上デジタルはあらかじめ自動設定(150 ページ)しておいてください。

* 臨時放送と非対応のチャンネルを除きます。

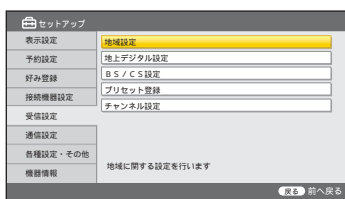
1 メニューボタンを押す。



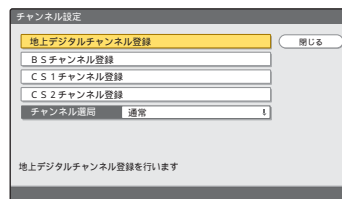
2 設定ボタンで「セットアップ」を選んで、決定する。



3 設定ボタンで「受信設定」を選んで、決定する。



4 設定ボタンで「チャンネル設定」を選んで、決定する。



5 設定ボタンで設定したい放送を選んで、決定する。

例：「BSチャンネル登録」を選んだとき

チャンネル情報欄放送サービス、チャンネル番号、放送局名などが表示されます。数字ボタンで選べるチャンネルには、数字ボタンが表示されます。



他の方法でも表示できます

番組表や他チャンネルリストを表示中にツールから「番組表のチャンネル登録」を選ぶ。

6 設定ボタンで変更したいチャンネルを選ぶ。



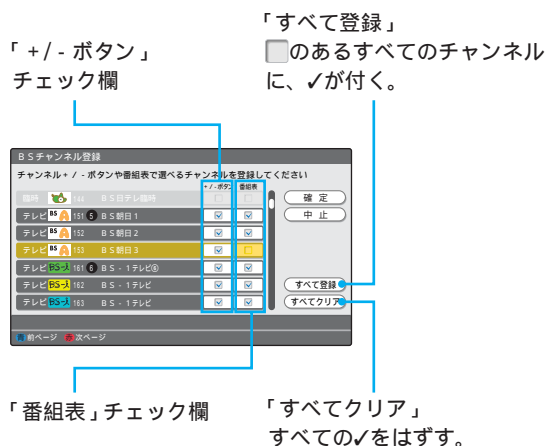
7 設定ボタンで「+/- ボタン」チェック欄または「番組表」チェック欄を選んで、決定する。

✓の付いていないチャンネルを選んだときは

選んだチャンネルの ☐ に✓が付き、リモコンのチャンネル+/- ボタンや番組表などで選べるようになります。

チャンネル+/- ボタンや番組表で選べるチャンネルを変更する(つづき)

✓の付いているチャンネルを選んだときは
選んだチャンネルの□から✓が消え、リ
モコンのチャンネル+/- ボタンや番組表
などで選べなくなります。



現在視聴できるデジタル放送のチャンネル
をすべて自動登録するときは

「すべて登録」を選び、決定する。
現在視聴できるすべてのチャンネルに✓
が付き、リモコンのチャンネル+/- ボタ
ンや番組表などで選べるようになります。

ご注意

臨時チャンネルと非対応のチャンネルは選べません。

8 ➡で「確定」を選んで、で決定
する。

9 戻るボタンをくり返し押して、
設定画面を消す。



本機のリモコンで テレビも操作する

本機のリモコンを使ってテレビも操作できま
す。

メーカー登録番号を設定する

お買い上げ時は、ソニー製テレビを操作できる
設定になっています。他社製テレビを操作する
ときは、メーカー登録番号を設定してください。

テレビ電源ボタンを押しながら、
操作したいテレビのメー
カー登録番号を2ケタ続けて押
す。

登録番号が複数あるメーカーは、お手持
ちのテレビが操作できるまで、設定し直
してください。

例)：東芝製テレビ(登録番号31)の場合

電源



を押しながら、、と順々に押す。

メーカー登録番号表

メーカー	登録番号
ソニー	11(お買い上げ時の設定) 12 13
松下	21 22
東芝	31
日立	41 42
三菱	51 52 53
日本ビクター	61 62 63
サンヨー	71 72 73
アイワ*	77 78 79
シャープ	81 82 83
NEC	91 92
フナイ	87 88 89 8+ 8+
パイオニア	+1

* アイワのメーカー登録番号を設定しても操作できな
いときは、ソニーのメーカー登録番号で設定してく
ださい。

ご注意

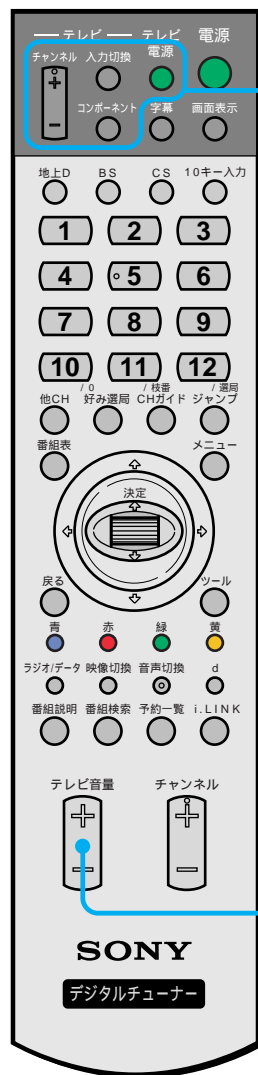
- リモコンの電池を取り出したり、電池が寿命になると、設定した内容は消えて、お買い上げ時の設定に戻ります。もう1度設定し直してください。
- メーカーによっては複数のリモコン信号を採用しているため、操作できないことがあります。そのときは、テレビのリモコンでテレビを操作してください。
- 本機リモコンのボタンに対応する機能がテレビにない場合は、そのボタンは動きません。

テレビを操作する

テレビのリモコン受光部に向けて、下記のボタンを使ってください。

ご注意

本機チューナーのリモコン受光部に向けても、テレビは操作できません。



テレビ電源ボタン
テレビの電源を入/切する。

チャンネル+/- ボタン
テレビのチャンネルを切り換える。

入力切替ボタン
テレビがビデオ入力に切り換わり、テレビのビデオ入力端子につないだ機器の映像になる。

コンポーネント切替ボタン
テレビがコンポーネント入力に切り換わり、テレビのコンポーネント入力端子につないだ機器の映像になる。

音量ボタン
テレビの音量を調節する。

暗証番号や視聴年齢制限を設定する

デジタル放送の視聴年齢制限付き番組(番組表②26ページや「番組説明」画面②24ページで🔒のついている番組)を、暗証番号設定すれば視聴できる年齢を制限できます。

お買い上げ時、暗証番号と視聴年齢制限は設定されていません。

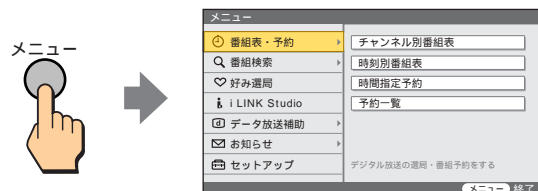
ご注意

設定した暗証番号は、忘れないようにしてください。視聴年齢制限付き番組を見るときに入力が必要です。万一、忘れたときは、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

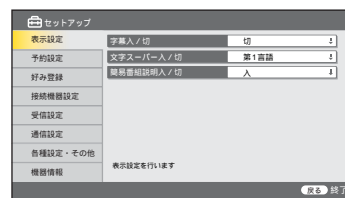
ちょっと一言

設定した暗証番号を忘れてしまったときは、「個人情報を消去する」(②186ページ)を行って、新しく設定し直すことができます。ただし、個人情報を消去すると、すべての個人情報が消去されてしまうので、ご注意ください。

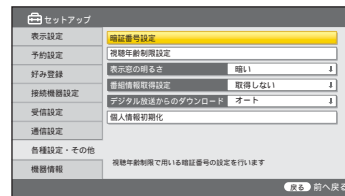
1 メニューボタンを押す。



2 ②で「セットアップ」を選んで、③で決定する。





3 ②で「各種設定・その他」を選んで、③で決定する。



暗証番号や視聴年齢制限を設定する(つづき)

4 暗証番号を設定する。

- 1 で「暗証番号設定」を選んで、で決定する。

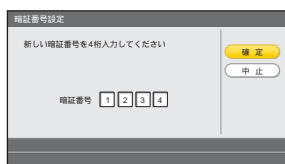
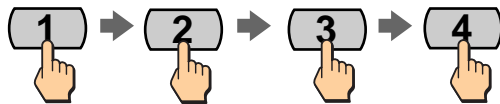


- 2 (1) ~ (10)までの数字ボタンで4桁の暗証番号を入力する。
「0」を入力するときは、(10)ボタンを押す。
暗証番号を間違えたときは \leftarrow で戻り、入力し直してください。




ご注意


設定した暗証番号は、忘れないようにしてください。

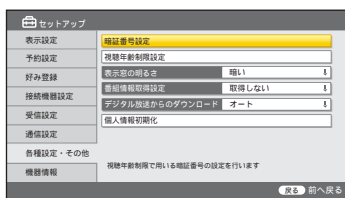
例：暗証番号が1234の場合



ちょっと一言

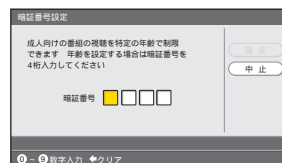
暗証番号を入力するときは、リモコンの/ \leftarrow / \rightarrow ボタンでも行えます。 \leftarrow / \rightarrow で入力する桁を選び、で0~9の数字が選べます。 \rightarrow ボタンを押すと、数字が決定して次の桁に移動し、 \leftarrow ボタンを押すと数字が削除されます。4桁すべての数字を入力したら、 \rightarrow で「確定」を選んで、で決定します。

- 3 「確定」が選ばれていることを確認して、で決定する。



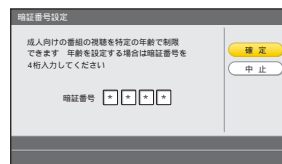
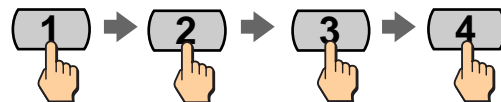
5 視聴年齢制限を設定する。

- 1 で「視聴年齢制限設定」を選んで、で決定する。







- 2 (1) ~ (10)までの数字ボタンで、手順5で設定した4桁の暗証番号を入力する。
「0」を入力するときは、(10)ボタンを押す。
暗証番号を間違えたときは \leftarrow で戻り、入力し直してください。
入力された数字は、*マークで表示されます。

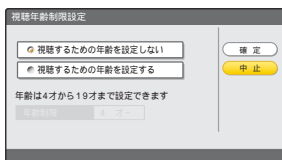
例：暗証番号が1234の場合



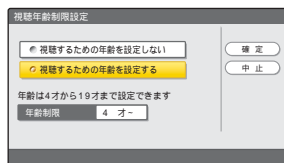
ちょっと一言

暗証番号を入力するときは、リモコンの/ \leftarrow / \rightarrow ボタンでも行えます。 \leftarrow / \rightarrow で入力する桁を選び、で0~9の数字が選べます。 \rightarrow ボタンを押すと、数字が決定して次の桁に移動し、 \leftarrow ボタンを押すと数字が削除されます。4桁すべての数字を入力したら、 \rightarrow で「確定」を選んで、で決定します。

- 3 「確定」が選ばれていることを確認して、で決定する。

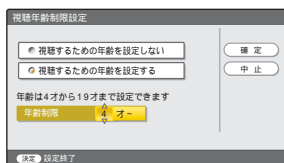


- 4 ◀/▶で「視聴するための年齢を設定する」を選んで、決定で決定する。



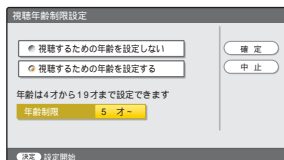
視聴制限をしないときは
「視聴するための年齢を設定しない」を選ぶ。
視聴年齢制限付き番組でも暗証番号を入力しないで、見ることができます。

- 5 ◀/▶で「年齢制限」を選んで、決定で決定する。



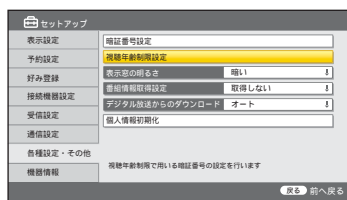
- 6 ◀/▶で年齢制限を設定して、決定で決定する。

4才～19才で設定できます。
例えば「14才以上」に設定すると、15才から視聴可能な番組を視聴するときに暗証番号の入力が必要です。15才から視聴可能な番組は、「番組説明」画面(24ページ)では「15才～(15才以上視聴可能)」と表示されます。



すべての成人向け番組の視聴を制限するときは
「4才以上」などの低い年齢に設定する。
視聴年齢制限付き番組を選ぶと、暗証番号を入力しないと見ることができなくなります。

- 7 ▶で「確定」を選んで、決定で決定する。

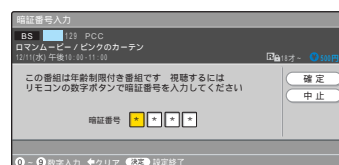


- 6 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。



視聴年齢制限付き番組を選ぶと



暗証番号入力画面が表示されます。設定した暗証番号を(1)～(10)の数字ボタンまたは◀/▶で入力すると、番組を見ることができます。



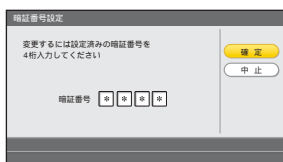
暗証番号や視聴年齢制限を設定する(つづき)

暗証番号を変更するには


1 「暗証番号や視聴年齢制限を設定する」(P183ページ)の手順1～3を行う。

2 で「暗証番号設定」を選んで、で決定する。

3 **(1)**～**(10)**までの数字ボタンで変更前の4桁の暗証番号を入力する。
変更前の暗証番号は、*マークで表示されます。




変更前の暗証番号を忘れたときは、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

4 「確定」が選ばれていることを確認して、で決定する。




5 **(1)**～**(10)**までの数字ボタンで好みの数字を入力する。



6 「確定」が選ばれていることを確認して、で決定する。
暗証番号が変更されます。

7 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

ちょっと一言

暗証番号を入力するときは、リモコンの/◀▶ボタンでも行えます。◀▶で入力する桁を選び、で0～9の数字が選べます。▶ボタンを押すと、数字が決定して次の桁に移動し、◀ボタンを押すと数字が削除されます。4桁すべての数字を入力したら、▶で「確定」を選んで、で決定します。

個人情報情報を消去する

本機を廃棄したり、譲渡したりするときに、個人的な情報を消去できます。消去された項目はお買い上げ時の設定に戻ります。

消去できる内容



- データ放送で登録した個人情報やポイントなど
- 設定したジャンル、暗証番号・パスワード等の登録情報
- 予約設定の情報
- 予約やペイ・パー・ビューなどの履歴情報
- 放送局からのメール
- 登録したブックマーク
- 登録発呼の登録・履歴情報

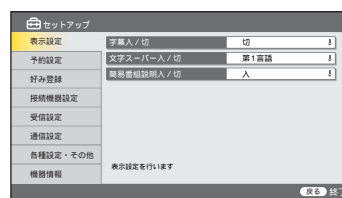
ご注意



個人情報は項目ごとに消去することはできません。1度消去すると、すべての個人情報が消去されます。

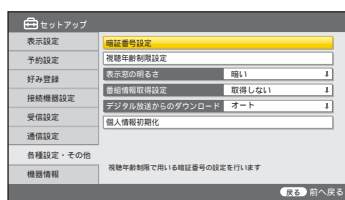
1 メニューボタンを押す。





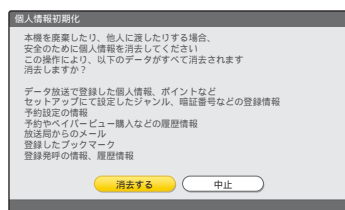
2 で「セットアップ」を選んで、で決定する。





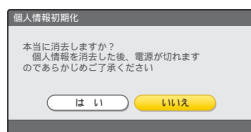
- 3 で「各種設定・その他」を選んで、で決定する。





- 4 で「個人情報初期化」を選んで、で決定する。



- 5 で「消去する」を選んで、で決定する。



- 6 本当に消去してよいか確認した上で、で「はい」を選んで、で決定する。

「消去中です」と表示されたあと、電源が切れます。

アイリンク i.LINKでの接続

ここでは、本機とi.LINK対応機器の接続方法について説明しています。

i.LINK対応機器の操作については、「i.LINKで操作する[i.LINK Studio]」(89ページ)をご覧ください。

i.LINK(アイリンク)について	190
ハードディスクレコーダーをつなぐ	192
ハードディスクレコーダーをつなぐ	192
D-VHSをつなぐ	193
D-VHSをつなぐ	193
デジタルビデオカメラレコーダーをつなぐ	194
デジタルビデオカメラレコーダーをつなぐ	194
その他のi.LINK対応機器をつなぐ	195
その他のi.LINK対応機器をつなぐ	195

i.LINK(アイリンク) について

i.LINKで何ができるの？

i.LINKは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などの信号を双方向でやりとりしたり、他機を操作したりできます。次のような特徴があります。

- デジタル信号の高画質/高音質をそのまま録画できます。
- i.LINKケーブル1本だけでi.LINK対応機器間をつなげます。
- 複数のi.LINK対応機器をつないだときは、他の機器を介してつないでも、操作やデータのやりとりができます。このため、接続順序は気にする必要ありません。
- つなぐ機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、つないでも操作やデータのやりとりができない場合があります。
- LINC(㊦右記)した、i.LINK対応機器を1度に1台だけ操作できます。

LINC(リンク)する：操作したいi.LINK対応機器を選ぶ

i.LINKケーブルでつないただけでは、i.LINK対応機器を本機は操作できません。

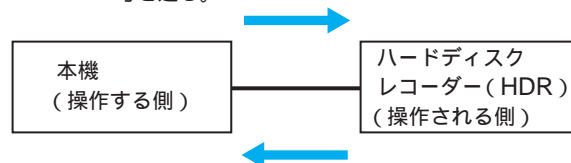
まず操作したい相手の機器を選ぶ必要があります。これを「LINCする」といいます。

「LINCする」と、本機と操作したい相手の機器間で、次の図のように信号のやりとりが行われます。

例：本機がハードディスクレコーダー(HDR)をLINCするとき

呼びかけ①と返答②でLINCが成立して初めて、i.LINK対応機器を操作できるようになります。

- ① 本機が「これから操作してもいいですか？」と、ハードディスクレコーダー(HDR)に信号を送る。



- ② ハードディスクレコーダー(HDR)が「了解です」と、本機に信号を送る。

㊦ちょっと一言

LINCは、Logical Interface Connection(ロジカル・インターフェース・コネクション：「論理的な接続を行う」の意)の略です。

i.LINK(アイリンク)および㊦はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。

IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

コピープロテクションについて(㊦67ページもご覧ください)

本機はDTLAのコピープロテクション技術に対応しています。

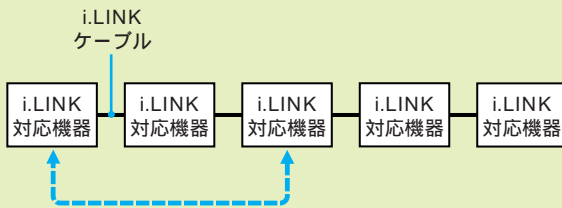
著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピープロテクション技術が採用されています。

この技術のひとつは、DTLA(The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。

このDTLAのコピープロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像/音声/データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピープロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、i.LINKでデジタルの映像/音声/データのやりとりができない場合があります。

i.LINKでの接続について

i.LINK対応機器は、i.LINKケーブルで数珠つなぎにします(「デージー・チェーン」と呼びます)。

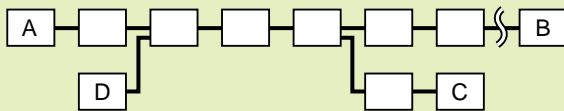


2つの機器の間に他の機器がつながれていても、操作やデータのやりとりを行えます。

途中から分岐してつなげます

- i.LINK端子を3つ以上持つi.LINK対応機器の場合、途中から分岐してもつなげます。
- i.LINKの規格上、一番長い経路は17台までつなげます(i.LINKケーブルは、一番長い経路に対して連続して16本まで使用できます)。

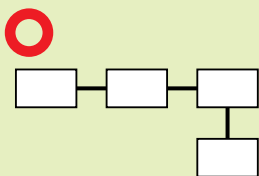
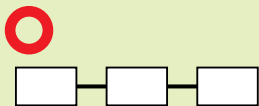
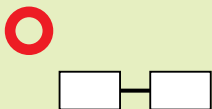
ひとつの経路に対して使用したi.LINKケーブルの数を「ホップ」と呼びます。例えば、下図のA Cの経路は6ホップ、A Dの経路は3ホップとなります。



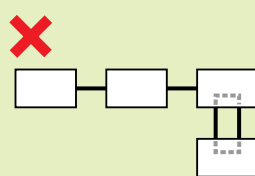
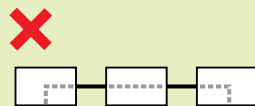
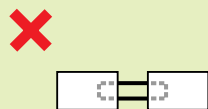
A B、A C、A D、B C、B D、C D、
いずれの経路も最大17台の機器をつなげます
(最大16ホップ)。

接続が輪(ループ)にならないようにつないでください。デジタル信号は、接続したすべてのi.LINKケーブルに流れます。信号を出力した機器に同じ信号が戻らないよう、輪にならないようにつないでください。接続が輪(環状)になることを「ループ」と呼びます。

正しい接続例
(ループしていない)



悪い接続例
(ループしている)



接続についてのご注意

- i.LINKのデジタル信号は、その機器で取り扱えるかどうかに関わらず、つないだ他のi.LINK対応機器に中継されます。ただし、コンピューターなど一部のi.LINK対応機器の中には、電源が切られていたり、省電力モードに入っていると、データを中継しない機器があります。i.LINKでの接続の際は、つなぐ機器の取扱説明書をご覧ください。
- i.LINKは、すべてのi.LINK対応機器間での接続動作を保証するものではありません。i.LINK対応機器間でデータやコントロール信号がやりとりできるかどうかは、それぞれの機器の機能によって異なります。
- i.LINK対応機器には、その機器が対応している最大データ転送速度がi.LINK端子の周辺に表記されています。i.LINKの最大データ転送速度は、約100/200/400Mbps*が定義されており、200MbpsのものはS200、400MbpsのものはS400と表記されます。最大データ転送速度が異なる機器をつないだ場合や、機器の仕様により、実際の転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbps(メガビーピーエス)とは、「Mega bits per second」の略で、1秒間に通信できるデータの容量を示しています。200Mbpsでは、1秒間に200メガビットのデータを転送します。

ハードディスク レコーダーをつなぐ

ソニー製のデジタル レコーディング ハードディスクドライブVRP-T1やVRP-T3などとなります。ハードディスクレコーダーVRP-T1の取扱説明書もあわせてご覧ください。

接続対象機器

デジタル レコーディング ハードディスクドライブVRP-T1、VRP-T3など

接続してできること

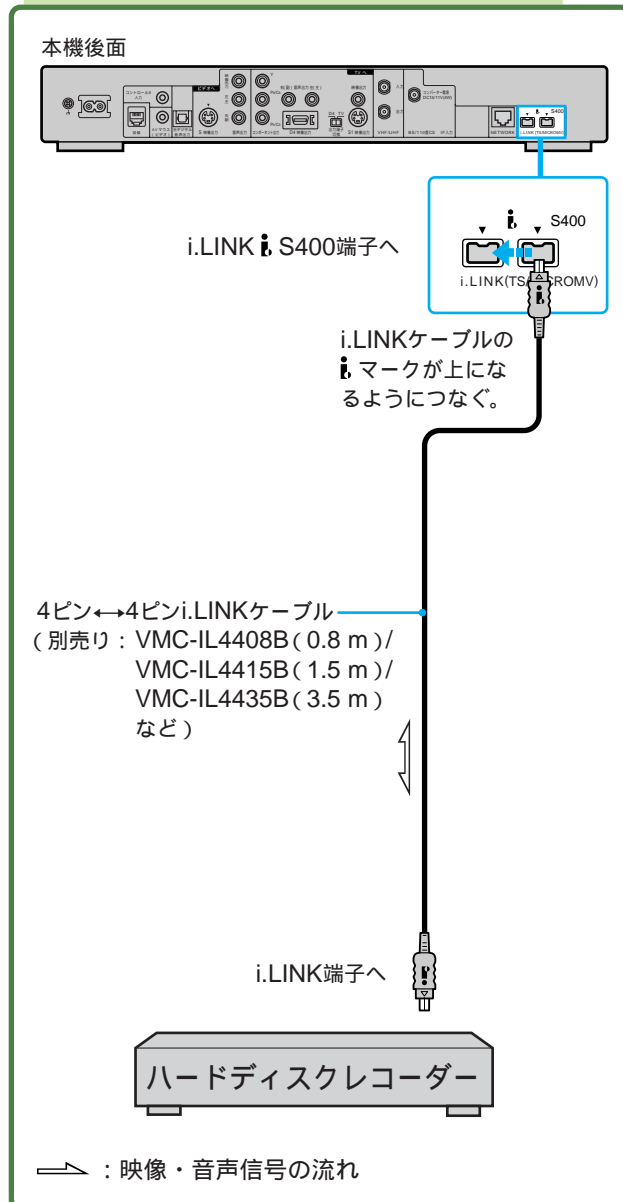
- 「i.LINK Studio」操作画面* (㊦92ページ) を使って、デジタル放送をデジタル録画/再生できる。
- D-VHSビデオもi.LINK接続しているときは (㊦193ページ) 本機を経由してハードディスクレコーダーからD-VHSビデオにダビング (㊦101ページ) できる。

* 「i.LINK Studio」操作画面では、「HDR」と表示されます。

ご注意

コピープロテクション (㊦67、190ページ) が設定されている地上デジタルやBSデジタル、110度CSデジタル放送の番組は、ダビングできません。

ハードディスクレコーダーをつなぐ



本機でハードディスクレコーダーを操作するには

㊦92、95、99、101ページをご覧ください。

D-VHSをつなぐ

D-VHS(デジタルハイビジョンビデオ)をつなぎます。D-VHSビデオの取扱説明書もあわせてご覧ください。

接続対象機器

2003年8月現在推奨機種

- 日本ビクター製デジタルハイビジョンビデオ HM-DHX1、HM-DHS1
 - 日本ビクター製デジタルハイビジョンビデオ HM-DH35000(生産完了品)
- この製品に関するお問い合わせ

日本ビクター株式会社

お客様ご相談センター

TEL. 0120-282-817(フリーダイヤル)

携帯電話やPHSなどから

東京: TEL. 03-5684-9311

大阪: TEL. 06-6765-4161

受付時間: 月～金曜日 9:00～17:00(祝祭日を除く)

ご注意

- 上記推奨機種以外のD-VHSビデオを本機につないでも、正しく動作しない場合があります。
- ソニー製D-VHSビデオデッキSLD-DC1は、本機で操作画面で操作できますが、デジタルハイビジョン信号^{HD}は録画できません。

接続してできること

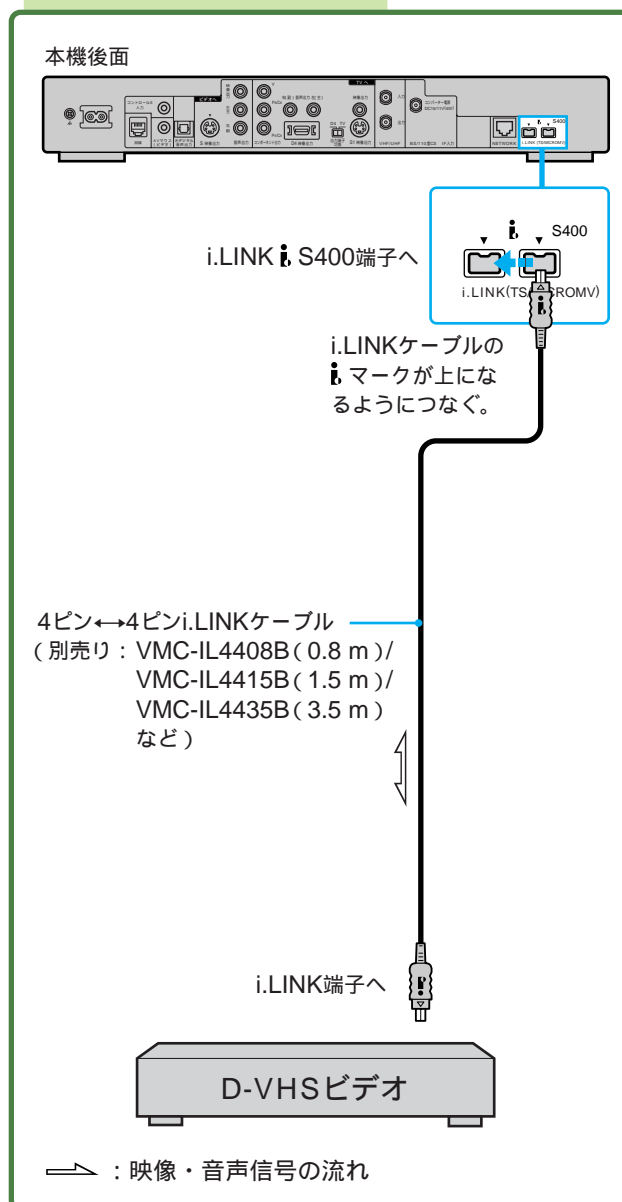
- 「i.LINK Studio」操作画面*(⁹³93ページ)を使って、デジタル放送をD-VHSビデオにデジタル録画/再生できる。
- ハードディスクレコーダーもi.LINK接続しているときは(⁹²192ページ)ハードディスクレコーダーからD-VHSビデオにダビング(⁹¹101ページ)できる。

* 「i.LINK Studio」操作画面では、「D-VHS」と表示されません。

ご注意

コピープロテクション(⁶⁷67、⁹⁰190ページ)が設定されている地上デジタルやBSデジタル、110度CSデジタル放送の番組は、ダビングできません。

D-VHSをつなぐ



本機でD-VHSビデオを操作するには

⁹³93、⁹⁵95、⁹⁹99、¹⁰¹101ページをご覧ください。

ご注意

D-VHSビデオをアナログ録画やアナログ再生にも使うときは、「準備4: ビデオをつなぐ」(¹³³133ページ)も行ってください。

デジタルビデオカメラ レコーダーをつなぐ

デジタルビデオカメラレコーダーなどをつなぎます。つなぐときは、デジタルビデオカメラレコーダーの電源を切っておいてください。デジタルビデオカメラレコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

接続対象機器

ソニー製のMICROMV方式デジタルビデオカメラレコーダー

接続してできること

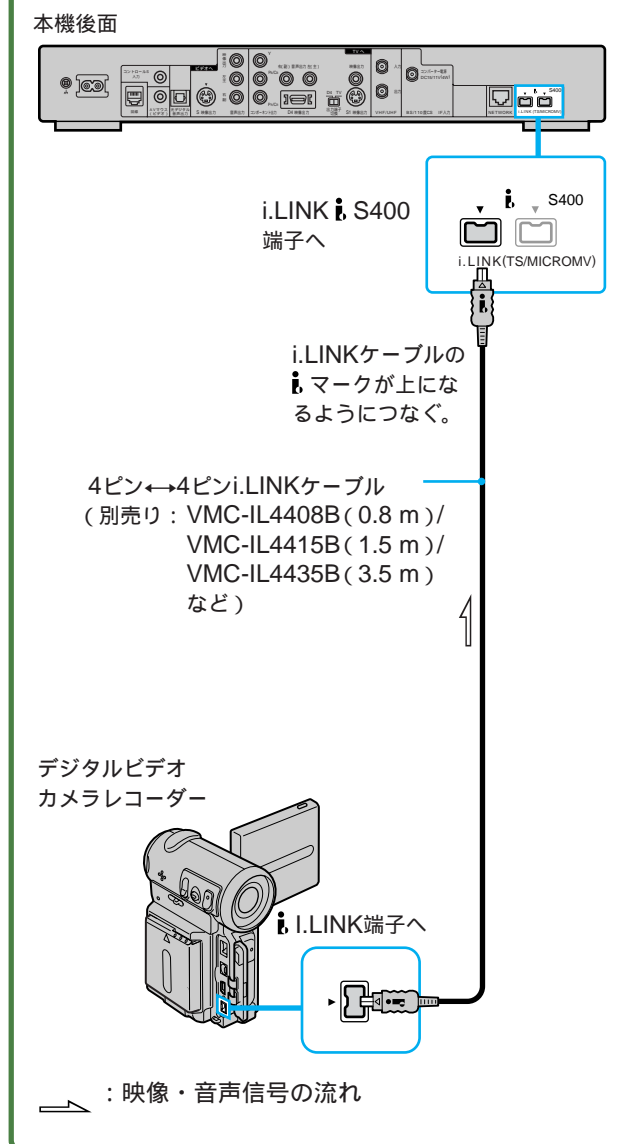
「i.LINK Studio」操作画面* (㉔94ページ) を使って、ソニー製MICROMV方式デジタルビデオカメラレコーダーの映像をデジタル再生できる。

ご注意

DV方式の機器には対応していません。

* 「i.LINK Studio」操作画面では、「CAM」と表示されます。

デジタルビデオカメラ レコーダーをつなぐ



本機でデジタルビデオカメラレコーダーを操作するには

㉔94、98ページをご覧ください。

その他のi.LINK対応機器をつなぐ

ハードディスクレコーダーや、D-VHSビデオ、デジタルビデオカメラレコーダー以外のi.LINK対応機器をつなぎます。つないだi.LINK対応機器の取扱説明書も必ずご覧ください。

接続してできること

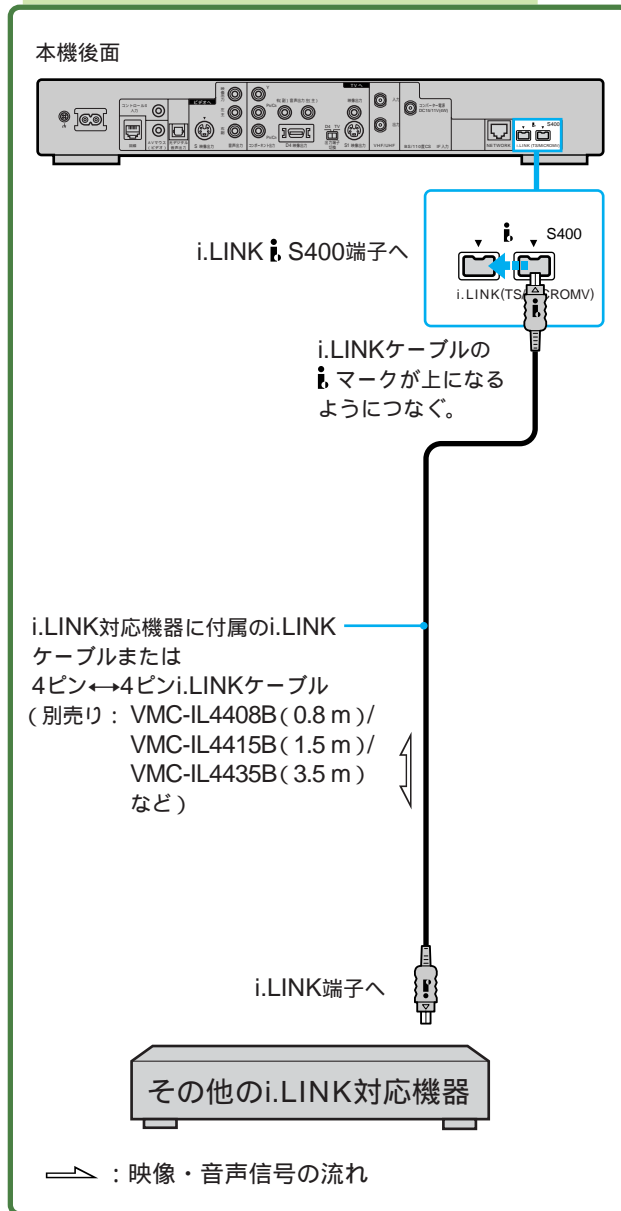
「i.LINK Studio」操作画面* (㊦105ページ) を使って、デジタル信号の入出力ができます。それ以外は、本機で操作できません。つないだ機器側で操作してください。

* 「i.LINK Studio」操作画面では、「OTHER」と表示されます。

ご注意

- 接続対象機器 (㊦192～194ページ) 以外の機器の動作は保証していません。
- 次のi.LINK対応機器は、本機が対応していないため、つながないでください。
 - パソコン
 - MDデッキ
 - DV方式デジタルビデオカメラレコーダー
 - DVデッキ
- 機器によっては、正しくLINCできないことがあります。また、LINCできても、デジタル信号が正しくやりとりされないことがあります。詳しくは、つないだi.LINK対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- i.LINK端子からは、受信中のデジタル放送のデジタル信号が出力されます。

その他のi.LINK対応機器をつなぐ



その他のi.LINK対応機器を操作するには
㊦104ページをご覧ください。

他機との接続

ここでは、オーディオ機器へのつなぎかたについて説明しています。

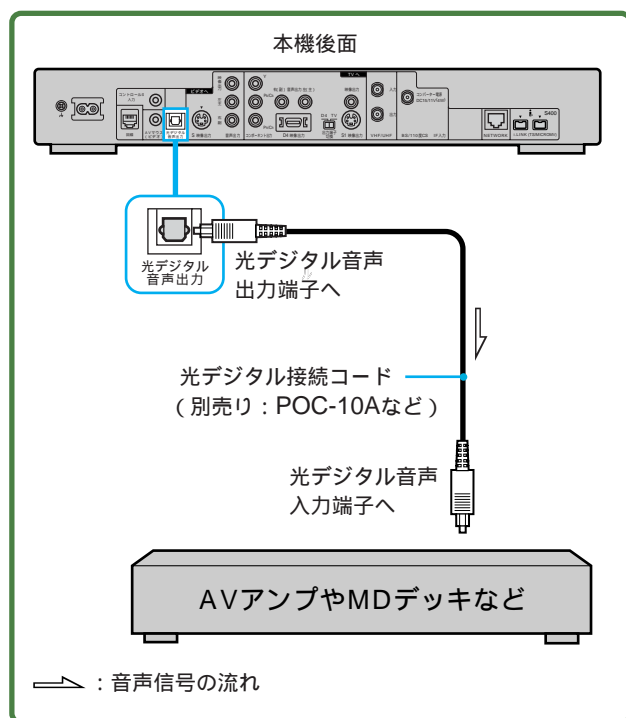
本機の光デジタル音声出力端子にMDデッキなどをつないでデジタル音声を録音したりできます。

光デジタル入力対応のオーディオ機器をつなぐ	198
デジタル放送の音声について	199
アナログ入力対応のオーディオ機器をつなぐ	200

光デジタル入力対応のオーディオ機器をつなぐ

光デジタル音声入力端子を持つAAC対応のAVアンプなどや、サンプリングレートコンバーター内蔵のMDデッキなどをつなぎます。

本機はAAC音声信号に対応しているため、本機後面の光デジタル音声出力端子からデジタル放送などのデジタル音声出力されます。詳しくは、つなぐオーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



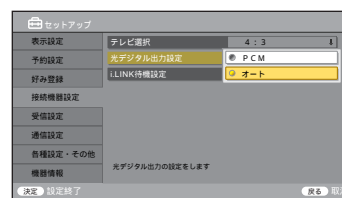
AAC対応のAVアンプなどをつなぐときは

「セットアップ」メニューで「光デジタル出力の設定」を「オート」(お買い上げ時の設定)にしてください。

デジタル放送音声はAAC音声(デジタル放送用音声方式)のまま出力されます。

2ch信号などのその他の音声は、PCM音声で出力されます。

- 1 メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 2 で「セットアップ」を選んで、 で決定する。
- 3 で「接続機器設定」を選んで、 で決定する。
- 4 で「光デジタル出力設定」を選んで、 で決定する。



- 5 で「オート」(お買い上げ時の設定)を選んで、 で決定する。
- 6 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

ちょっと一言

デジタル放送の番組によっては、5.1chサラウンドなどの音声を楽しめます。詳しくは、つなぐオーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

AACに対応していないAVアンプやサンプリングレートコンバーター内蔵のMDデッキなどの機器をつなぐときは

「セットアップ」メニューで「光デジタル出力設定」を「PCM」にしてください。

デジタル放送のデジタル音声は、PCM音声(2ch)のデジタル信号に変換されて出力されます。

- 1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

デジタル放送の音声について

デジタル放送には、次のような音声モードがあります。

モノラル

通常のニュース放送などに使われています。

ステレオ

音楽番組などに使われています。

サラウンド

映画などに使われています。

圧縮Bモード

CDと同等の高音質になります。モノラルやステレオ、サラウンドが圧縮Bモードで送信される場合は「番組説明」画面に「圧縮Bモード」と表示されます。

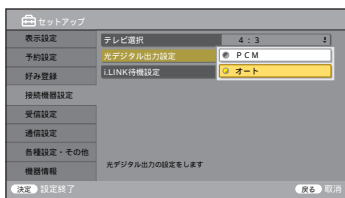
また、上記の音声の他にも、二か国語番組などの二重音声や、音声信号が複数ある番組の第2音声などがあります。

詳しくは、㊦73、76ページをご覧ください。

2 ㊦で「セットアップ」を選んで、㊦で決定する。

3 ㊦で「接続機器設定」を選んで、㊦で決定する。

4 ㊦で「光デジタル出力設定」を選んで、㊦で決定する。



5 ㊦で「PCM」を選んで、㊦で決定する。

6 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

録画実行中(㊦49、51、53、55ページ)のご注意

- 音声信号が1つのときは
予約されたチャンネルの音声出力します。
ただし、「PCM」に設定されているときは、二重音声番組では、「セットアップ」メニューの「二重音声設定(AVマウス)」(㊦48ページ)で設定した音声出力されます。
- 第2音声など音声信号が複数あるときは
i.LINKでデジタル録画予約したとき(㊦46ページ)は、第1音声出力されます。
AVマウスで録画予約したとき(㊦46ページ)は、予約時に設定した音声出力されます。

ご注意

- デジタル放送では、「光デジタル出力設定」を「オート」にすると、光デジタル音声出力からAAC音声出力されます。AACに対応していないAVアンプやサンプリングレートコンバーター内蔵のMDデッキなどにつなぐときは、必ず「PCM」に設定してください。「オート」のままだと、正しく出力されません。
- 本機は、録画防止機能(コピープロテクション)が付いています(㊦67、190ページ)。そのため、音声に関しても、本機後面の光デジタル音声出力端子からの信号を、録音できない番組があります。
- 光デジタル音声出力端子からは、データ放送での効果音(ピンポンとかブーなど)は出力されません。

デジタル放送の音声について (つづき)

本機後面の光デジタル音声出力端子から出力される信号について

(㊦198ページ)

光デジタル入力対応のオーディオ機器に接続すると、デジタル放送の高音質な音声を楽しめます。「セットアップ」メニューで「光デジタル出力設定」を設定してください(㊦198ページ)。

AAC対応AVアンプなどをつないでいるときは

「セットアップ」メニューで「光デジタル出力設定」を「オート」(お買い上げ時の設定) に設定してください(㊦198ページ)。

「セットアップ」「接続機器設定」「光デジタル出力設定」
「オート」を選ぶ。

5.1chに対応している番組は、AAC音声(デジタル放送用音声方式) がそのまま、本機後面の光デジタル出力端子から出力されます。

その他の音声は、PCM音声(2ch) のデジタル信号に変換して、本機後面の光デジタル出力端子から出力されます。

👉 ちょっと一言

デジタル放送の番組によっては、5.1chサラウンドなどの音声を楽しめます。詳しくは、つなぐオーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

AACに対応していないAVアンプやサンプリングレートコンバーター内蔵のMDデッキなどをつないでいるときは

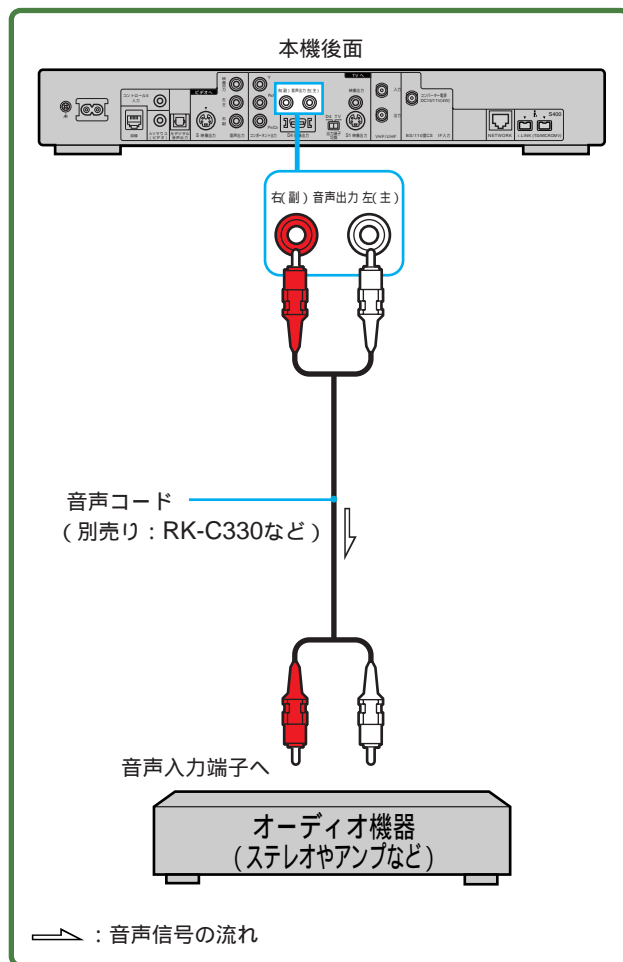
「セットアップ」メニューで「光デジタル出力設定」を「PCM」に設定してください(㊦198ページ)。

「セットアップ」「接続機器設定」「光デジタル出力設定」
「PCM」を選ぶ。

デジタル放送の音声はすべて、PCM音声(2ch) のデジタル信号に変換されて、本機後面の光デジタル音声出力端子から出力されます。

アナログ入力対応の オーディオ機器を つなぐ

オーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



その他

ここでは、本機が正常に動かないときに解決する方法などについて説明しています。

また、各部の名前や索引を使って、知りたい情報を探すこともできます。

故障かな？と思ったら	202
自己診断表示 - 電源/スタンバイランプ、メールランプ、 予約ランプが点滅したら	202
デジタル放送について	203
予約について	207
メニューやリモコンについて	208
i.LINKについて	209
その他	210
本体の光沢塗装について	210
リセットボタンについて	211
電源スタンバイ中の動作について	211
ダウンロードの流れについて	212
次の2つの条件を満たしていれば、電源スタンバイ中に、 自動でダウンロードが行われます	212
ダウンロードが行われるときは	213
ダウンロードの実行中は	213
ダウンロードが正常に終了すると	214
主な仕様	214
保証書とアフターサービス	215
用語集	216
各部の名前	218
本体前面部	218
表示窓	218
本体後面部	219
リモコン	220
索引	221

故障かな？ と思ったら

修理に出す前に、もう1度、点検をしてください。それでも、正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

チューナー本体の型名：

ディーエスティー・ティーエックス

DST-TX1

リモコンの型名：

アールエム ジェイ ディー

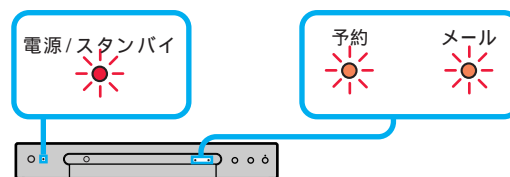
RM-J322D

故障の状況：できるだけくわしく

購入年月日：

自己診断表示 - 電源/スタンバイランプ、メールランプ、予約ランプが点滅したら

本機には自己診断表示機能がついています。これは本機に異常が起きたときに、本体前面の電源/スタンバイランプ、メールランプ、予約ランプが点滅して本機の状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。本体前面の電源/スタンバイランプ、メールランプ、予約ランプが点滅したら、下の手順にそって、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。ご相談の内容によっては、修理が必要な場合があります。



- 1 本体前面の電源/スタンバイランプ、メールランプ、予約ランプがどのように点滅しているかを確認してください。
- 2 電源を切り、電源コンセントを抜いてから、お買い上げ店またはソニーサービス窓口ランプがどのように点滅しているかを知らせてください。

🗨️ ちょっと一言

上の図のように、本体前面の電源/スタンバイランプ、メールランプ、予約ランプがすべて点灯したときは、衛星アンテナ電源（コンバーター電源）を確認してください。詳しくは、📄121ページをご覧ください。

デジタル放送について

症状

対処のしかた

映らない/乱れる

地上デジタルのアンテナ受信設定ができない/放送を受信できない。

- 地上デジタルに対応したUHFアンテナにつないでください。
- アンテナ線をしっかりつないでください。
- お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されているか、ご確認ください。

BSデジタル・110度CSデジタルの衛星アンテナの受信設定ができない/衛星が受信できない。

- 一部の衛星アンテナでは、性能の劣化やデジタル化に必要な性能が確保されていないこともあります。衛星放送対応の推奨アンテナを使ってください(㊧119ページ)。また、お手持ちの衛星アンテナについては、衛星アンテナ製造元のお客様窓口や、お買い上げ店などにお問い合わせください。
- 衛星アンテナの前方に障害物がないところに設置してください。
- 取付金具は水平な位置に取り付けてください。
- 衛星アンテナ側は防水型コネクターをつないでください。
- 衛星アンテナと本機は、指定された別売りのサテライト用同軸ケーブルでつないでください(㊧119ページ)。
- 衛星アンテナの方向・角度を調整してください(㊧154ページ)。
- 雨の強い日は衛星から電波が届きにくく、受信設定ができないことがあります。

地上デジタルが映らない/画像が乱れている。

- アンテナ線をしっかりつないでください。
- 地上波アンテナの位置・方向・角度を調整してください(㊧117ページ)。
- 本機の近くで携帯電話や電子レンジなどを使用すると、映像や音声がかかることがあります。
- 地上デジタルのチャンネルスキャンを行ってください(㊧150ページ)。

BSデジタル・110度CSデジタルが映らない/画像が乱れている。

- 衛星アンテナを直接つないでいる場合
- 衛星アンテナの前方に障害物があれば取り除いてください。
 - 衛星アンテナ側は防水型コネクターをつないでください。
 - ケーブルの芯線をコネクターに正しく差し込んでください。
 - 「セットアップ」メニューで「衛星アンテナ設定」を「オート」または「入」にしてください(㊧153ページ)。
 - 「セットアップ」「受信設定」「BS/CS設定」「衛星アンテナ設定」「オート」または「入」を選ぶ。
 - 衛星アンテナの方向・角度を調整してください(㊧154ページ)。

マンションなどの共同受信システムの場合

- ケーブルの芯線をコネクターに正しく差し込んでください。
- サテライト/UV分波器でVHF/UHFとBSデジタル・110度CSデジタルを分波してください(㊧117ページ)。
- 「セットアップ」メニューで「衛星アンテナ設定」を「切」にしてください(㊧153ページ)。
- 「セットアップ」「受信設定」「BS/CS設定」「衛星アンテナ設定」「切」を選ぶ。

複数のBS機器をサテライト分配器でつないでいる場合

- 衛星アンテナ用電源を供給する機器のスイッチを「入」にしてください。

その他

- 雨や雪が降ると映りが悪くなることがあります。また、晴れていても、BSデジタル・110度CSデジタルを送信する放送衛星会社(㊧159ページ)の地域で雨や雪が降っていると映りが悪くなることがあります。
- 本機の近くで携帯電話や電子レンジなどを使用すると、映像や音声がかかることがあります。
- サテライト専用のケーブルを使ってください(㊧119ページ)。
- 加入申し込みが必要なチャンネルもあります(㊧159ページ)。

その他

故障かな？と思ったら (つづき)

症状	対処のしかた
映らない/乱れる	
はじめて電源を入れたとき、初期設定画面が表示されない/何も映らない。	<ul style="list-style-type: none"> 本機とテレビのつながかたと、映像出力切換の設定は正しいですか？(㊧124ページ) テレビにつなぐときに誤って本機の映像/音声出力端子(ビデオへ)につないでいると、初期設定画面は表示されません。
BSデジタルは映るのに110度CSデジタルは映らない。	<ul style="list-style-type: none"> アンテナ分配器、ブースター(増幅器)および共同受信システムは110度CSデジタルに対応していますか？(㊧119ページ) 衛星アンテナレベルを確認してください(㊧156ページ)。 110度CSデジタルをご覧になるには受信契約が必要です(㊧159ページ)。
<ul style="list-style-type: none"> 電源/スタンバイランプ、メールランプ、予約ランプが点滅する。 テレビ画面に「取扱説明書をご覧ください、衛星アンテナ電源(コンバーター電源)を確認してください」と表示される。 本体前面の表示窓に「コンバータカクニン」が点滅する。 	<p>衛星アンテナをつないでいるときは</p> <ol style="list-style-type: none"> ㊧121ページの内容を確認してください。それでも表示が消えないときは、本機の電源を切り、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。 表示が消えたときは、「セットアップ」メニューで「衛星アンテナ設定」を「オート」または「入」にしてから、もう1度受信設定してください(㊧153ページ)。 「セットアップ」「受信設定」「BS/CS設定」「衛星アンテナ設定」「オート」または「入」を選ぶ。 <p>マンションなど共同受信システムのときは ㊧121ページの内容を確認してください。それでも表示が消えないときは、本機の電源を切り、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。</p>
チャンネルが映らない。	<ul style="list-style-type: none"> 本機とテレビのつながかたと、映像出力切換の設定は正しいですか？(㊧124ページ) B-CASカードは正しい向きで入っていますか？(㊧157ページ) B-CASカード挿入口のふたは閉まっていますか？(㊧157ページ) 放送日や時間を確認してください。 有料BSデジタルや110度CSデジタルの受信契約(加入申し込み)をしていますか？(㊧159ページ) 電源コードをしっかりとつないでください。 長期間、コンセントやアンテナ、電話線を抜いたままにしないでください。視聴データなどの伝送ができなくなり、放送をご覧いただけなくなることがあります。
ときどき映らない/一部のチャンネルが映らない/画像が乱れる。	<ul style="list-style-type: none"> よく映らないチャンネルを映したまま、「地上デジタルアンテナレベル」または「衛星アンテナレベル」を表示させ(㊧151、154ページ)、画面の下部に表示される「アンテナサービス」の数値を確認し、ソニーサービス窓口にご相談ください。
チャンネル+/- ボタンで選局できない。	<ul style="list-style-type: none"> お買い上げ時は、デジタル放送の放送サービス(テレビ、ラジオ、独立データ)内で順送り選局します。ご覧になっている放送(地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)と放送サービス(テレビ、ラジオ、独立データ)をご確認ください(㊧12、16、18ページ)。 「セットアップ」メニューの「チャンネル設定」で、チャンネル+/- ボタンで選局できるチャンネルを設定できます(㊧181ページ)。 「セットアップ」「受信設定」「チャンネル設定」を選ぶ。 複数のチャンネルで同時に同じ番組を放送しているとき(イベント共有)は、代表チャンネルのみが選局できます(㊧70ページ)。
デジタル放送のチャンネルが切り換わらない。	<ul style="list-style-type: none"> 予約一覧で予約した録画の実行中かを確認してください(㊧62ページ)。
画面が黒くなり何も映らない。	<ul style="list-style-type: none"> 音声だけのラジオのチャンネルが選ばれたためです。故障ではありません。

症状	対処のしかた
映らない/乱れる	
BSデジタル・110度CSデジタルの映像が、通常に比べ画質/音質が低下した映像に勝手に切り換わる。	<ul style="list-style-type: none"> 激しい雨など受信状態が悪いときなどに、降雨対応放送に切り換わる場合があります。ひんばんに切り換わるときは、「セットアップ」メニューで「降雨対応放送受信」を「切」にしてください(71ページ)。 「セットアップ」「受信設定」「BS/CS設定」「降雨対応放送受信」「切」を選ぶ。
チャンネルを切り換えたり、番組が切り換わったりするときにノイズが出る。	<ul style="list-style-type: none"> デジタルハイビジョン信号 HD と標準テレビ信号 SD など映像の解像度が変化するときに、同期信号などの白い線が見えることがありますが、故障ではありません。
画面の横縦比がおかしい。	<ul style="list-style-type: none"> テレビの横縦比に画像を合わせてください(147ページ)。
番組表に表示されないチャンネルや番組がある	
番組表や他チャンネルリストに表示されないチャンネルがある。	<ul style="list-style-type: none"> 番組表(26ページ)や他チャンネルリスト(43ページ)には各放送(地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)の放送サービス(テレビ、ラジオ、独立データ)ごとに番組が表示されます。放送や放送サービスは番組表や他チャンネルリストを表示中に切り換えられます。 「セットアップ」メニューの「チャンネル設定」で、番組表や他チャンネルリストに表示されるチャンネルを設定できます(181ページ)。 「セットアップ」「受信設定」「チャンネル設定」を選ぶ。
番組表に表示されるデジタル放送の番組が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> 地上デジタルでは、視聴中の放送局以外の番組情報を取得できないことがあります。「セットアップ」メニューの「番組情報取得設定」を設定しておけば、本機の電源コードを抜いた状態から、次に電源を入れたときに自動的に番組情報を取得します(152ページ)。 「セットアップ」「各種設定・その他」「番組情報取得設定」を選ぶ。 番組表を表示しているときに、ツールボタンを押して「番組情報取得」を選んでください(29ページ)。番組情報を取得し直します。
好み選局に表示されないチャンネルがある。	<ul style="list-style-type: none"> 好み選局のチャンネルは、あらかじめ登録しないと表示されません。「好み選局にチャンネルを登録する」(31ページ)を行ってください。
検索をしたときに表示される番組数が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> お買い上げ時、または長時間電源コードを抜いた状態のときは、次に電源を入れた後は、番組表に表示される番組が少ないことがあります。電源コードを抜いていると、放送局が送信する番組情報をデータ取得できないためです。
ジャンル検索した番組のジャンルが「番組説明」画面で表示されるジャンルと違う。	<ul style="list-style-type: none"> 「番組説明」画面(24ページ)では、代表的なジャンルが1つしか表示されませんが、1つの番組が複数のジャンル情報を持っていることがあり、それぞれのジャンルで検索できるためです。
音声がかかる/おかしい	
音が出ない/音がかかっている。	<ul style="list-style-type: none"> 音量の調節は、リモコンをテレビに向けて操作してください。 二か国語放送などで、副音声や第2音声になっていませんか?(76ページ)
二か国語が混じって録画機器に録音されていた。	<ul style="list-style-type: none"> S映像/映像/音声出力端子(ビデオへ)から録画機器に録画するときは、あらかじめ「セットアップ」メニューで「二重音声設定(AVマウス)」を設定してください(48ページ)。 「セットアップ」「予約設定」「二重音声設定(AVマウス)」「主」または「副」を「主/副」を選ぶ。 「主/副」を選んだ場合、録画機器で再生するときは録画機器のリモコンで聞きたい音声を選んでください。

故障かな？と思ったら (つづき)

症状	対処のしかた
BSデジタル・110度CSデジタル番組の購入などができない	
ペイ・パー・ビュー(PPV)が購入できない。	<ul style="list-style-type: none">● 本機と電話回線が正しくつながれているか確認してください(☞134ページ)。● 電話回線の種類などが正しく設定されているか確認してください(☞160ページ)。● ネットワーク(LAN)ケーブルでつないただけでは、ペイ・パー・ビューは購入できません。● 番組によっては購入可能時間が決まっているものがあります。● 番組の購入可能件数を越えると購入できなくなります。

予約について

症状

対処のしかた

予約した番組が録画・視聴できない

録画予約した番組が録画されない。

- 本機と連動させずに録画機器側の予約機能を使って予約したとき、録画機器側で予約を設定しましたか？(㊧47ページ)
- 予約した番組の開始時刻が変わったとき、「セットアップ」メニューの「流動編成・イベントリレー対応設定」が「しない」に設定されていると、正しく録画できません(㊧48ページ)。番組の変更に合わせて録画するには、「流動編成・イベントリレー対応設定」を「する」に設定してください。「セットアップ」「予約設定」「流動編成・イベントリレー対応設定」「する」を選ぶ。
- 予約が重複しているときは、PPV番組(㊧77ページ)は、番組の途中からは録画されず、予約自体が自動的に取り消されます(㊧66ページ)。
- 著作権が保護されている番組では、録画できない場合があります(㊧68、78、133、190ページ)。
- 「予約一覧 - お知らせ」画面で、録画されなかった理由を確認してください(㊧65ページ)。

i.LINKでハードディスクレコーダーまたはD-VHSビデオに録画予約した番組が録画されない。

- i.LINK対応機器が正しく接続されているかご確認ください。ループになっていたりホップ数をオーバーしていたりすると、i.LINK対応機器が使えなくなります(㊧191ページ)。
- 接続に異常はありませんか？i.LINKケーブルがはずれていないかご確認ください(㊧192、193ページ)。
- 他のi.LINK対応機器をLINCしていませんか？録画実行中に、予約したハードディスクレコーダーまたはD-VHSビデオ以外のi.LINK対応機器をLINCすると、予約が取り消されることがあります(㊧190ページ)。

AVマウスを使って録画予約した番組が録画されない。

- お使いの録画機器のメーカー名とリモコンコードが正しく入っていて、AVマウスで操作できるか確認してください(㊧176ページ)。
- お使いのビデオは、電源スイッチを押すたびに電源が入/切するタイプですか？入→スタンバイ→切のように切り換わるタイプのビデオでは、正しく録画できないことがあります(㊧176ページ)。
- 予約の際、録画機器の電源を「切」にしましたか？(㊧47ページ)
- 録画機器の入力切換は正しいですか？(㊧47ページ)
- AVマウスの取り付け位置は正しいですか？(㊧176ページ)
- ソニー製のDVDレコーダーやハードディスクレコーダーなどで録画するとき、自動的に本機をつないだ入力に切り換わるように設定してください(㊧178ページ)。
- 動作テストに1度成功しても、リモコンの受光感度が低いビデオによっては、AVマウスでの録画予約(㊧49～57ページ)がうまくいかないことがあります。詳しくは、録画機器の取扱説明書をご覧ください。

視聴予約した番組に切り換わらない。

- 予約開始時刻までにテレビの電源を入れ、テレビ側で本機をつないだ端子の入力に切り換えた状態にしておきましたか？
視聴予約した番組は、テレビの電源が自動的に入らないため、番組を見逃してしまいます(㊧57ページ)。

録画予約した番組の再生した映像が映らない、乱れる。

- 「予約一覧 - お知らせ」画面で、録画時の状況を確認してください(㊧65ページ)。

番組冒頭のタイトル画面が録画できない、途切れる。

- 録画予約したとき、お使いのビデオ機器のメーカーによっては、録画の冒頭やタイトル画面が途切れる場合があります。また、ビデオのAPC(アダプティブ・ピクチャー・コントロール)機能が働いても、同様なことがおきる場合があります。

故障かな？と思ったら (つづき)

メニューやリモコンについて

症状	対処のしかた
メニューが選べない/表示が消えない	
メニューで選べない項目がある。	<ul style="list-style-type: none">灰色表示されている項目は選べません(見ている画像の種類やメニューの設定によって、選べないように制約されています)。
設定したメニューの項目が正しく反映されていない。	<ul style="list-style-type: none">デジタル放送の信号には、多くの情報が含まれています。そのため、メニューの項目を設定した直後(約2分以内)に、電源コードを抜くと、設定した内容が反映されないことがあります。このときは、もう1度設定し直してください。
「ICカードとのアクセスが成立しません ICカードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターへ連絡してください」と表示される。	<ul style="list-style-type: none">B-CASカードが奥までしっかり入っているか、入れる向きが前後、表裏逆向きになっていないか確かめてから、もう1度正しい向きで入れ直してください(㊧157ページ)。入れ直してもメッセージが表示される場合は、ご覧になっているデジタル放送の放送局や110度CSの衛星サービス会社のカスタマーセンターへお問い合わせください(㊧159ページ)。B-CASカードが破損している場合は、ご覧になっているデジタル放送の放送局や110度CSの衛星サービス会社のカスタマーセンター(㊧159ページ)またはB-CASカスタマーセンター(電話番号0570-000-250)へお問い合わせください。付属のB-CASカード以外は使えません(㊧157ページ)。
リモコンが働かない	
リモコンのボタンを押してもチューナーやテレビが動作しない。	<ul style="list-style-type: none">リモコン用の乾電池が古くなっていませんか？新しいものと取り換えてください。テレビが動作してもチューナーが動作しないときも、乾電池が古くなってきています。電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください。電源/スタンバイランプが赤く点灯していないときは、電源コードをつないでください。チューナーを操作するには、リモコン発光部をチューナーのリモコン受光部に向けて操作します。テレビを操作するにはテレビのリモコン受光部に向けてください。リモコン受光部(㊧218ページ)に蛍光灯などの強い照明があたっているときは、照明があたらないように、照明器具または本機の位置を調整してください。リモコンのメーカー登録番号を、操作するテレビのメーカー登録番号と合わせてください(㊧182ページ)。
リモコンの 1 ~ 12 の数字ボタンを押しても、チャンネルが選べない。	<p>ワンタッチ選局の場合</p> <ul style="list-style-type: none">数字ボタンを押す前に、見たい放送(地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)に切り換えましたか？(㊧12、16ページ) <p>10キー選局の場合</p> <ul style="list-style-type: none">数字ボタンを押す前に、見たい放送(地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)に切り換えて、10キー入力ボタンを押しましたか？(㊧13、17ページ)地上デジタルのチャンネルでチャンネル番号に枝番があるときは、チャンネル番号を入力した後で、11 を押してから枝番を入力してください(㊧14ページ)。11チャンネルは 1 を2回、12チャンネルは 1 と 2 を続けて押してから、12 を押してください。1 ~ 10 の数字ボタンに続けて 12 を押してください。

i.LINKについて

症状

対処のしかた

i.LINK対応機器が操作できない

i.LINK対応機器をLINCできない

- 次のi.LINK機器は本機が対応していないため、つながないでください。
 - パソコン
 - MDデッキ
 - DV方式デジタルビデオカメラレコーダー
 - DVデッキ
- 接続に異常はありませんか？i.LINKケーブルがはずれていないかご確認ください(92～95ページ)。また、i.LINK対応機器の電源ケーブルがはずれていないかご確認ください。
- 「接続機器選択」画面で、LINCしたい機器の左横に●マークが表示されていますか？(108ページ)
- i.LINK対応機器が正しく接続されているかご確認ください。ループになっていたりホップ数をオーバーしていると、i.LINK対応機器を使用できなくなります(191ページ)。
- 機器によっては、正しくLINCできないことがあります。また、LINCできても、デジタル信号が正しくやりとりされないことがあります。詳しくは、つないだi.LINK対応機器の取扱説明書をご覧ください。

i.LINK操作画面が操作できない

- 本機の「i.LINK Studio」操作画面を使って操作できるi.LINK対応機器を確認してください(90ページ)。
- D-VHSビデオによっては、本機の「i.LINK Studio」操作画面で操作できないことがあります。
- D-VHSビデオによっては、◀を押したときに前の番組の先頭まで巻き戻してしまうことがあります。
- ソニー製D-VHSビデオデッキSLD-DC1も、本機の手操作画面で操作できますが、デジタルハイビジョン信号HDは録画できません。

デジタル録画・再生ができない

ハードディスクレコーダーまたはD-VHSビデオにデジタル録画できない。

- 「i.LINK Studio」操作画面で、ハードディスクレコーダーまたはD-VHSビデオをLINCしてください(99ページ)。
- 著作権が保護されている番組では、記録できない場合があります(68、190ページ)。

ハードディスクレコーダーからD-VHSビデオにダビングできない。

- D-VHSビデオによってはダビングできません。
- D-VHSビデオにオートリンク機能があるときは「切」にしておいてください(101ページ)。

i.LINK対応機器に録画された番組や映像を再生できない。

- 「i.LINK Studio」操作画面で、i.LINK対応機器をLINCしてください(95、98ページ)。
- デジタルビデオカメラレコーダーの映像を再生するときに、デジタルビデオカメラレコーダーの電源は入っていますか？
- 本機は、DV方式の機器には対応していません。

その他

故障かな？と思ったら (つづき)

その他

症状	対処のしかた
その他	
電源スタンバイ時に本体があたたく感じられる。	<ul style="list-style-type: none">故障ではありません。これは衛星からのデータを取得するために本機の電源が自動的に入るためです。(このとき表示窓には「データ取得中」と表示されます。)本機は風通しの良い場所で使用し、ビデオなど他の機器を直接重ねて置かないことをおすすめします。

本体の光沢塗装について

本体表面は、光沢感のある仕上がりになっています。

塗装表面の変色や変質、傷の原因になるおそれがあるため、次のことを守ってください。

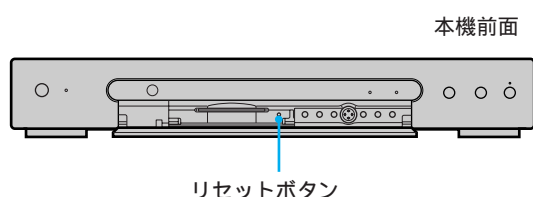
- 本機に物をぶつけない。
- 本機の上に熱くなったコーヒーカップや、花瓶など重いものを置かない。(内部に水が入ると、火災や感電の原因にもなります。)

リセットボタンについて

過大な静電気や落雷による電源電圧の異常により、まれに、本機が操作を受け付けなくなることがあります。この場合や以下のような症状が発生した場合は、本体前面のパネルを開けて、リセットボタンを5mm以上の細い棒状のもので1回押してください。

本体がリセットされて、正常に動作ようになります。

- 本機が操作を受け付けない
- 音が出ない。
- テレビ画面の映像が動かなくなった。



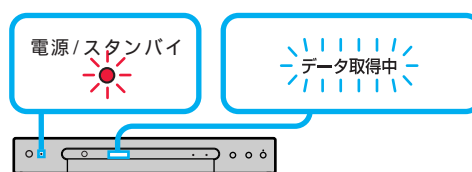
また、リセット後に異常が改善されない場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にお知らせください。

電源スタンバイ中の動作について

電源スタンバイ中（電源/スタンバイランプが赤く点灯）、以下のデータを受信したときに、本機前面の表示窓に「データ取得中」と長時間にわたり表示され続けることがあります。

- 放送局が送信する番組表などの番組情報データ取得中
- デジタル放送を正しく受信するためにデジタル放送から送られてくるデータの受信中および最新のソフトウェアのダウンロード中
- 放送局が送信する有料放送の契約・購入状況、双方向サービス情報の取得中

ダウンロード中/データ取得中の表示



本機前面の表示窓に「データ取得中」と表示中は、本機内部の回路が自動的に動作し、データ受信とソフトウェアの書き換えを行っています。受信するデータによっては数時間かかることがあります。

データ受信やソフトウェアの書き換えが終了すると、自動的に電源スタンバイ状態に戻り、「データ取得中」表示も消えます。

ダウンロードの 流れについて

自動でデジタル放送からダウンロードする機能について

電源スタンバイ中(本機前面の電源/スタンバイランプが赤く点灯中)に、本機内部のソフトウェアを最新の内容に自動で書き換える機能です。ソフトウェア書き換え用のデータ信号は、デジタル放送電波の中に含まれて送信されます。

お買い上げ時は、本機がダウンロードを自動で行う設定(「デジタル放送からのダウンロード」が「オート」)になっているため、お客様が操作や設定することなく、常に最新版に書き換えられたソフトウェアで、デジタル放送を正しく受信し、お楽しみいただけます。

ご注意

- 手動ではダウンロードできません。
- ダウンロードを行わないように設定すると、デジタル放送が正しく受信できなくなることがあります。そのため、自動でダウンロードできる設定のまま、お使いいただくよう、強くおすすめします。
- 本体の電源コードを抜くと、ダウンロードは行われません。

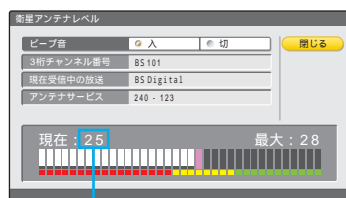
次の2つの条件を満たしていれば、電源スタンバイ中に、自動でダウンロードが行われます

条件1 衛星アンテナの「現在の受信レベル」が『20以上』になっている。または、地上デジタル放送を安定して受信できている。

衛星アンテナのレベルが20未満のとき、または地上デジタル放送が安定して受信できていないときは、ダウンロードが正しく行われません。衛星アンテナのときは、アンテナの向きを調整して、受信レベルを20以上にしてください。地上波アンテナのときは、お買い上げ店にご相談ください。

アンテナの受信レベルを確認するには

「セットアップ」メニューの「地上デジタルアンテナレベル」および「衛星アンテナレベル」画面に表示されます。



衛星アンテナのときは、20以上であれば、衛星ダウンロードが正しく行われます。

「地上デジタルアンテナレベル」画面を表示するには「セットアップ」「受信設定」「地上デジタル設定」「地上デジタルアンテナレベル」を選ぶ。

「衛星アンテナレベル」画面を表示するには「セットアップ」「受信設定」「BS/CS設定」「衛星アンテナレベル」を選ぶ。

条件2 「デジタル放送からのダウンロード」が「オート」の設定*になっている。

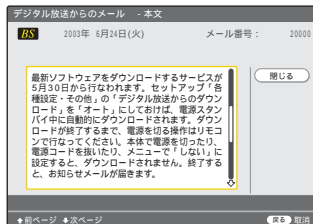
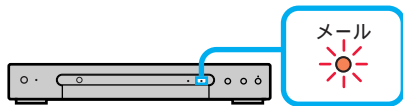
「デジタル放送からのダウンロード」が「しない」に設定されていると、ダウンロードが行われません。

「デジタル放送からのダウンロード」を設定するには「セットアップ」「デジタル放送設定」「各種設定・その他」「デジタル放送からのダウンロード」「オート」を選ぶ。

* お買い上げ時の設定です。









ダウンロードが行われるときは

デジタル放送からソフトウェア書き換え用のデータ信号が送信されてきたときは、本機前面のメールランプが点灯し、次のような「ダウンロードのお知らせ」のメールが届きます。



文面は異なる場合があります。

「ダウンロードのお知らせ」のメールを確認したいときは

- 1 メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 2 で「お知らせ」を選んで、で決定する。
- 3 で「本機からのメール」を選んで、で決定する。
- 4 で新しいメールを選んで、で決定する。
「ダウンロードのお知らせ」のときは、上記のような内容のメールが表示されます。
- 5 メールを読んだあと、で「閉じる」ボタンを選んで、で決定する。
- 6 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

「自動チャンネル変更」についてのご注意

お買い上げ時は「する」に設定されているため、新しく放送局が開設されたときなどは、ダウンロードによって受信できる放送のチャンネル番号などが自動的に変わります。録画予約を設定しているときも、チャンネル番号が変わると正しく予約が行われなくなることがありますので、ご注意ください。

「自動チャンネル変更」は、「セットアップ」メニューで設定できます。

「セットアップ」「受信設定」「地上デジタル設定」「自動チャンネル変更」を選ぶ。

ダウンロードの実行中は

ダウンロードは電源スタンバイ時（本機前面の電源/スタンバイランプが赤く点灯しているとき）にのみ、自動的に行われます。

電源スタンバイ中、数時間ごとに、デジタル放送から数分程度のソフトウェア書き換え用のデータ信号が送信され、本機がその信号を受信し、本機内部のソフトウェアを最新の内容に自動で書き換えます。書き換えは、30分前後かかります（内容により時間は異なります）。

また、ダウンロード中は、本機前面の表示窓に「データ取得中」*と表示されます。

* 衛星放送が送信する番組情報などのデータを取得するときも表示されます。

表示窓

データ取得中

ご注意

ダウンロード中は、電源の入/切をしたり、電源コードを抜いたりしないでください。ダウンロードの中断により、ソフトウェアの書き込みが途中で終了し、誤動作を起こす場合があります。

ダウンロードについてのQ&A

「1回目の信号でうまくダウンロードできなかったら？」
ご安心ください。ソフトウェア書き換え用のデータ信号は、一定の期間内に何回も送信されます。

「電源コードを抜いておくとダウンロードされないの？」
電源コードが抜かれているときは、ダウンロードは行われません。

「ダウンロードによって、設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったりしないの？」

ご安心ください。お客様が設定した内容は書き換えられることなく、保持されます。

次のページにつづく

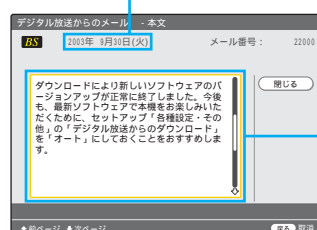
その他

ダウンロードの流れについて (つづき)

ダウンロードが正常に終了 すると

「ダウンロードのお知らせ」のメールが自動的に削除され、その代わりに、「ダウンロード終了のお知らせ」のメールが届きます。

ダウンロードの実施日



文面は異なる場合があります。

🗨️ちょっと一言

新しく「ダウンロードのお知らせ」のメールが送られてくると、その代わりに「ダウンロード終了のお知らせ」のメールは、自動的に削除されます。

「ダウンロード終了のお知らせ」のメールが届かないときはまず、次のことをご確認ください。


- 地上デジタルが安定して受信できていますか？また、衛星アンテナの「現在の受信レベル」が『20以上』になっていますか？
- 電源スタンバイ状態になっていましたか。

それでも、メールが届かないときは、お買い上げ店か、ソニーサービス窓口へご相談ください。

主な仕様

受信方式	地上デジタル放送方式 BSデジタル放送方式 110度CSデジタル放送方式
受信チャンネル	地上・BS・110度CSデジタル(テレビ、ラジオ、独立データ)の各チャンネル
対応周波数	90 ~ 770 MHz(地上デジタル) 1022 ~ 2072 MHz(BS・110度CSデジタル)
対応ローカル周波数	10.678 GHz
アンテナ入力	VHF/UHF、BS/110度CS IF 75 F型コネクター(コンバーター電源出力 DC15 V/11 V、最大 4 W、芯線側+、 オート/入/切、メニュー切り換え)
アンテナ分配出力	VHF/UHF
映像出力(テレビ用)	ピンジャック 1Vp-p 75
S1映像出力(テレビ用)	ミニDIN 4ピン Y : 1 Vp-p 75、C : 0.286 Vp-p 75
映像出力(ビデオ用)	ピンジャック 1Vp-p 75
S映像出力(ビデオ用)	ミニDIN 4ピン Y : 1 Vp-p 75、C : 0.286 Vp-p 75
D4映像出力	14ピンマルチコネクター Y : 1 Vp-p(0.3 V 負同期付き) Cb/Cr : ± 350 mVp-p 出力インピーダンス 75
コンポーネント出力	ピンジャック Y : 1 Vp-p(0.3 V 負同期付き) P _B /P _R 、C _B /C _R : ± 350 mVp-p 出力インピーダンス 75
音声出力	ステレオ、ピンジャック (テレビ用、ビデオ用各1系統) 最大出力レベル 2.0 Vrms 出力インピーダンス 1 kΩ 以下
光デジタル音声出力	AAC/PCM対応
コントロールS入力	ミニジャック
AVマウス(ビデオ)	ミニジャック
i.LINK	4ピン S400
電話回線端子	モジュラージャック
モデム通信速度	56 kbps
使用周囲温度	0 ~ 40
電源	AC100 V、50/60 Hz
消費電力	約21 W (スタンバイ時消費電力約0.3 W、 i.LINK待機時消費電力約1.5 W)
最大外形寸法	430 × 65 × 287 mm (幅×高さ×奥行き)(最大突起部含む)
本体質量	約 3.6 kg

付属品

- 電源コード(1)
 - 映像/音声コード(1)
 - VHF/UHF用アンテナ接続ケーブル(1)
 - AVマウス(1)
 - テレホンコード(10m)(1)
 - モジュラーテレホンコードカブラー(1)
 - リモコン RM-J322D(1)
 - 単3型乾電池(2)
 - B-CASカード(デジタル放送用ICカード)(1)と
B-CAS用ユーザー登録はがき台紙(1)
 - ソニー用お客様登録カード(1)
 - 取扱説明書(1)
 - 安全のために(1)
 - ソニーご相談窓口のご案内(1)
 - 地上デジタル放送・地域別チャンネル割り当て一覧表(1)
 - ソフトウェア使用許諾契約書(1)
 - 保証書(1)
-
- 本製品の一部には、Independent JPEG Groupの研究成果を使用しています。
 - i.LINKは、IEEE1394-1995とIEEE 1394a-2000を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ  は商標です。
 - この地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーは日本国内用です。電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
 - 仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがありますがご了承ください。
 - 本機は電気通信事業法第50号第1項の規定に基づく技術基準適合認定モデルです。
機器名 DST-TX1
認証番号 A03-0390JP

保証書と アフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。BSデジタル、110度CSデジタルの放送局との受信契約や番組に関しては、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターや衛星サービス会社、B-CASカスタマーセンター(電話番号0570-000-250)に問い合わせてください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーサービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名: DST-TX1

故障の状態: できるだけ詳しく

購入年月日:

お買い上げ店

TEL.

お近くのサービスステーション

TEL.

This Digital Hi-Vision Tuner is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

用語集

五十音順

ア行

アンテナレベル

(㊦151、154ページ)

アンテナから入ってくる電波の強さです。天候や気温、時間帯アンテナの向きや角度、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

インターレース(飛び越し走査)

(㊦123ページ)

走査線525本のうち、まず奇数番目の走査線(262.5本)を1/60秒かけて描き(この1画面を1フィールドという)次にその間を埋めるように偶数番目の走査線(262.5本)を描き、合わせて走査線525本の1枚の完全な画面(フレーム)を作っていく飛び越し走査のことです。

カ行

緊急警報放送(㊦71ページ)

地上デジタル、BSデジタルの標準テレビ信号 **SD** のマルチ放送を利用した放送です。緊急警報放送には、地震などの災害時に放送される緊急ニュース番組などがあります。

ケーブルテレビ(CATV)

(㊦122、139、144ページ)

契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送です。地上アナログのテレビ番組や地上デジタル、BSアナログに加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

降雨対応放送(㊦71ページ)

激しい雨による映像・音声の遮断を防ぐために、通常の放送に並行して、降雨に強い方式で同じ番組を送るものです。

本機では、お買い上げ時、番組によって降雨対応放送に自動的に切り換わるように設定されています。

降雨対応放送は、画質や音質が通常の放送に比べ低下します。

サ行

字幕放送(㊦74ページ)

画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送です。

本機では、字幕を入/切したり、字幕の言語を切り換えたりできます。

走査線(㊦123ページ)

テレビは、左から右へ流れる電子ビームを上から下へ送ることで画面を作っています。この電子ビームが作る線を走査線と呼び、走査線によって、どのように画面を作っていくかで、インターレースやプログレッシブなどの方式があります。

タ・ナ行

地上デジタル放送(㊦8、12ページ)

2003年12月に一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタル放送です。UHFの周波数帯域を利用して送信されます。

デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。くっきりはっきりした高画質のHDTV(高精細度テレビ)や、また文字や画像などのデータ放送などがあります。

デジタルCS放送(㊦9ページ)

110度CSデジタル放送ではなく、SKY PerfecTV!のことです。

通信衛星を使ったCS放送の一種です。従来のアナログCS放送とは違い、映像や音声をデジタル化することで、大量の情報を扱えます。これにより、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。

デジタルハイビジョン信号 **HD**

(㊦123ページ)

デジタル放送の画像方式で、1125iと750pの画像方式があり、大画面になっても走査線(テレビ画面を水平に走る線)が目立たなく、臨場感あふれる高精細画質を楽しめます。

ハ行

標準テレビ信号 **SD**(㊦123ページ)

デジタル放送の画像方式で、525pと525iの画像方式があり、525iは地上波アナログ放送と同等の画質です。

プログレッシブ(順次走査)

(㊦123ページ)

飛び越し走査(「インターレース」の項目を参照)をしないで、1フレーム目で525本全部の走査線を順番どおりに描き、次のフレームも同じ場所を525本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。

マ行

マルチチャンネル放送(㊦70ページ)

地上デジタルやBSデジタルの標準テレビ信号 **SD** のマルチ放送を利用した放送です。

同じ放送局の複数のチャンネルで、それぞれ違う番組を放送する場合と、同じ放送局の別のチャンネルで臨時放送を行う場合があります。

マルチビュー放送

(㊦71、72ページ)

地上デジタルやBSデジタルの標準テレビ信号 **SD** のマルチ放送を利用した放送です。

生中継の番組などで、最大3つの映像を同じチャンネルで楽しめます。

それぞれのカメラからの映像を、本機のリモコンの映像切換ボタンで切り換えて見ることができます。

ヤ行

有効走査線数(㊦123ページ)

走査線のうち、映像信号が載っている走査線の数のことを言います。地上アナログ放送やBSアナログ放送および標準テレビ信号(㊦SD)では、525本ある走査線のうち有効走査線数は480本です。BSアナログ放送のハイビジョン放送では同じく1125本中1035本、デジタルハイビジョン信号(㊦HD)では、1125本中1080本となっています。

なお、有効走査線に含まれていない残りの走査線(映像信号の載っていない走査線)には、画面の横縦比を規定した識別制御信号などが載っています。

ラ・ワ行

臨時放送(㊦71ページ)

地上デジタルやBSデジタルの標準テレビ信号(㊦SD)のマルチ放送を利用した放送です。

同じ放送局の別のチャンネルで、臨時放送を行います。

数字・アルファベット順

110度CSデジタル放送

(㊦8、16ページ)

2002年3月から始まった、110度デジタル衛星N-SAT-110によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質な放送などがあります。

5.1ch(チャンネル)サラウンド

(㊦198、200ページ)

左フロント、右フロント、センター、左リア、右リアの5本のスピーカーとサブウーファーから、それぞれ独立した音声を出力できるサラウンド方式です。

本機の光デジタル音声出力端子に5.1ch対応のオーディオ機器をつなぐと、本機が受信した5.1chサラウンドの音声を楽しめます。

AAC(㊦198、200ページ)

デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスド・オーディオ・コーディング

(Advanced Audio Coding)」の略で、高い圧縮率で音楽CD並みの音質を実現します。

B-CASカード(デジタル放送用ICカード)(㊦157ページ)

プラスチック・カードに集積回路を埋め込んだものです。チャンネルの契約、購入内容などの情報がB-CASカードに記録されます。記録された情報は、電話回線を通じて放送局に送信されます。

BSデジタル放送(㊦8、16ページ)

2000年12月から始まった、放送衛星(BS)によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。くっきりはっきりした高画質のHDTV(高精細度テレビ)や、また文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質な放送などがあります。

D端子(㊦124ページ)

デジタル放送などに対応したコンポーネント映像端子です。D映像入力端子付きのテレビなどと、1本のケーブルで簡単に映像信号をやりとりして、より高画質な画像を楽しめます。D端子には対応する信号フォーマットによって、次の種類があります。

本機にはD4映像出力端子が付いています。

- D1端子:525i(480i)の信号に対応
- D2端子:525i(480i)と525p(480p)の信号に対応
- D3端子:525i(480i)と525p(480p) 1125i(1080i)の信号に対応
- D4端子: 525i(480i)と525p(480p) 1125i(1080i) 750p(720p)の信号に対応

iはインターレース、pはプログレッシブの略です。

()内は有効走査線数で数えたときの別称です。

EPG(㊦26ページ)

「エレクトロニック・プログラム・ガイド(Electronic Program Guide)」の略で、デジタル放送の放送局から送信される電子番組案内(タイトルや番組説明、放映時間など)のことです。

PCM(㊦198、200ページ)

アナログ音声をデジタル音声に変換する方式です。「パルス・コード・モジュレーション(Pulse Code Modulation)」の略で、手軽にデジタル音声を楽しめます。

PPV(ペイ・パー・ビュー)

(㊦77ページ)

「見るたびに支払う」という意味で、一回視聴するごとに購入する番組のことです。

各部の名前

本体前面部

リモコンにある同名のボタンと、同じ働きをします。

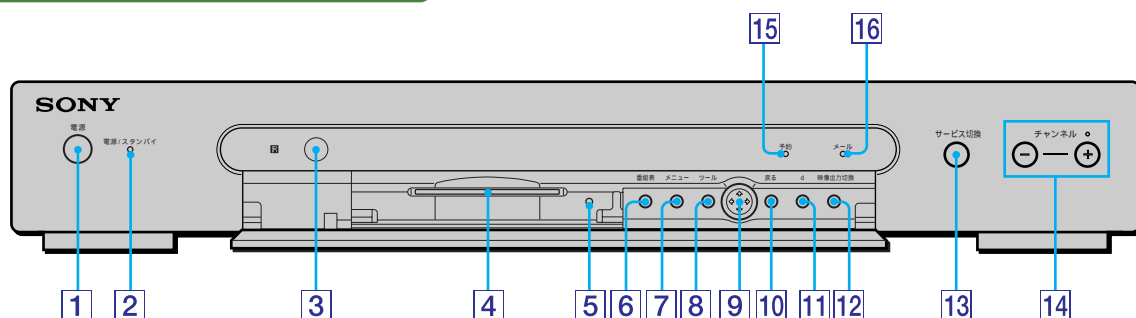
☺ちょっと一言

*2の付いたボタンには、凸点(突起)が付いています。操作の目印として、お使いください。

*1 サービス切換ボタンをくり返し押すと、次のように放送サービスを切り換えられます。

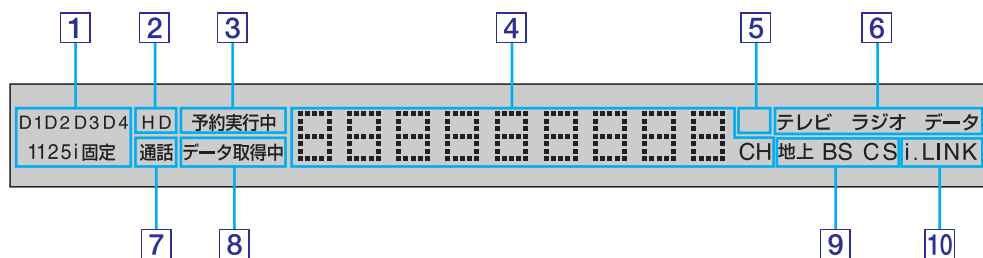
BSテレビ BSラジオ BSデータ CS1テレビ CS1ラジオ

地上データ 地上テレビ CS2データ CS2テレビ CS1データ



- | | |
|-------------------------------------|---|
| 1 電源ボタン(㊟2-2、142ページ) | 9 ▲/▼/◀/▶/決定ボタン(㊟2-3 ページ) |
| 2 電源/スタンバイランプ
(㊟2-2、202、211ページ) | 10 戻るボタン(㊟20、22、83ページ) |
| 3 リモコン受光部 | 11 dボタン(㊟20ページ) |
| 4 B-CASカード挿入口(㊟157ページ) | 12 映像出力切換ボタン(㊟72ページ) |
| 5 リセットボタン(㊟211ページ) | 13 サービス切換ボタン*1 |
| 6 番組表ボタン(㊟26ページ) | 14 チャンネル+/- ボタン*2(㊟12、16、19ページ) |
| 7 メニューボタン(㊟22、53ページ) | 15 予約ランプ(㊟49、51、54、56、58、59、61、202ページ) |
| 8 ツールボタン(㊟2-3 ページ) | 16 メールランプ(㊟86、202、213ページ) |

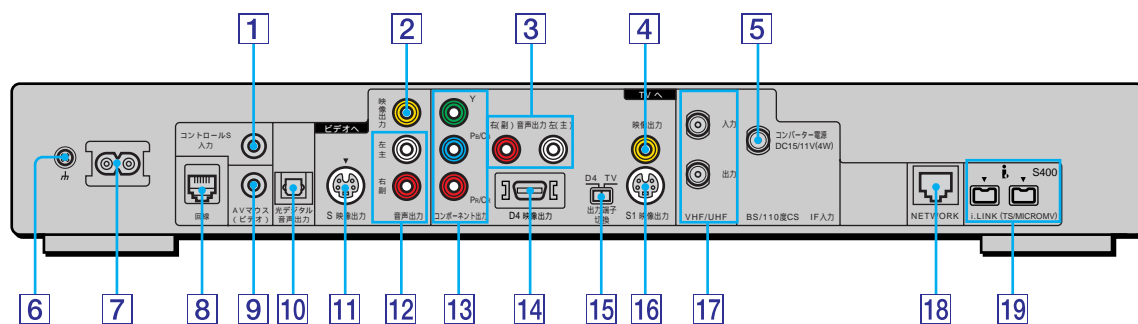
表示窓



- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 映像出力切換表示(㊟124～131ページ) | 7 通話表示(㊟21、134ページ) |
| 2 HD表示 | 8 データ取得中表示(㊟213ページ) |
| 3 予約実行中表示(㊟50、52、54、56、58、60、61ページ) | 9 地上/BS/CS(デジタル放送の種類)表示 |
| 4 時刻/チャンネル/アンテナレベル/
メッセージ表示(㊟156ページ) | 10 i.LINK表示(㊟96、98、103ページ) |
| 5 地上デジタル放送チャンネル枝番表示(1/2/3)
(㊟14ページ) | |
| 6 テレビ/ラジオ/データ(放送サービスの種類)表示 | |

表示窓の明るさが気になるときは
メニューの、「表示窓の明るさ」を「暗い」にしてください。
「セットアップ」「各種設定・その他」「表示窓の明るさ」
「暗い」を選ぶ。

本体後面部



- | | |
|---|---|
| 1 コントロールS入力端子 (㊦126ページ) | 10 光デジタル音声出力端子 (㊦198ページ) |
| 2 映像出力端子 (ビデオへ) (ビデオID-1システム) (㊦133ページ) | 11 S映像出力端子 (ビデオへ) (ビデオID-1システム) (㊦133ページ) |
| 3 音声出力端子 (TVへ) (㊦126 ~ 132、200ページ) | 12 音声出力端子 (ビデオへ) (㊦133ページ) |
| 4 映像出力端子 (TVへ) (ビデオID-1システム) (㊦132ページ) | 13 コンポーネント出力端子 (TVへ) (㊦129 ~ 131ページ) |
| 5 BS/110度CS IF入力端子 (㊦119ページ) | 14 D4映像出力端子 (TVへ) (㊦126 ~ 128ページ) |
| 6 アース端子 | 15 出力端子切替スイッチ (㊦124 ~ 132ページ) |
| 7 電源入力端子 | 16 S1映像出力端子 (TVへ) (ビデオID-1システム) (㊦132ページ) |
| 8 回線端子 (モジュラージャック) (㊦136 ~ 140ページ) | 17 VHF/UHF 入力/出力端子 (㊦117ページ) |
| 9 AVマウス (ビデオ) 端子 (㊦133、176ページ) | 18 NETWORK端子 (㊦137 ~ 140ページ) |
| | 19 i.LINK S400 (TS/MICRO MV) 端子 (㊦192 ~ 195ページ) |

ID-1方式 (ビデオID-1システム)

ビデオ信号の一部にデジタルのID信号を加算することにより、画面の横縦比 (16:9、4:3またはレターボックス) の情報を記録するシステムの名前です。本機はID-1方式に対応しています。ID-1方式対応のテレビにつなぐと、ID-1方式の画像となります。

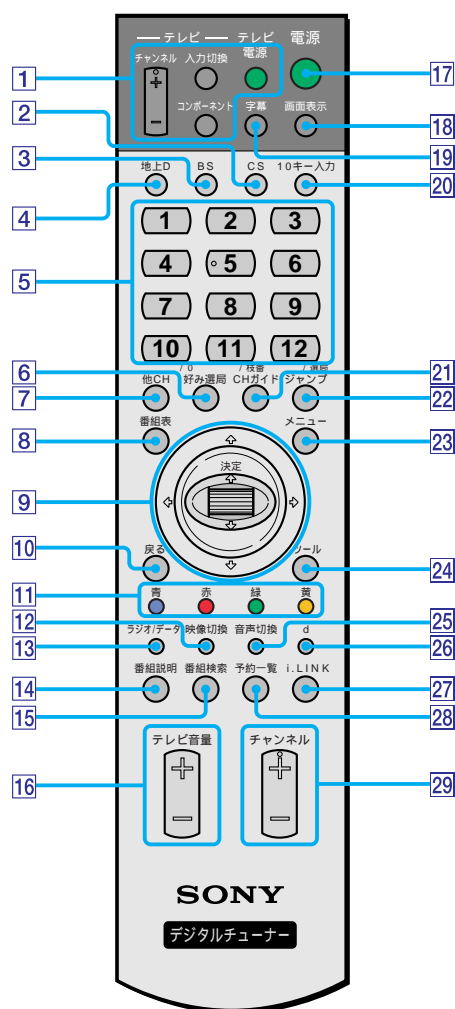
S1方式 (S1映像)

S映像のC端子へ直流電圧を重ねることにより、画面の横縦比 (16:9、4:3) の情報を記録するシステムの名前です。本機は、S1映像出力端子 (TVへ) のみが対応しています。

その他

各部の名前(つづき)

リモコン



本体にある同名のボタンと、同じ働きをします。

💡ちょっと一言

* の付いたボタンには、凸点(突起)が付いています。操作の目印として、お使いください。

- | | |
|---|---------------------------------|
| 1 テレビ用ボタン(㊧183ページ)
テレビチャンネル+ ボタンには、凸点(突起)が付いています。 | 15 番組検索ボタン(㊧32ページ) |
| 2 CSボタン(㊧16ページ) | 16 テレビ音量 +/- ボタン |
| 3 BSボタン(㊧16ページ) | 17 電源ボタン(㊧2-2、142ページ) |
| 4 地上Dボタン(㊧12ページ) | 18 画面表示ボタン(㊧21ページ) |
| 5 数字ボタン*(㊧12、16、19、20、184ページ)
「5」のみ凸点(突起)が付いています。 | 19 字幕ボタン(㊧74ページ) |
| 6 好み選局ボタン(㊧30ページ) | 20 10キー入力ボタン(㊧13、17、19ページ) |
| 7 他CHボタン(㊧43ページ) | 21 CHガイドボタン(㊧22ページ) |
| 8 番組表ボタン(㊧26ページ) | 22 ジャンプボタン(㊧21ページ) |
| 9 ⬆/⬆/⬆/⬆/⬆ ボタン(㊧2-3 ページ) | 23 メニューボタン(㊧22、53ページ) |
| 10 戻るボタン(㊧20、22、83ページ) | 24 ツールボタン(㊧2-3 ページ) |
| 11 カラーボタン(㊧20、26、41ページ) | 25 音声切替ボタン*(㊧76ページ) |
| 12 映像切替ボタン(㊧72ページ) | 26 dボタン(㊧20ページ) |
| 13 ラジオ/データボタン(㊧18ページ) | 27 i.LINKボタン(㊧90ページ) |
| 14 番組説明ボタン(㊧24ページ) | 28 予約一覧ボタン(㊧63ページ) |
| | 29 チャンネル+*/- ボタン(㊧12、16、19ページ) |

索引

五十音順

ア行

アフターサービス	215
暗証番号	22
設定	183
イベントリレー	48、71
いますぐ録画	55
衛星アンテナ	
設定	153
つなぐ	119
レベル	154
衛星放送	BSデジタル・110度CS デジタルの項を参照
映像切換	72
映像出力切換	124～132
オーディオ機器をつなぐ	198、200
お知らせ	86
音声切換	76

カ行

各部の名前	218
画面表示	21
かんたんキーワード検索	34
かんたんジャンル検索	34
かんたん録画予約	49
共同受信システム	117、122
緊急警報放送	71
ケーブルテレビ	122、144
ケーブルモデム	139
県域設定	142、146
降雨対応放送	71
個人情報消去	186
こだわりキーワード検索	39
こだわりジャンル検索	38
こだわり予約	51
好み選局	30
好みチャンネル登録	31
コピープロテクション	67、78、133、190
コントロールS入力	126
コンバーター電源	121、153
コンポーネント出力	129～131

サ行

サテライト用同軸ケーブル	117、119、121
サラウンド	199
時間指定予約	53、60
時刻別番組表	27
自己診断表示	202
視聴年齢制限	22、183
視聴予約	57
字幕入/切	74
字幕放送	74
シームレス選局	22
ジャンプ	21
主音声	76
出力端子切換	124～132
初期設定	142
信号切換	73
スター・チャンネルBS	159
選局	12、16、19、30、42
ソフトウェアキーボード	79

タ行

第2映像/第2音声	72、73、76
ダウンロード	174、212
他CH	43
他チャンネルリスト	43
地域設定	145
地上デジタル	8、12、117、 150、179、181
地上波アンテナ(VHF/UHF)をつなぐ	117
チャンネル	
自動設定	150
チャンネル別番組表	26
通常発信	161
通話表示	21、134、218
ツール	2-3
データ取得中表示	211、213、218
データ放送	18
デジタルハイビジョン信号 HD	123
テレビ選択	148
テレビにつなぐ	123

電源/スタンバイランプ

電源/スタンバイランプ	2-2、202、211、218
電池	112
電話回線	
接続テスト	160
設定	160
つなぐ	134
トーン	160
電話番号非通知	162
登録発呼	82
独立データ放送	18、163

ナ行

二重音声	76
設定	48
ネットワーク	163
ネットワーク(LAN)ケーブル	137～140

ハ行

ハードディスクレコーダー	47、90、176、192
番組検索	32
番組説明	24
番組情報取得	29、152
番組表(EPG)	26
番組を選ぶ	12、16、18、23
バンド	144
ビープ音	151、155
ビデオをつなぐ	133
光デジタル出力設定	198、200
表示窓	218
表示窓の明るさ	218
標準テレビ信号 SD	123
副音声	76
付属品	112、215
ブックマーク	85
プラットフォーム	159
プレビュー	77
ペイ・パー・ビュー(PPV)	77
購入概算額	78
ボード	86
保証書	215

その他

索引 (つづき)

マ行

マイラインプラス	162
マルチチャンネル放送	71
マルチビュー	71、72
メール	86
メールランプ	86、202、213、218
文字スーパー	74
モジュージャック	135
モジュラーテレホンコードカブラー	112、136、138~140

ヤ行

郵便番号入力	146
横縦比	147
予約一覧	62
重複	66
保護	64、66
予約録画	49、51、53、54
予約ランプ	49、51、54、56、58、59、61、202

ラ行

ラジオ放送	18
リセットボタン	211
リモコン	2-2、220
ルーター	137~140、164、172
連動データ放送	18、20
録画する	45、99
録画できない番組	67、78、133、190
録画防止機能	67、78、133、190
録画有料番組	77
録画を解除する	63

ワ行

ワイド設定	149
ワンタッチ選局	12、16、179

数字・アルファベット順

アルファベット

AAC音声	198、200
ADSL回線	138
AVアンプ	198、200
AVマウス	46、133、176
設定	176
B-CASカード	157
BSデジタル・110度CSデジタル	
加入申し込み	159
テレビ	16
独立データ	18
番組一覧	26
ラジオ	18
連動データ	20
録画予約する	49、51、53、55
CATV	144
CHガイド	12、16、22
d(連動データ)	20
D端子	124、126、128、217、219
DTLA	67、78、190
DVDレコーダー	46、176
D-VHSビデオ	46、91、193
EPG	26
HD(HD)	123
HDR	46、90、192
ICカード	157
i.LINK	46、89、189
再生	95、98
「再生リスト」画面	97
「接続機器選択」画面	108
接続機器の登録変更	106
待機設定	109
ダビング	101
録画	46、99
「i.LINK Studio」操作画面	92~94、105
Studio	89

ISDN回線	137
LINC	190
解除	107
MDデッキをつなぐ	198
MICROMV方式デジタルビデオ	
カメラレコーダー	91、194
PCM音声	198、200
PPV(ペイ・パー・ビュー)	77
S1映像出力(TVへ)	132
S映像出力(ビデオへ)	133
SD(SD)	123
SKY PerfecTV! 2	16、159
VHF/UHFアンテナ	117
WOWOW	159
Y Pb/Cb Pr/Cr出力	129~131

数字


0発信する	161
4:3	148
4:3ワイド	148
5.1chサラウンド	198、200
9発信する	161
10キー選局	13、17、19
10pps	160
16:9	148
20pps	160
525i(480i)	123
525p(480p)	123
750p(720p)	123
1125i(1080i)	123

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ ● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● **ナビダイヤル***.....  **0570-00-3311**

(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)

● **携帯電話・PHSでのご利用は***..... **03-5448-3311**

(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)

● **FAX** **0466-31-2595**

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし、内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

- 1：修理受付
- 2：使用方法や故障と思われるご相談
- 3：お買物相談
- 4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
- 5：その他のご相談

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35